

旧常盤小学校の跡活用に関する ご意見・ご質問への回答について

日頃より本市行政の推進にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。

旧常盤小学校の跡活用に関しまして、地域の皆様からお寄せいただいたご意見やご質問に対するグローバル・インディアン・エデュケーション株式会社（以下、GIE社）及び札幌市の回答を取りまとめましたので、結果をお知らせいたします。ご意見等をお寄せいただき誠にありがとうございました。

1 これまでの経緯

札幌市では、旧常盤小学校の跡活用について、以下の通り手続および地域への情報提供を進めてまいりました。

(1) 芸術の森地区 学校跡活用検討会議の開催

地域の代表者やPTA役員等で構成される上記会議において、令和2年より議論を重ねた結果、「地域コミュニティへの貢献」および「緊急時の避難場所の確保」を条件として、公募提案型売却を実施することを決定いたしました。

(2) 優先交渉権者の決定

令和7年（2025年）2月から6月にかけて3回目の公募手続を行った結果、日本国内で複数のインターナショナルスクールを運営するGIE社を優先交渉権者に決定いたしました。

(3) 地域説明会の実施

令和7年9月27日（土）にGIE社による地域説明会を実施し、周辺地域の皆様に事業計画等をご説明し、様々なご意見を頂戴いたしました。

(4) 説明資料等の送付及び意見収集

ソーシャルメディア等で「インド人学校ができる」などの不正確な情報が発信されていることが確認されたため、札幌市として地域の皆様に正しい情報を届ける必要があると判断し、以下の資料を送付するとともにご意見やご質問をお寄せいただく取組を実施しました。

【資料1 旧常盤小学校跡地の利用について】

GIE社の会社概要、旧常盤小学校を活用した事業計画、地域貢献の内容などを記載

【資料2 質疑応答集】

令和7年11月までにGIE社や札幌市に寄せられた主なご意見等に対する回答を記載

2 意見収集の概要

収集期間	令和7年(2025年)12月1日～令和8年(2026年)1月9日（必着）
回答方法	説明資料に同封した返信用ハガキ、または二次元バーコード等からアクセスできるWEB回答フォーム
配布範囲	芸術の森地区連合会区域の全戸
配布数	4,959世帯
設問項目	設問1：GIE社の事業計画に関する質問 設問2：懸念や不安に感じる点 設問3：事業に期待すること 設問4：その他の意見

3 意見収集の結果

(1) 提出方法別内訳

提出方法	ハガキ	WEB回答	合計
提出世帯数	153世帯	214世帯	367世帯（回答率7.4%）

(2) 意見の内訳

設問	設問 1	設問 2	設問 3	設問 4
世帯数	188世帯	277世帯	283世帯	281世帯
件数※	222件	368件	306件	351件

※いただいたご意見等に複数の内容が含まれる場合は、別のご意見として集計しております。

(3) 非公開箇所について

お寄せいただいたご意見等のうち、個人を特定できる可能性がある情報や、提出された方が希望された箇所については、非公開にしております。

4 今後の予定

今回の取組を通じて、地域の皆様が抱える懸念や不安、事業に対する期待等について詳細に把握することができました。ご協力いただき感謝いたします。懸念等に対しては、これからも正確な情報発信と丁寧な対応を継続し、皆様の安心に繋げてまいります。また、多く寄せられた「地域活性化」や「国際交流」への期待に対しては、GIE社と連携して実現していきたいと考えております。

札幌市としては、皆様の声を運営に反映させる仕組み（「地域連携協議会（仮称）」等）を通じて、引き続き丁寧に対応していくことをお約束した上で、GIE社との契約に向けた調整を進めてまいります。

なお、本件に関するご意見やご質問は引き続き受け付けておりますので、下記までお寄せください。

お問い合わせ先	■ 常盤小学校の跡活用に関すること 札幌市まちづくり政策局 都市計画部 地域計画課 調整担当 〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎5階 TEL：011-211-2545 FAX：011-218-5113 E-mail：chiiki-chosei@city.sapporo.jp ■ インターナショナルスクールに関すること 札幌市総務局 国際部 国際課 交流担当 〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎10階 TEL：011-211-2032 FAX：011-218-5168 E-mail：kokusai@city.sapporo.jp
---------	---

お寄せいただいたご意見・ご質問一覧（全367世帯分）

※原文をそのまま掲載しております。

※個人を特定できる可能性がある情報や、提出された方が希望された箇所については、非公開にしております。

※後段に設問ごとにカテゴリ分けして整理した一覧を掲載しております。

No.	設問１：グローバル社の事業計画に関する質問	設問２：懸念や不安に感じること	設問３：事業に期待すること	設問４：その他の意見
1		有りません。 この町があかるくなります！	町内とコミニティーを取ること！	賛成です、私の町内には、 障害者施設、学園が有り人外国人も多数住んでいますが一にもトラブル有りません
2		この学校自体よりそれをめぐる外国人排斥の動きに不安をかんじます	地域の開かれた学校になってほしいです	
3		反対している人たちが地域の人でないことに不安 外部から来ていて反対している	大阪校と同じように避難用品の学校内に保管してほしい	インターナショナルが常盤小跡地に出来るのは大賛成です
4	特に無し	特に無し	廃校となった跡地を有効に利用する 今回の計画は、将来の国際人を育てる上で有意義であり、今後の地域の発展に期待したい。	おかしな排外主義者が変なデマを流しているが、そんなことに屈せずがんばって計画を進めてほしい。外国人と交流することが将来の日本には大事である。
5	芸術の森もあり国際色豊かな地域になる事を期待しています。	治安もしっかり維持していく様、指導して欲しい。	現在草木もはえて、荒れているので早くきれいに整備してほしい……	人口も増え路線バスがますます混む可能性があるのもそちらの方も考えて欲しい
6	特にないです	不安もないです	地域もまきこんで、活性化に繋がれば良い！	
7	特になし	全ったくありません	このスクールで学んだ外国人が将来日本で活躍することを期待する。	但し、入国にあたっては、自国において重大な犯罪をしていないという条件をつけてほしい。
8	共感します。 多様性を重視してほしい。	住民以外の反対する人が不安や混乱を煽ることが心配	共生社会の実現 地域住民との係わりについて、	芸森(常盤)地区の住民ではなく身元不明な人が不安を煽るようなチラシを配ったり反対することに憤りを感じる。
9	閉校した学校を利用して、運営してもらえるのは、ありがたいと思います。	今まで見かけなかった外国人にお逢いするのは慣るまでは、とまどうと思います。	静かな場所なので、子供達が伸びのびと成長出来て、町内の方とも仲良く出来たら嬉しいですね。	開校したら、子供達の様子を一度見せていただくチャンスがあると嬉しいです。
10		地域外の反対勢力の動向。	常盤地区の繁栄と災害避難場所としての活用。	改修工事の規模は。
11			・地域に密接した学校 ・地域貢献、地域の活性化	・ある一定のルール・マナー、規律等の保守 ・交通規則の厳守 ※開校に期待しています。
12	送付された資料で理解できました。	文化の違いはあると思いますがその国を尊重しながら和をもって接したい。	学びは、インド系としても日本での生活文化を知っていただきたいです。	このような説明や意見をのべられる機会を作っていただき嬉しく思います。 安心しますし、政治参加を感じます。 ありがとうございます
13		特にありません	この地区がいろいろな面で発展して行くことに期待しています。	
14	私は近くに大学もありますし、街活性化にもなると期待しています。	自然にマッチした校舎作りに最善を尽くして欲しいです。	私は治安が悪くなるとは思っていません。しかし、時々どのような事を学習計画としているのか知りたい気持ちもあります。（極端な閉鎖感は余り望んではいません。）	孫が、常盤小学校を卒業しておりますが、本人に聞いてみますと、一部思い出（内部）は残してもらえたら…と話してました。
15		不安は感じていません ぜひ実現するようにガンバッテ下さい	地域の為にも期待します ぜひ開校を待っています	
16	特になし	閉校した小学校がいつまでも放置されることは、安全面で不安なので、早く事業者を決定してほしい。	もともと小学校だったので、教育関係で使われることは、良いと思う。少しでも地域が盛り上がる事ができれば、さらに良い。	常盤地区で見かけたことがないような人たちが過激すぎるような反対をしていて、少し怖い。 この意見を書くのも、逆うらみされたら…。と思いきからなので、個人情報の取り扱い、よろしく！！
17	資料を読んでもだいたい理解しました。地域にいろいろな人が来ることは活性化になると思います。	地域に開けた学校にしてもらえるか不安が少しあります。バスの本数を増やしてほしい。	・いろいろな文化にふれられること ・地域の人が参加できる機会が多いこと ・図書コーナーやカフェがほしい。	地域の人や、外の人が外国の人に乗っとられるような不安を言う声があるようですが、どうやったら共存できるか考えるのが平和の元だと思います。
18			旧常盤小学校が早く跡活用ができるよう願うとともに、地域と学校が連携し安心した生活ができ、より良い町づくりを期待しております。	
19		日本語と英語が普通に話されたり、1年生から高校生まで笑って元気に楽しんでる光景は楽しみです。うまく生徒たちが集まるのか不安もあります。		この地区で学校がなくなりガッカリしていました
20	地域のルールなどに基づいて円滑な事業を進めてもらえますか。	地域の安心安全を第一にしてもらえると特に不安はありません。 歓迎する方向で考えたいと思います。	常盤地区の活性化に貢献してほしいと期待しています。	札幌市も売却後も責任をもって対応してほしい。
21				この計画を歓迎します
22	なし	なし	地域と共存 若い世代との交流	
23			地域の発展、日本文化を知り大切にして欲しい 空き学校の利用大変良い	大いに期待してます
24	特になし	全くなし	地域になじんでくれると良いです	何でも反対する人が必ずいますが気にせず進めて下さい
25	多様な国籍、多様な進路に対応可能かどうか？	地域の小中学校との交流を盛んにしてほしい。	学校祭、音楽発表会などへ一般参加を可能にして下さい。	日本文化の課外クラブを作して下さい。書道、囲碁将棋、剣道、生け花など
26	特にありません	地域住民が使用する公共交通(中央バス)に影響が出ないと良いですが。	地域の活性化につながると良いと思います。	住民ではない方が反対運動を行っていると聞きました。混乱にならないよう願います。
27		14		芸術の森があり、外国人が増加する事には、良。公共交通の充実を望みます。
28		生活環境や考え方の違い等、最初は色々あると思いますがコミュニケーションを取り合いながら理解し合っていければと思います。	地域の方々とコミュニケーションを取りながら若く新しい人々が明るく、楽しく生活できる様になればと期待しております。	

No.	設問１：グローバル社の事業計画に関する質問	設問２：懸念や不安に感じること	設問３：事業に期待すること	設問４：その他の意見
29	説明資料をみる限りでは、総論では理解、納得できるが、説明通りに開校に向けたことが実現できるのか行政（札幌市）との密接な連携、調整、監視が必要と思われる。市から今回「説明資料」を戸別に配布し、住民に周知したことは、この事業に理解協力を求める手段として有力であったと評価します。		廃校跡地の有効活用や地域の活性化につながり、今後の国際社会化に対応する人材育成にも役立つものと考え本事業の推進に期待する。	知らなかったでは済まされない。インド人等外国人が増えて治安が悪化するなどと根拠のない排外主義的な根拠のないチラシが投函されており、一部排外主義的主張をする勢力の存在がみられる。
30			・地域の学校としてお世話になった施設が有効利用されることを応援いたします。 ・地域との交流ステーションになるといいですね。	・冬場の交通安全など課題について、話し合えると安心です。 ・情報公開が大切だと思います。
31	賛成		成功する事を期待しています。	
32		マナーの悪い人は日本人にもたくさんいます。話し合いで解決出来ると思っており懸念や不安は全然ありません。	むしろ、高齢に過疎化のこの常盤にインターナショナルスクールとは素晴らしいです。世界中の子供たちがこの地域を元気にしてくれると思います。	常盤小は息子たちが通った思い出がたくさんつまった学校です、新しく生ま変わるのを楽しみにしています。
33		現在、SNSで返対している排外的で攻撃的な方たちが、開校後、妨害してこないか心配。	旧常盤小がきれいに生まれかわり、また子どもたちの声がかきこえる活気ある地域になること。学びの選択肢が増えること。	
34		スクールバスの運行を希望します。 送迎時渋滞緩和ができるだけよう 文化の違い、生活面でのフォロー希望します		
35	IBDP認定校取得予定とはいつ頃迄に目処に？	大勢の国籍の人が集まり(日本含む)地域住民とのトラブル（ルール・マナー）等々に依り軋轢が生じる事、又、問題が起きた時の対処方法は？	OWISが常盤の地でグローバルな国際教育の発信のハブとなる事を願っています	旧常盤小学校跡活用に依り地域全体が発展・活性化する事
36	基本的に事業に賛成ですが町内会との連携を密にして下さい			
37	着実に事業に取り組んでいること、すばらしいと思います	外国人とくらす事に不安はありません。 むしろこの地域がより国際色にとんだ地になることを切に望みます。	事業計画にはありませんが将来地元へ外国大学系の教育機関が出来ること期待しています。	札幌市の担当部門を色々と努力されていることと思いますが、一日も早く契約締結が実現されるように祈ります。
38		ヘイトをあおる国策に不安を感じます。 説明会で一部の人の態度に恥ずかしい思いになりました。 あるいは恐怖。	積極的に地域と関わっていつて開けた場所にできると良いですね。	近隣に住んでいるので、説明会も参加しました。途中退席しましたが…ずっと情報を追いかけていたので進め方に疑問をもつことはなかったです。老人施設とかになるよりずっと良いです。これを機にもう少し日本人の民度が上がることを期待します。
39		感せんの病気	みんなで交流できて楽しくなる	とても未来的にいいこと 札幌や日本にとって
40	ナシ	ナシ	この地区は、私の住む■■■■を 合め高齢者地区であり、学校があると活気が高まり、非常に楽しみである。	インド人がどうのこうのと言っている人達の主張のエビデンスを確認し反論すべき。
41	インターナショナルで、地域が活性化されます様に思います。老人化が進んでいる地域ですが若い子供達が入えて、楽しくなります様に。	最近アジア系の観光の方々が緑地公園や滝野方面に多数来ています。歩道やバス停の回りなどゴミのなげすてが入えている事が思います。	北海道は、学どうの英語能力が低下してきていると思われています。国際的交流が多数入えます様に。学力増進に期待します。	常盤の方々は、不安を感じている人が大勢いると思いますが、速く理解し合いながら、決まるといいですね！
42			今のやる気なしをみているとイライラ。	日本ハムの北広島誘致がいかに地域を分断させているかわかるように、真駒内公園が最適であっても近隣の地域住民の意見が最優先されて南区の発展の芽をつぶれたことを考えると最終的には市長が今回は材料をみすえて勇氣ある決断をもって判断することが必要と思います
43	日本国籍の子が就学義務を履行したことになるような学校にしようとする考えはあるのでしょうか？	マイカーを利用しての父母の移動で、交通が増えるのではない公共交通を便利にして使ってもらえるようにしては、	海外への興味増すこと 特に子供達に	跡地が学校として残ることはとてもよいことと思っています。
44		バス路線が減少して不便になるので、朝夕の増便を市にお願いします。	常盤地区が子供達の楽しい場所になる事を期待します。	常盤小学校が移転してさびしい思いをしましたが、楽しみにしています！
45	基本的に賛同します	開校前に近隣の不安を払拭できるよう最大の協力をお願いします。	人口減の社会である以上、否応もなく共生社会に移行せざるを得ませんどうしたらそれがスムーズに行くのかを考えながら前に進むしかないと思う。 排他主義は残念です。	
46			芸術の森美術館(野外を含む)も近い地域なので大いに活用して、学力だけでなく感性豊かな子どもを育ててほしいです	フェイク情報や外部の反対意見に負けず、地域の発展も目指して下さい
47	たくさんの「スクール」を手がけられ居るのですね	いろいろ協議された様に思いました	世界各国皆さん何か国かでの会話が普通の時代です日本はまだまだではないでしょうか？ 是非その様な事を思った学校が出来る事に思います	楽しみにして居ます
48	教育機関としての役割を重視してほしいです	パンフレットにある地域貢献を進めてほしい	多様な若い人達が地域で活動することは、住民にとっても明るい話題だと思っています	町外による排外的な主張には不自然な面もあり(ユーチューブに排他的な動画がいつきに増えた)住んでいる住民の結論を優先してほしいです
49	楽しみです。 事業計画担当の方よろしく。	外国人と仲良く生活したい	よろしくお願いします	特に有りません
50	説明内容を見るかぎり不安な所がないと思われる	道内人口が減る中で国際的又は国内の人口が増えてほしい		芸術の森地区にふさわしい学校で世界にもアピール出来る地域でもあり大いに学校が出来る事に賛成である

No.	設問１：グローバル社の事業計画に関する質問	設問２：懸念や不安に感じること	設問３：事業に期待すること	設問４：その他の意見
51	よく説明されていて心配ないと思う	若い人の人口が減る一方なのでいい方法だと思う。	日本の国ばかりでなくこれから国際的にも交流が必要だと思うので賛成です。	
52		特にありません	教育のグローバル化に大いに賛成です。	
53			世界の為に	
54	11ページによるとスクールバスを予定とのこと、 国道475号線を担う中央バスは減便が止まらない。スクールバスは必須です。	なぜ、この契約がＳＮＳ上で非難・攻撃の対象となるのか理解できない、常盤・石山東以外に居住する人が多く発信しているのではないかと。 2027年8月開校予定なら、関連スタッフの通勤も考えられます。減便(中央バス)に苦しむ地域住民のためにも減便を止めて下さい	まだ使えると思う旧常盤小学校が草におおわれていく姿は忍びない。 教育施設として再生されるのは良いと考える	
55		・反対意見が多くなり、開校できない。というのは残念になる。通学している子どもたちに悪いことが起きること。(反対の人たち) ・学校前の交通状況→資料を見て、少し安心しました。	地域の活性化、芸森エリアが良い意味でおもしろい、また、住みやすい地域になればと！ 通学できない子たちにも、国際的な多様な文化を学べる、視野の広い子どもたちが増えるような取り組みに参加できるようにして欲しいです！	・大人の英語教室などできればうれしい。 ・市民に歓迎されて開校になって欲しいです。
56			この地域が活性化すること	
57	詳細不明なるも20年以上の実績があり、且つ国内にでも数校が開校の内容から信頼性も高く、且つ旧学校跡地の現状を考えると将来性もあり、願ってもない企業と思う。	・生徒の学業以外の生活状況や寮生活の過ごし方が想像できないこと。 ・教員15名でスタート、その後増員となっているが、本当に有能な教員が確保できるのか不安。	小学生から、文化の異なる子供同士が共に学びまさに、国際共生能力を養うことができるチャンスを子供達に与えることは素晴らしいこと、ぜひ実現を	芸術の森地区に住む者としてGIE社に跡地購入をしてもらい数年後の開校を期待している。開校後は、市民として協力することは惜しまないと思います。
58		特になし。	旧常盤小学校の跡活用する事は大変良い事。 緊急時避難所になる。何年も今のままでは景観が悪い。	説明資料を早めに配布すれば良かった。
59		地域でのルールが守れるか？が不安	地域雇用、地域活性化	自身の子供2人常盤小学校に通い思い出が沢山あります。このまま朽ちていく姿を見たくありません より良いスクールになるよう考えて頂きたい
60		学校が道道に面しているため、保護者送迎による交通渋滞の可能性を考慮する必要があると思います。	インターナショナルスクールの誕生により、外国人移住者と日本人が良好な関係を築き、南区が札幌市における外国人誘致成功のモデルケースになる事を願っています。	
61	(札幌市以外からの) 中・高校生の入学を増やす為、寄宿舎を建設する計画は、あるか？	全くなし。開校を歓迎します。	地域の活性化に協力して欲しい。 地域の小中校生との交流。主要校内イベントへの招待。(見学会)	教職員の採用にあたっては、Security Clearance を厳正にして欲しい。(共産国出身者等) ・できれば10年以上のリース。 中国・ロシア系企業への転売禁止、等
62	特になし	デマや誤情報が拡散していると思います。	地域が活性化するので開発して下さい。	住民とは関係のない(グループ)を排除して進めて欲しいです。
63		ナシ	期待します	私が協力出来る事があれば協力します
64	他地域でも卒業者がいると思うのでどのような所だったか体験談などを広報したり、周知が欲しい	お互い知らない事による偏見があったら困るので、直接何かの行事で文化とか知る場があるといいです。	旧常盤小学校をまた活気づけて欲しいです。	
65		学校周辺に寮ができたり外国の方が住むことが増えるのか	地域の学校とも連携・協力体制がとれて国際的な交流が生まれること	廃校の校舎を活用して地域的にも活性化すればよいと思う
66	説明資料を読んで、良くわかりましたので特に有りません。	特にありません。有効活用になることを願っておりましたので良かったと思っていました。	地域の人達にも学べる機会があれば語学やグローバルな問題(地球温暖化)等の講習など..	以前と同じく、緊急時避難場所ができるのは、ありがたいと思います。
67		特にありません、お子様をお持ちの方々に不安を持つ方々に逆に不安を感じます。活気がでてほしい、高齢化進む中、明るい町に声が響いてほしい	活性化(地域)につながるよう、大学も近くにあるのですから・インターナショナルでの文化交流も企画したり、新しい環境 (教育のグローバル化)へ	反対している方の怒声をネットで目にして逆にびっくりにしてしまいました。代替案でもあるのでしょうか？子供の声ほどエネルギーがあり未来あり。
68	次の時代に向かうにあたり、グローバル社会をつくる事に目をむけるべきと思う。	特にない 排外主義を強めるのでは？	地域住民との交流 ・学校行事への参加交流 ・地域の夏まつりへの参加交流 ・学校開放事業	反対意見等には、適切に対応して下さい。 反対団体を明らかにしてほしい。
69	避難場所、特に冬の寒い時の暖房など宜しくお願いします。・・・近くの町内会より。	ありません	緊急時の避難場所はあるがたいこと。 地域と仲良く出来るのが大事。	引きこもりの子供が、この学校に入り英語を覚えて、自分に自信がつき成長していく。 こういう子供達が増えるといいですね。
70	健全な事業を期待します。	バス減便等で交通渋滞が懸念されており 「マイカー等の送迎が多くなると朝夕の渋滞が気になります。		英会話教室等地域還元等を期待します。
71			地域が活気になったらいいです 生活水準の高い子達が通うので何も心配ないです 大賛成です！！	
72	賛成です 特に質問等ありません		・地域の活性化に期待します ・素晴らしい子供達の成長を望みます	
73	特にはありません。 大人向けの英語教室や文化交流が出来たらいいですね。	もしかしたら・・・ですが、移住してくる方々が増えるかもしれません。ですが、不安などはありません。学校に通う子供たちの安全	この地域が、活性化することを期待します。 子供たちが通った旧常盤小学校、 校舎を活用して頂ける業者が見つかった事は、ありがたいです。	常盤小学校の校舎は、教室、ろう下、が、”木”です… 大切に使うこと希望します。

No.	設問１：グローバル社の事業計画に関する質問	設問２：懸念や不安に感じること	設問３：事業に期待すること	設問４：その他の意見
74	事業計画については、理解しております。 実行上の大目標として一つ上げるとすれば、何でしょうか！？	生徒層の国際化に伴い、日本文化との相違による生活様式での衝突等が一番に危惧されるのではないのでしょうか。	人材育成にあたっては、世界各国における文化の相違理解に重点を置くことにもっとも期待したい。	放課後等の特別プログラムに、日本古来の伝統あるものを最大限に採用頂くことをお願いしたい。 ※建物（休眠資産）運用問題の早期解決を望む者の一人です。
75	この事業に本当に熱意を持っていらっしゃるのか？ 説明会の途中で具合が悪くなって退席されるのは残念です。	将来の子供たちのために、信念を持って取り組まれているのか不安です。たち上げた以上、何があっても穏やかに子供たちを導いてほしいです。	子供達が通う教育の場として、気負うことなく開校してほしいです。 何かあったから、すぐ他者の手に移ることがないよう願います。	地元の者としては、旧常盤小学校の校舎が、野ざらしされたままの状態はつらいものでした。明るい声が響く学校として再生を願います。
76	アルバイトやインターン生を雇う予定はありますか？ ■■■です	在学する学生とその家族が学校の近隣に住居を持つことは、ありますか。	地域活性化。地域住民と仲良く、協力してほしい。	町内会に加入してほしい 町内会行事等に一緒に交流してほしい
77	開校が近づいてきたら学校の教育内容や活動を地域の住民にも知らせ、地域との連携のあり方を知らせてくれるとありがたいです。	いたずらに不安をあおり、排外的な言動や活動があるのは残念です。	地域に根ざした経営を切に望みます。 この地域がすぐれた文教地域として発展し御校の真の教育力が示されることを願います。	
78			国際交流、異文化交流につながるような開かれた教育事業となって欲しい。	引渡しから10年間、札幌市として事業計画の履行状態をどのように確認、把握する予定なのか？また、その結果をどれくらいの頻度でどのように市民に周知する予定なのか？
79	跡地利用して学校運営することは賛成です	将来学校運営が厳しくなった時が心配 転売、用途制限があるといっても不正な建築された場合の市などの対応および関与がどこまでできるのか？	子供達の成長と南区の発展することを期待したい。	事業運営がうまくいっている時は良いが、不安が生じた時の、区・市がどこまで対応、関与できるのか？
80			常盤小学校が閉校して放置された状態で3年以上たち、廃墟になっていくのをたまらない気持ちで見えておりました。これをまた学校として活用していただき、子どもたちの声が戻ってくることを楽しみにしております。 色々な学びの選択肢が増えることは、大歓迎です。 デマで溢れるSNSを見ていると、逆にその様な方たちから開校後、妨害が入るのではと心配もありますが、どこの国の人だからではなく、人として共生して地域づくりをしていきたいと思っています。	
81	教員採用は、どのように行われるのか？北海道の人が採用される可能性はあるのか？教員住宅を学校近辺に建築するのか？	外国人排斥運動の人達による、理屈の通らない暴力事件が起こる可能性。	順調に運営されて、旧常盤小学校近辺が明るく活気のある街になること。地域住民との交流が盛んになっていくこと。	外国人に、地域のルールを守っていくように、教えること。
82	特に無し	特に無し	賑やかに元気よく	地域の避難場所としての機能を期待しています。
83	特にない。	不安感じることは無い、期待してる。	今の少子化の時に地域の活性化になると期待してる。	なるべく早く開校実現してほしい。
84	説明資料を見て概ね事業に関しては理解できた。	日本国内で7校開校している様ですが、いままで地域住民との関係性(揉め事など)はどうであったかが知りたい。 海外の生徒が少数であることから親御さんも含め、そんなに不安はないのではと思いたい。	この地域は年々高齢者が増え、南区の外れでもあり過疎化が進むでしょう。常小の現在の状況を見ると少し寂しくなります。開校にあたり地域の活性化に役立つのであれば健全で明るいスクールであることを期待します。	
85	地元雇用の予定はありますか？ある場合どんな職種でしょうか？	地域外からの反対運動の拡大と地域住民に対するいやがらせ等による治安不安からの計画の撤退が不安です。	未永い事業継続維持と地域との触れ合いの発展。	ここ最近のメディアでの報道の経過報道の継続とSMS等での発信をお願いします。
86	ない	ない、むしろあのまま廃れた状態の方が地域が発展しない	より芸術の森周辺が活性化するような事業を展開してほしい	反対している人々は代わりに旧常和小学校跡地をどうにかしようとしているのか？何も行動しないくせに、インターナショナルスクール設置に文句をつけてデマまで流すくらいなら別の場所にでも引っ越せばいいのでは？という気持ちです 特にありません。
87	Q12によると当該校は一条校に該当しないということだが、義務教育校に該当しないということか？該当しない場合、小学生から中学生に年齢が該当する子供は、どのような子供が通うことになるのか？	地域活性化にはつながると思うので売却には賛成です	賑やかで活力ある地域創生に寄与する取り組みを期待します	
88		なし	常盤地区、芸術の森地区の活性化、自然保護	9月27日の説明会では、常盤地区外の者が口を出し話し合いとは到底言えない状態だったようですが、私は賛成です。 今常盤は、凄い速さで高齢化が進んでおり若い人達が住みたくなる街作りの一環として良いと思います。（真駒内駅付近そうだが）
89	特にありません。	交通機関の混雑が予想される程度です。	地域の活性化に繋がることに期待します。	特にありません。
90		永続的に運営していけるのか		計画自体には賛成ですが、大都市札幌市郊外の手頃な土地という考えではなく、先人たちが開拓した崇高な土地に建てる学校であるということの重みを自覚していただいた上で、運営して頂きたい。 なにより、地元住民の安楽な生活を最優先に考え、地域にとけこむ姿勢を示してほしい。経営はその次。

No.	設問１：グローバル社の事業計画に関する質問	設問２：懸念や不安に感じること	設問３：事業に期待すること	設問４：その他の意見
91	地域の説明会に出席致しましたが、当日の出席者の住所や名前などのチェックがないことに違和感を否めませんでした。御社では、今回のような状態になるかもしれないという予想や危機管理はできていたのでしょうか？次回の説明会では、地域住民がどうかのチェックなどあったほうが良いと思います。学校開校へ向けての説明はよく理解できましたので、後味の悪い説明会になってしまったことが残念でした。	私たちが、正確な情報に基づいた判断ができないことを一番恐れます。また地域に『外国人が増えたらやだねえ。』といった根拠のない不安感が漂うことが残念です。今回の件についてどう考えるかオープンに話せない雰囲気、説明会直後にはあったように感じたのは、私だけでしょうか？物事の本質を見ないで、なんとなく不安感が煽られる現代の世相事態に懸念が生じます。が、今回の件を糧に、今後しっかりと話し合ったり、問題点があるならば整理して、気持ちよく開校へ向かう道ができるようになれば、考えるための良い機会だったのかもしれないと思います。グローバル化・排他主義・SNSの危険性・社会不安の本質など、日本が抱える問題を、身近なこととして一人ひとりが考えることが大切だと、痛感します。	今回の件をしっかりと検証して、あきらめることなく、説明会も開いて冷静に質疑応答できる場を作ってください。できれば、いろいろな時間帯と曜日で数回開いてください。また御社の代表者の中に日本人の方もいらっしゃるほうが良いように思います。そして、地域の人達の多くが望んでいる新しい学校を作ってください。全面的に応援・協力いたします。ここでしっかりと地域の発展へ向けて協力しあい、より住みやすい多様性ある芸術の森地区というにふさわしい街にしていけることが、反対派といわれる人たちへの答えともなえます。私の知る限りでは、多くの地域住民が学校を歓迎し、御社の活動が将来の希望につながると期待しています。	今回の意見を集める方法は、とても良いと思います。最近新聞やTVでも取り上げられているので、関心度は高いと思います。集計は大変な作業だと思いますが、市としての真摯な取り組みに感謝します。一人でも多くの方が、意見を述べられることを期待しています。
92			芸術の森地区は、芸術の森美術館、札幌私立大学を有する札幌市屈指の文芸地区であり、また滝野すずらん丘陵公園、恵庭溪谷、支笏湖といった北海道の美しい自然に囲まれた場所に位置しており、偏見や固定概念に左右されない高い感性を持った住民が、互いに寄り添い合いながら心豊かに暮らしております。今般のインターナショナルスクールの開校は、我が町の文芸地区としての価値をさらに高めるだけではなく、継続的な多文化の相互理解を通じて国際的な感性と品位をも高めることのできるものとして、心から歓迎すべきことであります。昨今世界に蔓延する排他的な思想に屈することは、誇り高き芸術の森地区の住民として決してあってはなりません。予定通り我が町にインターナショナルスクールが開校し、将来的に芸術や自然への感性の高い卒業生が日本の、そして世界の平和と発展に貢献する人材として大活躍することを期待しております。	札幌市のご担当様へ 芸術の森地区の今後の未来を左右するまたとない機会です。必ずや開校に漕ぎつけ、学校が地域に定着できるよう、ご尽力くださいますようお願いいたします。
93	特になし	特になし	地域貢献	特になし
94	開校に向けて改装工事される際、道路の通行は規制しますか？（片側通行など）	学校関係者、生徒送迎による交通量増加、渋滞。 反対派閥による運動、授業妨害。子供たちの安全。	開校をきっかけに、地域のコミュニティやイベントが活性化して行くこと。この地域に人の往来が活発になって、利用されなくなった空き地や空き店舗に飲食店や商店が出来ること。	学校給食制ですか？どんな料理を考えていますか？日本の学校とメニューや配膳方法はおんなじですか？基本言語は英語を使用すると思いますが、その他スペイン語や中国語日本語などを学ぶ授業はありますか？日本の学校のように生徒に掃除をさせる時間はありますか？地域の活性化の為に必要だと思います。
95	特になし	通学や行事による道路沿い又は周辺の違法駐車・交通渋滞。	特になし	
96	なし	なし	地域活性化	
97	特になし	特になし	教育の向上及びグローバル人材養成と地域活性化という観点から、期待は大きいです。	特になし
98	質疑応答集を読ませていただき理解できた。	駐車場の確保はきちんとしてほしい。	地域で雇用が生まれ活性化する事を期待しています	芸術の森地区は自然環境もだが治安が良く住民同士が気持ちよく生活するために努力を惜しまない精神が根づいている地域です。交番が地域にないのがその表れだと思います。子どもたちが通った小学校を再利用してくださるのは本当に嬉しい感謝です。是非地域住民を巻き込んで素敵な学校を作って下さい。協力は惜しみません。
99	特にございません？	特にございません。	様々な媒体にて報道を拝見致しましたが、私個人としては地域の発展を考慮し歓迎致します。数年に渡り廃校のままではイメージも良くありません。高齢化が進む地域、また昨今の運転手不足でのバスの減便などの影響も想定出来る地域にて事業が地域の貢献に繋がれば良いと考えます。	特にありません。
100	特にありません	特にありません	継続的に事業展開していってもらえることを期待します。	これまで自宅周辺で建設反対や今後を懸念する声は見聞きしたことがなかったので、報道されていた説明会に参加した地域の方（？）の意見の数々に驚きました。排他的な考えを感情的に叫ぶことの方がよっぽど怖い、と感じます。
101	特に無し	特に無し	若い人が集まり地域が活性化すること	無し
102		・今回の件でネット等などで間違った情報を広めていたような一部の過激な考え方をもった反対派の人たちが、この地域でデモ等を行ったり、インターナショナルスクール並びに地域住民へ危害を加える行動をしてることが1番怖い。 ・10年後の施設の利用方法が不明であり不安	地域交流の活発化 避難所としての機能	
103	なし	なし	人が栄えること	事業に賛成です。

No.	設問１：グローバル社の事業計画に関する質問	設問２：懸念や不安に感じること	設問３：事業に期待すること	設問４：その他の意見
104	質問は特にありません	不安や懸念を感じる事はありません	常盤地区は子供が減少している中で世界各国の子供達が常盤に来てくれると言う事で、街が活性化して明るくなるのを期待しています！	こう言う事業に対しては、賛成する人はあまり意見を言わず、反対する人が多く意見を発する事が多いのでぜひ賛成派の意見を重視してほしいと思います。
105	特になし	建設をめぐり、根拠のない誤解が広がっているので、早く払拭して欲しい	地域の活性化	旧常盤小学校建造物、土地を放置することなく、有効利用して欲しい。
106	①既存校生徒の国籍内訳の日本人割合が、大阪校54.7%、つくば校82%とのことであるが、札幌校ではどの程度の割合を見込んでいるのか？ ②上記①に関連して札幌校については、IBDP認定校申請予定とのことであるが、初年度における対象を幼児から小学5年生とし、その後学年を拡大していくのであれば、IB-PYP認定申請、IB-MYP認定申請を先行して行うべきと思われるが、この点についてグローバル社の考え方は？		芸術の森地区は芸術の森のみならず、その奥に家族で憩える滝野公園などのアクティビティ（レクリエーション）スポットを抱えているので、インターナショナルスクールが、それらの資源と有機的に連携し、地域全体活性化のハブとして機能することを期待する。	【札幌市に対する質問】 質疑応答集の１２番に、「学校教育法第１条の義務違反になる」旨の紋切型回答が記載されているが、グローバル社のインターナショナルスクール事業を「札幌市が取り組むまちづくり推進に寄与する」最優秀提案として採択したのであれば、同校への入学を希望する日本国籍の子女（保護者）が、学校教育法第１条の義務違反（罰則）を懸念することなく同校を選択できるような何等かの後押しを行う考えはないのか？
107	事業計画は、配布された資料で理解できた。	特にない	グローバル人材の育成に期待したい	ありません
108				この地域が活性化するにはベストだと思います
109	特に無いが、採算が合うぐらい生徒が簡単に集まるものなのでしょうか？ 少子化の時代なので、将来的な事業計画の見通しについて知りたい。	既に他の地域で事業活動を行っていて問題は無いと伺っているので、不安や懸念は無い。	石山東、常盤地域を通る国道沿線は余り賑やかとは言えない状況が続いていましたので、常盤小学校跡地をグローバル社が活用することで、華のある通りに生まれ変わってほしい。	あれもダメこれもダメと言っているのは町が衰退して行く気がします。 自然破壊は望みませんが、既に市立大学もあるので、新たに学校が出来て文教地域として賑やかになるのであれば喜ばしいことだと思っています。
110	・学生の通学は専用のスクールバスなど利用するのか？あるいは既存の公共交通を利用するのか？ ・教員の体制と人数、並びに学校運営にあたる総人数はどの程度か？ ・スクール運営に伴う町（町内会）との共同事業などを計画しているか？、並びに町（町内会）行事参加なども視野しているか？ ・常盤地区は、山・川・森など自然環境が優れている地域であり、このような環境を教育の場でどのように活かしていくか？ ・グローバルな社会環境のなか、国際的な教育機関が開校されることは喜ばしいことで、地域としては歓迎するところである。地域社会とのコラボレーション事業を多様化して、相互理解と融和を推進するような事業計画の策定を望む。	・全国の先進事例や、これからの地域社会の展望を考慮して、全く問題無いと考える。	・一日も早い開校を望む。 （現状の常盤小学校は荒廃やグラウンドの草地化が進み、地域の環境維持問題を引き起こしている現状がある）	・町（町内会）には、フェイクニュースが広がっている。正しい情報を頻繁に発信すべきである。 ・ヘイト的な思想によるデマ、憶測を一部の住民が、吹聴している事実がある。また、地域外（市内や近隣市町村）からの部落差別的な情報や、道外からの政治的誘導によるSNS投稿が発信されている。このような極右翼な反社会的な支持者のフェイクニュースに屈することなく、人種、民族、文化や宗教などを理由とする差別を無くし、全ての人が平等な地域社会の構築を強く希望する。
111	・何故、この地域を選択したか明らかにしたうえで、地域との共働した事業計画を明らかにして頂きたい。 ・その上で、自然環境が豊かなこの地域の特色を、どのように外国人教育に生かすのかビジョンを示して頂きたい。 ・スクール運営体制と教員及び施設管理運営者規模、並びに地域住民に就労者を求めるのかなど、運営面での情報を知りたい。 ・スクールの年間の学習日程や学生の通学体制、地域（町内会）との基本的なコラボレーションについての情報を知りたい。	・懸念や不安はない。 ・高齢化が進む地域としては、活性化の要因として歓迎する。	・スクール事業と地域コミュニティの連携や共働に大きな期待を寄せる。 ・廃校の健全化や、グラウンド整備、体育館の利用、身近な防災施設としての再活用などに大きな期待を寄せる。	・地域外からのフェイクニュースや、右翼志向の強い反社会的な団体の活動、並びに政治的な色濃い情報発信が多く、静かな暮らしを営む地域に、波紋が生じている。 ・特に、根拠のないSNS情報の規制をしっかりと行ってほしい。
112	特にありません。	仕事が休みの日の日中、旧常盤小学校の前を通ると、妙なブラカードを持った人がバス停に立っています。とても気味が悪いです。予定通りインターナショナルスクールが開校することになったら、そこに通う子どもたちやその保護者の皆さんが安心して通学できるよう、根拠のない誹謗中傷等を、札幌市として止めさせることを望みます。	公教育とは違った形の、質の高い教育の実践と、その発信に期待しています。頑張ってください！	
113			地域の活性化を期待します。	とにかく大賛成なので反対意見に負けず頑張ってほしいです。開校日が楽しみです。
114	特にありません	特にありません	体育館を地域の少年団活動に貸し出し、開放いただけたらと期待します。	ようやく売却企業が決定して、子どもたちも通った学校跡が活かされる、と思っていた矢先の報道に戸惑っていました。住民のひとりとしては、地域の活性化に賛成以外の意見はありません。
115	特にない	ない	地域の活性化を期待している。	
116	特になし	特になし	世界に出ていくような、人材の輩出と地域との結びつきに繋がるようなイベント等期待する。	南区は人口減少が札幌で一番です。地域活性化に繋がればと。。開校を望みます。
117	ありません	ありません、大歓迎です	地域が活性化するので大歓迎です	

No.	設問１：グローバル社の事業計画に関する質問	設問２：懸念や不安に感じること	設問３：事業に期待すること	設問４：その他の意見
118	特になし	不安に感じることはない	地域活性化の期待	先日、ニュースでも問題になったがなりすましのアンケート回答があったみたいだが大丈夫か？
119	特に質問はありません。説明資料を読むと、しっかりとした企業だということが分かります。	特にありません。	日本の子供達を世界に飛躍出来るスキルを育成するプログラムを持っていることから、多いに期待します。	是非とも、インターナショナルスクールが開校する事を願っています。
120	IBDPの取得を申請予定とありますが、今後法人化して一条校にすることは視野にいらっしゃるでしょうか。また、日本の国籍のみをもつ子どもが入学した場合、その子どもの利益を尊重して在籍する日本の学校とコミュニケーションをとることは想定されていますでしょうか。	共生条例が施行された札幌市において、外国籍であることをもって差別的に扱うことは決して許されることではありません。GIEが常盤に開校されることは歓迎すべきことであり、それに対する不安はありませんが、外国人を蔑視するような偏った考えをもっている方が反対運動をすることが懸念です。	長い間、後活用が決まらなかった旧常盤小学校にきてくれる業者が決まりありがたい限りであり、地元住民として大歓迎します。偏った思想をもった方々に屈することなく、ぜひ常盤の地で開校していただきたいです。もともと常盤には外国に繋がる方が多く住まわれている土地です。外国の皆様や外国の子どもたちと共生し、「共生条例の理念を実現する街常盤」でありたいと思います。	常盤にお住まいの方は、偏った思想をもった方の発信するSNSの情報に惑わされることなく、GIEの皆様やそこに通う子どもと共生していきましょう。札幌市の行政の皆様におかれましては、このようなアンケートを実施してくださりありがとうございます。偏った思想をもった方の情報操作に屈することなく、毅然とした対応をされることを期待します。
121		北海道新聞に掲載された記事を見ました。 特に不安はありません。 期待しています。	地域の雇用創出 地域の子供達も語学力を身につけられるような交流の機会があっても良いと思います。	風評被害等、あり大変かと思いますが期待しています。
122	質問ではなく意見になるが、説明資料にもあるように、部分的にでも施設を地域開放したり交流事業のようなものも充実されると良いと考える。	事業そのものへの懸念は無いが、それに反対する排外主義者や右翼などが外部から流入して治安が悪化したり、住民間の意見対立を煽って分断を招く状況を懸念している。 ニュースでなりすましがいた事を知ってその方が怖いと思いました	自然環境や芸術に関する施設などこの地域の性格に合わせた価値の向上や、新たな活性化に期待している。	懸念点で書いたように反対勢力による治安悪化への対応を考えなければならないので、対立なく建設的な話し合いができるような環境構築を関係者には考えていただきたい。
123			廃墟化の阻止と近隣の活性化	子育てが終わって積極的な関心を持っていませんでしたがニュースを見て賛成意見も表示する必要を感じました 氏素性をはっきりさせた上で意見を出せるこのような方法を取っていただきありがたいです
124	特にありません。	ありません。	グローバル化に関しての教育に必要な事業です。	是非、実現して下さい。
125	特にありません！むしろwelcome！	懸念する事は、右翼めいた輩が邪魔したり悪さをしに來ないかが気になります。アホな奴等が沢山いるので。皆が住みよい街にしたいだけのに。住民に迷惑をかけるような輩を取り締まって欲しい。	我々商売をしている身としては、是非、子供達とご家族等が利用して頂けると、非常に有難いです。	右翼や、とんでもない輩の対処を是非検討して頂きたいです！子供達を不安にさせない為に！
126	特にありません。	質疑応答にあるような懸念等は、全く感じません。むしろ、このせっかくの事業計画が反対の声で消えてしまうのではないか、という不安があります。	私が住んでいる場所は、少し離れていますが、それでも地域が活性化するのは感じられるでしょうし、多様な国の人や文化に触れられる機会が増えることが期待されます。	排外主義がはびこっているのが、気になりますし、嫌な気持ちになります。
127	インターナショナルスクールの日本人生徒は就学義務を履行したことにはならないのであれば、その扱いはどうなりますか？	11月に家の郵便受けにインターナショナルスクール開校に反対のビラが入っていました。内容は何ら根拠のない妄想に近い理由が書かれています。しかも自分たちの連絡先は書かれておらず、意見はグローバル社と札幌市に連絡するようと言うもので、これは明らかにSNS上の犬笛に相当するものと考えます。また旧常盤小学校前で「移民受け入れ施設です」というプラカードを掲げた男性を2度見かけました。このような外国人というだけで排除しようとする人たちに対して強い憤りと気味の悪さを感じています。近隣に住む者として心穏やかに過ごせません。	事業計画に則った学校運営を期待します。	最近札幌市でもヘイトスピーチデモが活発化していると聞きます。これ以上広がらないように札幌市として「ヘイトスピーチ禁止法」のような条例を早急に作っていただきたいです。 川崎市ではヘイトを撒き散らす人たちを排除することにある程度成功しました。ヘイトを繰り返す人たちの行き場をなくすためにも、札幌市も積極的に取り組んでいただきたいです。
128	特になし	特になし	地域との交流を大切にしてほしい	正しい情報が伝わるように頑張ってください
129			地域雇用の創出もありと資料にありました。他にもスクールバスの運行予定とありますが、民間のバスに乗ることでの地域住民との交流もはかれると思います。	先日の説明会には町内会の行事が事前に予定で入っており残念ながら参加できませんでした。 なんだか近隣住民ではない人達が来ていたようですが、事業内容や学校のことなど色々聞いてみたいと思いました。 今回このような資料配布して頂き少しでも知ることができて有り難いです。 マイナスイメージを持つ方が多いようですが、私はインターナショナルスクール開校に賛成です。 地域住民向けイベントもあるとのことで、私には小学生の娘がいるので一緒に参加して、視野を広げるきっかけになればいいなと思います。
130		全くありません。	地域や小中学校との交流	今回の右翼団体などによる抗議は、本当にびっくりです。よく知ろうともせずに異国者を排除しようという考えは、短絡的すぎると思います。どのような事業なのか、しっかり理解した上での抗議ではないだろうかと、報道等を見て感じました。住民としては、廃校のままでいるより、特色ある学校となって子どもたちの学びの場となるのは、喜ばしいことだと思っています。
131	特に無し	外国人が急に増えて騒がしい、ルールを守らない等、治安が悪化しないか	高齢化している地域のため、インターナショナルスクールが出来て子供たちが増える事は歓迎したい	
132	特にありません。	特にありません。	廃校をうまく活用できればと思ってます。	
133	特になし	ないです	地域がにぎやかになること	子どもたちが増えることを期待します

No.	設問１：グローバル社の事業計画に関する質問	設問２：懸念や不安に感じること	設問３：事業に期待すること	設問４：その他の意見
134	なし	外国人住民の多い地域では、文化や生活習慣の違いから、多少なりともトラブルがあると聞きます。言葉の障壁もあることから開校初期においては、スムーズな解決に至らない可能性が懸念されます。	日本の人口が減少していることから、外国人の労働力に頼らざるを得ない現状を鑑みると、これからの子供たちには、多くの外国人と接する機会を持つことで、グローバルな感覚を養ってもらいたいと思います。	行政として丁寧な説明をしていただいたことに、感謝します。
135	日本国内外での実績や札幌市での計画を資料で見るとは安心な企業なのかと思います。	日本語対応可能スタッフがいるということですが、言葉だけではなく日本の風習、日本人の特徴、学校に対する日本人の考え方やこの地域の特徴などが分かるスタッフがいるとトラブルなども未然に、もしくは小さくすむのではないかと思います。	この地域は、町内会活動が盛んな地域でもありますので、地域社会との繋がりを大事にしてくれること、地域と一緒にイベントに参加する、学校ボランティアに地域の人を募集する、近隣の学校との往来など地域に根差した学校になると、地域全体が活性化されるのではないかと思います。	外国人が増えることによってトラブルが増えると考える人も多いようですが、困った時の相談窓口開設をしたり、地域住民と外国人が交流できるようなイベント(言葉や風習、日本料理教えるなど、生活する上で必要な事)を開くなど地域を巻き込むと良いのではないのでしょうか。お互いに顔を合わせて話をすると不安は減るのではないのでしょうか。
136	特にありません	札幌市内から距離が結構あるので、生徒が期待通り集まるかどうか？ 期待通りに生徒が集まらなければ、将来的にまた廃墟にならないか？	子供や若い世代が地域に昼間だけでも多くなることでこの地域ににぎわいが生まれると良いと思う。 またインターナショナルな生徒や職員と地域が交流することでこの地域に新たな活気が生まれれば良いと思う。	報道で、地区の説明会が荒れたとか、SNSで全く意味不明な噂を流布しているなど、現状をととても残念に思います。本当にこの地域に住んでいる方が意見しているのか疑問に思います。差別主義者や右翼等がこの機に便乗して荒らしていると思えてなりません。 このような、人種差別を許していいのですか？ 札幌市はもっと明確にこのプロジェクトの意義を主張し、差別的な意見に対しては断固とした主張をし、場合によっては法的な措置をとるなど毅然とした対応をするべきだと思います。
137	特になし	反対の人たちのデモ	使い道のない校舎の有効活用ができるのなら良い。法律やルールを守って活動してほしい。	説明会にも参加しましたが、耐えられず途中で出てしまいました。
138			当法人は福祉事業所として営業している為、共に地域福祉の増進に向けて協力していける関係を築いて行きたいです。	以前は災害時の避難所として指定されていましたが、今後再度一時避難所としての機能を持つ事が出来る様になるのでしょうか？
139	なし	地域住民以外の外部者から不正確な情報が発信され、当該事業が取りやめになり、廃墟のまま経過すること。	老人施設が多いこの地域において、未来ある子どもたちが集まる学校設立は地域活性化に繋がり、何より、元気な子どもたちの顔を見られるのが嬉しい。	なし
140	特になし	特になし	人口の増加。	グローバルな人材が住んでくれて、現在住んでいる人達とも仲良くやってくれたら良いと思います。文化や習慣の違いを認めて、尊重し合う町になるきっかけになる事を望みます。
141			跡地にインターナショナルスクールが来ることはとても良いと思います。	中国人が増える事は困ります😞
142	なし	資料が事実であるならこのまま進むと良いと思います。今いろいろな情報がとんでいて地域住民が振り回されていて本音を言えない状態です。このことでご近所関係にヒビが入らないよう正確で細やかな情報発信をお願いします。	旧常盤小校舎の時計が止まったままです。 針が動き出し子どもたちの声若い人の姿を見られることを願っています。	日々痛んでいく校舎を見てさみしく思っていました。 最後まで大切に使うてもらえたら良いですね。
143	なし	なし	地域貢献	なし
144	9月の説明会がデモ行為によって妨害されたと聞き大変残念な思いです。その後、グローバル社としては、当初の計画を進める方向でいるのか、或いは計画撤回もあり得るのか、現状をお聞きたい。	この計画に関する誤った情報や地域住民の不安を煽るような投稿が拡散している事。計画撤回を求める陳情書にも名前貸しの不正があったと聞いている。このような行為は、新しい学校の開校に期待する一地域住民として、大変残念で腹立たしく思っている。	閉校した小学校跡地が新たな学校として生まれ変わり、文化や国籍の垣根を超えた共生のモデルコミュニティとして、この常盤地区が発展してゆく拠点の一つとなって欲しい。	この事業計画を後押ししている札幌市として、運営会社をもっとサポートしてもらいたい。地域住民への説明や対話の場を、運営会社任せにせず、市が率先して関わって欲しい。インターナショナルスクールとは一体どういう学校なのか、他のスクールの具体例を示すなどして、計画に不安を持つ人々の理解を深める努力を市としても進めてもらいたい。
145	特になし	地域とのコミュニケーション	国籍に関係なく地域社会との良好な関係を築いて欲しい	
146	特にありません。	全くありません	学ぶ環境の選択肢が増えることに大いに期待する	跡地の有効利用にもなりますので、この事業を是非とも進めてほしい。 反対している人は、限られた一部の団体で、この地域とはまったく関係のない人達にみえます。 札幌市としては良識的に毅然と対処すべきです。
147	校舎のリニューアルのイメージと資金の裏付けの公表を望みます。	特になし。	地域交流を活発に行っていただき、常盤地区が活性化されることを期待します。	極左的な人がいますが、常盤の住人なのか確認してほしい。 まともな議論ができなくなるような人は退場させ、次回からは入場禁止にすべき。
148		なし	質の良い教育	賛成
149	特になし	特になし	世界に通用する人材育成	特にありません

No.	設問１：グローバル社の事業計画に関する質問	設問２：懸念や不安に感じること	設問３：事業に期待すること	設問４：その他の意見
150	OWISで学ぶ学生(日本人)は、12年間の教育を学んだとしても、現在の事業計画では卒業資格が得られない状況が考えられる。 開校されるなら、早急にIBDPの認定校として運営し、在校生の将来の不安を除去して貰いたい。	外国人の増加による生活習慣の相違によるトラブル、事件・事故などの法令違反が特に不安に感じます。 専門分野の人材をGSGは雇用して、住民や官公庁との折衝をスムーズに出来る様に配慮して頂きたい。	1 グローバルな人材の育成、質の高い教育 2 地域に親しまれるスクール 3 社会(地域) 貢献 4 地域雇用	1 授業料が高額 年間の授業料が高額に感じます。 札幌市での計画に記述する年間の授業料は、高所得者層の子供しか入学しないのでは？生徒が集まらなければ運営にならないと感じます。 2 インターナショナルスクール建設は移民政策の一環なのか？ 札幌市の質疑応答集には、外国人材の受け入れを促進する条件に行なったものではない。と、回答されていましたが、現在、旧常盤小学校前のバス停でGSGの開校は移民受け入れの窓口等と言うプラカードを掲げ、座り込みを続ける人がいます。 この様な方がいる限り、開校は困難なのかな？と疑問を感じます。 地域住民では無いと思います。 常盤地区に在住する人は、開校される事を期待しています。 旧校舎の活用、人の往来、活気ある地域環境を望んでいます。 市の担当者は、一度座り込みをしている方に目的は何か、確認して頂きたいです。
151		地域外がよく理解してもいないで意見してくる団体的な動きには、危険なものを感じる	偏った価値観だけでのうごきにならないように、オープンで公平な運営をのぞむ	グローバルかつあたたかな視点を大切にして予定通りに進めて良いと思う
152	大変素晴らしい事業をしている会社であることから質問ありません。	外国人だとか日本人だからと言って懸念や不安など感じることはまったくない。	外国人だけでなく日本人も楽しく学べる学校を作って欲しいと期待しています。	速やかに学校を開校して欲しいです。
153	特に無いが、是非進めて欲しい。	外国人をあからさまに排除しようとする勢力があることは認知しているが、それらの人が地域の問題に口を挟むこと	長い目で見て重要な観光資源であり、貴重な労働力と思う。	日常的に、散歩している外国の人に挨拶された時、挨拶を返すのは当たり前のことです
154	特になし	地元の住人でもない人が反対を叫んでいることに違和感を感じる。日本人、外国人関係なく仲良く出来ないものか。空き校舎のままでは物騒なので、早くより良い団体に活用してほしい。	地域の活性化 この地域は高齢化で子供の数が少なくなっているので、地元民や小中学校との交流が生まれるなど期待できと思う。	特になし
155	常盤地区で行われた説明会が混乱してしまった理由の1番の原因はなんであったと考えているのかお聞かせください。	地域に住む者としてこの度の学校が出来ることには賛成していますがSNSなどで不確かな事柄が広まってしまってここに通おうとしているお子さん達や保護者、関係者の方々が大変な思いをされること。 さらにその事で地域が混乱する事が心配です。	地域に開かれた学校となってくれる事。行事などが地域の人たちにも開放されて良い交流が出来て、学校関係者、地域住民どちらも気持ち良く過ごせるように、お互いが知恵を出し合える関係が出来る事を望みます。	
156	特になし	我が家には外国籍の家族がいるため、今回の反対運動が元々の外国人住民の排斥にも繋がってしまうことを強く懸念しています。町内会や少年団、PTAにも積極的に協力し地域に溶け込んできました。日本国籍の子供たちにとってはこの地区は故郷です。地域のためにも努力してきたのに、外国籍の親だけではなく、一家として、いつか住めなくなってしまうのではないかと、とても心配しています。	インターナショナルスクールにはとても期待しています。私が少年団活動をしていたころは、団員の減少に悩んでいたものです。教育機関が一つ増えることで集う子供たちや若い家族が、地域に活気をもたらしてくれることでしょう。	自らの主張のみを通そうとし、他者の意見を受け入れない姿勢は、民主主義とは相容れないものです。むしろそうした人々の姿勢が犯罪に繋がるリスクを懸念します。
157		旧常盤小学校では、選挙会場として使用した際、国道交差点に近いこともあり、車両の出入りが難しかった。開校の際は、特に注意が必要だと思います。	芸術の森地区が文教地区になるように期待しています。	芸術の森などで行う地域イベントへの参加など、地域との交流を期待しています。
158	地域に役立つ活動をして頂きたい。	交通渋滞にならないかが心配	常盤が活気ある地域になれば良い	賛成です
159	教育カリキュラムについて詳細な説明して下さい。保護者用の住宅施設は形成しますか？「地域連携協議会」は必須条件です。	学校と事業体を信じていますが、地域連携と多文化融和に努力して下さい。活動が地域ルールや環境との対立を招来しないこと。	この地域の特性や各機関や組織と良きコラボレーションのプロジェクトを築き上げたいですね。	排外的反対運動に抗議します。良識ある住民の心配や不安は是認し、その解消に事業体と行政は最大努力してほしい。
160	説明会に参加しました。学校経営については質問は特にありません。基本的なことは理解できました。お聞きしたいのは、地域住民がどれくらい交流活動に参画できるのか、一緒に地域との関係性を構築していくには何が必要か、知りたいところです。そのための地域連携協議会（仮称）は歓迎ですが、まちづくりとどう連携するつもりか教えてほしいです。	今後も説明会は必要だと思います。但し、地域住民以外の排外的な人たち対策をどうするのでしょうか。	廃校が活用され、地域と共に学校が育っていくこと。魅力ある地域にするため一緒に考えていけることを希望。	地域連携協議会（仮称）に参加したい。公募制であれば応募したいと思っています。
161	事業計画に特に質問はありません。	冬期間の交通渋滞がやや不安です。近隣住宅地の排雪にも気を配ってほしいです。	近隣地域との国際交流	地域に居住していない人達からの嫌がらせのような反対論は断固として無視すべきです。
162	島国根性が抜けきらない（本音と建前を使う）日本人に、どのように溶け込み理解を得ることが出来るのか？ その工夫対応を計画に盛り込んで欲しい！	全問に含む	日本JPLは、今後ますます高齢化・人口減少化するのは間違いないので、他国民と協調しながら繁栄を目指す術を意識出来る人材を育成してもらいたい。	本件に限らず、情報開示への風穴を開けて欲しい！

No.	設問１：グローバル社の事業計画に関する質問	設問２：懸念や不安に感じること	設問３：事業に期待すること	設問４：その他の意見
163	なし	開校に伴う周辺環境の影響はあると思いますが、適切な運営に期待しており不安はない。	子どもたちが、国際的な感覚や多様な価値観を学ぶ良い機会となり、地域の教育環境の向上につながることに期待します。	地域と連携しながらインターナショナルスクールが運営されることに、期待しています。
164	そもそも、平岸の北海道インターナショナルスクールのように地下鉄徒歩圏内の立地ではなく、なぜ常盤を選んだのか。遠方から来る小さな子どもの通学には負担が大きい。	バスについて。 インターナショナルスクールの生徒はスクールバス利用が原則と思われるが、路線バスを利用することもあるのか。芸術の森地区の小中学生が利用する時間帯に、バッシングしないか。 その他、送迎の自家用車による学校付近の国道の渋滞。	国際色豊かな地域になること。 交流の場を設け相互理解をはかることにより地域が活性化されること。	定期的な交流の場を設けて欲しい。 市民向け講座など。 英会話、インドの2桁かけ算の覚え方!?, など。 報道によると市に対する色々な意見が出ていますが、行政として土地や建物が売却された後も、適正な活用や運営がなされているか、何らかの方法で、継続的に指導、監督することができれば、地域住民や売却に異議を唱える人たちへの安心材料になるのではないかと思います。
165	日本人が一定程度入学することを前提にしているが、義務教育にカウントされないスクールが北海道において本当に日本人も通うのか。	交通手段に疑問を感じる。地域住民の利用する公共交通機関に不便をきたすことがないようにしてほしい。 また、送迎の車が住宅街を通行しないような対応をとってほしい。	この地域には芸術の森があるが周辺に民間の芸術関連施設等の展開がみられないのは市の努力不足かと思う。今回のスクールがこの地域の活性化につながることを期待しているので、市には地区全体を芸術色を出した地域となるよう当該スクールに対しても積極的に関与していったほしい。	今回の意見収集をはがきで行っているが、報道されているように注目を浴びているので、外から見られないような工夫(封書など)をしてほしかった。
166	特にありません。	最大規模になるまでの交通体系に不安です。	常盤地区が文教地区として発展していくことを期待します。	地域との交流において、サロンみたいな地域の人が常にご利用できるスペースがあればいいと思います。そのなかで地域の人もグローバルな意識と知識を持てたらいいと思います。
167	グローバル化といっても運営する株式会社は、信頼できる組織で安心できますか!	問題が発生した時に適切な対応ができる法整備ができていますか!	海外の人と接するのは、特別なことではない時代ですし良い関係が結ばれば良いと思います。	
168	きれいに使ってもらえるか?	倒産する事がないか?	我が子が通っていた、学校が又元気な子供達 声、姿が見たいです。	バスの便が多くなると良いですが?
169	不透明です。経営が成りたつての事業だと思っていますので。	外部からの情報からの現状を知り誰しもが望んでの旧小学校利用、錯綜して情報が不安をあおいで残念です。 地元住民に対しての説明第一にです。	地域活性化に繋がる事での人との交流が良いと考えています。魅力ある事業は人と人との結びつきからと思っていますので。	透明性に期待です。祖父母からの常盤の地ですので未来のある利用を次世代に望みます。
170	外国人だから反対というのは好ましくありません。近くの市立大学や芸森と連携した特長ある施設にしてほしいと望みます。	話しかけられたら、どう対応したらよいか困る事ぐらいです。	地域に根ざした文教施設に育ってくれる事です	個人的には、「避難場所」としても利用可能な「運動施設」が望ましいと思っていましたが?
171	特になし	特になし	地域の活性化	ルール作りと実行
172				条件付で可 児童数を日本人50%以上とする事 生活ルールの遵守
173	なし	なし		夏の行楽シーズン、特にお盆の墓参りシーズンの大渋滞対策として、真駒内御料線と支笏湖線のY字交差点の拡幅用地(下り滝野方面と支笏湖方面専用レーン)を市の用地として残しておいて欲しい。
174	説明会の時に連合会の方が、バスの運転手不足解消の為に海外から労働者を募り、その家族の子供の受け入れとしてグローバル社の学校も受入先の一つと説明されていたと思います。しかし、バス運転手の現在の年収は300万前半です。インターナショナルスクールは夢のまた夢。 少なくとも年間150～180万かかる学校にバス運転手のなり手の海外労働者家庭は入れるのでしょうか。彼らは札幌市から助成があるのでしょうか。 地元の子供たちで、その学校に通える世帯はどれだけいるのでしょうか？ 外から来るお金持ち、海外から来る賃金で働いてくれる家の子供たちは、質の高い国際水準グローバルな教育を受けることができても、地元の子供たちへの恩恵、貢献がなければ格差、分断、排外主義を助長するのではないのでしょうか。	地域の校区に通う子どもとGIE社に通う子どもとの経験格差。 富裕層の住むエリアからここまでは雪道だとスクールバスなら片道1時間以上かかります。本当に国内の富裕層がここに通いながら習い事や塾も通わせることができるのかそういった地理的なこともよく考えてください。	地域の子どもたちに市場相場よりも安価で国際交流の機会や英会話スクールを日常的に提供して欲しい。東川町の国際交流センターみたいに子供も大人も参加できる無料の1日言語教室などを開催して欲しい。	■■■地区です。 週末に真駒内に住む孫を連れて行けるイベントがあったら嬉しい。
175	敷地内に寮や住居を建てる計画はあるか? 生徒や家族の住居の場所はどの辺りを想定しているのか? 学校で不動産の斡旋などはするのか?	マナーを守らない人や事件、事故が発生した場合、誰が責任を取りどのように改善するのか明確にしてほしい。	世界各国の子供と日本の子供が一緒に学びグローバルに活躍出来る人間が育つことを期待します。	反対意見が多いが、日本が好きで質の高い外国人が集まるのであれば地域の活性化にもなるだろうし個人的には一概に反対するものではない。
176		ニュースで騒ぎをみましたが、通学してくる子どもたちに心無い行為や言動をしたり、危害が及ぶようなことが起こりはしないかというのが心配になりました。そしてこの地域には幼稚園や小中学校もありますから、勘違いなどで地域の子どもたちがそのような目に遭わないかどうかとも不安になりました。これはこの地区だからではなく現在市内のどこに建てても同じことは起こると思いますので、市にはケースメソッドとしてどう対応していくべきか議論や対応を市民とともに行っていただきたいです。	地域雇用や、地域との交流による理解と親交	学校や子どもたちや地域を守ることを検討していただきたいです。交番が石山まで行かないとないので、現状のままでは安全確保に不安があります

No.	設問１：グローバル社の事業計画に関する質問	設問２：懸念や不安に感じること	設問３：事業に期待すること	設問４：その他の意見
177		登校時の渋滞が心配	地元住民との交流などによる地域活性化	住民説明会の時に不審人物を防ぐ為に住所氏名を記入するのは効果はありませんか？
178	特にありません	スクールバスは出ると思われますがこんな辺鄙なところに通ってくれるのでしょうか？近くにコンビニが1件しかないのでそこでたむろとかされないか不安はあります。今はインド人居住区ができるという近隣住民の間違った情報がどこから出てきたのか疑問に感じます。	特に何も期待してません	工事が始まったら工事関係者がちゃんとした業者がちゃんとした人かが気になります。コミュニティスペースとして活用するという意見もあったみたいですが自分は仕事をしているので使う機会があまりないと思いましたのでスクールが出来て子ども達が通って活気が出てくれば良いのではないかと思います。
179		項目12インターナショナルスクールに就学させても法律で規定された就学義務を履行したことにならない、とあるが日本国籍の子どもがインターナショナルスクールに就学しつつ、法律の規定を満たすにはどういった手法があるのか	地域に雇用が生まれるのは良いと思う	
180	スクール数が多いところはインドが多いですが、札幌のスクールに多い人種はインド人が多くなるのでしょうか？また他に入る予定の人種を知りたいです。	やはり日本に居ることを考えてその土地のルールを守って住んでほしいので、その事をスクール側で伝えて友好的に進めてほしいです。トラブルなどがあるのではと不安に感じるところです。	若い日本人がインターナショナルな人間に育つスクールなら(英語など話せるとか)良いと思います。	次世代が良い方向になるよう願っています。
181	学費が相当高いと感じますが生徒数は確保できるのか？他校の実績が良いがどんな層の方が子供を入学させるのか？どういう目的で入学させているのか？インターナショナルスクールは比較的札幌市内の中心部が多いと思うが、常盤エリアまで通学させる人がいるのか？	生徒数確保のために入学要件が緩くなってしまうのか。地域との共存のためには日本の文化なども学ぶ必要があると思うがそういう教育はされるのだろうか？	計画通りに生徒数が増えるならば地域の活性化にはつながると思う	
182				生徒さんだけでなく、外国籍の教職員も含めて、日本のマナーや文化を理解して過ごすようにして欲しい
183	国内先行地域における、地域住民の評価を知りたい	インバウンドの方の日本のマナーや文化の尊重に対する意識の低さも、地域の安定が維持できるのか、住民の不安になっていると思う。	日本や地域のマナーや文化を大切にし、地域との互恵性がある事業	
184	20年余りで6校を開校しているが学校運営や経営は順調なんですか。	外国人、特に中国人の事件が多数発生しているので地域への被害が無いのか懸念や不安がある。	説明資料のとおり「地域貢献」地域の人々との交流を大切にすることを期待している。	地域と連携した防災訓練は必須です。
185		周囲に迷惑なことがおきないか不安。右翼の街宣車が来たり、反対デモなど。		大通りでの反対デモや真駒内駅での反対行動など、地域住民へ大きな不安を与え、地域イメージが非常に悪くなった。もっと早く地域住民や市民に正しい情報を伝えるべき。市の対応が遅すぎたため、おおごとになったと思う。しっかり正しい情報を伝え理解を得られてから進めて、騒ぎにならないよう進めてほしい。
186	すぐに閉校するような事態にならないよう改めてリスクを鑑みて開校するか決めてほしい。 この状況下で、無理に開校して運営に支障がきたすのは、私は望んでいないので。	一部の反対者たちによって通学する子どもたちに盗撮や恐怖に感じることなどの危害がありそうなので、注意してほしい。	今は学校を運営するだけでも大変な中、開校を考えてくれるだけでありがたい。 学校間交流など考えてもらえとこの地域の世界が広がると思うのでそういった面を検討してほしい。	地域外の人間の活動によって地域が分断することだけはあってはならないと考えます。 行政には過度に反応せず、淡々と必要な対応だけをお願いします。
187		学校へ通う子供たちはどこに住むのか？		地域が安全に過ごせるよう対策をとっていただければ良いです
188	また避難所にできたり、選挙の際は会場になったりするのだろうか。	真駒内駅の102乗り場に向かって演説していた男性がいましたが、その方が言うにはインドの難民がくる。インドが持て余している碌に教育を受けていない難民が補助金目当てに大勢くる、常盤地区の空き家に大挙して来る、日本語の通じない、ルールもわからない方々だ、といったことを語っていましたが、それがデマならそう言い切してほしい。	地域の再建。 こちらとしても雪に埋まり、時計が7時55分で止まったままの常盤小学校を見続けるのはつらい。また小学校として復活できるなら活気も出ていいと思うし、災害の際はまたそこが避難所として使えるのならそれもいい。まあ高齢化が進んでいるこの地域では無理だろうが、可能なら雇用も積極的にとってくれたらもっといい。	常盤一区会館で説明会を行う前に、芸術の森地区へのこの情報公開、ここに至るまでの過程及びアンケート、を行うべきだったと思う。 一区会館での騒動は常盤地区の住民は突然置いてきぼりに好き勝手されそうで、札幌市は勝手になにやっつてんだと感じたから。 いただいた情報を読む限り、学校が再開しても治安が悪化したりはしなさそうだけれど、外国人とのめごとが起きた場合は仲介は学校側と南区役所が請け負ってくれるのかははっきりしておいたほうがいい。
189	特になし	道路の混雑	地域の発展	特になし
190	高齢者が多いため事前説明を要求める	地域の子ども達との交流や人種差別等	地域の活性化、地域交流等、緊急対応など	特にない
191	グローバル社の計画について、特に質問はありません。地域に開かれた体制を示してくださっていること、そして英語を学べる環境を整えていただくことで、文教区としての魅力がさらに広がっていくと感じています。	●異文化交流の機会が広がる一方で、地域外の方が増えることで、治安面や反対活動などへの不安もあります。常盤地区には交番がないため、万が一の際には対応が遅れてしまうのではないかという心配も残っています。 ●反対運動をされている方々の今後の動きについても不安があり、SNS上で広がっている誤った情報にも心配を感じています。ニュースや新聞よりもSNSを参考にする人が多い印象があり、「インド村」といった表現が使われていることにも戸惑いがあります。こうした状況の中で、未来のある子どもたちをしっかりと守っていけるのか、不安が残っています。	廃校のまま放置されるのではなく、地域が元気になるような形で活用してほしいと考えています。インターナショナルスクールに限らず、さまざまな用途を検討してもらえると嬉しいです。また、災害時には避難所として機能し、普段は体育館やグラウンドを地域の少年団やクラブチームが利用できる場として活かされることを期待しています。	こども園や小中学校、大学、そしてインターナショナルスクールが並ぶ文教地区であるにもかかわらず、近くに交番がないことを考えると、地域の安心・安全が十分に守られるのか心配に感じています。

No.	設問１：グローバル社の事業計画に関する質問	設問２：懸念や不安に感じること	設問３：事業に期待すること	設問４：その他の意見
192	・地域交通に影響を与えない通学方法はあるか ・他校ではどのような生活経済状況の子が在籍していますか。 札幌での生徒集めの計画は。	・他校での生徒の国籍の割合と今回考えている割合は ・学費の根拠となる事項、人件費でしょうか、教材費は事前にプールされているのでは、 地域住民としましては、外国人を受け入れにはあまり賛成ではない	・将来売却される事も予想されます。地域の不満にならぬよう規定作りを早急に。	・地域のルールなどの徹底必要
193				
194	・現時点でどのくらいの地域から何人くらいの生徒を集める予定なのか?採算性はあるのか? ・学校教育法上の学校でないなら、日本人生徒の高校進学はどうするのか?	・大学進学実績はあるが、高校はどうか? ・日本人の子どもにとっての利点がありませんように思う。	・インターナショナルスクールという理念には共感するが現在の日本の教育制度の中では需要は多くないと思われる。生徒が外国人の子女ばかりになれば逆効果。	・「本部がシンガポール」とあるが、経営者が中国系ならば土地の売却には反対! ・下記の住所、氏名くらいマスキングするのが礼儀だと思う。
195	学校運営のみの事業でしょうか。ほかは、ないと思ってもよいのか。	地域の安全はいかに		結果ありきの本業の進め方では、ないのか。
196	志ざしは素晴らしいと思います。	・たくさんの海外の方が訪れて、周辺に住むことを考えると、治安が悪くならないか不安。 現状住みやすい地域なので、戸建てもたてていますし重みがちがいます。	・現状市立大学があるため、公共バスが混雑しているため、これ以上乗りづらくならないようにしてほしいです。	・跡地の事業計画前に、私達に提案のアンケートを配布してもらい、結果を待っていましたが、勝手に向こうで決定した形になり、決定する前に問いただす考えはなかったのですか?信頼は細かな意見交換からうまれると思います
197	スクール概要では大阪校、つくば校ともに日本国籍は半数以上をあるが小・中学生に該当する年齢の子どもは日本の法律で規定された就学義務は果たされない。同封の「札幌市での計画」の資料に謳っている内容と地域の求めている内容に差異があり、旧常盤小学校跡地の利用に対する理想と土地柄がミスマッチに感じる。	・治安の悪化、 ・全教員の60%は日本語対応が不可能（資料より） ・保護者の送迎、スクールバスによる交通状況の悪化や近隣住宅付近での駐停車などの迷惑行為	最優秀提案者(GIE社)と次点提案者による再審査、より具体的に2つの業者の内容が比較して理解できるような説明とそれに対する地域住民による公正な決定（住民投票）ができる機会があると、地域の理解も得られると思う。	最低売却価格の鑑定額2220万円とした過程、決定額がなされた4710万円から2220万円に減価されたことが不明瞭。一般的な戸建て住宅の相場価格からみて、大きくかけ離れ過ぎていると考えられるくらい安価なのはなぜか。
198	学費は、年間どの位なのでしょう? どのような家庭を対象にしていけるのでしょうか?	日本語・日本の学習、文化体験・日本の生活習慣をどのように伝えていこうとするのか? 子供数が減少する中でインターナショナルといえども、学校は必要なのでしょうか。		
199		地区、地元住民との問題が発生した場合の対処法は?	南区地域の案に100%反対ではないが安全、安心を保障出来るのか 最終的65%と数字があるが本当なのか	市として対処法が、いろいろな問題についてきちんとした考えがあるのか
200	地域の治安は守られるか?	治安	活性化と建物の維持管理	外人のコミュニティが出来て犯罪の拠点にならないか?
201	生徒の国籍について、大阪、つくば校以外の内訳について知りたいです	外国人居住者増加によって治安の悪化や様々なトラブルが起きるのではないかと不安です	○渋滞緩和の為、基本はスクールバスのみにしてほしいです（保護者による送迎は緊急時のみ） ○生徒は日本人比率50%以上を保って欲しいです	芸術の森地区は治安も良く閑静な住宅街なので、治安を維持できることを優先していただきたいです
202				
203		バスが混むこと。外国人が増えることで治安が悪くなること。	地域との関係づくり。企業や学校のことだけを考えた運営はしてほしくない。体育館開放してほしい。避難所の機能。	インターナショナルスクールについては基本的に反対ではなく、アンケートでその旨を伝えようと思っていたが、このアンケートにやる気のなさを感じてしまった。アンケートの目的が見えない。
204	批判に聞こえるかもしれないが、過去の実績では雪国以外の実績を謳っている。雪国を考慮した事業計画には見えないし、スクールバスの他に中央バスを利用することが想像されるが減便の傾向にあるのにそれでも常盤に開校したいのか?	札幌市南区は熊出没情報が出ていることが多いが、どれだけ安全に生徒を守る計画を具体的に示してほしい	公立とは異なり小学校から英語に触れるプログラムがあることは良いことだと思うが、それ以外に高校、大学に進学するための授業プログラムを示してほしい	西葛西周辺にはインド人のコミュニティがあることは有名だが、常盤周辺に同様のインド人コミュニティができるのは非常に反対したい
205	特になし	外国人の増加により生活習慣の違いや治安悪化に関することなどは、いくら対策すると表明されても現実的に解決は簡単ではないと思います。 また、ニセコのように外国人ばかりになるような事や、外国人向けに乱開発が行われる事も起きないとは言いきれないと思います。 芸術の森小学校という公立学校があるのに、わざわざ授業料のかかる民間インターナショナルスクールを校区内に設置するのは、地域内に教育格差を生む懸念もあります。	地域内に新たなお店が出来て利便性が増す可能性はあるかもしれませんが。	9月の説明会是一部地域にしか案内が来ておらず、当方の居住地では説明会があった事を後日インターネットで知りました。 情報がオープンになっておらず、札幌市とスクール側で内々で話が進められているように感じています。 ニュースでは、地域住民は賛成なのに反対派のユーチューバーが説明会を乱したような報道がされていましたが、地域住民全てが賛成派ではありません。 地域内でも賛否両論があり、このまま予定通りに開校すれば、地域内での軋轢も生みかねません。 スケジュールにとらわれず、時間をかけて議論をしてもらいたいです。 昨今の外国人によるトラブルや、外資系業者によるメガソーラー問題などを見ると、常盤地区にも同様の事態が起きるのではないかと危惧しています。

No.	設問１：グローバル社の事業計画に関する質問	設問２：懸念や不安に感じること	設問３：事業に期待すること	設問４：その他の意見
206	なし	地域住民と仲良くしてほしい。インターナショナルでも公立でも、地域や回りの大人は、子どもが育つ環境の一部だから	地域住民も巻き込んで、どんな人も一緒に協力して暮らせる世の中になってほしい	送迎についてはよく考えてほしい。スクールバスや家庭の送迎とのことだが、道が1本なので混雑がないように。また、中央バスにのる子もいるだろうから、バスに乗れない子がいないようにしてほしい。今でも、大学や芸術の森のイベントにより、特に帰りのバスに乗れない子がいる。その他、学校の先のバス停では、乗れない客（取りこぼし）があるのも現実。バスの減便と、時間帯により乗れない事実が相反している。その部分の検討を強く要求します。
207	なし	・外国人の増加によるトラブルの増加に対し不安を感じています。同封されたQA14に現在の札幌市取組が記載されておりますがどの程度効果が出ているものか疑問ですし、情報に興味を持たない層に対する対策は検討されていますか。 ・治安の悪化についても懸念しております。 我が家は小さい子供がおり外国人による犯罪に巻き込まれるリスクが上がることに強く不安を感じております。Q15にて事件や事故には警察機関と連携すると回答していますが、そもそも巻き込まれてからでは遅いと思います。事前の対策について現時点で検討していることや協議していることはあるのでしょうか。	なし	・公募審査委員会の報告書を拝見しましたが、先の住民説明会の経緯を見ても、現状本事業が地域に受け入れられやすい事業とは思えませんし、事業者が地域との対話体制が取れているとも感じられません。この状況のまま契約を進めるのは地域住民として非常に不安があります。 ・また、今回の地域住民に対する資料の配布や意見募集が優先交渉者決定後に行ったのはなぜでしょうか。審査委員会の前に行い、審査の材料にするということは検討されなかったのでしょうか。
208	資料にありました事業計画は、目触りの良い事しか書かれておりませんので魅力的に感じますが、質疑応答集12の日本国籍のお子さんが通っても法律で規定された修学義務を履行した事にならない。という事で、生徒数における日本人生徒さんの割合が少なくなり、反対派の皆さんが懸念しておられるように、外国籍の生徒さんが多くなり、それに伴い近隣などに外国から移り住む人々が増えるのでは？という気持ちになります。 また、YouTubeなどで拝見しましたが地域説明会の混乱などの話し以前に日本語を話さない方と、うまく場を纏められない方でいらして都合が悪くなったら逃げると言う事はこの地域への扱いが”そんなもの”なのだなと思います。	地域住民、また同じ南区や札幌市など全道・全国から、たくさん意見したい人がいるであろう事に対して現在のところ個人個人の意見を発信できるのがSNSぐらいしか方法がない中小さな近くの見解や不安を過激な反対活動をする一部の人間と一括りにして迷惑だとか頭がおかしいなどSNSのコメント欄などで抑え込もうという人間がいる事やニュースや新聞は、地域住民は大歓迎しているなど、誰からも聞いてないような話しが報道されていて何が何でも常盤小学校跡地をスクールにしなければならない！みたいな恐ろしさを感じます。 地域住民を代表した誰かとは、話し合いなどを重ねられたのかもかもしれませんが地域住民には、回覧板で一度（だったか）こういう事になりましたという報告だけだったように思いますし地域説明会の時に警察や街宣車で何かあったのかな？→インターナショナルスクール？何それ!という方もいらっしゃいました。 地域住民の間に、必要のないわだかまりなど生まれないようにしてほしいです。	常盤・アートパーク・サンブライト現在の芸術の森小学校・常盤中学校・1区会館だけでは避難所は足りないと感じます。非常時に柔軟に意思疎通が出来る施設である事。 公募提案型売却における審査項目”事業の確実性・継続性”という事に対して能力があると判断されての事らしいので10年経った後も転売や事業転換などされず計画書のような学校が継続されますように。 万が一、インターナショナルスクール開校が強行される場合には常盤地域に、交番（警察）・消防署札幌市の責任において24時間トラブルに対応してくれる人員の配置など安全面に配慮していただきたいです。	質疑応答集22にある旧常盤小学校の裏にある宅地に関して不安がある地域住民の1人です。 確かに、こちらのスクールの話が出る前に宅地造成はしていたかと思います。 新築で家を建てるターゲットとなるのはゆっくり暮らしたいシニア世代も多いだろうけれど結婚出産子育て世代が半数以上だと思うと常盤小学校が廃校になってなければ何の不思議もないのですが2021年に芸術の森小学校として通学が遠くなった地域への宅地造成で地域の方と何でそこに？という話しをする機会があって不思議に思っていました。 案の定、ずっと広告が入ってくるけど未決の宅地が多く残っているところハインターナショナルスクールの話が出てきて10年経てば転売する事も出来る（というか、市が介入しなくなるので、どうしても出来る）という条件があるという。 単純に住環境のことや利便性を考えたら今、メガソーラーの工事（？）をしている場所付近の方が小学校・中学校が近くこの近辺では新しい住宅地にも近く若い世代の親御さん・お子さん達が多くコミュニティも作りやすいはず。 大手の素敵な住宅メーカーさん達がよってたかって見当違いの事をするとは思えないので何かあるのかな…と、深読みできてしまいます。 あとは、滝野霊園の頭大仏の人气が高く海外からの観光客の皆さんで賑わっていて施設も新しくなったりしていますがその人気にあやかろうとする業者が周辺で宿泊施設など変な開発をしてみんなの大切な地域が壊されないか心配です。

No.	設問１：グローバル社の事業計画に関する質問	設問２：懸念や不安に感じること	設問３：事業に期待すること	設問４：その他の意見
209		・何か校内や地域で法律を使つての問題が発覚した場合、日本の法律が適用されるのか、が 心配です。本事案とは規模の大きさが違いますが、沖縄の事件などを考えてみると、日本の法律が通用しないで、泣き寝入りの状態になっているのでは、と考えます。 ・当該事業所に決まったからと言って、何かの困りごとがあった場合、相談する窓口を札幌市で設けていただきたいと考えます。（売却してしまつてそれで終わり、という考えは、無責任ではないでしょうか） ・「質疑応答集」の中にも記載されておりましたが、この金額ではあまりにも安すぎるのではないか、と考えます。早く売却してしまいたい札幌市の考えはわかりますが、あまりにも安すぎるのでは、と考えます。 ・この事案は札幌市側と相手事業所とのあいだでもう契約が終っていて、このアンケートも無駄になっているし、売却価格があれだけ安いのは決まっていることだからでは、との話も聞きます。		グローバルの時代ではありますが、「郷に入つては郷に従え」という日本の諺があります。私たち近隣住民が我慢をする、環境を変える、という押さえつけられる事がないようにしてもらいたいです。
210	10年の用途指定期間内は、当然札幌市へ提示した事業計画を厳守するでしょうが、10年経過後の考え、計画はどのようなのですか。簡単に外国企業に売却してしまうこともありえますよね。土地と施設は未来永劫教育の為のみの目的で継続することを契約条件に明記する事、仮に他社へ売却する考えがあるとするなら、売却条件に未来永劫教育目的のみに使用しなければならない土地、施設であることを条件として明記できますか。日本の土地、設備を勝手な目的に使用されるのは断じて許容できません。	教育の場を作るのは結構なことと思います。が、それを口実に契約、買取後は違法なことを平気で行う事象が目には余る昨今です。そもそも日本の規制の甘さを利用されてるだけではないでしょうか。札幌市として民法第580条を理由にあげてますが10年経過後はどの様なお考えなのか、さらにその先永劫的に用途指定、売却の禁止などとするための規制条例など作る準備も無いのでしょうか？ 日本の政令指定都市の一都市として いつまでも右にならえの姿勢で良いのでしょうか？ 私は札幌市の姿勢の方が懸念を感じます。是非、今後の札幌市としての覚悟、取組をお聞かせいただきたいと思います。	当然ですが、モデルとなるくらいの教育現場を作っていたいくことです。	質疑応答集に書かれているのはほんの一部だと思います。このタイミングで札幌市が説明の場を作られたのはなぜなのでしょう、市の所有 ■札幌市民の所有、を売却検討する段階で地域への説明があるべきではないかと思っております。メディアでよくみかけますが事後に官民のご担当が謝罪される映像が普通になってますが、そうならない様に検討、対応するのが大事なのでは？と 見るたびに残念でなりません。謝罪される事態にならない様札幌市の対応を期待します。
211				このたびの旧常盤小学校跡地活用に関するインターナショナルスクール計画について、地域住民として説明会に参加した立場から、以下の点について意見を述べさせていただきます。 私は本事業そのものに対して、当初から反対の立場ではありません。しかし、これまでの説明および市の対応を通じて、いくつか看過できない不安や不信を感じており、それらが十分に解消されていない現状に懸念を抱いています。 ―― 1. 説明会における実態と市の認識の乖離について 初回の地域説明会に実際に参加した立場から申し上げますが、会場では事業内容や今後の地域への影響について、不安や疑問の声が多数挙がっており、必ずしも「一部の過激な反対意見」に留まる状況ではありませんでした。 また、その中で事業者代表が体調不良を理由に説明会を途中で切り上げたことは、住民との十分な対話がなされなかったという印象を強く残しています。こうした経緯を踏まえると、「地域住民の多くが賛成している」とする現在の市の説明には、実際の状況との乖離があるのではないかと感じています。 ――

No.	設問１：グローバル社の事業計画に関する質問	設問２：懸念や不安に感じること	設問３：事業に期待すること	設問４：その他の意見
211				2. 今回の意見募集における運営方法（ID付与）について 今回の意見等の募集に際し、各家庭に配布されたハガキに個別のID番号が付与されている点について、強い違和感を覚えました。 この方法では、誰がどのような意見を提出したのかが特定可能となり、自由な意見表明を心理的に抑制するおそれがあります。 住民の声を広く丁寧に集めることが目的であるならば、発言の自由と安心感を担保するための配慮が不可欠であり、現行の方法はその点において十分とは言えないと考えます。 ―― 3. 事業計画の実現性について 本計画では、定員約650名、年間学費100～150万円という規模が示されていますが、すでに市中心部に複数のインターナショナルスクールが存在する中で、市の周縁部に位置する本地域において、この規模の需要が本当に見込めるのかについて、具体的な説明が不足していると感じます。 また、仮に計画が想定どおりに進まなかった場合、その影響が地域にどのように及ぶのかについても、あらかじめ明確に示される必要があるのではないのでしょうか。 ―― 4. 地域との共生に関する具体性について 外国人との共生や生活ルールに関する市の取り組みについては理解していますが、制度や理念の説明に留まらず、本地域において実際にどのような体制で運用されるのか、現場レベルでの具体像が示されていない点に不安を感じます。 地域住民としては、「問題が生じた場合に、どこが責任を持ち、どのように対応するのか」という実務的な部分こそが重要であると考えます。 ―― 5. おわりに 本事業は、地域にとって長期的な影響を持つ重要な判断であるからこそ、形式的な説明や制度論に留まらず、住民の実感や不安に正面から向き合った丁寧な対話を強く求めます。 今後の検討において、これまでに寄せられた地域住民の声が実質的に反映されることを切に願うとともに、あらためて、広く門戸を開いた2回目の説明会の開催を強く要望いたします。
212	外国人の割合を何割想定しているのか。どんな国の人、どんな宗教の人が他で運営している学校で割合を占めているのか。	宗教の問題。例えばイスラム教による道路などを封鎖してお祈り問題や、グローバルの学校内で親同士における宗教観のいざこざ。この辺は山が多く隠れて悪さをするのに最適な場所だともわれる。見回りなどを定期的にするのか。また、偏見ではあるが、外国の子供は火で遊ぶイメージが強く、日本に適應するための教育などをきちんと行えるか。騒音やゴミ問題。あとグローバルな学校における各国の祭りの開催など。	ない。	説明会をいつおこなうのか。参加方法など必ず知りたい。今回のように全家庭に封書を送っていただけなのか。誰も見ない札幌市のHPなどでひっそりと通知されるのは、大変困る。
213	会社側に対して、市は……伺っております。……努めております。……と判断しております。……考えております。等々で性善説傾向が強く、早く終らせたい(腹の内)がみえる。地域社会の不安をくみ取る考えは無いのか。	札幌市の行政管理に不安を抱く！ ①市財鋼材盗難の件、②日ハム球場移転先の件 ③市電循環の件④児童福祉関係業務の件、⑤ノースサファリ問題の件等々全て無責任行政の表れ！	跡地活用事業について、跡地は市民の財産である、市民・住民が納得できる事業を計画し、高額授業料支払い者等の流入により、地域に所得カーストの発生を及ぼさない事。	昭和60年代に改装されてて校舎は、「後々は高齢者用として再利用するための造りである」と当時の職員がPTAに対して説明していた。 今回の計画については、正に「寝耳に水」であり地域住民が驚くのは当然である。再考を求む！

No.	設問１：グローバル社の事業計画に関する質問	設問２：懸念や不安に感じること	設問３：事業に期待すること	設問４：その他の意見
214	GSG海外校周辺とこの地域との違い（文化、 国民・地域性）を、思うに一辺等には思えない溝はうめられるか。	・この地域はおだやかな地域で長年住み慣れています、外国人家族により外国化されては困ります。 ・通学の送迎でバスやファミリー力が増えると予想しますが国道453号に頼っている地域でもあり影響が心配です。	地域のおだやかさ、日本流を守って頂きたい、	現在、インターナショナルスクールと無関係でも将来つながっていく事も予想されます。規定が必要です。 ・一部地域が外国人町内になって独立的にはならないのでしょうか ・町内のルール、活動への影響は出ませんように。
215	日本の義務教育制度を考えると、当該学校の卒業者の学歴はどのようになるのか。	売買後、10年間は転売禁止となっているが10年経過においても安易な転売ができないよう規制はかけることができないか。	期待していない。 少子化時代で計画のような学生募集ができるか疑問である。	国外事業者に公有資産を売却するのは基本的に反対である。売却金額の問題ではないと思う。
216	本国で尽力されたし	南区内では既に小学校の統廃合が行われているのに日本人がわざわざ大学生並みの授業料を払ってまで行かない。だからと言って就学者集めに他地域、外国から募集すると日本になじめない人々の学校になってしまう。公立でも就学していない者もいる そうゆう場所は増えてはならないと思います	期待無し、速やかに撤退されたし	
217	旧常盤小学校を使って何をするのか?誰が来るのか?周辺環境にどういいう影響があるのか？	地域に外人が来て犯罪が増える。	期待より不安が大きすぎる。	市民の税金で作った小学校の土地や建物をなぜ外国人に使わせるのか、わけがわからん
218		静かな所で住むために常盤に家をたてて住んだのに外国人の犯罪が多く日本は日本人が住む所で	外国人が多数来るのは大反対です。ぜったい止めて下さい	使い道がないのであれば分譲住宅地としてはどうだろうか
219	グローバル化を押し進めた1996年～1998年7月 82代橋本首相のおきみやげが現代になって問題となっている。	インターナショナルスクールは古くから澄川に有るが札幌の常盤に必要なのか? 札幌市は小学校が売れないので誰でも良いから売却したい気持が強いことか感じられる リーフレット作成などから証明される 住民に外資の事業を説明しても我々にはわからない。 札幌市としても本当の所はわからないのではないか?	期待することさえわからない 急な内容を含んでいる説明でグローバル、ワンワールドなどの歌い文句はちょっと気になる。この事業に賛成とも反対とも言えないがもっと議論すべきではないか	常盤のスクールが開業してもしばらくしてから他の外国企業に転売される可能性もあるのでは。たとえば中国系とかに。日本はWTO加盟時、共産国を含めて不動産の売買を自由化してしまった これが問題となっている
220	特になし	外国人が増加することによる環境の悪化 (特に中国人(一部だが)のマナーの悪さ、心配)	特になし	外国の企業でなく国内の企業で同じ様な事業を展開しているところへ変更してはどうか！北海道(日本)の工地を大事に活用してもらいたい。
221	サンブライト団地が出来たころの話です。時の板垣市と大臣だった地崎宇三郎氏は団地まで地下鉄を通すと発表、皆信じて団地を購入。その後予算がないので中止すると発表した。今回の本当の目的は何なのか？真駒内駅から芸術の森まで地下鉄を通す事が大事。ウソの言葉は人の生涯を狂わせてしまう	事前説明が無いからこういう事になる。最初からハッキリ説明	中央バスの運営を見ると結局民間業者は出来ないという事	もっとブレない人達が必要だと思う
222	信用できません。 私からしたら迷惑施設である。断念して下さい。 すばらしい施設ならばこんなハガキ必要ないのでは?	Q12にある様に、この学校？は日本人のためにはならない施設	反対します。 GIE社には契約しないで下さい。 Q15の項目は特に信用できないので外国人増加反対。	旧常盤小跡地は更地にして住宅用地として民間に売却して下さい。2220万円以上になるはず。緊急時の避難場所やコミュニティの拠点は芸森小と常盤一区会館で充分である
223	一般と事業計画は会社の希望であり、実態は大きく違う場合が殆どんどである。特に外国企業は信用出来ない。日によっては実態が違うのはあたり前と考える。	外国人が多くなると、外国人による犯罪が発生する。 外国人が多くなると、習慣の違いからトラブルが発生する。 これらに対し、市は発生した場合は責任を務ると一筆入れるべきである	説明資料は希望であり、実態は大きな違いがあると推測する。余り期待はしない。	日本人による、経営本部である事を希望する。
224	外国人は、口先だけ、日本人は人が良すぎます。本当の外国人の性格が分っていないし分かつてもしない騙されます。勉強した方がいいと思う(外国人に対して) 私共は反対します。これを言う読んで下さい。本当の事を書いているんです。かならず後悔します。			札幌市役所の方々は仕事もせず毎日遊んでます。知事や市長なにをしている。税金泥棒だ。個人情報漏れます(かならず) いやなことです。信用出来ない。
225		日本人だとしても、地元住民以外が来るようになるので、治安の悪化は発生する	何も期待していない	反対意見を表明します。
226	地域住民向けの事業計画があれば良い 例えば日本人の児童生徒学生に向けた内容のもの	インターナショナルスクールが、そもそも芸術の森地区に必要なのか疑問	開校時間を見ると、日本人の小中学生、高校生は、通常の学校に通学する時間帯なので結局のところ、 外国人のみを対象とした、事業になるのでないか	
227	OWISとはどここの資本でしょう？	学生に国又は道、札幌の税金がつかわれるか？	期待? はじめから合意形成目的ですか?	日本の税は、日本人に使われるべき
228	質問は特になし。	開校による生徒さん及び家族の移住が想定され、これによる治安の悪化が不安。具体的には、外国の方が、同郷の人間が多く集まる事で、不特定多数の外国人がこの地域に集まり治安の悪化につながる事。	なし	開校、及び設置の反対。 近辺にはクマ等野生動物も多く、生態系への影響も考えられる為、その面からも反対。
229	インターナショナルスクールを、こんな郊外に作るののはなぜ?多国籍なのであれば街中の利便性の良い所の方が、通学も人集めも楽では?	外国人が増えるとニセコや倶知安のように土地の買い占めや文化の違いによるトラブルが増え、先住の人たちが住みづらくなる。	なし	交流施設、文化施設など、他の地域の人々も利用できる。地域経済が活性化するような所に売却してほしい。
230	なし	治安が悪化する。 学校跡地にインド人が多く通う学校をつくるのは強く反対する。	なし	住民の反対があるのに事業を推し進めるのは反対する。他の様に活用して貰いたい。
231				絶対反対！！

No.	設問１：グローバル社の事業計画に関する質問	設問２：懸念や不安に感じる事	設問３：事業に期待すること	設問４：その他の意見
232		大人数の外国人が増える事による不安 常盤地区の環境が壊れるのではないか 650人もの生徒数の通学はどうするのか スクールバスと書いてあったがどれだけのバスが用意出来るのか		どんどん日本の土地が外国人に買われてしまっているのに札幌市まで外国人に売らないでほしい 売却するのではなく借地ではダメなのか、 今回騒がれてから市の方は対応している後手に回っている 騒がれる前に行動してほしかった 問題起きないと市は対応してくれないのではないかと不安でいっぱいだ
233	中央区など外国人の方が多いところに計画した方がいいのではないか	ニセコの中国人の話や江別のパキスタン人の話など外国人が一箇所に集中することに対し良いニュースがないので不安しかありません	期待はしていません 再計画してください	計画には反対です
234	反対です	売却すべきではないと思う。日本の子供たちのために作られた建物・土地なので、まこまるのように地域の人々が集まって、グラウンドで遊んで、天気の良いときには屋内でも遊べるような施設を望みます。	南区には競技場・緑地、まこまるなど札幌から足をのばせば辿りつける場所がたくさんあって、その１つになった方がいと思う。芸森小もできて、若い家族もコンスタントに入ってきています。子育てに優しい場所になってほしい。そんな場所になれば周囲にお店もできたり、わざわざ札幌中心部へ子供を遊ばせに行かなくてもいい。豊平区の人も、寄りたくなるような所にして下さい。	芸森があるんだから三笠みたいに芸術で地区を盛りあげてもいいと思う。
235	公有財産を外国企業に売却するべきではない。	ありすぎる	なし	
236	この学校が、立ちいかなくなって、売却されて、何か変な物が立ちませんか？ 札幌市が売ってしまった物は、もうもどって来ません。			このはがきも、もうすべて計画されていて、反対の予地はありません。この学校が出来る事じたい、まるで、ひみつにしていた様にさえ感じます。町内会でも何も知らされていません。
237		来年度 国において、外国人による不動産取得に対する国民の不安を解消するための方策を実施すると聞いていますので、当面はリース契約で対応すべきと思います。 (自衛隊施設に近いと思われるー安全保障上)		
238				道内における多国籍企業による不動産取得の現状に関し行政の課題対応が不十分と感じており、譲渡を起点とした人の流入で地域コミュニティとの摩擦が懸念され今回の件には反対。
239	このような、地域に密接するような事業を展開するにあたって、事前に説明する必要があったものではありませんか？（学校購入前）	治安関連施設がなく、大都市札幌とも思えない田舎なので、治安の悪化が気になります。また「何か」あれば、その責任は誰からとるのか？	なし	とにかくくにも、平穏だった、この地域の情勢が変わった際、誰がその責任をとるのか？ 行政も事業関係者も、皆、ここに住んでいないため、傍観者でいられるだけです。
240				市に対する不信感があります。
241	無し。	やがては親族等も当該地域へ居住される事になると思われる。文化・価値観の違いから、現在日本各地で問題となっている事態は必然と思われる。	事業の撤回。	問題が起きても法律や条例で処理出来ぬ問題が大半である。その際事業者は言うに及ばず市もあてにはならない。
242	日本国籍を有する子どもは、就学義務を果たさない学校は、避難場所として、 どう、地域と、コミュニケーションをとるのか具体的に教えて欲しい	外国企業への土地売却が危険すぎる治安の悪化、子供達が外で遊べない。 男女問わず襲われる危険。犯罪が増加。	持続可能な避難場所コンパクトで良い。 安心安全がすべての基本。 外国人の為の学校はいらない。	札幌市も、北海道も、諸外国で起きている、外国人問題を勉強して、安易に土地等を売らないで欲しいです。
243	外国資本ではなく、日本の企業とか札幌市自身が考えてやってほしい	別に教育に対するものが札幌ではあるのではないか	何もなし、絶対反対する	市はもっと地域住民の意見を聞き発展を見てほしい
244	生徒数が6年で600名増加することについて、家族も増えると、1000人以上増加すると思いますが、この小さな範囲で可能だと思いますか？	初年度～人が増えてくると、集団ができ、怖さがある増加率がすごすぎて、想像するだけで恐ろしい、バス減便やお店もあまりないのに、今いる人達はどうしたら？	期待できることを教えてほしいです。 具体的に。不安しかありません。	配布してもらった資料はすばらしいことばかり書いてますが、大阪・つくばの地域のみなさんが、困ったことや良かったことはどんな事か教えてほしいです。
245	インターナショナルスクールに大反対 (理由)外国人とは根本的価値観が違う(良し悪しではない) 外国人が集団となったときに外国人の価値観を優先するのもよく見かける。 ゆえに、価値観の異なる外国人と近くで生活するのに大いに抵抗がある。 今の生活のバランスがくずれる。			・必ず、説明会を開催するように!! ・価格が異常に安過ぎ(2500万円) ・”集計”という言葉が使われているが賛成、反対のアンケートなし、賛成に誘導しているように見える ・初期段階で、一部の役員の意見だけで、話が進んだ ・次点提案者とほとんど点数の差なし、こちらは外国人がらみではないとのこと⇒知りたい!
246	中央区など、街中に作るならまだしも住宅街に設置するのか。避難所にもなるので、職員全員日本語ができるよう義務付けるのか。	10年後の転売、治安など。札幌市で責任を取るのか。	ない、撤退してほしい。	こんな学校ができるなら引越さなかった。札幌市に騙された気分です。常盤小学校は母校です。母校を外国人に売らないでください。迷惑です。

No.	設問１：グローバル社の事業計画に関する質問	設問２：懸念や不安に感じること	設問３：事業に期待すること	設問４：その他の意見
247	世界各地の治安や政治情勢を理解した上で進めているのでしょうか？	圧倒的に治安です。 日本で住んでいる方には分からないかもしれませんが、海外の治安はとても悪いです。 最初は裕福な人が来て落ち着いていたとしてもすぐに親族を呼んでくるので治安が悪化します。 また、インドに旅行に行くと強姦されるのを知っていますか？ 子供はもちろん、女性の夜の移動が制限されます。 これの対策に警察と対策したとしても、警察が常にいるストレスがあります。 何かが起こるのではないか、近くで何かあったのではないかと不安になります。 次に宗教です。 宗教の相違により争いが起こる可能性が高いです。 日本は宗教に囚われることが無いので分からないかもしれませんが、特にヒンドゥー教は過激です。 これがまた治安に繋がります。 懸念として 私は最近までこの計画を知りませんでした。 常盤に住んでいるのにも関わらず。 地元住民への説明が足りなさ過ぎではないでしょうか？ また、賛成や反対など意見を集めたのでしょうか？ 静かに進めようとしていませんか？	ありません。	質疑応答について ・2. インターナショナルスクールより12について もう既に近くに新しく開校された芸術の森小学校があります。 そんな安心して通うことの出来る小学校があるのに態々治安の悪そうなインターナショナルスクール通わせる親は少ないです。 つまり、殆どが外国籍の集まりになります。 外国籍が過半数を占め、さらに多国籍となるとルールが守られません。 ・3. 外国人関係より14の懸念について 学ぶ場を提供するとの事ですが、海外の方の大半がこの様な場に行くとお思いでしょうか？ あまりにも甘く見すぎではないでしょうか？ 外国人の性格等を知らなすぎです。 ルールやマナーを教えてもすぐにマイルールにしてしまいます。 ・同じく外国人関係より15について 今まで何も無くても治安が良く、子供から老人まで不安を感じず過ごせていたのにも関わらず、態々警察と連携をしてまですることなのでしょうか？ この落ち着いた地域だからこそ家を購入し、長く住んでいる方々も多いです。 ・同じく外国人関係より17について ただでさえ片側1車線で車道が狭いというのにバスが増えると渋滞しやすいです。 夏の朝はもちろん、冬はとても邪魔です。 元々常盤に住んでいる住民の妨害となるものは辞めてください。 医療機関で働いている身として 外国籍の方々は異臭がすることが多いです。 空気の綺麗な常盤を汚すつもりですか？ また、自分の話ばかりしてこちらの意見を聞かないことが多いです。 コミュニケーションもこちら側から気を遣うことばかりです。 はっきり言ってとても大変です。 常盤小学校を記念すべき100年目に卒業した卒業生として、海外に行ったことが多くこのインターナショナルスクールに反対でしかない地元の意見でした。 考え直して下さい。 態々常盤の地に家を購入した我々を後悔させないでください。 子供たちが楽しく遊べる平和な地を守らせて下さい。 この計画は断固反対です。

No.	設問１：グローバル社の事業計画に関する質問	設問２：懸念や不安に感じること	設問３：事業に期待すること	設問４：その他の意見
248				駒岡地区に外国人労働者のかたが来てから、特定を避けるために詳細は伏せますが私自身が見たものです。警察に通報したものもあります。 「小学校の近くに深夜数ヶ月継続的に同じワゴン車が駐車している」 「夜に懐中電灯で校舎のガラス窓をひとつひとつ覗き込む男性」 「車の窓からゴミ袋を道に放り投げ、中身のゴミ(コンビニのお弁当容器など)が道に散らばる」 「家のインターホンを押され、出るとスマホを使いたいから貸してくれと東南アジア系の男性に要求される」 「家の前の歩道に大量のゴミ(コンビニ弁当の空き容器など)を置き去りにしていく」 「民家の庭に入り込み、木の陰で立ち小便をしていく」 「外国人労働者のかたのいる宿舍のエリアに暴走族のような騒音を立てる車が入って(帰って)いく」 という状況が起こっています。 途上国の外国人は絶対にやめてください！！！！！！！！ 駒岡小学校がまだあるんですよ！？？母国に帰る前に小学生に対して事件を起こして逃げようとする労働者の男が出てくることがわからないんですか？？？ 本当にこんな言い方はしたくありませんが、先進国の白人しか安全ではありません。良い人もいますが、だから何？それが？で？というレベルで「そうでない人」が多すぎます。 インド！？？冗談じゃない！！カーストの低い人たちのルサンチマン(格上への嫉妬)を知らないんですか？ 「自分たちは貧乏なんだから、日本人からは奪っていい」と思ってるんですよ。 いいですか、仲良くできるのは「日本人からは特に欲しいものはない」人だけです。つまり、こんなこと言いたくありませんが、現実として、受け入れていいのは先進国の白人だけです。
249	札幌での事業計画が思うように進まず撤退すると仮定した場合、当該建物はどのように処理されるのか？売却となった場合、売渡先の制限など札幌市との間に何らかの取り決めはあるか？ある場合はその内容を具体的に説明願いたい。当該施設を取得するにあたり、土地及び建物の売買契約となるのか？建物売買契約となると当然に瑕疵担保負担割合の取り決めがあるが、民法が定める以外の何らかの特約はあるか？	東京、大阪、つくばにおける日本人の生徒の割合は資料の通り理解したが札幌においても同程度になると推計しているか？教育水準、所得水準も上記地域と異なり立地的にも中心地から離れている事を加味した上で外国人の生徒が大半を占めるような可能性も否定できないのではないかと？スクールバスでの通学に加え、保護者による送迎も相当数あると思うが、運転マナーの優れた国でない事は周知の事実であるため、保護者による送迎は禁止して欲しいがこの点について検討の余地はあるか？	第一回目の説明会や近年北海道における外国人問題に対する警戒感が増す中で開校に踏み切る事はそこに通う子供達にとって何らかの悪影響を及ぼすのではないかと懸念しています。採算性だけではなくそこに通う子供達の事を第一に考え事業計画を中止とすることに期待します。	購入を検討するにあたり建物維持管理のデューデリジェンスはしっかりと行っているか？寒冷地での建物維持管理は東京大阪とは比べ物にならない維持管理コストがかかります。(除排雪、水道凍結等)当該建物は老朽化が進んでいるため維持管理には多大なコストがかかる事はある程度把握されているかと思うが本州での試算はほぼ通用しない事を不動産従事者として老婆心ながら忠告させて頂きます。
250		テレビや新聞では、住民は賛成しているが、一部の人間が強硬に反対しているという論調で報道されているが、少なくとも私は賛成していない。どういうことか。		質疑応答集の4番、審査報告書はもっと具体的に案内すべき。同5番、制限されていても、強行される場合は多々ある、その時にどうするかを示すべき。同15番、具体性がない、具体例を少なくとも10個、挙げるべき。同18番、現行制度を見直すことも考慮した質問であるはず、誠実に回答していない。
251	地域住民のメリットはなんですか？	治安の悪化	この事業に期待することは皆無	絶対に外国人の受け入れはやめて欲しい

No.	設問１：グローバル社の事業計画に関する質問	設問２：懸念や不安に感じること	設問３：事業に期待すること	設問４：その他の意見
252	これまで関東や関西で開校しているようですが、なぜ突然札幌に開校することになったのでしょうか。 一見すると、特に地域にこだわりはなく、単に旧常盤小学校の売却価格が安かったからなだけのように感じるのですが。	そもそもなぜ廃校になった施設にまた学校を作る必要があるのでしょうか。 この地域は子供の減少により小学校が統合され、今この辺りの学生はバス通学をしなくてはならないなど不便を強いられているのに、廃校になった場所に（他の地域から通う学生のための）学校を開校するというのは、地域のことを全く考えていない安易な計画だと感じます。 移民が想定されるとか問題になっているようですが、それ以前に学校をまた開校するということが納得いきません。 また、避難場所として活用できると書いてありますが、地域の人が普段立ち入ることがないインターナショナルスクールに実際に災害が起きた時に避難するというイメージができません。	現時点で開校予定のインターナショナルスクールに期待することは全くなく、懸念と不安が100%です。	この地域には芸術の森や市立大学など芸術に触れる場所(しかも市立)があり、その環境を気に入って住んでいる人も多いです。 もっと芸術に関係ある施設、例えばアーティストインレジデンスや音楽スタジオなど、民間にばかり頼らないで、市が主体となって計画してほしいです。 地域のことを考えてもらえるのであれば、例えば図書館にすとか、道の駅のような地産地消の物を販売するような施設にすとか、南幌にあるような子供の施設を作るとか、もっと地域住民が出入りしやすい施設にしてほしいです。 配布された質疑応答集をみると選考採点結果の最優秀提案者と次点提案者の点数の差が僅かすぎると感じます。おそらく地域住民にとっては次点提案者の案の方が適しているのでは？ 叶うならば、次点提案者の提案も公表して、地域の意見を聞いてほしいです。 また、今回意見記入ハガキが同封されていましたが、ハガキの小さいスペースには書ききれず、web回答フォームが使えない人にとってはとても不便なハガキと感じました。 もっと違う方法を検討してほしいです。
253				1 市のこれまでの売却売却経緯の説明が充分でなく、かつ不透明であること。4.7 が2.2になったこと 2公的財産を外国企業に売却する市の根拠説明が曖昧なこと。 3地域住民への説明は購入者でなく売却者である。市が主体となって実施すべきとこ問題になったからといって、今頃Q&Aを作って住民に了解を求めようとしているような事は、住民から見れば信頼に欠ける行為である。 4市の売却対応において、校舎を撤去しないで売却する方法は本来限界があったのに、それにこだわったため発生した問題であると考えれば、統廃合に伴う市の対応は理解できない。 5すべての問題は、市にあるから、購入者や説明会に参加したものに、問題があるわけではないと考える。 6これらのことから、本件跡地の利用については、売却者の住民対応が充分でないばかりでなく行政の手続きとしては、評価すべきことがないことから、不安や疑問は払拭できないことから、撤回して再度、住民説明すべきだと考える
254	ありません	生徒のみならず、その生徒の家族も学校の近隣に住むこととなると生活習慣の異なる外国人の数が莫大に多くなることに懸念があります。	期待は全くありません。インターナショナルスクールなんてこの地域には必要ありません。	年配層が多いこの地域には全くそぐわない施設ですので建設は中止にしてください。
255	移民政策の足掛けに十分なりうると考えるため反対です。	地域の犯罪率の増加	全く期待しません。	一度決めたものを元に戻すのは難しいため、計画自体が無くなることを願います。
256		治安が悪くなるのでやめていただきたい	何も期待していません	反対しています 静かで穏やかな暮らしを求めてここに住んでいます。周りの人達も同じ意見の方も多く本当に取りやめていただきたいです
257		ゴミ出しルール、生活習慣等によりトラブルが起きる。 安心して暮らせるまちづくりを進めると言っているが具体的な内容がわからない。 いいことはなんとでも言える		
258		送付されてきた質疑応答集の12で「日本国籍を有する子供について、法律で規定された就学義務を履行したことにはなりません」とありますが、小学生～高校生まで約1930万円もの授業料がかかるにもかかわらず就学義務を履行したことにならないのであれば日本国籍を有している子を通わせる意味がありませんし、初めから外国籍を有している人の学校としか思えません。		質疑応答集の15で「警察等の関係機関と連携してまいります」とありますが、石山東、常盤、芸術の森地区にはそもそも交番がありません。 1番近くて石山交番で距離が約3キロ近くあります。その様な状況の中で事件・事故があった場合迅速な対応ができるとは到底思えません。 警察等と連携していくとなっていますが、警察や関係機関の職員に多国語を話せる職員を配置してもらわなければ言葉も通じないのなら対応すらできないと思います。
259	公共交通機関の整備がされておらず、交通費が高い。渋滞が起こると万が一の場合に緊急車両が来るまでに時間がかかるが学校内で事故や急病人がでたときは大丈夫なのか?生徒さんや親御さんは理解できるのか？	常盤小学校が移転して余計な交差点が出来たために酷い交通渋滞がおきているが、更に酷くなる可能性がある。万が一、緊急車両が遅れたために死人がでたときは札幌市で補償するのか?	市街化調整区域のようだが、発展しようがないのでは？芸術の森まで地下鉄を呼べたら地域住民は大歓迎しそう。	2千万円分の売却は安すぎる。札幌市のやり方に不満がある。周知のやり方に問題があるのでは？

No.	設問１：グローバル社の事業計画に関する質問	設問２：懸念や不安に感じること	設問３：事業に期待すること	設問４：その他の意見
260	事業計画は良さそうな点のみで日本人に寄り添う気はないことを感じる。 わざわざ札幌の片隅で始めることに悪意を感じる。少しずつ海外の人（移民含む）を定住させ、日本人には住みづらくしタウンやヤードを作っていく予定なのかと札幌市も疑う。	・スクールバス運用による渋滞・交通事故 ・札幌市がインド人系学校ということをして今になって違うと否定しているのが不信感を持たせる ・生活習慣の違いによる夜中の騒音 ・異教徒に当たる日本人への暴行、性犯罪（特に子供）	期待は全くなし、辞めてほしい	札幌市は言うことを変えているし、信頼置けない。わざわざ外資に売るのはではなく、校舎は潰せば良いだけの話なのではないか
261	何故、日本なのでしょう？	立派な資料を拝見しましたが、結局は儲け最優先と確信しました。	反対なのでありません	札幌市は財政赤字なので高いお金で買い取ってくれる外資系に売却なんですね。市民の意見はまるで無視。外資系が地域に侵攻してきても、一つたりとも協力はしません。
262	説明会が途中で中断して終わってしまったそうですが、また説明会はあるのですか？ また少数の説明会では、賛否を判断するのも不可能では無いのですか？	何も信用出来ません。 しっかり住民、市民、道民の声の事実を知ってください。 何かが起きるという確証も、起きないという確証も得られないので、通学や治安など、すごく不安です。	実際、私達にいい事は何一つ無いと思います。	
263	日本でのインターナショナルスクール開校については否定しません。しかし、海外からの移住者が既に多く住んでいる地域での開校は理解できるのですが、南区には海外からの移住者も少なく、高い授業料を支払うことが可能な家庭も少ないように感じます。資料を見ましたが、地域住民にとって不安はあってもメリットは少ないように感じました。本当に地域住民は歓迎しているのでしょうか？学校という規模の大きい存在である以上、地域住民の理解を得てから事業を進めてほしいです。	何年も前から外国の子供が増えている地域での開校は理解できます。しかし、外国人が限りなく少ない地域に、外国人が急激に増えてしまうのは、環境の変化に不安を感じます。特に宗教の違いは不安が大きいです。	常盤での開校は望みません。	次点提案者の事業についてどのような事業であったのか、調べてみましたが詳しいことは書いてありませんでした。どのような事業であったのか詳しく公開していただきたいです。 個人としては地域が活性化する道の駅のような施設を希望します。例えるなら千葉県の道の駅保田小学校のような施設です。
264		ただでさえ、1本道しかなく時間帯によっては道が混みます。学校が建つことによって、さらに混雑が予想され、交通の妨げになること。 外国人が通うことにより、周辺地域など治安悪化が怖いことが、大きな懸念です。小さな子を育てる身としては、安全に静かに暮らせるよさがあり、わざわざ南区の奥地の地域を選んだにも関わらず、『札幌市で学ぶ場を設定する』『関係機関と連携する』とよく述べられる回答をいただいても、全く安心できない上に、たしかにそうだと納得もできない。近年やはり、外国人による犯罪やマナーの悪さが目立つことは否めず、安心して子育てができる地域ではなくなることがとても不安で、建設には大反対です。事実、外国人が増えた地域では犯罪や従来の住民の暮らしにくさ、ルールを守らないことによる住民の辛さなどが増加している地域も全国には見受けられます。なぜ、もともと住んでいた私たちが、これから毎日不安を抱えながら、不便を感じながら暮らしていかなければいけないのか、納得できません。こんなことを言う と、差別だと騒がれてしまうかもしれませんが、事実として様々な問題は起きていますし、交通の問題も含めると、安心して子育てをすることができると思い、せっかく決めた思いは全て不安に変わります。一通り資料には全て目を通し、学校としては魅力ある学校ではありますが、やはり外国人の増加や、そこから予想されることを考えると、この静かな地域に、住民が築き上げてきた素敵な街に、海外の多くの方々が観光以外で日常的に足を踏み入れられるのは大変憤りを感じます。生徒の推移予想も年々かなりの数の増加を見込んでおり、そんな数の子どもや保護者、職員が行き来するのは猛反対です。	ありません。撤退していただけるのが一番です。	
265	このグローバル社に対する気持ちは、特に無く地域の住民と調和して欲しいと思います。	やはり、外国の方が沢山集まる場所となるので、漠然とした不安はともあります。特に土地を買取ると言う所が一番嫌だと思ってます。日本の土地がどんどん海外の方に買い取られて、日本では無くなってしまふ気がします。それは、絶対に嫌です。	特に期待はありません。そこで事業をしたいと言う事であれば、絶対に問題を起こして欲しくありません。常盤は高齢の方々が静かに生活してます、この事業が来る事によってもう常盤には住みたくないとならない様に願ってます。	今、国会でも外国人に対しての対応等、色々考えてくれそうなので期待してるのですが、現状では国籍を理由に土地売買を制限出来ないそうなので、一刻も早く国会で細かな制限をしっかりと作って欲しいと願ってます。それまでは、常盤の土地を売るのは待って欲しいと思います。

No.	設問１：グローバル社の事業計画に関する質問	設問２：懸念や不安に感じること	設問３：事業に期待すること	設問４：その他の意見
266	① 貴社の開業による経済効果はいくらになるのか？（特に、物件取得費用以外の通年での支払う税金や札幌市内に投下される経費等はいくらか） ② 札幌市役所からの各種助成金・補助金・交付金で、交付されるものがあるのか。交付されるなら、その金額(現時点及び将来も含む)。	10年経過後の事業廃止、転売可能性が残ることが不安。民法の10年間の買戻し制限があったとしても、契約上で10年以後の転売時に「札幌市の承諾必要」を契約条件化すべきではないか。また、転売後の新所有者にも転売には「札幌市の承諾必要」とし業者間転売の介入を防止すべきではないか。経営者が変われば、対応が180度変わることは当たり前にかかる。性善説前提では、将来に禍根を残すことになる。	一時避難場所としては期待しているが、大增水時にはこの小学校前の道路は冠水と思うので、記録的大雨時には避難できないと思う。	① 地域住民全員にハガキを配布すべき。 なぜ1戸1枚のハガキ(ID)なのか？ 住所・氏名を書かせ、IDで特定するぐらいなら、家族内でも意見はいろいろあるのになぜ全員に聞こうとしないのか？ 結局、この中途半端なやり方は「地域住民の意見は聞いた」との市役所のアリバイ工作が目的なのか？ ② 地域住民にハガキで賛否を確認すべき(「民主主義の根本は選挙による多数決」を援用)。 新聞報道される問題となり、地域住民に聞くのに「賛成・反対」欄がない。市役所としても本当は、そこを確認したいはず。そこを行わないのは、結論ありきで事業推進のための「地域住民の意見は聞いた」とのアリバイ工作と疑ってしまう。 ③ 売却に反対。 小学校は、国民の税金・札幌市民の税金で作られた市民の財産です。当初の不動産鑑定額4710万円(複数社で鑑定をした結果なのか?)が、2回目は、2220万円で当初の半額以下。この金額に担当者は誰も疑問を持たないのか？ 市民の財産のたたき売りだと思う。 ④ 財産価値の観点から多方向に検討されていない。 職員の皆さんは、自宅を売却するときに当初鑑定額の半額以下で売却するでしょうか？ 2回目の鑑定で2220万円が示された時点で、市有財産の多額の減額を避けるための方針変更も含めた多方向の方法を検討しましたか？ 市役所は、多額の鑑定価格減額に立ち止まり考えることもなく、あえて言えば何も考えず機械的に単に方針どりの事務手続き・スケジュールに則った処理を行ったのだらうと思います。しかし、売却の大前提は、「適正な金額」で行われなければならず、4710万円 → 2220万円 の減額は適正とは思えず、汚職はないと思いますが森友学園問題を思い起こさせます。 例えば教育目的にこだわらないのであれば、校庭(宅地用)と建物部分(起業者・芸術者用)に分けて売却など市有財産を少しでも高く売却する手法を検討したのでしょうか？ 税金はしっかり徴収するのに、市役所は市有財産の売却が市民感覚から乖離し杜撰だと思います。 ～常盤小学校跡地へのワンワールド・インターナショナルスクール開校計画について～ 以下の理由から強く反対いたします。 1. 日常生活への影響に対する深刻な不安 開校により登下校・送迎・校庭利用に伴う人の流れが急増することは明らかです。しかし、ごみ分別・ポイ捨て、騒音といった「法律で強制できないマナー領域」について、私たち住民が納得できる対策が一切示されていません。これまで学校側・行政側から具体的な説明がなされていない主な点は以下の通りです。 ・ ごみ出し違反やポイ捨てに対する学校側の日常的な監視・指導体制 ・ 騒音苦情を受けた際の24時間対応窓口および改善プロセスと期限 ・ 地域住民との定期的な意見交換の場（連絡協議会等）の設置予定と開催頻度 ・ 問題が繰り返された場合の責任の所在と確実な是正措置
267				

No.	設問１：グローバル社の事業計画に関する質問	設問２：懸念や不安に感じること	設問３：事業に期待すること	設問４：その他の意見
267				2. 法的な強制力がないからこそこの不安 これらの問題は法律で罰せられないため、一度発生すると改善が極めて困難です。 学校側が自主的に「ほぼ100%遵守」を担保する仕組みを事前に文書で示していただけない限り、私たち住民の不安は解消されません。 3. 治安・体感安全への懸念 行政は「法令違反は厳正に対処」「警察と連携」と説明されていますが、最寄りの交番まで遠く、日常的なパトロール強化や交番設置などの具体策は一切示されていません。 軽微なトラブルや体感治安の悪化に対しては実効性のある対応が期待できず、地域の安心が損なわれるおそれがあります。 以上の通り、現時点での説明では私たち常盤地区住民の懸念は全く払拭されておらず、このまま計画を進めることは容認できません。 つきましては、改めて住民説明会を開催されることを強く要望いたします。 それがなされない限り、本計画には地域住民として受け入れることはできません。
268	世田谷区等でインド系の割合が非常に増えているという現地の話も目にした。インド人学校ではなく日本人生徒の割合も高いなどと言う説明で目を逸らそうとしているが、そもそもこの学校は義務教育の規定を満たさないのに日本人の小中学生が通っていたら義務教育を受けさせていないので法律違反になるのではないかとそれを札幌市が認めていては違法行為の手助けをしているのと同義になろうかと思う。インド人だけでなく、他の国籍の生徒も通うなどと説明しているが、どこか1つの国籍に偏らないから良いというわけではなく、税金で作られた公の施設を、一部の利益関係者だけの意向によって格安で売却（レンタルですらなく売却とは話にならない）され、それにより地域の生活環境が一変してしまうリスクを住民の多くが何も知らされないままに話を進めようなどと全く言語道断であると考えます。学校なら常盤中学校も新しく作られた芸術の森小学校もある。外国人だって入学できる。義務教育要件を満たさない上にトラブルの種になりうる学校のような物を新しく作る必要など無い。常盤小学校が閉校したのはこの場所に学校は必要無いという判断をしたからであり、その後このような学校もどきを入れるというのは話の筋が通らない。	周知が全くされてなく、ネット等で初めてこのような計画が進められていることを知った。全くの周知不足な上に、住民の賛否を反映しなければ進めてはいけない案件にも関わらず、その機会を設けようという意識すら無いのは大問題である。常盤地区のような住民が少ない地域において外国人のコミュニティや活動場所ができるというのは、他の地域と意味合いが違い影響が大きすぎる。他地域で出てきている外国人問題が常盤地区で発生した場合、限られたスペースの為被害は甚大になり、そもそもここでのまともな生活さえ危ぶまれる事態になるリスクが大きい。リスクというのはリターンがあればこそ犯す価値があるものであり、住民にとってリターンがなくリスクだけがあるこのような計画は利害関係者以外誰も望んでいない。不確かなデマに騙されないでなどとマスコミや立憲民主党の市議や共産党などが吹聴しているようだが、何が不確かなのか。実際に問題が起きた場合そういった連中は責任を取ることなど決して無い。現実問題として現在北海道だけでもニセコ等の不法建築、釧路湿原や白老など多数の違法メガソーラー、江別のパキスタン人による違法ヤード等々外国人絡みの問題は山積みであるし、それらの問題に対し北海道なり札幌市が適正に対処できているとは全く思わないし、これからもできるとは到底思えない。このような状態で地域がリスクを負う可能性がある事業を容認することは絶対にできない。	今すぐこの計画を白紙撤回すること。この業者以外に適切な事業が見つからないのであれば、廃校舎は解体し更地に戻すべき。無理に変な事業者を押して付けて利用しようとするぐらいならその方が地域にとってはまだマシ。とにかくこの常盤地区で外国人問題など起きて欲しくないし、そのような機会は必要ない。メガソーラーなども要らない。	海外企業誘致活動に向けて重要な役割を担うものであり、などと書かれていたがそれを担うのは企業を誘致した土地近辺であるべきで、このような少数住民の地域に負担を押し付けるべきではない。また、一旦入れてしまったらこちらに合わないから不要です帰ってくださいというわけには行かない。目先の事だけ考えて、その後どうなるかの責任など誰も取れないだろうし取るつもりもないのは間違いない。違うというなら札幌市も北海道も計画を進める前にこの事業によって起こりうる諸問題について全ての責任を負い、全ての補償をすることを約束しますという文書を地域住民に届けてから進めるべきである。そうでないとこのような計画は断固認めることはできない。
269	住民の意見をしっかり聞いてほしい	治安や防犯への具体的な対策はなされてない	なし	絶対反対
270	特になし	治安の悪化	特になし	特になし
271		外国人が多くなり治安の悪化。ルールやマナーを守らないことへの不安。	計画の中止	
272	粗方把握していますので質問はありません。大反対です。	外国人が増えることによる治安の悪化が一番です。そもそもインターナショナルスクールがこの地域にとっては必要ないものであること。常盤を含め、この辺りの地域はベッドタウンです。インターナショナルスクールが、札幌市内の街中に建つというのであれば反対はしません。場所を考えてください。	期待しません。私たち日本人が安心安全に暮らしている土地にとって、外国人のための学校は不要な施設だと思っています。	絶対にインターナショナルスクールを常盤に建てることはやめてください。大反対です。
273	そもそも旧常盤小学校が閉校になったのも過疎化による統合によるものだと思っていますのでまず近隣からは入学する生徒が期待できないように感じます。正直、はじめに聞いた時はなぜ南区の中でも山が近く豪雪、更に熊も出る地域にインターナショナルスクール？と失笑しました。更に453線は冬は積雪が多くひどい日は車がすれ違えず全く進まないため30分以上の遅延もザラです。通学も大変なのにわざわざ南区の常盤まで他の地域から通学する子がいるでしょうか。	インターナショナルスクールとはいえ公用語が英語のため少なくとも外国人は増えると思うので不安です。近隣や交通機関のマナー等、バスの本数や混雑具合も問題が出てくると思います。	期待できる事はないです。今までの開講実績と旧常盤小学校では環境が違いすぎるように思います。	開設するのであれば芸術の森小学校までバス通学が必要な距離（石山東地区）に住む子どもに関しては石山緑小の方が近いため通学する学校を選べるようにしてください。その方が混雑緩和にもなりますし、このままでは芸術の森小、中学校には通学させたくありません。

No.	設問１：グローバル社の事業計画に関する質問	設問２：懸念や不安に感じること	設問３：事業に期待すること	設問４：その他の意見
274	反対派が大勢いる、特に興味を持っていない住民、むしろインターナショナルを盛り上げたいのなら大々的に得意のニュースや新聞を使って発表すればいいものを、反対している人たちをデマを流す人々扱い、学校なのにも関わらず賛成している全く関係のない70代の意見を載せる新聞をみて、聞しか感じないのでインド人が経営するインターナショナルを作る意味がわからない	散々移民の事故や性被害問題が毎日多発している中、何を頑張ってインターナショナルを推しているのか理解できない。少なからず移民が増えることは確かなこと、学校の裏の敷地を開けていることを大々的に発表していないのに、移民が増えることはないと言っていること、説明会で反対されると具合が悪くなっていなくなる移民を信用しろと言っているのも理解できない。バスの運転手も移民なんて問題外。移民の事故率、死亡率を考えてない札幌の年寄り議員たちの無能さが不安です。	ひとつもない	ハガキが入っていない人が多発していますが、大丈夫ですか？全員に配るものを全員に配れていない時点で問題。税金を使って無駄なものを印刷して配っているのだから、せめて、必要書類を全員に配るべき。ハガキを入れる作業もできない人を使わないでほしい
275	今後札幌市で予定しているこの事業に対する市税や国税からの補助金や助成金はあるのか？	生徒数650名の規模だと家族合わせ2500～3000人規模の外国人を受け入れて生活保護や保険医療費など税金で負担が増えるのでは？警察官に外国語を習得させなければ犯罪やトラブルの解決が出来ない事案が増えるのでは？	納税	この事業の受け入れに対する市の責任者名の開示
276	何故外国人を多数それもアジア系の人も扱うのか	中国人などアジア系で日本を良く思っていない国の人を入れないで	外国語を学べるのは良いと思うが	近隣に住んでいる者として、中国人など犯罪を犯す人たちは入れないで！
277	なぜここにインターナショナルスクールを開校するのか。交通の便も悪いし、生徒さんにしたら通いづらいと思う。	札幌市には交通の便の良いインターナショナルスクールがいくつもあります。わざわざこんな南区の端で開校するのはなぜなのか？通わせるのも大変だと思うし、そうなるこの地域に外国人が増えて、マナーが悪くなるのではないか。全外国人がマナー悪いとは思わないけど、少なからず文化が違うので、日本の慣習文化に適応して暮らしてもらえるのか不安です。	撤退してほしい。	
278	・最終的に650人規模を想定しているとのことだが、この規模の人数になった場合、中央バス等のインフラへの対策を知りたい。只でさえバスが混んでいる。インフラをそっちのけで人数が増えること自体に疑問が残る。その際に、スクールバスを使用するとかの回答はいらない。聞きたいのは常盤にどの程度の世帯と人数が住む見込みになっており、住んだ場合のインフラ計画も記載すべき。	・上記記載のインフラ ・シンガポールに本社があるとのことの為、中国との関わりが気になる。(シンガポールは華系が約75%で構成されているため) 中国という国に対して、他の観光地や海外への事業をみると、ろくな噂がない。その関わりが少しでもあるというだけで、ろくなイメージがない。 ・治安への不安 他県でおきているような、文化の違いによる衝突。騒音問題等。人が増えただけでも起こりうるのに、それが外国籍が増えれば尚更可能性が高くなる。また、問題がおきた場合に市や企業はどのように対応するのかを知りたい。(これは法律だけではなく、マナー等も含めて問題が起きた場合の対応が知りたい)	なにもない。	ただただ反対。 住んでいる側は静かに暮らしたい。自然が好きでここに住んでいる。それをわかって欲しい。
279		札幌市の質疑応答の回答を見ましたが、全く不安は解消されませんでした。学校ができれば、必ず外国人が常盤に集ってくると思います。今の二セコや江別のような外国人問題が起きる可能性があると思います。日本人とは宗教も習慣も違います。日本を理解してあわせられる人達だけが来るのなら理解できますが、彼らを理解して受け入れろみたいな事を言っている議員さんもいるようで、後先が逆でどうかしてると思います。札幌市の計画も勝手に決められて、この計画も一部の住民の方と決めて、その方針だからと言われても全く理解できません。札幌市の端の常盤ならもし何かあっても影響ないからと押し付けられてるような感覚を受けます。子供を育てているご近所の方達も不安の声しか聞いた事ありません。どうぞ、ご自分の家の近くにこの計画がたった時の事をご家族と一緒に考えてみて下さい。	ありません。自然豊かで静かに暮らしたい方がこの地区には集ってる方は多いと思いますので、来ないで頂きたいです。	札幌市の計画は理解できません。外国人問題が話題にあがり、北海道や大阪、関東、など色々な所で外国人による問題が広がり、ようやく政府も規制にのりだしている、そんな中でこのような計画をたてるのはおかしいと思います。ヨーロッパでも移民問題で苦勞してると言います。札幌市は札幌市に住みたいという外国人に何か具体的に対策を前もってやりますか？今後も問題が起きてから対処するといっても遅いし、期待できません。なぜなら、生活に密着しているバスの運転手不足、冬は寒くて夏は暑い地下鉄の冷暖房すら言い訳ばかりで対処できていないからです。このような大事な事を書面で済ませるのも理解できません。札幌市はもっと市民に寄り添った街づくりを考えて下さい。

No.	設問１：グローバル社の事業計画に関する質問	設問２：懸念や不安に感じること	設問３：事業に期待すること	設問４：その他の意見
280	質問なんてありません。絶対反対します！！	今　ただでさえ移民問題　文化の違い　言葉の違い　考え方の違い　宗教の問題。マナー　ルールの問題...犯罪の増加！全世界で移民受け入れを制限もしくは禁止の動きになっている中なぜ逆行するのか！！共生なんて出来ないし　する気もない。最近　滝野霊園やでっかい仏像が外国人の観光スポットになりオーバーツーリズム化し　外国人だらけで満員で路線バスに乗れない事をご存知ですか！？　コンビニに集団でいて迷惑　声が大きい　怖い。ゴミ捨てマナーも悪い。せっかく常盤というのどこで自然豊かな環境にマイホームを構えて　この学校が開校することになるなら引っ越したいくらいです。絶対に反対します！！！！観光客でさえ迷惑でしかないのに　外国人学校ができるなんて絶対許せません！！ やめてください。家の価値や土地の価値も下がります！受け入れる気は全くありません。	ないです。迷惑でしかない。来ないでください。	偏向報道に嫌気がしてます。 事実を隠したり　嘘を報道したり... 本当に来ないでください。 あんな学校が開校すれば家の価値　土地の価値も下がります。誰が外国人いっぱいいる場所や地域に住みたいですか？？？ 絶対反対。住民説明会での担当者が急に体調不良？そんな体調悪い人に大事な説明会来させる会社にも不信感！！ 絶対反対ですので　やめてください。
281		廃校となった旧常盤小学校跡地にインターナショナルスクールを建設・運営する計画について、当該地域に長年居住する住民として、住環境および治安への深刻な影響が避けられないと判断し、本計画に断固として反対いたします。 1. 高齢者が多く暮らす静穏な住環境が脅かされることへの懸念 当該地域は、長年にわたり高齢者を中心に形成されてきた住宅地であり、静かで落ち着いた生活環境こそが住民の健康と安全を支えてきました。 インターナショナルスクールの設置により、通学・送迎による車両の増加、不特定多数の出入り、騒音や生活環境の変化が生じることは避けられず、特に高齢者にとっては日常生活に深刻な支障をきたす恐れがあります。 住民にとって「静かであること」「人の流れが限定されていること」は安心して暮らすための重要な要素であり、本計画はその前提を根本から損なうものです。 2. 治安悪化および地域の安心感低下への強い不安 これまで当該地域は、学校廃校後も大きな混乱なく、比較的治安の良い環境が保たれてきました。 しかし、本計画により外部からの人の流入が常態化することで、不審者の増加やトラブル発生リスクが高まり、地域全体の安心感が著しく低下することが懸念されます。 特に高齢者世帯にとって、治安の悪化は生活の質そのものを脅かす重大な問題であり、看過できるものではありません。 3. 住民合意を欠いた計画決定への強い不信感 本計画は、地域住民への十分な説明や合意形成を経ることなく、少人数による判断で進められているように見受けられます。 公共財産である廃校跡地の利用について、地域住民の声が軽視されている現状に、強い不信感を抱かざるを得ません。		本計画に断固として反対いたします。SNSによる誤情報を元に不安が増大してるわけではなく、なぜ自分たちが影響受けなければならないのかという生活への不安が強いからにほかなりません。意図しない影響で振り回されることに深刻な不公平感を感じます。仮に今後説明会を実施したとしても地域住民の分断を招く事態が予想され不安しかありません。またあわせて意見書を送付した地域住民からの賛成反対数および意見の分布状況を客観的に発表することを希望します。

No.	設問１：グローバル社の事業計画に関する質問	設問２：懸念や不安に感じること	設問３：事業に期待すること	設問４：その他の意見
281		4. 事業の継続性および将来的な転売に対する重大な懸念 仮に学校運営が継続できなくなった場合、土地や建物が転売され、地域の実情にそぐわない用途に使用される可能性があります。 その際、市が関与しない形で事が進めば、地域住民は将来にわたり不安定な環境を強いられることになります。 本地域に暮らす住民の安心と尊厳ある生活を守るためにも、本計画の推進は到底容認できるものではありません。 市におかれましては、地域住民の切実な声を真摯に受け止め、慎重かつ責任ある判断を強く求めます。		
282	貴社は、「札幌市まちづくり政策局」から注文を受ける「開発業者」ですよ。 まず最初に、「近隣住民」と「札幌市まちづくり政策局」との議論が必要と考えます。 計画実施前に、「近隣住民」と「札幌市まちづくり政策局」との協議の場を設ける予定はあるのでしょうか？ 回答を希望します。	学校跡地の利用については、これまで住民税を納めてきた「近隣住民」の意向を優先すべきと考えます。 いきなり「外国人」への利便を図る計画を提案されても、「近隣住民」の生活や福祉を向上させるためにどのような恩恵があるのか、全く想像できません。 考えたくはありませんが、「札幌市」と「開発業者」との間に、何らかの利害関係があるのではないかと疑われてしまう程、突拍子もない計画だと感じます。	全くありません。	インターナショナルスクールを開設するのであれば、もっと公共交通機関が発達した地域に設けるべきと考えます。 当然招致されているとは思いますが、常盤地区の公共交通は、「バス」のみです。 しかも、昨今のドライバー不足の影響を受けて、減便が進められ、近い将来には廃線が計画されているような路線です。 なぜ、このような僻地にインターナショナルスクールを開設するのでしょうか。 回答を希望します。
283	なし	他県での外国人とのトラブルの話や札幌での買い物中や旅行中に外国人のマナーの悪さや考え方の違いを見て来た為、同じ地域には来てほしくない！不安しかない！	期待なんか毛頭なく、この平和な地域に絶対来てほしくない	外国人受け入れ絶対反対！！
284	説明会で途中で帰ったのは何故ですか？ 納得いく説明が出来ないような企業は信用できません	ゴミだしや交通ルールなどトラブルが起きた場合、責任は誰が取るのか、対処しますなどの曖昧なやり方では結局地元住民が迷惑するだけではありませんか。札幌市がキッチリ責任を取るならまだしも、説明会での対応を見る限りでは全く期待できません	無し	中止を強く望みます
285	・生徒の通学はスクールバスのほか、民間バスも利用されますか？生徒数が将来的に650名となる予定のようですが、スクールバスだけでは無理では？送迎に関しての説明を具体的に教えてください ・説明資料ではいいことしか書いてないですが、現在考えている懸念事項を正直に教えてください（多数あると思いますが） ・常盤を選定した一番の理由は？通学通勤等、考えるのであれば、都心のほうが良いのでは？また、自然云々というのであれば、定山溪や札幌以外で良いのでは？	・事業に反対されている方というのは、右翼団体でしょうか？ ・インターナショナルスクールが出来た場合、右翼団体が頻繁に来ることになるのでは？ ・外国人の犯罪に関して、警察との連携とありますが、情報の連携くらいでは何も意味がないと思いますが、よく分からないので具体を教えてください（何を連携？）	・事業で期待して良いことなんてありますか？具体的に分かりやすく教えてください	・審査報告書を拝見しましたが、次点提案者の情報がありませんが、公表出来ないですか？また、公表出来ないのなら理由は？ ・審査報告書を見ましたが、採点の具体が分かりません。次点提案者の説明資料等くらいは公表出来ないですか？また、公表出来ないのなら理由は？ ・結局、審査は金額で最終決定されているようにしか見えません（他の項目は僅差となるよう点数合わせに見えます） ・地域の理解とかで点数が高くてついています、このようなアンケートをとっている時点で、理解されていないのでは？それでも、地域の理解が次点提案者より高い理由を詳しく教えてください ・審査報告書は点数しか載っておらず、審査理由が明確ではないため、何の参考になりませんが、如何でしょうか？ ・質問に関しては全て回答をいただけるのでしょうか？いただけないのであれば理由は？
286		Q &Aの用紙で安全への懸念について、警察等の関係機関と連携していくとありますが、安全を守るために常に居てくれるのですか。ただでさえ子供たちが安心して暮らせる世の中ではない中で、これ以上安心できなくなる可能性がある中で暮らしていくのは困難です。		違う形で今からでも学校が使われる事を願います。 賛成の方は自分の家の近所でもそう思えるのでしょうか。

No.	設問１：グローバル社の事業計画に関する質問	設問２：懸念や不安に感じること	設問３：事業に期待すること	設問４：その他の意見
287				本計画について、以下の点が未整理であり、現段階での推進は慎重であるべきと考えます。 ■ 事業の採算性が不透明である点 類似するインターナショナルスクールの事例から、年間授業料は一人当たり概ね100～120万円程度と推定されます。この場合、授業料収入は生徒100人で約1億円、200人で約2億円、300人で約3億円規模にとどまります。教職員人件費や施設維持費等の固定費比率を踏まえると、300人規模の生徒数を安定的に確保できなければ、学校単体での継続的運営は困難と考えられます。 ■ 生徒数確保の合理的根拠が示されていない点 札幌市郊外という立地条件において、当該規模の生徒を長期的に確保できる需要予測や根拠が確認できません。 ■ 市の財政的関与の有無が不明確である点 授業料収入のみで採算が成立しない場合、市として補助金等の財政支援を行う可能性の有無は、本計画の妥当性を判断する上で不可欠な要素ですが、その整理がなされていません。この点は、将来的な公金支出の合理性を説明できるかという観点からも重要です。 ■ 事業撤退時の財産管理リスク 事業継続が困難となった場合の土地・建物の処理、市の関与、転売や用途変更に対する考え方が示されておらず、市有地であった公共性の高い財産として適切なリスク管理がなされているか確認できません。 以上の点が明確にされないまま計画を進めることは、後日の検証に耐え得る行政判断であったのかという観点からも慎重であるべきであり、本計画は中止または白紙に戻した上で再検討することが妥当と考えます。
288	不要です。まず札幌市民に還元するところに予算、時間を割いてください。	地域交流や貢献を謳っておりますが、それを実行しようとする意思が全く感じられない。不誠実な運営方針です。まず、タイトル以外に旧常磐小学校の名前すらない。（テンプレで名前だけ変えたのでしょうか。）まず地域周辺の調査結果もなしに、なぜこの要望や方針が通っているのか理解し難いです。「地域連携協議会、みんなの声ポスト」など記載がありますが、これも機能するか甚だ疑問です。しかも、つくば、大阪では日本語教育の評価がだいぶ低いそうですね。その状況で、どう地域連携や、地域貢献するのですか？お金も発生しない、自分たちの子どもでもないボランティアとしてそこまで時間に余裕のある人々がどれくらい常盤にいるのでしょうか？またその時間があるのがご年配の方々に限られた場合は、かなり地域の声としては偏りもありますし、そこそ子ども達に寄り添ったものではないと思います。防災・地域の声どれも、あなた方が地域と連携するポーズだけを、とって、地域に貢献すると見せかけ、地域の負荷をあげているだけに見えます。 また地域雇用の実績ですが、用務員に仮に100名雇用するとしても、地域に対して大した経済効果はありません。しかも、卒業後、進学後の実績も有名大学への進学のみって、、地域踏み台に新規雇用還元する気無いのが見え見えます。 地域に寄り添うつもりの外資本の教育機関はこれ以上札幌に必要ありません。	撤退	地域還元をとても蔑ろにしている、寄り添う気がない、宣言資料から、貴社並びに札幌市から誠意を全く感じられないです。公的財産を外国企業に売却する理由も、売却理由の説明を提案型売却の審査基準に話をすり替えて答えておりますね。 まず外国企業にわざわざ売る理由を説明する必要があります。あなた方は必要に迫られている訳でもないのに、自ら「売る」んです。その理由を具体的、明確に回答して説明してください。それをしないと、札幌市のポーズだけのインターナショナル化で地域住民が負荷が押し付けられるだけです。私たちはあなた方の尻ぬぐいをするために、税金を払って生きている訳では無いのです。 まずは説明してから、話を進めて撤退してください。なぜなら、「地域（常盤）は必要としていない」のに、あなた方は公共の財産を「売り渡して」地域にその負担押し売りするわけですから。

No.	設問１：グローバル社の事業計画に関する質問	設問２：懸念や不安に感じること	設問３：事業に期待すること	設問４：その他の意見
289		・既に質疑応答に記載されていることですが、騒音、ゴミ出し、交通規則など、外国人関係者が日本や近隣町内のルールを守れるのが非常に不安です。スクールバスの運転手も、日本の交通ルールをよく知っている者を採用する予定との記載ですが、あくまで予定であり、確約されたものではありません。また、札幌市ではトラブルを防ぐべく情報発信に努めているとありますが、「努めている」や「指導している」だけでは不十分であり、対応していないのと同じことです。豊滝の動物園の例がありましたが、札幌市は指導を続けてきたと述べているだけで、従わないことへの次の対応が全くなされていなかったと感じました。事件、事故が起きてからの対応では遅いと思いませんか。契約条件に、地域とのトラブルになる行動は絶対に行わないこと、トラブルが起きた場合には何年後でも契約を無効にする旨などを明記するくらいの事前対応をしていただきたいと考えます。 ・売買契約後10年間は転売できない旨を契約条件に入れることですが、心配なのはその後です。GIE社は実績のある企業かもしれませんが、何年か後に転売された場合、札幌市との協議を行っていない外国企業がやってきて法に従わない開発を行い、静かな常盤の街が壊されるのではないかと不安になります。小野田大臣がおっしゃっているように、ルールをきちんと守れる企業の選定が必要であり、未来にわたって継続できるような施策が必要と考えます。旧常盤小学校の建物は、用途地域の関係から宿泊施設への改築はできないことになっていると考えて良いのでしょうか。大型観光バスが何台もやってきて、出入り口付近での渋滞や事故が多発することはないと考えて良いのでしょうか。ニセコでも海外の企業が違法に山林を切り開き、道が中止命令を出しても対応もせず、結局は北海道の自然が壊されています。釧路のメガソーラーでは、日本の企業が法律を無視した工事を行っており、工事完了後は海外企業に転売するとか。GIE社が現目的を遂行できなくなった場合には、札幌市に返却し、あらためて札幌市が売却先を決めることにしなければ、この先の未来、札幌市は海外企業が運営する街になってしまいます。 ・札幌市には、売ったら終わりではなく、この街全体を市民の財産として管理していただきたいと考えます。		
290	警察と連携すると記載がありましたが、常盤は他と違って交番すらないのにどうするつもりでしょうか。	外国人の増加で治安の悪化。 スクールバスに乗れなかった場合の路線バスの混雑。 グリーントウンで家を売りに出してます、この学校が出来ることで売れなくなる可能性。	なし	1度説明会が開かれましたが、住民としては納得いく形で終わることがなかったのにも関わらず、2度目の開催をしないというのはおかしいと思います。 そして、説明会は決定する前に行い、住民の意見を聞くべきなところ、もう売却決定の段階での説明会は違うと思います。 そこで説明会をされても住民は怒る事しか出来ず、そりゃあ話が進むわけがありません。
291		人種差別ではなく、地域のルールを守れるか、夜の騒音問題、犯罪や治安悪化の増加 常識や価値観の違いから発生するトラブル。なってからでは遅い。		トラブルが起きた時の責任の所在
292	信用できない。	常盤の治安が悪くなる。	期待はしてません。	賛成している地主さんから、反対しているとなんらかの圧力をかけられている方がいるときこえてきますが・・・
293				次の二つの理由で反対です。①近年、外国籍のドライバーによる交通事故が増えています。特に冬の雪道では慣れている北海道人でも細心の注意が必要です。地域の安全を守るため心配の種を増やしたくありません ②札幌市の「共生のまちづくり条例」は、年齢、障害、性的指向、国籍などに関わらず多様性を認め合う社会を目指すもの、とあるが「国籍などに関わらず」という文言が入ることに疑問がある、ためです。
294	説明会を途中で辞めたのは何故なのか 答えられないなら説明会にならないのでは	全国的に民泊が問題になっているのにトラブルが起きた場合誰が対応に当たるのか、旅行者と学校では違うという認識なのだろうが地元住民にしてみたら同じです	無し	北海道新聞の記事について 反対意見は地元以外の人で地元は賛成のような捏造記事はどういう事なのか 誰かが意図的にやらせているとしか思えない 地元では賛成している人なんかいません 町内会長は除く

No.	設問１：グローバル社の事業計画に関する質問	設問２：懸念や不安に感じること	設問３：事業に期待すること	設問４：その他の意見
295	インドに30校あるようですが何故ですか。	契約上10年の用途指定期間とありますが、10年過ぎてから外国人に売却されることは考えられないのですか。特に今問題になっている中華系への売買は？現行の法律で規制できないのならなおのこと慎重になるべきだと思います。当初の地域住民の要望を無視して、更地にして宅地造成が一番だったのではないのでしょうか。		金融・資産運用特区に指定され海外から人材が集まるとのこと でインターナショナルスクールが必要というのが理由の一つのようですが、南区市議会議員・あおいひろみ（市民連合）のピラには・誰もがつながり合う共生のまちづくり条例・の施行を挙げ、【札幌市が「共生のまちづくり」を掲げる以上、今回のようなケースでは市自身が率先して～多様性を尊重する姿勢を具体的に示すことが求められます。】とリベラル思想丸出しの理由から、地域住民の不安を無視し、常盤地区を多様性のモデルケースとしたいようです。市側の本音はどちらなのでしょう？もし、市議会議員の言いなりに動いているのが本音です。というのであれば断固として反対します。埼玉県や江別市のモデルがあるように、なってからでは遅いのです。
296		治安の悪化、性犯罪の増加 移民が増えると犯罪は増加します また江別のパキスタン人増加問題、川口市のクルド人の犯罪増加問題等、実際に治安が悪化しています コントロール不能状態で行政も司法も後手にまわっているなか、海外の方を受け入れる意味がわかりません。 あなたや区長の隣にインド人、パキスタン人等が大量に移住してきても同じことが言えるでしょうか。 公募段階から住民の声を聞かずに推し進めた札幌市、南区の責任は大きいです まずトップが説明責任を果たしてください グローバル社に責任転嫁しないでください グローバル社が悪いのではなく、地域住民の声を無視して、治安悪化の懸念があるにもかかわらず事業を推し進めた行政の責任は大きいです 今回の事業計画は絶対に中止してください アンケートを取ったという既成事実が必要だから、今回このようにしただけで、読むこともせず、このまま事業を押し通すだけでなんでしょうが、住民は本気で憤りを感じてます	グローバル社の撤退 札幌市も事業に責任転嫁せず、やるべきことをやれ 住民が反対してるのだから、計画は中止にする それがあなたたちに今できること	南区長 なにもせず、他区と比べると明らかに南区は店も遊ぶ場所もなにもありません アクセスも悪く、バスが頼りなのに、本数が減り運賃も高くなって南区はひどいですよ 土地はあるのに、大きい施設もなく、子供が遊べる場所もなく、公園も他区よりショボい 大きい遊具があって、スポーツが出来る場所くらい作れ 何もしないならやる気のある人に代わってください 何もしないのに、意味不明で治安悪化のある移民受け入れまでして何がしたいんですか ちゃんと考えろ、まず説明責任はあなたが果たしなさい 住民が反対してるのだから計画を中止にしなさい
297	特にありません	インターナショナルスクールは授業料もかかるため優秀である程度の外国の方しか来ないと札幌市から聞いていますが、そもそも優秀な外国の方が日本を選ぶでしょうか？私が優秀である程度の資力があるのであれば日本は選びません。自分より下と感じられる国には行きません。 ということはそれなりの方が来るということです。今日本で外国人が犯罪を犯しても軽い刑や不起訴になり日本国民とは扱いがまったく違います。受け入れる方がちゃんと法整備なり条例なり国民を守る事ができるものが整っているならまだしも、受け入れた後は地域や国民に丸投げはあり得ません。 仮にインターナショナルスクールになったとしても10年経ったら転用出来るんですよ。 説明会でお聞きました。 他国の方に土地を売ってしまったら、その後はどうなるか分からないですよ。 地域の人間としては不安しかありません。 優秀な人材に来てもらい地域発展の為に考えているのであれば、土地は札幌市が持つべきです。	ありません	これからはずっとAI化が進んで行き、どう考えても人が余るのにわざわざ外国から人を入れる必要はないです。 人が余った時にどうするつもりですか？ それなりの方は外国へも行かず、国内でもそれなりの仕事につくでしょう。 まだ日本の文化に馴染んでくれたら良いですが、自国の文化や宗教などを無理やり持ち込み『国が来てくれてって言ったんだから、権利だ』って言われたら札幌市でも責任取れますか？ 日本はなくなります。 外国人が来ようが、ここは日本です。 外国の方に日本国民の権利を与えるなら、義務も負わせなければおかしくないですか？ そんな時に困って帰って下さいってお願いしても自国には帰りませんよ。 インターナショナルスクールはその布石になるんですよ。これらを助長させる事になるんですよ。 これだけ分かっているのに推し進めるのはどういう事なのか説明してください。

No.	設問１：グローバル社の事業計画に関する質問	設問２：懸念や不安に感じること	設問３：事業に期待すること	設問４：その他の意見
298	近隣住民が不安や疑問に思っていることに対しての具体的な回答や解決策が抜けていると思われる。 具体的に近隣住民がそのリスクを受け持ってどのようなリターンがあるのか理解ができない。	江別市で起きているパキスタン村のようなことにならないという確実性がないこと、その対策もあまり具体性がないこと、年々バスの本数が減っているのにこれ以上人が増えてどうなるのか、また最近は観光客が増えてバスの乗車数が増えているのにバスの本数が減って住民はとても迷惑しているのにこのような動きがあるとさらにその現状が悪化するのではないかとその対策もあまり考えられてないように感じる。 性被害レイプなどの性犯罪の増加の懸念また増加するのではないかと言う住民への不安感を与えることになること、芸術の森地区は商業地ではなく住宅地なので人が増えての発展などは考えにくいのでは？（商店街などがある訳では無いので） 特に新しい小学校が出来たりでそこに通うために引っ越してきた人が多く感じるが小・中学生の親御さん方は不安の方が大きいのではないかと？ 他にも女子高校生・大学生も多くその年代の人はかなり外国人が増えることに不安を覚えている。 そのようなことを考えると今回の事は地域住民としてはデメリットの方がかなり大きいと感じるのは当たり前だと思う。また地域住民への説明や説得などは済んでいるなどを書いていたがそのような事をしっかり説明されたことはなかったため今回の件は市に対してもかなりの不信感を覚えている。最低限また地域限定での説明会は何度か行うべきだと思う。 もし今回の事案を押し通すのだとしたら外国人が問題を起こした場合どうするのかなどもしっかりと説明しそれが現実になった場合しっかりと対応してもらいたい。 また常盤小学校は母校であるが母校が問題を起こす外国人を生み出す場所になる可能性があるとするのならば全力で反対したいと考えている。 問題が起こらないと思われている納得できる根拠はしっかりと説明していただきたい。	ないメリットを考えられないため	札幌市のバス運転手が減っているのを外国人で補おうとしているのだとしたら乗用車の運転手目線でも乗客目線でも不安な為やめて欲しい
299	この地域に侵入することに反対です。この地域を拠点にして何を画策しているのでしょうか？	グローバル化した企業であり一度拠点を与えれば、勝手放題にされると考えます 市にそれを是正能力と意欲はないでしょう（ノースサファリの例が物語るように）	撤退を希望します	選考過程が極めて不透明であり納得できません
300				そもそも結果論ですが、なぜ芸術の森小学校を建築したのか、、、何故2校の統合が出来なかったのか、、、札幌市の結論に納得出来ません。そして、この跡活用の問題に発展してきたのですから。GIE社と契約するのは反対です。現在日本国内でも、外国人の移民に対してさまざまな問題が出てきています。どのような事業計画を発表しようとも、どのような事業計画を発表しても断固として契約には反対します。 跡活用とは全く関係がないのですが、札幌市への要望として書かせていただきます。 1. ■■■までのバス利用していますが、外国人観光客の乗車でバスに乗れない時があります。便数を増やす等の検討をお願いします。 2. 最終バスの発車時間を以前のように最終の地下鉄との連携は出来ないでしょうか。運転手が不足等は承知ですが、この■■■に住んでいる身としては大変不便です。このような状態では南区の人口も増えない、若い人たちが住める地域ではないと思います。
301	まったく興味がありません！	外国人が増え治安の悪化が懸念される。交通量が増え地域住民の生活環境の悪化が懸念される。	ありません。速やかに計画を断念して下さい。	静かで穏やかな常磐の環境を脅かす計画は一刻も早く断念して、撤退して下さい。

No.	設問１：グローバル社の事業計画に関する質問	設問２：懸念や不安に感じること	設問３：事業に期待すること	設問４：その他の意見
302		・児童、生徒はスクールバスで通うとの事ですが10年後に予定通り600人規模になった時に石山陸橋からの片道一車線のこの道が大変な事になるのでは？と考えてしまいます。特に冬場。国道の除雪幅も狭くなって来ていて今でもバス、大型車がすれ違うのが大変で渋滞の原因になっています。 ・札幌市さんも事業者さんも外国人が住み付く事は無いでしょうとの見解ですが、数年後どうなるか、どうなっていくかは誰にも分かりません。現在国内のあちらこちらで増えている外国人のマナー等で困惑している地域の話題を聞いたり目にとするとやはり不安です。ゴミ出し等の徹底もクマの心配のあるこの地区では必要になってきていますし…そうなってしまった時にこの小さなコミュニティの声が行政や社会に取り上げてもらえるのか？心配です。 ・そうなった時のために対応出来る条例などをきちんと整備して施行する事や問題が出てきた時にしっかり対応し適切な措置をとる事を札幌市さんには約束していただきたい。情報提供、関係機関との連携という言葉では足りないのではと感じます。地域に丸投げされても住民だけではどうする事も出来ないと思いますので。		結論を出すのはそれからにしていただけないでしょうか。 個人的な意見ですがやはり不安がありますので賛否となると現状のままでは反対です。
303	自治体が、学校法人でもなんでもない、ただ営利目的の外資企業に日本の土地をタダ同然の金額で売り渡すな地域や日本を守ることも自治体の使命だ	すべてが不安 納得できることは一つもない	やらないでほしい、やらせないでほしい、撤退せよ	外資に札幌市の土地を売り渡したり優先的に事業をさせることを誰も望んでいない 自治体職員は、現行制度だけで判断せずに、今世の中で何が問題なのかをよく考えて仕事をしなさい 市議会議員はきちんと役割を果たすこと 議員は責務を果たしていない
304		この静かな地域にインド人や外国人が増えることによる犯罪の増加や、宗教や価値観の違いによる女性や子供等への性犯罪が絶対にはないとは言えない。 ヒンドウ教やイスラム教は男性優位の教えであると認識しています。 建物は避難所として利用するとしていますが、大きな地震が発生した場合に、建物は大丈夫でも内装材等の建材が破損する事が考えられます。 その際破損した建材からアスベスト等の有害物質が飛散し、避難民への健康被害が発生する事が考えられますが、どのような対策をするのでしょうか。		一定レベルの日本語を話せない外国人は通わせないでほしい。 旧常盤小学校は、貴重な札幌市民の財産です。 日本人である札幌市民の為の福祉の増進となる様な土地活用、建物活用をしてください。 外国人に土地や建物を売らないで下さい。
305	他の地域でもインターナショナルスクールを運営している実績があると言っているが、スクールの周りが外人村のようにになっているスクールもあると聞いている。自分が住んでいる地域がそのようになるのは絶対に嫌なので反対です。	日本人が高い授業料を払って通うほど魅力的な学校と思えない。わざわざ不便な場所のインターナショナルスクールを選ばないと思う。結局通うのは中国やインド系の家庭のみになり、実質移民受け入れの基礎作りと変わらないと感じる。異民族を受け入れることは全く簡単なことではありません。治安悪化が一番心配です。 子どもが1人で出歩ける環境を奪わないでほしい。	公募提案審査委員会において次点候補だった事業者を繰り上げ当選させるべき。得点がたったの2点差で、審査項目でもGIE社を上回っている点数があるためそこを評価すべき。スーパーもない地域のため、光栽培の野菜は大変ありがたい。	南区に住んでいる日本人のためになる活用をしていただきたい。外資系企業に格安で販売するのは断固として反対です。
306	地域と関係する事としては地域貢献だと思われる。校庭や体育館の開放…校舎内も地域の大切な場所でありスペースを区切ってでもどの世代でも利用できる交流ができ憩いの場となるべきではないか。図書コーナーなど。校庭の開放はどの様になるか？ 体育館の避難場所として確保については、10年経過以降も継続保証されるのか？ 地域雇用は具体的に清掃職などの他どの様に考えているか？	地域に充分説明を尽くしている等と言っている住民もいるようだが、インターナショナルスクールの件がお知らせに載ったのは最終の10号であり、それには既に優先交渉権者にGIE社に決定したと報じられ審査委員会の存在も見えてきた。住民とこの件の接点はそれまでは検討委員会。色々なことが降って湧いてきた事になる。 今の日本や海外の情勢をみても懸念を抱かざるを得ない事態が一方向的に地域の理解を得ないままに進められている。このまま進めても入る生徒さんが可哀想では？ もしも数年通って途中何らかの理由で退学等になった場合、日本国籍の子供さんに対してはどの様に対応するのか？ 住居地近くの学校に編入できませんよね？就学義務を履行していないのですから。		リースでなく、売ってしまう事はおかしいのでは？ この地域は交番も消防署もない地域。GIE社となる時には交番の設置が必須。以前から地域として道路の拡幅と交番設置を要望していて叶わなかった事もあり必須条件。何もないかも知れないがあるかもしれない。 あった時の対応策を示すべきでは？ 説明会の開催を希望。住民も理解して跡地活用に関わるべきではないか？ 出来れば、ピン差で2位の企業の内容も伺いたい。地域にとってどちらが有益か、安心か、地域のコミュニティに貢献してもらえるか、住民の幸せに繋がるか、住民にも考えさせて貰う事が必要である。

No.	設問１：グローバル社の事業計画に関する質問	設問２：懸念や不安に感じること	設問３：事業に期待すること	設問４：その他の意見
307		質疑応答集から大体の事は把握しましたが、江別パキスタン村の二の舞になるのではないかと、自分の街の治安が悪くなり安全に暮らせないのではないかと懸念しています。最悪家を売り他所へ引越す事も視野にいれてますがあってはならぬ事。また販売価格を知り、あまりの安さに驚愕。札幌市は常盤地区の未来のビジョンを住民抜きで進めてる様にしか感じられません。街の行方に再考を望みます。		
308	民間に売却する事、とくに海外の人がここを所有する事は、絶対に反対です。出来ても緊急事態の際の避難先として使用が可能であり、また自衛隊の出動を要する緊急事態での使用が可能とした上での長期貸出が妥当と考えます。	海外企業、特にアジア大陸から我が国に侵略行為を行う可能性のある国に関連する企業の手に渡る可能性があることは、国防上で危険な行為と考えます。恵庭の陸上自衛隊が有事の際に、山側の国道を経由して札幌市内に部隊を展開させる可能性があるため、除雪も最優先で作業すると聞いたことがあります。常盤小学校の位置は、海外の部隊が急襲して占拠する事で、自衛隊活動が阻害されます。しかもその際の背後に住民がいる事で、自衛隊がそれらを排除できなくなると思います。 陸上自衛隊に売却に関しての確認しましたでしょうか？	現在の芸術の森小学校、常盤中学校の学生は同じバス路線を使用して通学している現状にて、違う国籍の人と接触するメリットと、価値観が異なり大声で喋ったりするマナーの悪い人達が乗り込んで来るデメリットの比較は難しい。	
309	今後、日本人と外国人（外国人の場合は、国別）で割合の上限を決めているのか？ 地域に根付いた学校を目指すかと聞いているが、日本人が70～80%を下回る場合、外国人の為の学校になると思うのだが？	シンガポールに本社があると聞いています。私はシンガポールに住んでいました。日本と比べて、外国人労働者や移民に対して法整備が整っており、国民含めて様々な罰金制度もあります。それなのに、HDBの窓から炊飯器を持ってお米を捨てているインド人や、外で用を足している人もいました。数年前には、酔ったインド人がバスを倒して火をつける事件もあり、夜間の酒類販売禁止が定められました。日本は、法整備の前に移民政策を推し進めたり、何か犯罪が起きてから、上記のようにすぐに禁止を定める事にも時間がかかります。このような状況で、地域に外国人が増える事は、懸念や不安しかありません。期待等は一切ありません。	無し。敢えて言うなら、日本のルールや慣習を必ず守る事。	旧常盤小学校の活用について、地域の住民も活用できる場にするとの事で、募集していたのですよね？ それなら、真駒内駅前の学校のように、全世代が利用出来る場所に出来なかったのか？ 自主学習が出来る場所や、このWEB回答のように、今後はパソコンやスマートフォンを使えないと難しい事が多いと思います。レストランに行っても、モバイルオーダーであったり。JRの問い合わせでは、電話でのやり取りは出来なくなりました。パソコン講座等の色々な講座を開く場所にするなど、もっと活用方法はあるはずです。グローバル社のように、特定の年齢にしか使えない物は望みません。
310	採用スタッフに関して 日本人スタッフや日本語で対応できるスタッフの割合は何人くらいか 常時 日本人や日本語で対応できるスタッフがいるのか 緊急時の避難場所として使用される場合 日本人や日本語で対応できるスタッフが対応するのか 通学する学生の国籍(外国人と日本人)の割合	通学時間帯などに道路の渋滞 公共交通バスの混雑 生活習慣の違いなどで地域住民とのトラブル などが懸念される	期待することは特に無い	地域住民に対しての説明が不十分で 理解が得られない
311	学校運営が適切になされているか、監督・監視できる組織を設立し、構成員の半数以上は地域住民で構成されるようにしてほしい。学校はその監督・監視組織の指示下に置かれることが望ましい。	資料には学校運営の綺麗事ばかり記載されているが、地域への負担について触れられていない。どれだけ地域生活に危険やリスクをもたらすのか、もたらさないなら具体的な対策を示してほしい。常盤地区に住んでいる人の大半は静かで景観と治安に優れた住環境を求めており、この小さな町に得体の知れない外国人が大学として押し寄せてくることは驚異ではない。特に中国人はリスクそのものであり、中国人が教員や関係者、生徒として流入してくることは断固反対する（韓国人も似たようなもの）。 北海道は外国資本に森林資源、水資源、ニセコや富良野の土地！釧路のメガソーラーといったものを売り渡した結果、未来に向けた負の遺産と安全保障上のリスクを遺すことになってしまっている。本件はまた同じ過ちを繰り返すものになるとしか思えない。 学校へのアクセスは一車線の国道453号線のみであり、路線バスは減便甚だしい中央バスしかなく、交通渋滞、バスの混雑が懸念される。仮に住民の反対意見を無視して学校が設立されるのであれば、学校関係者、生徒、その家族は自家用車も路線バスも絶対に乗らず、学校が用意する送迎バスしか乗らないことをグローバル社のみならず札幌市も連帯責任として保証すべき。地域住民との分離、接触回避を誓約してほしい。 また、学校への通勤や通学も懸念されるが、関係者や生徒家族が常盤地区に転入してくることはあるのか。学校の敷地内だけならいざ知らず、敷地の外に出てくるのであれば、治安悪化がとても懸念される。	正直、学校運営事業はどうでもよい。事業がうまくいかず、早期撤退してくれることを期待する。開校を強行するのであれば、どれだけ地域にメリットをもたらすのか（地域経済へのメリット含め）、具体的なKPIを示し、達成出来ない場合はどうするのか、予め公約として掲げておくべき。	もし地域社会になにかしらの不利益をもたらしたり、トラブルを起こした場合は行政が強制撤去できるような契約にしておくべき（撤退条件として契約条項に盛り込んでおくべき）。

No.	設問１：グローバル社の事業計画に関する質問	設問２：懸念や不安に感じること	設問３：事業に期待すること	設問４：その他の意見
312		ヨーロッパ等の移民難民の様子を見て、日本も外人が増え秩序がなくなっていくのでは…と心配です。 インターナショナルスクールができる事で、この地域に外人が集まって来るのでは、と懸念します。		このインターナショナルスクールの事、説明会の直前くらいに回覧が回って来ましたが町内会の役員さんは予め知っていたのでしょうか。 私の周りの人は（役員ではない人）誰も知らない感じでしたが。 札幌市の、つながるさっぽろ条例 この条例に札幌市民は皆賛成なのか疑問です。 多文化共生を押し付けないで欲しい。
313	・どの程度日本人の子供が通う想定ですか？ この地域には新設の芸術の森小学校があるのに、この僻地の立地条件に札幌市民の需要があるのでしょうか。 近辺の家庭では芸術の森小学校に通う子供が多いと思います。 また、東京ほど進学に関心がなく、富裕層も多くはありません。更に、札幌には他にもインターナショナルスクールがあります。 就学義務が果たされないインターナショナルスクールに、もはや少子化傾向の札幌市民の需要がどれほどあるか疑問です。 そのため、この学校が存続するためには外国人ばかりを呼び込むことになるのではないかと懸念しています。	・学校近辺に、多くの外国人居住者によるコミュニティができるのではないのでしょうか。スクールバスの利用を想定しているとのことですが、通常子供のことを考えれば、スクールの近くに住もうと考えるはずです。外国人が多い地域となれば、外国人による外国人のためのルールが自然形成されていくのではないのでしょうか。 ・同じ地域にある小中学校との摩擦が起きる可能性を懸念しています。 ・日本のルールやマナーは誰がどう教えて行くのでしょうか。守られない場合は、札幌市及び札幌市長が責任を負い、市が指導していくのでしょうか。	・本件の事業撤退に期待します。 株式上場されていない会社のようなようですので、出資者の実態など不明瞭な点が多いです。 ・札幌市はこの企画を白紙にするという判断はないのでしょうか。	・説明会の質疑応答にて、本件は町内会の上の方で決めた、と説明した町内の方がおられましたが、町民は知りませんでした。決定前に町民と市の間で話し合いが必要だったのではないのでしょうか。 ・南区では豊平峡温泉やノースサファリの件が長年放置されていて、SNSで話題になってからやっと着手された経緯があり、本事業において問題があった場合、適切に対処がなされるかどうか懸念があります。 ・旧常盤小学校の土地を売却するのに、この値段は格安ではないかと思います。 ・創立百年近くの学校地に近辺の人は思い入れがあるのは当たり前です。なぜ土地ごと外国の所有にするのでしょうか。 ・この質問状の結果は札幌市民全体に分かるように公開するべきではないのでしょうか。何戸に配布したのか、説明会は何戸に知らせたのか、具体的な戸数を公開すべきと考えます。 ・芸術の森地域にのみ本件のお知らせや質問状を配布しているようですが、サンブライトや石山東地域にらせているか存じませんが、本件について知らない住民は多いと聞いています。 ・説明会にて、市の担当者の方が、バスの運転手など、外国から沢山の労働者を受け入れ、その家族のためにもこのスクールが必要だというお話がありました。スクールの開校は、育成就労制度や特定技能制度の外国人受け入れに合わせで決定されたのでしょうか。
314	特になし	外国人が増えること	特になし	売却はやめてほしい リースにしてほしい
315		1.日本の文化の破壊、生活習慣を十分理解させる事 2.日本人と平等に使う事ヘイトの問題	本書類で十分ご理解する事は困難である。 行政で善処されたく願する	同上
316		一度にたくさんの海外の子ども達、日本の子ども達が、 かよふことになります。保護者の送迎等の交通量の増加や治安などが心配です。できれば、交番等の設置も検討してみただけませんか。		
317	なし	治安の悪化	異文化交流、地域住民のコミュニティづくり。	交番を新設。警察巡回の強化。
318	無し	無し	無し	無し
319	学校法人でもなく 就学認定もされない事から意味があるのでしょうか。この会社は営利を目的とする企業ではないですか。	すでに国内で開設されているスクールにおいてトラブル、事件、事故の実態調査はしていますか。今後、住民が被害を受けた場合の札幌市としての責任の明確化を計ってもらいたい。	地域の活性化と人的文化交流	治安の維持に関する具体的方策
320	入学条件は? 学費は?(想定ではないもの)	・職員、外国人生徒・家族の日本文化・慣習への理解は? ・バス利用に伴うラッシュアワー解消施策について、市とバス会社はどう対策する?	周辺の町内会、市立大学の行事等への参画	グローバル社の説明資料のプリント(今回、同封)は次ページ毎、上下逆さまで見辛い。市の方で改善してプリントする配慮なし。こういったことが市政にもあるのでは?
321	資料を読む限り、当法人の使命は「国際的エリート養成」と考えます。	住民説明会等の報道で、反発が大きかったこと。(出席しておりませんので)	特にありません	地域住民やスクール利用者の安心、安全を第一に考えていただきたいと思います。 (今後は保護シール等の添付をのぞみます。デリケートな問題なので)
322		開校当初は、授業料等を鑑みると比較的所得の安定した常識人が利用すると思うが、将来的には様々な援助を受けた低所得層が中心にならないとも言えず、治安面で不安が有る	とにかくキッチリと運営してもらいたい	跡地を無駄にするのは勿体無いと思う。公募によってナショナルスクールしかなかったので有ればそれは致し方ないが、アジア系が中心と言う事がネックで、同じアジア人でも日本人とはあらゆる面で違い拒絶感を隠せない。
323	なぜ常盤に、子供が少なく廃校になったのに学校をつくるのか?	生徒があつまらずまた廃校になるのではないか。	地域のサークル活動にも使えるようにしてほしい。	スクールバスではなく、路面バスの利用 バス増便できるようにしてほしい。
324	これまで開校されたスクールは計画通り推進され現在は何の様になっているのか?	全国で懸念されている外国人と地域の摩擦が心配である。	地域の子供達との交流	
325		特にありません		

No.	設問１：グローバル社の事業計画に関する質問	設問２：懸念や不安に感じること	設問３：事業に期待すること	設問４：その他の意見
326		反社会分子が増えることがないのか？ グローバル社の健全性は大丈夫か？	地域の活性化	
327	ありません	ありません	ありません	ありません
328				共に生活するのであれば日本（公共の場での）のマナー秩序 そして衛生環境等をしっかり学び生活することを望みます 尚、札幌市によるしっかりした指導（継続的に！！）を望み ます。
329	貴社が運営するインターナショナルスクールでの過去の問題 件数は？ 高等部の年齢制限はあるのか？	外国人が増えることで治安の悪化が懸念点。中年～お年寄り が多いので心配。	海外の文化をより身近に感じられたら嬉しい、食文化等。	治安悪化だけが心配。外国籍の方は日本で裁かれないイメー ジが強いので、そこを払拭するような誓約は欲しい。
330	特にありませんが、地域の人達に、わかりやすい説明を望み ます。	80代を迎えて地域、個人等で新しいことがある事は全て不安 につながります。今までどおりこの地域に、なんの不安もな くおだやかに暮らしたいです。	地域の人達も利用可能なことも望みます	
331		地域住民への情報発信が少なすぎます。もっと早くていねい に情報を伝える努力をすべきです。 私もそうですが、全く知らなかった人が多くいます。	市は売却する事業者の売却後の事業内容をしっかり管理し、 問題があれば事業の停止ができる形で行ってほしい。（期限 を設定せずに）	テレビで自宅の映っている映像が無断で流れていました。非 常に不快で迷惑です。
332		治安の維持		現環境の維持
333	立て替えて使用するのか？ なぜなら、避難経路に問題があるとされている学校だと聞い ていること。体育館は、雨もりがすること。 それを踏まえて買い取ったのか。 避難場所として、体育館を一般開放することとして疑問が残 る。			
334		途中で他の校からの転入または他校への転出は可能なの でしょうか		私は常盤一区町内会に住んでおります どのような個人、団 体がきて活動するにしても町内会および周辺町内会ともに仲 良くやってくれることを願うのみです。 今回の説明会をもう少し早く開催してほしかったと思う一人 です。
335	地域にある、伝統、風習エチケット等になじめるのか？	スクール運営に文科省か、役所が関与できるのか？	各国との交流、理解しあえることになるのは期待する。	将来にわたる関係性（良い）が増進できるのか、不明なら反 対
336	なし	生活のルール・マナー（ゴミ分別、バス・地下鉄の中、コン ビ二等）が守られることを祈ります。	地域の活性化になりますように	
337				【1】地域住民としての立場 旧常盤小学校の跡活用については、早期の売却を望んで多少 の関心をもっていた。 町内回覧の「学校跡活用検討会議のおしらせ」（短時間で回付 する）程度の情報しかない中で、不動産鑑定額4,710万円が、 いきなり2,220万円に減価(特に説明はなし)したことに疑問を もった。 また、検討会議の位置づけは、地域の重要事項について意思 決定のできるものではなく、単に市の説明を受けて地域に情 報提供するものと捉えていたが、検討会議からの情報提供は 特に何もなく、この間状況をみていた。 そういう中で、開催された「地域説明会」（不参加、議事概要 より）、および今回の送付資料から、いくつかの懸念をもっ た。

No.	設問１：グローバル社の事業計画に関する質問	設問２：懸念や不安に感じること	設問３：事業に期待すること	設問４：その他の意見
337				【2】懸念事項 1. 「学校跡活用検討会議」については上記の考えで、特段の権限をもったものではない。その設置をもって市がすすめる手続きのお墨付きとはならない。 2. 当該スクールは学校法人ではなく、義務教育の履行とはならないとある。法で定める一条校に該当せず、第一種低層住居専用地域の用途に反しており、当該企業が学校として運営することが可能なのか。また、用途変更を行政が先取りした場合の契約締結となると問題と考える。 3. 義務教育の履行と認められない機関に、優秀な人材(教師・生徒)が集まるのか。日本人が50%以上で、GX、エネルギー関連等の高度人材の受け皿としたい市の目論みとはほど遠い。 4. 同時に売却をすすめた石山東小学校は、スムーズにすすんだ。排外ではないが、外国資本にたいして信頼感を持ってないことが影響しているか。優先提案者の当該企業は、サウンディングはなく公募があったと思われる。当該企業は外国投資会社の出資もあるようで、投資に見合う収益の確保ができるか、用途指定期限10年後の事業継続に懸念する。 5. 「公募提案審査委員会」のスコアリングシートによる採点は、委員の主観(知見)やプレゼンに影響される項目がある。委員会は諮問機関とは思われず、スコアリング結果を全てとしない判断が求められる。 【3】結語 「公募提案審査委員会」報告の6. 講評・付帯意見では、甲乙つけがたい提案であると、次点提案者(学生の記載があり教育機関か)を高く評価している。 2点差(うち1点は、運営・理念ではなく売買価格差)であり、評点結果は誤差の範囲である。上記5の考えからも、契約締結は次点提案者含め、総合的な判断が求められると考える。
338	将来、（10年後とかに）別の事業主に転売する可能性もありますか？ いつの間にか学校ではなく別の団体になっているとか…	14、15の質問に対する答えが、弱くて懸念払拭に至りません、不安です。	子供達が学び、卒業した思いいれのある学校、校舎なので野ざらしでボロボロになるのは淋しいです。地域の参加が活発な地区なので、一緒に活動できるといいです。近くには市立大学もありますし。	外部の方や卒業生は参加せず、地域住民・札幌市・GIE社のみの説明会があるといいです。 平日なら仕事があるためで夜だと助かります。
339		治安	地域の人々が楽しくスポーツや運動ができたり、おしゃべりができ、お茶飲みなどができる様な交流の場が良い。	
340	地域にとって明るい材料だと考える一方土地建物が外国籍になることですね。 授業料が高く最終的に600人を目指せるのでしょうか	⑱Qについて理解が出来ていません 治安等、リスク等の心配事は、解消されていますか 納得のいく説明があれば安心材料であるなら	地域連携協議会 どのような方と、どのような中身で話されるのか オープンなのか	新聞報道が先でしたネ 再度説明会がありましたら参加します 出来れば2番手、3番手もどのように手をあげられたのかも 知りたいです賛成・反対どちらにも手を挙げられません

No.	設問１：グローバル社の事業計画に関する質問	設問２：懸念や不安に感じること	設問３：事業に期待すること	設問４：その他の意見
341				・質問1 「公募提案審査委員会」のメンバーの職業等とか人数について教えてほしい。 ・質問2 「事業計画書」の内容が、公開されていないがどのようなものか。 ・質問3 違反した場合は、売買物件を買戻す事になっているが、相手方がつかめない場合はどうするのか。 ・質問4 札幌市内にも、インターナショナルスクールに似た学校もあると思いますが、現状についてどの様な調査がなされたのか。 ・質問5 生徒の学費等何かしらの金銭がかかるが、その裏付けとなる親等の生活レベルは、どのように考えているのか。 ・質問6 先生や職員の生活環境をどのように整えていかれるのか。 ・質問7 「ご説明資料」について、ページ数が明示されておらず、数ページは、反対に印刷されているが、これでは質問も説明時にも不便と思うがいかがですか。 ・質問8 海外校の様子で、校舎外観が出ているが、実際建築されている建物なので、パースがえがかれているが、何故か。 ・質問9 校舎と生徒達が写っているが、建物の割には子供達の人数が少なく思われるが、いかがなものか、 ・質問10 国内における学校について、実地調査でトラブルetcを把握しているのか。 ・質問11 生徒数推移予想が、直線的増加する様に表現されているが、現実的には、この様な事はありえないと思うが、いかがか。 ・質問12 生徒や保護者に対するサポートを厚くする様に表現されているが、日本の子供達に対するフォローもあまり的確だと思わないが、絵に描いたもちではないか。 ・質問13 ・南区でも、地域の主体である町内会そのものが、低調であり、総会では、解散という声もあがっている…札幌市でも町内会関係の条例が作られているが、その辺の情報は、市民にもあまり周知されていないと思う。 この提携する団体が無いのに、地域住民とのふれあいはむずかしいのではないか。 ・質問14 ・避難場所としての位置づけは、大変重要で、石狩湾から津波がおそって来た場合、札幌の中心部は壊滅状態です。 この地域は、TV塔と同じ高さにあり、被害は少ないと思われる。避難民がここに殺到する事が考えられる。 水は大丈夫だが、電気については不安であると思うがいかがか。 ・質問15 「OWISの生徒数推移(実績と推計)」のグラフにおいて、統計の基準が変化しているのは何故か。（8月が基準日になっている!）
342	なし	片側1車線の国道での渋滞や小学生から幅広い年代でバスを通勤、通学で使用しているが、バスの減便でものすごく混んでいるのが常である。これ以上のバス乗車客が増えた場合、かなり影響を及ぼす可能性が高いが如何か？	なし	なし
343	特に無い。	現時点で恐らく想定外の逆風に晒されている面があると思うので、札幌市、事業者共にこれまで以上に情報公開の透明性確保と丁寧な対応を望みたい。	特に無い。	特に無い。
344	なし	なし	なし	なし

No.	設問１：グローバル社の事業計画に関する質問	設問２：懸念や不安に感じること	設問３：事業に期待すること	設問４：その他の意見
345	この地で、10年後 インターナショナルスクールとして成り立っていると思いますか。	日本国土の 減少に繋がらないか心配です。	制約が無くなっても 真摯な態度(教育姿勢)を望みます。	子供達の笑顔が続きますことを祈ります。
346	資料を拝見しましたところ運営母体は一般企業ですね。果たして経営的にみてやっていけますか？ 当学校を卒業しても日本の定められている就学義務が果たされないですね。そう考えると日本人は特に難しい様に思います。また外国人の場合はどの様なメリットがあるか良く分かりません。南区以外からも入学者があった場合、送迎バスで対応可能か？	授業料も高いですね。昨今高校は授業料無償の国内です。未就学児～中学生にしても一月15万円前後掛かります。これ位の頃の親の収入を考えると厳しい様に思います。金持ちの親御さんでなければ難しいのではないかと思います。また給食はあるのか記載されてない？	私が上記に懸念している事が問題無く順調に進んだ場合事業として経営が成り立った場合、この学校を卒業されたら多様性を持った若者、英語力も有りいろいろメリットがあると考えます。	審査委員会で決定されたと記載有りますが委員の方々はどうのような方ですか？可能な範囲で結構です。また、次点提案者はどのような方(企業)ですか？これも答えられる範囲で結構です。お願いします。
347				
348	何故札幌に進出して来たのか？	地域の外国人化	国際色豊かな人材育成	より正確でオープンな情報発信
349	ありません。	バスはスクールバス以外は通学に使うのですか	ないです。	
350				根拠なき不正確な情報を発信する者に対して法的措置を取るべき。
351		移民問題、不法滞在	地域活性化	
352	無し	無し	無し	送付していただいた質疑応答集の資料は、概ね正確としても二次情報です。地域説明会は公開として、今の時代ネットで閲覧できるようにするのが、より正しい理解を得られるものと考えます。
353	進学のための国内、国外に係る資格が開校するまでに認められるのか不安がある。入学をしたはいいが国際力を身に付けられる教育を受けても上位学校へ進学が出来ないことにはならないのか不安。外国人が往来することによる治安悪化防止のための警察と市役所の協議を行うのか？管轄する交番が石山交番なので常盤にも交番の設置要請を市役所から警察本部への要請は？	治安悪化	国際力を高める教育方針は良いと思うが実際にできるか不安	なし
354		スクールバスの停車による渋滞		
355		学年が上がってくると通学にスクールバス以外を使う生徒も出てくるだろうし、バスの混雑が今以上のものになるのであれば、適宜本数を増やすことが出来るのか？ 学校付近に住む人が増えた場合、学校付近からバスに乗る人が増えて、バスがこれ以上混雑するのは避けて欲しい。対策を中央バスだけではなく市でも考えて欲しい		
356				特に意見はありません。
357	無し	職員は外国籍の労働者も含まれるのか、だとすれば労働者当人の社会的安全性は保たれてるのか（犯罪歴の有無、過激な宗教思想等）	地域の活性化、南区の人口増、税収増	
358				
359		登下校についてスクールバスがあるとはいえ、中央バスの利用が大幅に増えると見込まれる。 現時点においても外人観光客増加に伴い混雑している場面が散見される。常盤地区は真駒内駅に行くための公共交通機関は中央バスしかなく高齢者、通学生も多い。スクールバス及び中央バスの増便、あるいは地下鉄延伸等、地域全体の移動手段も重視しなければならない。 札幌各地から登下校するとは言え、常盤地区の外人居住者は間違いなく増える。地域の発展としては反対ではないがその分近隣に医療機関、スーパー、ドラッグストア等の増設及び公共交通機関の拡充等、常盤地区の現状を踏まえ近隣の生活環境も大きく整えていかなければ成立できない事項が多々出てくるのは明白である。		
360		東京、大阪、つくばの開校後地域住民とのトラブル等発生の事案はなかったのでしょうか。		
361	近傍の子供達などを対象とした、放課後英会話教室(有料)などの具体的な計画はありますでしょうか？	職員及び通学生等、不法滞在者の受け入れは確実に防ぐことはできるのか？	地域と確実な合意がとれ、仲良く共生できること	方針として常盤地区自治会の決定に従います。

No.	設問１：グローバル社の事業計画に関する質問	設問２：懸念や不安に感じること	設問３：事業に期待すること	設問４：その他の意見
362		渋滞 芸術の森小学校ができて、通学路の交差点が時差式の信号に変わってから、交差点を先頭に渋滞が発生しています。 自宅から国道へも渋滞でなかなか出られず、特に通学通勤時間、土日の9時～11時頃の渋滞発生は生活道路として大変不便になりました。 国道も片側1車線のため、渋滞解消の手立てはないと思います。 札幌市として、そのようなことは検討せずにプロジェクトを進めているように感じます。 スクールバス2台のみだから渋滞はこれ以上発生しないなど、安易な考えではなく、生活道路であることを念頭にしていたきたい。 本来なら、芸術の森小学校を作る際に検討すべきことだったのでは？と思いますが、学校を設けるならば、再度検討すべきことではないでしょうか。		
363	5項目あります。 1. 質疑応答集(届いた資料) について 応答集の番号とコメント ・4 グローバル社の点数が高かった項目は、今回の審査より満点基準が上げられておりかつ、採点基準の中には共生に絡む文言が追加されていました。 そして次点候補者が高かった項目は満点基準が引き下げられているのも確認できます。 秋元市長は定例会見で、「市からの働きかけ誘致はない。共生とは切り離して検討を行った」と述べているが矛盾しているように感じました。 このあたりについての回答を再度お願いできますか？ ・5、 19 ここは、第一種低層住居専用地域だと思うのですが民泊施設や外国人向け住宅街は建設許可がおりないが外国人専用学校・宗教施設は許可がおりるのでしょうか？ もしそうであれば、10年後以降にこのようなことが起こりえる可能性はありますか？インターナショナルスクールに関して懸念は無いのですが上記では地域住民の不満を伺える新聞記事を目にしたため不安に思ってます。 ・14、15 マナーを守らない人が、そもそもそのような講習及びコミュニティに参加するのかの懸念があります。 現在、ある公園周辺では、一部居住者による騒音マナーに関する問題が発生しており、平日・休日を問わず毎日長時間にわたる作業音により、生活に支障を感じている住民がいると聞いております。 こうした事案について、苦情を申し出た際のトラブルや報復への不安から声を上げにくい心理的状況が生じていることも懸念です。 これらは犯罪には該当しないため統計には表れにくいものの、日常生活への影響は小さくありません。 このような現状を踏まえると、地域の受け止め体制や相談窓口、責任の所在が明確でないまま、進めることには強い不安を感じています。 このことを踏まえて検討を進めていただけることを期待します。	全6項目あります。 1. 住民への周知について、なぜ隣接しているサンブライト町内会には 説明会が終わった後に通知したのでしょうか？ 少し離れているアートパーク町内会には届いてました。 現在、芸術の森小学校の東側にメガソーラーを建設中ですがこれももしかするとアートパーク以外には説明会実施済なのでしょうか？ 市の住民周知のプロセスに少し疑問を持ってしまったのと今後気をつけると説明会で返答をいただきましたが、原因が不明だったので 太陽光発電の件も含め、なぜ周知を行わなかったのかの説明をお願いいたします。 2. 20年ほど前に常盤公園でのポンプ場設置についても地域住民への周知が十分と言えず市のプロセスで揉めた経緯があります。 今回もそれに似た状況になっているため同じような状況にならないかを懸念しています。 3. 何か問題が起きた際の対応について想定外・前とは事情が違う・採算性が合わないので再検討が必要等の理由で、市の対応が継続されなくなることを懸念しております。 近々ですと、里塚霊園火葬場の案件になりますが、地下鉄沿線の約束について、この発言を確認しています。 問題が発生する・しないかが分かるのは10年後20年後の未来であるため、この里塚の件が将来常盤地区にも起こりえることではないかと不安に思ってます。	陳情書の件、その後どうなりましたか？ 反対派が不正を行ったかのように受け取られかねない報道が多いように見受けられましたがその一方で、賛成・反対いずれの立場についても公平に検証された結果が示されていないように感じました。 このような段階で毎回メディアに公開されている点に懸念を感じました。 結果が確定していない段階での発信が、さらなる混乱を招いていないかこのあたりも合わせて検証していただけることに期待します。	現在の状況では、住民が自由に意見を言える環境が整っておらず、SNS等において、意見募集実施前後に偏った情報が流れたことで、市民の発言が、一定の影響を受けやすい状況が生じていると考えます。 また、同時期における行政・議員・メディアの発信に偏りが見られ、行政の中立性・公平性に疑念が生じています。 その結果、地域内でも正常な合意形成が困難な状況となっていると思います。 最初の段階で、市・連合会・PTAにおいて反対の声が上がらなかったとされていますが、そのこと自体が、情報提供や議論の前提に偏りがあったことに起因する可能性もあると感じました。 このまま計画を進めても、本当の住民の意見を反映した結果にはならないと思います。 インターナショナルスクール開校に反対ではないのですが計画を一度白紙に戻し、中立性・公平性のある立場で説明責任を徹底した上で、最初から住民の意見を丁寧に聞きながら進めていただきたいと考えます。

No.	設問１：グローバル社の事業計画に関する質問	設問２：懸念や不安に感じること	設問３：事業に期待すること	設問４：その他の意見
363	2. 旧常盤小学校跡地の利用(届いた資料) について ・5、8ページ 配布資料では日本人54%の箇所を強調されていますが2023年の記事を見ると70%以上となってました。 これは年が経つごとに日本人が減少していることを示してないでしょうか？ この減っている原因を教えてください。 ・同資料5、8ページ 教育関連サイトの記事によるものなのですがインターナショナルスクールに通った生徒の65%が途中退学してしまうという統計が出てました。 もし途中退学、進学時にインターナショナルスクールを断念した場合この地域から通っていた生徒は、芸術の森小学校や常盤中学校が受け皿となるのでしょうか？ 仮にそうなった場合、各学校の教員の負担増も懸念していますが受け入れ側の体制は検討されているのでしょうか？ ・11ページ スクールバスについて 開校時の50名で2台を想定しているのであれば数年後の650名では20台以上のバスに加え自家用車での送迎の保護者により、想定より混雑が見込まれないでしょうか？ また、運転手についてですがこの書き方からすると日本人ではないニュアンスに読み取れました。 個人的には外国の方でも問題はないと思うのですが地域雇用の創出も念頭においているのであればここは日本人を雇用する前提でなければ話が矛盾しているようにも思えます。 運転手は日本人の募集を優先させるという認識であってますか？ ・14ページ とても大きな文字で開校日をアピールされていますがこれは絶対後戻りはしませんとの意思表示にも見えてしまいました。 市が結論ありきで進めているように見えてしまい手続きの信頼性が損なわれてないか懸念しております。 3. 配られた資料には書いてませんが下記を海外の記事で確認しました。 ・2022年にマウンテンバッテン校が2年で廃校 ・2024年にサンテック校が3年で廃校 ・2023年にはブンゴール校の開校が遅れ保護者より返金を求められる騒動へ発展 ・2025年のつくば校も開校遅延 このことに若干不安を覚えたので なぜそうなったのかを、それぞれ説明をお願いしますか？ 4. 過去のつくばだよりを確認したところつくば校の売買契約前にはカルチャースクールを住民向けに解放することだったが開校直前になり中止になったとの記事が掲載されておりました。 こちらはどのような経緯で中止になったのか知りたいです。 5. 定例市長記者会見13回定例で下記の言質がありました。 ・市長の発言「グローバル社に働きかけはしてない」 ・TV局の発言「グローバル社より、市から働きかけがあったと聞いている」 市長の定例記者会見での発言と、報道機関および事業者側の説明内容の間に事実関係の齟齬があるように見受けられました。 どの時点で、どのような情報共有・認識があったのかについて、一次資料（会見記録・取材内容等）に基づき、市として整理した説明をお願いしますか？	4. 2025年11月4日の北海道新聞一面 「市が反対する市民に毅然と対応すべきだ」との市の幹部の発言があったのですがこれは市の総意なのか知りたいです。 言い方は悪いですが、市として「反対意見を切り捨てる」という意味に読み取れてしまいました。 条例が掲げる「共生」には意見の異なる市民との対話が含まれないのでしょうか？。 これはインターナショナルスクールの件も含めて他の案件でもこのような対応をされないかの懸念になります。 5. 個別の番組や局を批判したいわけではありませんが、報道のされ方全般について、住民として違和感を覚える点がありました。 説明会においては、感情的な行動を取った一部の場面が注目されやすくその結果、反対意見全体が過激であるかのような印象が生じていないかを懸念しています。 実際には、周知不足、審査の公平性、事業者の対話姿勢など、具体的に意見を述べている住民もいます。 また、検討の経緯や時系列が整理されないまま報道されることで、公募全体の流れと、今回の選定の経緯が混同され、読者や視聴者に誤解を与える可能性がある点も気になりました。 新聞やテレビ報道は影響力が大きく、意見募集や説明会の前後に偏った印象が広がると、住民が自由に意見を表明しづらくなる環境を生む恐れがあります。 その結果、後の市の行政判断にも影響を与えてしまうのではないかと懸念しております。 6. 同じく今回の件、議員・党員の発言も含めて議論が進み、結果として地域の問題が政争の具のような形で扱われている点を不安に思っています。 これから述べることは、特定の議員や政党を批判する意図ではありません。 しかし、議員・元議員という立場からの言葉が先行することで、住民が「差別的だと思われたくない」「批判の対象になりたくない」と感じ、本来であれば上がってくる意見が出にくくなる状況が生じていないかを懸念しています。 差別や排外主義と受け取られかねない言葉が用いられることで、賛成・反対意見を持つ住民が「発言すると否定されるのではないか」と感じ、意見表明を控える空気が生まれていないかについても、慎重な検証が必要だと感じました。 特定の立場や価値観に沿った発信が結果として優位に働き、住民の意見形成が偏ってしまう構造が生じていないか、市としても中立性・公平性の観点から検証していただきたいです。		

No.	設問１：グローバル社の事業計画に関する質問	設問２：懸念や不安に感じること	設問３：事業に期待すること	設問４：その他の意見
364	今回の問題で地域住民は大変不安に感じてる方も多く、町内会の役員会議でも説明会を求める声もあがりました。我が家にも小学生がいるので、治安悪化はとても心配です。今後は地域住民への説明会を行う予定はもうないのでしょうか？ こちらの資料が全てという事でしょうか？	移民問題が世界や日本で問題になっている点で、外国の企業が経営をする事に対しての不安はあります。日本人企業に買取って頂きたかったです。実際に千歳で不審者が多発していたり、人糞が家の敷地内で発見されたりしていると、知人は大変困っておりました。先日でも我が家の敷地内に不審な人が窓から家の中を覗いておりとても恐怖を感じました。今回の常盤小学校の問題に限らず、札幌市としても北海道としても土地の問題や、ソーラーパネル問題などは真剣に考えて取り組んで行って欲しいです。	インターナショナルスクールが出来る事に対しての懸念はなく、グローバルな人材育成に繋がる事に期待をしております。	札幌にはまだ外国人の方が少ない印象ですが、関東地方ではコンビニ店員は外国人がほとんど聞いております。人口減少対策に必要な面も理解はしますが、日本を大切にする為の対策も札幌市として、北海道として考えて欲しいです。 よろしくお願い致します。
365	聞いたことのない会社なので本当に計画どおり運営できるのか、事故等おきた時責任はとれるのか？	治安の問題。宗教的に混乱はおきないか？この会社はちゃんと教育のみに運営してくれるのか？	地域の活性化、多様化	授業料が高く、かつ義務教育としてみとめられてなければ、日本人の子供の入学はハードルが高すぎると思います
366				対応お疲れさまです。 ネットやメディアでかなりいろんな情報が出回り、正解な情報なのか？不正解な情報なのか？が分かりにくく地域住民としても正解な情報が難しいです。その為、今まで出されたニュースレターや先日議会に足を運びながら情報を集め自分なりに検討させて頂きました。自分が住み地域なのでこれからも住みやすく安全にと皆さんが考えていると思います。 1、学校跡活用検討会議について ここでの委員の方々の意見が地域住民の答えだと思わないでください。私は前に行われていた学校規模適正検討委員会に委員として出席させて頂いていましたが、その時も親たちの声より地域の声が大きく、私たちの子どもが通う学校なのにと嫌な思いをした経験があります。連合会の役員が多く、若い方やPTAの声が出しにくい状況だと思います。 2、グローバル社の学校運営について 説明資料の中に「地域連携協議会」の設置があります。私は地域で■■■■として活動しております。地域の学校となるため今後何かの関わりをしたいと考えております。教育もだんだん変化してきて、国際的な教育が問われる時代となってくると思いますが、インターナショナルスクールに通える生徒は高い教育を受けることが出来るが、それより、今、公立の学校に通っている生徒が大半なのでまずその生徒たちへの高い教育を検討して頂きたいです。 3、陳情について 全部目を通しましたが、陳情の中の半分以上は同じく、しかも札幌以外の方もいたり、知らないで名前を使われていたりと思憑性が疑います。今回の地域住民への対応は有りがたく思っております。地域住民の声を受け入れるのは難しいと思いますが検討のほどよろしくお願い致します。
367	日本に学校を作るわけですが、「日本の生活習慣・文化・マナー」などを学ぶカリキュラムはあるのですか？	私も説明会は参加させてもらいました。私の母校が外国人の持ち物になることに、不安感を覚えて参加しました。常盤以外の、すぐ隣の石山東、石山緑地越えてすぐの石山や藤野からも来られてる方がいらっしゃいました。もし、インターナショナルスクールができたとしたら、常盤だけの問題ではなくなるからです。それほど、「元常盤小学校が外国人のものになる」ということは、大変で重大なことだと思います。だからこそ、ニュースレターを配るのは、ひっそりこそこそと芸術の森地区だけではなく、もっと広い真駒内、藤野、川沿などまで周知徹底すべきです。 正直、この問題について、住民の方々の中には、関心を寄せていない方もいるかと思います。そういうよくわからない、という方たちに、インターナショナルスクールの薄い資料を見せて「こういう学校に生まれ変わります」と宣伝を打つのは、フェアではないと思います。今は、「ああそうなんだ、よくわからない」、という人たちの今後の生活に、大きな影響を与える可能性もあるからです。	ちょっと範囲が狭いけど、札幌市政がなんとか住民の方々に話していこうという姿勢はわかります。今後は、もっとお知らせする地域をひろげて、日本人の、札幌市民のための道を一緒に模索していけるといいと思います。	質疑応答集の8番では、「次点に権利が移る」とありましたが、次点はどんな交渉権者でしょうか？

No.	設問1：グローバル社の事業計画に関する質問	設問2：懸念や不安に感じること	設問3：事業に期待すること	設問4：その他の意見
367		せっかく説明会を開いたのですから、「もしインターナショナルスクールができたら、こんなメリット・デメリットがあります」という、客観的な視点からの説明もして頂きたかったです。例えば、メリットとしては、 1, 地域に国際色を感じることができる 2, 交流などでできれば、外国人について、理解を深めることができる というようなメリットもあると思います。 説明会では、生徒さんたちは、真駒内駅から専用バスで通学する、ということでしたが、学校の周りに移り住むご家庭もあるかと思います。さらに、学校の職員や、生徒さん、その家族をアテにした外国人相手の商売をする外国人も、移り住んでくる可能性もないとは言えません。 そういう、外国人がたくさん集まっている地域には、どんな変化があるのか、調べてみると、 1, 日本のごみを出す時のルール(指定のごみ袋を使う・曜日ごとに出すごみの種類と分別など)をあまり理解できず、川にごみを流したり、ごみを外に放置して、カラスなどに荒らされる。 2, あらゆるものの窃盗事件や、性的暴行事件が増える可能性 3, 宗教観や生活習慣の違いが溝を生んでしまい、なかなか埋まらない。 これらがデメリットになるかと思います。質疑応答集の14番と15番に、札幌市の「でも、がんばる」という内容の答えが載っていましたが、それでは、それなら安心だね、という回答を出すことはできません。そうなりますと、外国人が日本のルールやマナーを守らず困っている地域の警察や市政は、サボっていてがんばってないということでしょうか？ こうして少し考えただけでも、住民との間に軋轢が生まれるのは、簡単に予想がつき、それは想像以上だと思います。もし、デメリットの現象が起きたら、インターナショナルスクールが原因ということでしょう。なぜって、インターナショナルスクールができなかったら、ほぼ発生しない問題だからです。 そうになったら、インターナショナルスクールや札幌市は、その責任と対策についてどう考えるのか。 そういうところまで説明して初めて、説明責任を果たした、といえるのではないのでしょうか。 また、質疑応答集の1番に「緊急時の避難所になる」ということですが、もし災害が起きたら、地域住民は「外国人の土地に間借りして避難」ということになるんですか？ そのためにスクール側にはお願いすることになるって説明会ではあったと思いますが…現実的ではないのではないのでしょうか？避難時は、ただでさえ大変なのに、この上、慣れない外国の方にお世話にならなくてはならないなんて、心労100倍になりそうです。 もうひとつ、GIE社の方は、説明会では、「スクールに通う子供達の何割かは、日本人になる」と説明していたと思いますが、質疑応答集の12番の回答ですと、日本国籍の子供は通えないことになります。どんな日本人の子供が通うのですか？ もし、日本人がこのスクールに子供を通わせようとしたら、親としての就学義務を怠っていることになるわけですね。 このスクールがダメだと言っているのではありません。ただ、もっと日本人の、札幌市民のためになるようにしてほしいです。		

カテゴリに分類したご意見・ご質問一覧

～設問１～

GIE社の事業計画に関する質問（222件）

カテゴリ	ページ
1.1 教育内容・制度・学生属性・学校運営（85件）	質1-1～質1-3
1.2 説明不足・合意形成・回答への不満（20件）	質1-3～質1-4
1.3 将来の撤退・跡地利用・売却リスク・売買契約（18件）	質1-4～質1-5
1.4 地域格差・選定理由・地元雇用（1件）	質1-5
1.5 交通・道路安全（11件）	質1-5
1.6 生活マナー・近隣環境（3件）	質1-5
1.7 災害・避難所機能（5件）	質1-5
1.8 治安・防犯面（6件）	質1-5～質1-6
1.9 宗教・文化摩擦・移民政策（6件）	質1-6
1.10 外部干渉・風評被害（1件）	質1-6
1.11 肯定的・期待・理解（36件）	質1-6～質1-7
1.12 その他・全般的な質問（30件）	質1-7～質1-8

設問1：グローバル社の事業計画に関する質問（222件）

1.1 教育内容・制度・学生属性・学校運営（85件）

No.	1.1.1 学校運営・経営・施設・費用（26件）	回答集 ページ
61	（札幌市以外からの）中・高校生の入学を増やす為、寄宿舎を建設する計画は、あるか？	回1-1 ～ 回1-4
64	他地域でも卒業者がいると思うのでどのような所だったか体験談などを広報したり、周知が欲しい	
81-1	教員採用は、どのように行われるのか？北海道の人が採用される可能性はあるのか？	
81-2	教員住宅を学校近辺に建築するのか？	
109	特に無いが、採算が合うぐらい生徒が簡単に集まるものなのではないでしょうか？ 少子化の時代なので、将来的な事業計画の見通しについて知りたい。	
110-2	教員の体制と人数、並びに学校運営にあたる総人数はどの程度か？	
111-3	スクール運営体制と教員及び施設管理運営者規模、並びに地域住民に就労者を求めるのかなど、運営面での情報を知りたい。	
144	9月の説明会がデモ行為によって妨害されたと聞き大変残念な思いです。その後、グローバル社としては、当初の計画を進める方向でいるのか、或いは計画撤回もあり得るのか、現状をお聞きたい。	
147	校舎のリニューアルのイメージと資金の裏付けの公表を望みます。	
167	グローバル化といっても運営する株式会社は、信頼できる組織で安心できますか！	
168	きれいに使ってもらえるか？	
	敷地内に寮や住居を建てる計画はあるか？	
175	生徒や家族の住居の場所はどの辺りを想定しているのか？ 学校で不動産の斡旋などはするのか？	
181-1	学費が相当高いと感じますが生徒数は確保できるのか？	
184	20年余りで6校を開校しているが学校運営や経営は順調なんですか。	
194-1	現時点でどのくらいの地域から何人くらいの生徒を集める予定なのか？採算性はあるのか？	
195	学校運営のみの事業でしょうか。ほかは、ないと思ってよいのか。	
198-1	学費は、年間どの位なのでしょう？	
227	OWISとはどこの資本でしょう？	
246-2	避難所にもなるので、職員全員日本語ができるよう義務付けるのか。	
320-2	学費は？(想定ではないもの)	
324	これまで開校されたスクールは計画通り推進され現在は何の様になっているのか？	
329-1	貴社が運営するインターナショナルスクールでの過去の問題件数は？	
329-2	高等部の年齢制限はあるのか？	
333	立て替えて使用するのか？ なぜなら、避難経路に問題があるとされている学校だと聞いていること。体育館は、雨もりがすること。それを踏まえて買い取ったのか。 避難場所として、体育館を一般開放することとして疑問が残る。	
340-3	授業料が高く最終的に600人を目指せるのでしょうか	
363-8	配られた資料には書いてませんが下記を海外の記事で確認しました。 ・2022年にマウンテンバッテン校が2年で廃校 ・2024年にサンテック校が3年で廃校 ・2023年にはブンゴール校の開校が遅れ保護者より返金を求められる騒動へ発展 ・2025年のつくば校も開校遅延 このことに若干不安を覚えましたのでなぜそうなったのかを、それぞれ説明をお願いしますか？	
No.	1.1.2 学生属性・国籍・ターゲット層（16件）	回答集 ページ
25	多様な国籍、多様な進路に対応可能かどうか？	回1-4 ～ 回1-5
87-2	該当しない場合、小学生から中学生に年齢が該当する子供は、どのような子供が通うことになるのか？	
106-1	既存校生徒の国籍内訳の日本人割合が、大阪校54.7%、つくば校82%とのことであるが、札幌校ではどの程度の割合を見込んでいるのか？	
180	スクール数が多いところはインドが多いですが、札幌のスクールに多い人種はインド人が多くなるのでしょうか？また他に入る予定の人種を知りたいです。	
181-2	他校の実績で良いがどんな層の方が子供を入学させるのか？どういう目的で入学させているのか？	
192-2	他校ではどういう生活経済状況の子が在籍していますか。札幌での生徒集めの計画は。	
198-2	どのような家庭を対象にしていきたいのでしょうか？	
201	生徒の国籍について、大阪、つくば校以外の内訳について知りたいです	
212	外国人の割合を何割想定しているのか。どんな国の人、どんな宗教の人が他で運営している学校で割合を占めているのか。	
244	生徒数が6年で600名増加することについて、家族も増えると、1000人以上増加すると思いますが、この小さな範囲で可能だと思いますか？	
276	何故外国人を多数それもアジア系の人を扱うのか	
309	今後、日本人と外国人（外国人の場合は、国別）で割合の上限を決めているのか？ 地域に根付いた学校を目指すと考えているが、日本人が70～80%を下回る場合、外国人の為の学校になると思うのだが？	
310-1	日本人スタッフや日本語で対応できるスタッフの割合は何人くらいか 常時日本人や日本語で対応できるスタッフがいるのか 通学する学生の国籍(外国人と日本人)の割合	

設問1：グローバル社の事業計画に関する質問（222件）

1313	どの程度日本人の子供が通う想定ですか？ この地域には新設の芸術の森小学校があるのに、この僻地の立地条件に札幌市民の需要があるのでしょうか。 近辺の家庭では芸術の森小学校に通う子供が多いと思います。 また、東京ほど進学に関心がなく、富裕層も多くはありません。更に、札幌には他にもインターナショナルスクールがあります。 就学義務が果たされないインターナショナルスクールに、もはや少子化傾向の札幌市民の需要がどれほどあるか疑問です。 そのため、この学校が存続するためには外国人ばかりを呼び込むことになるのではないかと懸念しています。	回1-4 ～ 回1-5
320-1	入学条件は？	
363-4	旧常盤小学校跡地の利用(届いた資料)について ・5、8ページ 配布資料では日本人54%の箇所を強調されていますが 2023年の記事を見ると70%以上となっていました。 これは年が経つごとに日本人が減少していることを示してないでしょうか？ この減っている原因を教えてください。	
No.	1.1.3 教育カリキュラム・内容（5件）	回答集 ページ
35	IBDP認定校取得予定とはいつ頃迄に目処に？	
106-2	②上記①に関連して札幌校については、IBDP認定校申請予定とのことであるが、初年度における対象を幼児から小学5年生とし、その後に学年を拡大していくのであれば、IB-PYP認定申請、IB-MYP認定申請を先行して行うべきと思われるが、この点についてグローバル社の考え方は？	回1-6 ～ 回1-7
159	教育カリキュラムについて詳細な説明して下さい。保護者用の住宅施設は形成しますか？「地域連携協議会」は必須条件です。	
197	スクール概要では大阪校、つくば校ともに日本国籍は半数以上をあるが小・中学生に該当する年齢の子どもは日本の法律で規定された就学義務は果たされない。同封の「札幌市での計画」の資料に謳っている内容と地域の求めている内容に差異があり、旧常盤小学校跡地の利用に対する理想と土地柄がミスマッチに感じる。	
367	日本に学校を作るわけですが、「日本の生活習慣・文化・マナー」などを学ぶカリキュラムはあるのですか？	
No.	1.1.4 教育制度・法的地位・進路に関する懸念（15件）	回答集 ページ
43	日本国籍の子が就学義務を履行したことになるような学校にしようとする考えはあるのでしょうか？	
87-1	Q12によると当該校は一条校に該当しないということだが、義務教育校に該当しないということか？	
120-1	IBDPの取得を申請予定とありますが、今後法人化して一条校にすることは視野にいれていらっしゃるでしょうか。	
120-2	また、日本の国籍のみをもつ子どもが入学した場合、その子どもの利益を尊重して在籍する日本の学校とコミュニケーションをとることは想定されていますでしょうか。	
127	インターナショナルスクールの日本人生徒は就学義務を履行したことにはならないのであれば、その扱いはどうなりますか？	
150	OWISで学ぶ学生(日本人)は、12年間の教育を学んだとしても、現在の事業計画では卒業資格が得られない状況が考えられる。 開校されるなら、早急にIBDPの認定校として運営し、在校生の将来の不安を除去して貰いたい。	
165	日本人が一定程度入学することを前提にしているが、義務教育にカウントされないスクールが北海道において本当に日本人も通うのか。	
194-2	学校教育法上の学校でないなら、日本人生徒の高校進学はどうするのか？	
215	日本の義務教育制度を考えると、当該学校の卒業者の学歴はどのようになるのか。	回1-7 ～ 回1-9
268-1	世田谷区等でインド系の割合が非常に増えているという現地の話も目にした。インド人学校ではなく日本人生徒の割合も高いなどと言う説明で目を逸らそうとしているが、そもそもこの学校は義務教育の規定を満たさないのに日本人の小中学生が通っていたら義務教育を受けさせていないので法律違反になるのではないか？それを札幌市が認めていては違法行為の手助けをしているのと同義になろうかと思う。	
319-1	学校法人でもなく就学認定もされない事から意味があるのでしょうか。	
346-2	当学校を卒業しても日本の定められている就学義務が果たされないですね。そう考えると日本人は特に難しい様に思います。また外国人の場合はどのようなメリットがあるか良く分かりません。	
353-1	進学のための国内、国外に係る資格が開校するまでに認められるのか不安がある。	
353-2	入学をした方がいいが国際力を身に付けられる教育を受けても上位学校へ進学が出来ないことにはならないのか不安。	
363-5	同資料5、8ページ 教育関連サイトの記事によるものなのですが インターナショナルスクールに通った生徒の65%が 途中退学してしまうという統計が出てました。 もし途中退学、進学時にインターナショナルスクールを断念した場合 この地域から通っていた生徒は、芸術の森小学校や常盤中学校が受け皿となるのでしょうか？ 仮にそうなった場合、各学校の教員の負担増も懸念しますが 受け入れ側の体制は検討されているのでしょうか？	

設問1：グローバル社の事業計画に関する質問（222件）

No.	1.1.5 地域連携・貢献・地元雇用（15件）	回答集 ページ
76	アルバイトやインターン生を雇う予定はありますか？■■■■です	回1-9 ～ 回1-11
85	地元雇用の予定はありますか？ある場合どんな職種でしょうか？	
110-3	スクール運営に伴う町（町内会）との共同事業などを計画しているか？、並びに町（町内会）行事参加なども視野しているか？	
111-2	その上で、自然環境が豊かなこの地域の特色を、どのように外国人教育に生かすのかビジョンを示して頂きたい。	
111-4	スクールの年間の学習日程や学生の通学体制、地域（町内会）との基本的なコラボレーションについての情報を知りたい。	
122	質問ではなく意見になるが、説明資料にもあるように、部分的にでも施設を地域開放したり交流事業のようなものも充実されると良いと考える。	
160	説明会に参加しました。学校経営については質問は特にありません。基本的なことは理解できました。お聞きしたいのは、地域住民がどれくらい交流活動に参画できるのか、一緒に地域との関係性を構築していくには何が必要か、知りたいところです。そのための地域連携協議会（仮称）は歓迎ですが、まちづくりとどう連携するつもりか教えてほしいです。	
162	島国根性が抜けきらない（本音と建前を使う）日本人に、どのように受け込み理解を得ることが出来るのか？ その工夫対応を計画に盛り込んで欲しい！	
183	国内先行地域における、地域住民の評価を知りたい	
217	旧常盤小学校を使って何をするのか？誰が来るのか？周辺の環境にどういう影響があるのか？	
226	地域住民向けの事業計画があれば良い 例えば日本人の児童生徒学生に向けた内容のもの	
266-1	貴社の開業による経済効果はいくらになるのか？（特に、物件取得費用以外の通年での支払う税金や札幌市内に投下される経費等はいくらか）	
306-1	地域と関係する事としては地域貢献だと思われる。 校庭や体育館の開放…校舎内も地域の大切な場所でありスペースを区切ってでもどの世代でも利用できる交流ができ憩いの場となるべきではないか。図書コーナーなど。校庭の開放はどの様になるか？	
361	近傍の子供達などを対象とした、放課後英会話教室(有料)などの具体的な計画はありますでしょうか？	
363-9	過去のつくばだよりを確認したところ つくば校の売買契約前にはカルチャースクールを住民向けに解放するとのことだったが開校直前になり中止になったとの記事が掲載されておりました。 こちらはどのような経緯で中止になったのか知りたいです。	
No.	1.1.6 立地選定・通学環境（8件）	回答集 ページ
94	開校に向けて改装工事される際、道路の通行は規制しますか？（片側通行など）	回1-11 ～ 回1-12
110-4	常盤地区は、山・川・森など自然環境が優れている地域であり、このような環境を教育の場でどのように活かしていくか？	
111-1	何故、この地域を選択したか明らかにしたうえで、地域との共働した事業計画を明らかにして頂きたい。	
181-3	インターナショナルスクールは比較的札幌市内の中心部が多いと思うが、常盤エリアまで通学させる人がいるのか？	
229	インターナショナルスクールを、こんな郊外に作るのはなぜ？多国籍なのであれば街中の利便性の良い所の方が、通学も人集めも楽では？	
233	中央区など外国人の方が多くところに計画した方がいいのではないかな	
246-1	中央区など、街中に作るならまだしも住宅街に設置するのか。	
252	これまで関東や関西で開校しているようですが、なぜ突然札幌に開校することになったのでしょうか。一見すると、特に地域にこだわりはなく、単に旧常盤小学校の売却価格が安かったからだけように感じるのですが。	
1.2 説明不足・合意形成・回答への不満（20件）		
No.	1.2.1 説明会の中断・混乱・対応への不信（6件）	回答集 ページ
75	この事業に本当に熱意を持っていらっしゃるのか？ 説明会の途中で具合が悪くなって退席されるのは残念です。	回1-13
155	常盤地区で行われた説明会が混乱してしまった理由の1番の原因はなんであったと考えているのかお聞かせください。	
208-2	また、YouTubeなどで拝見しましたが、地域説明会の混乱などの話し以前に日本語を話さない方と、うまく場を纏められない方であらうして都合が悪くなったら逃げるといふ事は、この地域への扱いが”そんなもの”なのだと思います。	
262	説明会が途中で中断して終わってしまったそうですが、また説明会はあるのですか？ また少数の説明会では、賛否を判断するのも不可能では無いのですか？	
284	説明会で途中で帰ったのは何故ですか？ 納得いく説明が出来ないような企業は信用できません	
294	説明会を途中で辞めたのは何故なのか 答えられないなら説明会にならないのでは	
No.	1.2.2 合意形成プロセス・説明時期への批判（3件）	回答集 ページ
190	高齢者が多いため事前説明を要求める	回1-14
239	このような、地域に密接するような事業を展開するにあたって、事前に説明する必要があったのではありませんか？（学校購入前）	

設問1：グローバル社の事業計画に関する質問（222件）

282	貴社は、「札幌市まちづくり政策局」から注文を受ける「開発業者」ですね。 まず最初に、「近隣住民」と「札幌市まちづくり政策局」との議論が必要と考えます。 計画実施前に、「近隣住民」と「札幌市まちづくり政策局」との協議の場を設ける予定はあるのでしょうか？ 回答を希望します。	回1-14
No.	1.2.3 説明内容・回答の具体性・姿勢への不満（8件）	回答集 ページ
213	会社側に対して、市は……伺っております。……努めております。……と判断しております。……考えております。等々で性善説傾向が強く、早く終わりたい(腹の内)がみえる。地域社会の不安をくみ取る考えは無いのか。	回1-15 ～ 回1-16
263	日本でのインターナショナルスクール開校については否定しません。しかし、海外からの移住者が既に多く住んでいる地域での開校は理解できるのですが、南区には海外からの移住者も少なく、高い授業料を支払うことが可能な家庭も少ないように感じます。資料を見ましたが、地域住民にとって不安はあってもメリットは少ないように感じました。本当に地域住民は歓迎しているのでしょうか？学校という規模の大きい存在である以上、地域住民の理解を得てから事業を進めてほしいです。	
269	住民の意見をしっかり聞いてほしい	
274	反対派が大勢いる、特に興味を持っていない住民、むしろインターナショナルを盛り上げたいのなら大々的に得意のニュースや新聞を使って発表すればいいものを、反対している人たちをデマを流す人々扱い、学校なのにも関わらず賛成している全く関係のない70代の意見を載せる新聞をみて、聞か感じないのでインド人が経営するインターナショナルを作る意味がわからない	
295	インドに30校あるようですが何故ですか。	
298	近隣住民が不安や疑問に思っていることに対しての具体的な回答や解決策が抜けていると思われる。具体的に近隣住民がそのリスクを受け持つどのようなリターンがあるのか理解ができない。	
330	特にありませんが、地域の人達に、わかりやすい説明を望みます。	
364	今回の問題で地域住民は大変不安に感じてる方も多く、町内会の役員会議でも説明会を求める声もあがりました。 我が家にも小学生がいるので、治安悪化はとても心配です。 今後は地域住民への説明会を行う予定はもうないのでしょくか？ こちらの資料が全てという事でしょうか？	
No.	1.2.4 地域との調和・今後の連携への要望（一部肯定的意見含む）（3件）	回答集 ページ
29-2	市から今回「説明資料」を戸別に配布し、住民に周知したことは、この事業に理解協力を求める手段として有力であったと評価します。	回1-16
77	開校が近づいてきたら学校の教育内容や活動を地域の住民にも知らせ、地域との連携のあり方を知らせてくれるとありがたいです。	
265	このグローバル社に対する気持ちは、特に無く地域の住民と調和して欲しいと思います。	
1.3 将来の撤退・跡地利用・売却リスク・売買契約（18件）		
No.	1.3.1 事業の継続性・経営破綻リスク（4件）	回答集 ページ
169	不透明です。経営が成りたつての事業だと思っていますので。	回1-17 ～ 回1-18
186	すぐに閉校するような事態にならないよう改めてリスクを鑑みて開校するか決めてほしい。 この状況下で、無理に開校して運営に支障がきたすのは、私は望んでいないので。	
345	この地で、10年後 インターナショナルスクールとして成り立っていると思いますか。	
346-1	資料を拝見しましたところ運営母体は一般企業ですね。果たして経営的にみてやっていけますか？	
No.	1.3.2 土地・建物の売却・転売・外国資本への流出懸念（9件）	回答集 ページ
210	10年の用途指定期間内は、当然札幌市へ提示した事業計画を厳守すると思いますが、10年経過後の考え、計画はどうなのですか。簡単に外国企業に売却してしまうこともありえますよね。	回1-18 ～ 回1-19
235	公有財産を外国企業に売却するべきではない。	
236	この学校が、立ちいかなくなって、売却されて、何か変な物が立ちませんか？ 札幌市が売ってしまった物は、もうもどって来ません。	
249-1	札幌での事業計画が思うように進まず撤退すると仮定した場合、当該建物はどのように処理されるのか？	
249-2	売却となった場合、売渡先の制限など札幌市との間に何らかの取り決めはあるか？ある場合はその内容を具体的に説明願いたい。	
303	自治体が、学校法人でもなんでもなし、ただ営利目的の外資企業に日本の土地をタダ同然の金額で売り渡すな 地域や日本を守ることも自治体の使命だ	
308	民間に売却する事、とくに海外の人がここを所有する事は、絶対に反対です。出来ても緊急事態の際の避難先として使用が可能であり、また自衛隊の出動を要する緊急事態での使用が可能とした上での長期貸出が妥当と考えます。	
338	将来、（10年後とかに）別の事業主に転売する可能性もありますか？ いつの間にか学校ではなく別の団体になっているとか…	
340-2	一方土地建物が外国籍になることですね。	
No.	1.3.3 契約条件・法的責任（2件）	回答集 ページ
249-3	当該施設を取得するにあたり、土地及び建物の売買契約となるのか？	回1-19
249-4	建物売買契約となると当然に瑕疵担保負担割合の取り決めがあるが、民法が定める以外の何らかの特約はあるか？	

設問1：グローバル社の事業計画に関する質問（222件）

No.	1.3.4 運営の監視体制・企業の信頼性（3件）	回答集 ページ
306-3	地域雇用は具体的に清掃職などの他どの様に考えているか？	回1-19 ～ 回1-20
311	学校運営が適切になされているか、監督・監視できる組織を設立し、構成員の半数以上は地域住民で構成されるようにしてほしい。学校はその監督・監視組織の指示下に置かれることが望ましい。	
365	聞いたことのない会社なので本当に計画どおり運営できるのか、事故等おきた時責任はとれるのか？	
1.4 地域格差・選定理由・地元雇用（1件）		回答集 ページ
174-2	地元の子供たちで、その学校に通える世帯はどれだけのいるのでしょうか？ 外から来るお金持ち、海外から来る賃金で働いてくれる家の子供たちは、質の高い国際水準グローバルな教育を受けることができても、地元の子供たちへの恩恵、貢献がなければ格差、分断、排外主義を助長するのではないのでしょうか。	回1-20 ～ 回1-21
1.5 交通・道路安全（11件）		回答集 ページ
54	11ページによるとスクールバスを予定とのこと、国道475号線を担う中央バスは減便が止まらない。スクールバスは必須です。	回1-22 ～ 回1-23
110-1	学生の通学は専用のスクールバスなど利用するのか？あるいは既存の公共交通を利用するのか？	
164	そもそも、平岸の北海道インターナショナルスクールのように地下鉄徒歩圏内の立地ではなく、なぜ常盤を選んだのか。	
	遠方から来る小さな子どもの通学には負担が大きい。	
192-1	地域交通に影響を与えない通学方法はあるか	
204	批判に聞こえるかもしれないが、過去の実績では雪国以外の実績を謳っている。雪国を考慮した事業計画には見えないし、スクールバスの他に中央バスを利用することが想像されるが減便の傾向にあるのにそれでも常盤に開校したいのか？	
273	更に453線は冬は積雪が多くひどい日は車がすれ違えず全く進まないため30分以上の遅延もザラです。通学も大変なのにわざわざ南区の常盤まで他の地域から通学する子がいるのでしょうか	
277	なぜここにインターナショナルスクールを開校するのか。交通の便も悪いし、生徒さんにしたら通いづらいと思う。	
278	最終的に650人規模を想定しているとのことだが、この規模の人数になった場合、中央バス等のインフラへの対策を知りたい。只でさえバスが混んでいる。インフラをそっちのけで人数が増えること事態に疑問が残る。その際に、スクールバスを使用するとかの回答はいらない。聞きたいのは常盤にどの程度の世帯と人数が住み見込みになっており、住んだ場合のインフラ計画も記載すべき。	
285-1	生徒の通学はスクールバスのほか、民間バスも利用されますか？生徒数が将来的に650名となる予定のようですが、スクールバスだけでは無理では？送迎に関しての説明を具体的に教えてください	
346-3	南区以外からも入学者があった場合、送迎バスで対応可能か？	
363-6	11ページ スクールバスについて 開校時の50名で2台を想定しているのであれば数年後の650名では20台以上のバスに加え 自家用車での送迎の保護者により、想定より混雑が見込まれないでしょうか？ また、運転手についてですがこの書き方からすると日本人ではないニュアンスに読み取れました。 個人的には外国の方でも問題は無いとは思いますが 地域雇用の創出も念頭においているのであれば ここは日本人を雇用する前提でなければ話が矛盾しているようにも思えます。 運転手は日本人の募集を優先させるという認識であってますか？	
1.6 生活マナー・近隣環境（3件）		回答集 ページ
20	地域のルールなどに基づいて円滑な事業を進めてもらえますか。	回1-23 ～ 回1-24
335	地域にある、伝統、風習エチケット等になじめるのか？	
363-3	マナーを守らない人が、そもそもそのような講習及びコミュニティに参加するののかの懸念があります。 現在、ある公園周辺では、一部居住者による騒音マナーに関する問題が発生しており、平日・休日を問わず毎日長時間にわたる作業音により、生活に支障を感じている住民がいて聞いております。 こうした事案について、苦情を申し出た際のトラブルや報復への不安から 声を上げにくい心理的状況が生じていることも懸念です。 これらは犯罪には該当しないため統計には表れにくいものの、日常生活への影響は小さくありません。 このような現状を踏まえると、地域の受け止め体制や相談窓口、責任の所在が明確でないまま、進めることには強い不安を感じています。 このことを踏まえて検討を進めていただけることを期待します。	
1.7 災害・避難所機能（5件）		回答集 ページ
69	避難場所、特に冬の寒い時の暖房など宜しくお願いします。・・・近くの町内会より。	回1-24 ～ 回1-25
188	また避難所にできたり、選挙の際は会場になったりするのだろうか。	
242	日本国籍を有する子どもは、就学義務を果たさない 学校は、避難場所として、どう、地域と、コミュニケーションをとるのか具体的に教えて欲しい	
306-2	体育館の避難場所として確保については、10年経過以降も継続保証されるのか？	
310-2	緊急時の避難場所として使用される場合 日本人や日本語で対応できるスタッフが対応するのか	
1.8 治安・防犯面（6件）		回答集 ページ
200	地域の治安は守られるか？	回1-25 ～ 回1-26
222-1	信用できません。 私からしたら迷惑施設である。断念して下さい。	

設問1：グローバル社の事業計画に関する質問（222件）

224	外国人は、口先だけ、日本人は人が良すぎます。本当の外国人の性格が分っていないし分かつともしない騙されます。勉強した方がいいと思う(外国人に対して)私共は反対します。これを言う読んで下さい。本当の事を書いているんです。かならず後悔します。	回1-25 ～
247	世界各地の治安や政治情勢を理解した上で進めているのでしょうか？	回1-26
290	警察と連携すると記載がありましたが、常盤は他と違って交番すらないのにどうするつもりでしょうか。	
353-3	外国人が往来することによる治安悪化防止のための警察と市役所の協議を行うのか？管轄する交番が石山交番なので常盤にも交番の設置要請を市役所から警察本部への要請は？	
1.9 宗教・文化摩擦・移民政策（6件）		回答集 ページ
208-1	資料にありました事業計画は、目触りの良い事しか書かれておりませんので魅力的に感じますが、質疑応答集12の日本国籍のお子さんが通っても法律で規定された修学義務を履行した事にならない。という事で、生徒数における日本人生徒さんの割合が少なくなり、反対派の皆さんが懸念しておられるように、外国籍の生徒さんが多くなり、それに伴い近隣などに外国から移り住む人々が増えるのでは？という気持ちになります。	回1-26 ～ 回1-27
214	GSG海外校周辺とこの地域との違い（文化、国民・地域性）を、思うに一边等には思えない溝はうめられるか。	
245	インターナショナルスクールに大反対 外国人とは根本的価値観が違う(良し悪しではない) 外国人が集団となったときに外国人の価値観を優先するのもよく見かける。 ゆえに、価値観の異なる外国人と近くで生活するのに大いに抵抗がある。 今の生活のバランスがくずれる。	
255	移民政策の足掛けに十分なりうと考えるため反対です。	
260	少しずつ海外の人（移民含む）を定住させ、日本人には住みづらくしタウンやヤードを作っていく予定なのかと札幌市も疑う。	
305	他の地域でもインターナショナルスクールを運営している実績があると言っているが、スクールの周りが外人村のようにになっているスクールもあると聞いている。自分が住んでいる地域がそのようになるのは絶対に嫌なので反対です。	
1.10 外部干渉・風評被害（1件）		回答集 ページ
91	地域の説明会に出席致しましたが、当日の出席者の住所や名前などのチェックがないことに違和感を否めませんでした。御社では、今回のような状態になるかもしれないという予想や危機管理はできていたのでしょうか？次回の説明会では、地域住民がどうかのチェックなどあったほうが良いと思います。学校開校へ向けての説明はよく理解できましたので、後味の悪い説明会になってしまったことが残念でした。	回1-27
1.11 肯定的・期待・理解（36件）		回答集 ページ
5	芸術の森もあり国際色豊かな地域になる事を期待しています。	回1-28
8	共感します。 多様性を重視してほしい。	
9	閉校した学校を利用して、運営してもらえるのは、ありがたいと思います。	
12	送付された資料で理解できました。	
14	私は近くに大学もありますし、街活性化にもなると期待しています。	
17	資料を読んでほしい理解しました。地域にいろいろな人が来ることは活性化になると思います。	
29-1	説明資料をみる限りでは、総論では理解、納得できるが、説明通りに開校に向けたことが実現できるのか行政（札幌市）との密接な連携、調整、監視が必要と思われる。	
31	賛成	
36	基本的に事業に賛成ですが町内会との連携を密にして下さい	
37	着実に事業に取り組んでいること、すばらしいと思います	
41	インターナショナルで、地域が活性化されます様に思います。老人化が進んでいる地域ですが若い子供達がふえて、楽しくなります様に。	
45	基本的に賛同します	
49	楽しみです。 事業計画担当の方よろしく。	
50	説明内容を見るかぎり不安な所がないと思われる	
51	よく説明されていて心配ないと思う	
57	詳細不明なるも20年以上の実績があり、且つ国内にでも数校が開校の内容から信頼性も高く、且つ旧学校跡地の現状を考えると将来性もあり、願ってもない企業と思う。	
66	説明資料を読んで、良くわかりましたので特に有りません。	
68	次の時代に向かうにあたり、グローバル社会をつくる事に目をむけるべきと思う。	
70	健全な事業を期待します。	
72	賛成です 特に質問等ありません	
73	大人向けの英語教室や文化交流が出来たらいいですね。	
79	跡地利用して学校運営することは賛成です	
84	説明資料を見て概ね事業に関しては理解できた。	
98	質疑応答集を読ませていただき理解できた。	
107	事業計画は、配布された資料で理解できた。	

設問 1：グローバル社の事業計画に関する質問（222件）

110-5	グローバルな社会環境のなか、国際的な教育機関が開校されることは喜ばしいことで、地域としては歓迎するところである。地域社会とのコラボレーション事業を多様化して、相互理解と融和を推進するような事業計画の策定を望む。	回1-28
119	特に質問はありません。説明資料を読むと、しっかりとした企業だということが分かります。	
125	特にありません！むしろwelcome！	
135	日本国内外での実績や札幌市での計画を資料で見る上では安心な企業なのかと思います。	
152	大変素晴らしい事業をしている会社であることから質問などありません。	
153	特に無いが、是非進めて欲しい。	
170	外国人だから反対というのは好ましくありません。	
191	グローバル社の計画について、特に質問はありません。地域に開かれた体制を示してくださっていること、そして英語を学べる環境を整えていただくことで、文教区としての魅力がさらに広がっていくと感じています。	
196	志ざしはすばらしいと思います。	
321	資料を読む限り、当法人の使命は「国際的エリート養成」と考えます。	
340-1	地域にとって明るい材料だと考える。	
1.12 その他・全般的な質問（30件）		回答集 ページ
47	たくさんの「スクール」を手がけられ居るんですね	
48	教育機関としての役割を重視してほしいです	
74	事業計画については、理解しております。 実行上の大目標として一つ上げるとすれば、何でしょうか！？	
158	地域に役立つ活動をして頂きたい。	
174-1	説明会の時に連合会の方が、バスの運転手不足解消の為に海外から労働者を募り、その家族の子供の受け入れとしてグローバル社の学校も受入先の一つと説明されていたと思います。しかし、バス運転手の現在の年収は300万前半です。インターナショナルスクールは夢のまた夢。 少なくとも年間150～180万かかる学校にバス運転手のなり手の海外労働者家庭は入れるのでしょうか。彼らは札幌市から助成があるのでしょうか。	
202		
216	本国で尽力されたいし	
219	グローバル化を押し進めた1996年～1998年7月 82代橋本首相のおきみやげが現代になって問題となっている。	
221	サンブライト団地が出来たころの話です。時の板垣市と大臣だった地崎宇三郎氏は団地まで地下鉄を通すと発表、皆信じて団地を購入。その後予算がないので中止すると発表した。今回の本当の目的は何なのか？真駒内駅から芸術の森まで地下鉄を通す事が大事。ウソの言葉は人の生涯を狂わせてしまう	
222-2	すばらしい施設ならばこんなハガキ必要ないのでは？	
223	一般と事業計画は会社の希望であり、実態は大きく違う場合が殆どである。特に外国企業は信用出来ない。日によっては実態が違うのはあたり前と考える。	回1-28 ～ 回1-30
234	反対です	
243	外国資本ではなく、日本の企業とか札幌市自身が考えてやってほしい	
251	地域住民のメリットはなんですか？	
266-2	札幌市役所からの各種助成金・補助金・交付金で、交付されるものがあるのか。交付されるなら、その金額（現時点及び将来も含む）。	
268-2	インド人だけでなく、他の国籍の生徒も通うなどと説明しているが、どこか1つの国籍に偏らないから良いというわけではなく、税金で作られた公の施設を、一部の利益関係者だけの意向によって格安で売却（レンタルですらなく売却とは話にならない）され、それにより地域の生活環境が一変してしまうリスクを住民の多くが何も知らされないままに話を進めようなどと全く言語道断であると考えます。学校なら常盤中学校も新しく作られた芸術の森小学校もある。外国人だって入学できる。義務教育要件を満たさない上にトラブルの種になりうる学校のような物を新しく作る必要など無い。常盤小学校が閉校したのはこの場所に学校は必要無いという判断をしたからであり、その後このような学校もどきを入れるというのは話の筋が通らない。	
272	粗方把握していますので質問はありません。大反対です。	
275	今後札幌市で予定しているこの事業に対する市税かや国税からの補助金や助成金はあるのか？	
280	質問なんてありません。絶対反対します！！	
285-2	説明資料ではいいことしか書いてないですが、現在考えている懸念事項を正直に教えてください（多数あると思いますが）	
288	不要です。まず札幌市民に還元するところに予算、時間を割いてください。	
292	信用できない。	
299	この地域に侵入することに反対です。この地域を拠点にして何を画策しているのでしょうか？	
301	まったく興味がありません！	
319-2	この会社は営利を目的とする企業ではないですか。	
323	なぜ常盤に、子供が少なく廃校になったのに学校をつくるのか？	
363-1	グローバル社の点数が高かった項目は、今回の審査より満点基準が上げられておりかつ、採点基準の中には共生に絡む文言が追加されていました。 そして次点候補者が高かった項目は満点基準が引き下げられているのも確認できます。 秋元市長は定例会見で、「市からの働きかけ誘致はない。共生とは切り離して検討を行った」と述べているが矛盾しているように感じました。 このあたりについての回答を再度お願いできますか？	

設問 1：グローバル社の事業計画に関する質問（222件）

363-7	とても大きな文字で開校日をアピールされていますが これは絶対後戻りはしませんとの意思表示にも見えてしまいました。 市が結論ありきで進めているように見えてしまい手続きの信頼性が損なわれてないか懸念しております。	回1-28 ～ 回1-30
363-2	ここは、第一種低層住居専用地域だと思うのですが、民泊施設や外国人向け住宅街は建設許可がない が外国人専用学校・宗教施設は許可があるのでしょうか？ もしそうであれば、10年後以降にこのようなことが起こりえる可能性はありますか？ インターナショナルスクールに関して懸念は無いのですが、上記では地域住民の不満を伺える新聞記事を目にしたため不安に思っています。	
363-10	定例市長記者会見13回定例で下記の言質がありました。 市長の発言「グローバル社に働きかけはしてない」 TV局の発言「グローバル社より、市から働きかけがあったと聞いている」 市長の定例記者会見での発言と、報道機関および事業者側の説明内容の間に事実関係の齟齬があるように見受けられました。 どの時点で、どのような情報共有・認識があったのかについて、一次資料（会見記録・取材内容等）に基づき、市として整理した説明をお願いしますか？	

カテゴリに分類したご意見・ご質問一覧

～設問2～

懸念や不安に感じること（368件）

カテゴリ	ページ
2.1 治安・防犯面（70件）	質2-1～質2-4
2.2 交通渋滞・道路安全（32件）	質2-4～質2-5
2.3 公共交通（バス）の混雑（13件）	質2-5
2.4 説明不足・合意形成（29件）	質2-5～質2-8
2.5 宗教・文化摩擦（31件）	質2-8～質2-9
2.6 生活マナー・ルール・環境（26件）	質2-9～質2-10
2.7 将来の撤退・土地売却リスク（20件）	質2-10～質2-11
2.8 地域格差・不公平感（2件）	質2-11
2.9 教育内容・費用・制度（36件）	質2-11～質2-13
2.10 外部干渉・風評被害・分断（20件）	質2-13～質2-14
2.11 肯定的・期待（27件）	質2-14～質2-15
2.12 災害・避難所機能（3件）	質2-15
2.13 その他（59件）	質2-15～質2-17

設問2：懸念や不安に感じる事（368件）

2.1 治安・防犯面（70件）		
No.	2.1.1 外国人増加による全般的な治安悪化・漠然とした不安（29件）	回答集 ページ
84	日本国内で7校開校している様ですが、いままで地域住民との関係性(揉め事など)はどうであったかが知りたい。	回2-1 ～ 回2-2
195	地域の安全はいかに	
196	たくさんの方の海外の方が訪れて、周辺に住むことを考えると、治安が悪くならないか不安。現状住みやすい地域なので、戸建ても建てていますし重みがちがいます。	
197-1	治安の悪化	
200	治安	
201	外国人居住者増加によって治安の悪化や様々なトラブルが起きるのではないかと不安です	
203-2	外国人が増えることで治安が悪くなること。	
217	地域に外人が来て犯罪が増える。	
218	静かな所で住むために常盤に家をたてて住んだのに外国人の犯罪が多く日本は日本人が住む所です	
225	日本人だとしても、地元住民以外が来るようになるので、治安の悪化は発生する	
228	開校による生徒さん及び家族の移住が想定され、これによる治安の悪化が不安。具体的には、外国の方が、同郷の人間が多く集まる事で、不特定多数の外国人がこの地域に集まり治安の悪化につながる事。	
230	治安が悪化する。学校跡地にインド人が多く通う学校をつくるのは強く反対する。	
251	治安の悪化	
256	治安が良くなるのでやめていただきたい	
262	何も信用出来ません。しっかり住民、市民、道民の声の事実を知ってください。何かが起きるという確証も、起きないという確証も得られないので、通学や治安など、すごく不安です。	
270	治安の悪化	
272	外国人が増えることによる治安の悪化が一番です。そもそもインターナショナルスクールがこの地域にとっては必要ないものであること。常盤を含め、この辺りの地域はベッドタウンです。インターナショナルスクールが、札幌市内の街中に建つというのであれば反対はしません。場所を考えてください。	
281-2	治安悪化および地域の安心感低下への強い不安 これまで当該地域は、学校廃校後も大きな混乱なく、比較的治安の良い環境が保たれてきました。しかし、本計画により外部からの人の流入が常態化することで、不審者の増加やトラブル発生のリスクが高まり、地域全体の安心感が著しく低下することが懸念されます。特に高齢者世帯にとって、治安の悪化は生活の質そのものを脅かす重大な問題であり、看過できるものではありません。	
290-1	外国人の増加で治安の悪化。	
292	常盤の治安が悪くなる。	
317	治安の悪化	
322	開校当初は、授業料等を鑑みると比較的所得の安定した常識人が利用すると思うが、将来的には様々な援助を受けた低所得層が中心にならないとも言えず、治安面で不安が有る	
329	外国人が増えることで治安の悪化が懸念点。中年～お年寄りが多いので心配。	
332	治安の維持	
338	14、15の質問に対する答えが、弱くて懸念払拭に至りません、不安です。	
339	治安	
340	Qについて理解が出来ていません 治安等、リスク等の心配事は、解消されていますか 納得のいく説明があれば 安心材料であるなら	
353	治安悪化	
365-1	治安の問題。宗教的に混乱はおきないか？	
No.	2.1.2 具体的な犯罪（性犯罪・暴力・暴動）への恐怖（10件）	回答集 ページ
184	外国人、特に中国人の事件が多数発生しているので地域への被害が無い懸念や不安がある。	回2-3 ～ 回2-4
247-1	圧倒的に治安です。 日本で住んでいる方には分からないかもしれませんが、海外の治安はとても悪いです。最初は裕福な人が来て落ち着いていたとしてもすぐに親族を呼んでくるので治安が悪化します。また、インドに旅行に行くと強姦されるのを知っていますか？ 子供はもちろん、女性の夜の移動が制限されます。これの対策に警察と対策したとしても、警察が常にいるストレスがあります。何かが起こるのではないかと、近くで何かあったのではないかと不安になります。	
255	地域の犯罪率の増加	
260-4	異教徒に当たる日本人への暴行、性犯罪（特に子供）	

設問2：懸念や不安に感じる事（368件）

296-1	治安の悪化、性犯罪の増加 移民が増えると犯罪は増加します また江別のパキスタン人増加問題、川口市のクルド人の犯罪増加問題等、実際に治安が悪化しています コントロール不能状態で行政も司法も後手にまわっているなか、海外の方を受け入れる意味がわかりません。 あなたや区長の隣にインド人、パキスタン人等が大量に移住してきて同じことが言えるでしょうか。 公募段階から住民の声を聞かずに推し進めた札幌市、南区の責任は大きいです まずトップが説明責任を果たしてください グローバル社に責任転嫁しないでください グローバル社が悪いのではなく、地域住民の声を無視して、治安悪化の懸念があるにもかかわらず事業を推し進めた行政の責任は大きいです 今回の事業計画は絶対に中止してください	
297-1	インターナショナルスクールは授業料もかかるため優秀である程度の外国の方しか来ないと札幌市から聞いていますが、そもそも優秀な外国の方が日本を選ぶでしょうか？私が優秀である程度の資力があるのであれば日本は選びません。自分より下と感じられる国には行きません。 という事はそれなりの方が来るということです。今日本で外国人が犯罪を犯しても軽い刑や不起訴になり日本国民とは扱いがまったく違います。受け入れる方がちゃんと法整備なり条例なり国民を守る事ができるものが整っているならまだしも、受け入れた後は地域や国民に丸投げはあり得ません。	
298-1	江別市で起きているパキスタン村のようなことにならないという確実性がないこと、その対策もあまり具体性がないこと、年々バスの本数が減っているのにこれ以上人が増えてどうなるのか、また最近観光客が増えてバスの乗車数が増えているのにバスの本数が減って住民はとても迷惑しているのにこのような動きがあるとさらにその現状が悪化するのではないのかその対策もあまり考えられていないように感じる。 性被害レイプなどの性犯罪の増加の懸念また増加するのではないかと言う住民への不安感を与えることになること、芸術の森地区は商業地ではなく住宅地なので人が増えての発展などは考えにくいのでは？（商店街などがある訳では無いので） 特に新しい小学校が出来たりでそこに通うために引っ越してきた人が多く感じるが小・中学生の親御さん方は不安の方が大きいのではないかと？ 他にも女子高校生・大学生も多くその年代の人はかなり外国人が増えることに不安を覚えている。	回2-3 ～ 回2-4
304-1	この静かな地域にインド人や外国人が増えることによる犯罪の増加や、宗教や価値観の違いによる女性や子供等への性犯罪が絶対にないとは言えない。 ヒンドゥー教やイスラム教は男性優位の教えであると認識しています。	
309	シンガポールに本社があると聞いています。私はシンガポールに住んでいました。日本と比べて、外国人労働者や移民に対して法整備が整っており、国民含めて様々な罰金制度もあります。それなのに、HDB（シンガポールの公営住宅）の窓から炊飯器を持ってお米を捨てているインド人や、外で用を足している人もいました。数年前には、酔ったインド人がバスを倒して火をつける事件もあり、夜間の酒類販売禁止が定められました。 日本は、法整備の前に移民政策を推し進めたり、何か犯罪が起きてから、上記のようにすぐに禁止を定める事にも時間がかかります。 このような状況で、地域に外国人が増える事は、懸念や不安しかありません。期待等は一切ありません。	
351	移民問題、不法滞在	
No.	2.1.3 警察機能・法的責任・行政対応への不信（13件）	回答集 ページ
5	治安もしっかり維持していく様、指導して欲しい。	
150	外国人の増加による生活習慣の相違によるトラブル、事件・事故などの法令違反が特に不安に感じます。 専門分野の人材をGSGは雇用して、住民や官公庁との折衝をスムーズに出来る様に配慮して頂きたい。	
199	地区、地元住民との問題が発生した場合の対処法は？	
209-1	何か校内や地域で法律を使つての問題が発覚した場合、日本の法律が適用されるのか、が心配です。本件事とは規模の大きさが違いますが、沖縄の事件などを考えてみると、日本の法律が通用しないで、泣き寝入りの状態になっているのでは、と考えます。	
223	外国人が多くなると、外国人による犯罪が発生する。 外国人が多くなると、習慣の違いからトラブルが発生する。 これらに対し、市は発生した場合は責任を務ると一筆入れるべきである	回2-4 ～ 回2-6
239	治安関連施設がなく、大都市札幌とも思えない田舎なので、治安の悪化が気になります。また「何か」あれば、その責任は誰からとるのか？	
267-5	治安・体感安全への懸念 行政は「法令違反は厳正に対処」「警察と連携」と説明されていますが、最寄りの交番まで遠く、日常的なパトロール強化や交番設置などの具体策は一切示されていません。 軽微なトラブルや体感治安の悪化に対しては実効性のある対応が期待できず、地域の安心が損なわれるおそれがあります。 以上の通り、現時点での説明では私たち常盤地区住民の懸念は全く払拭されておらず、このまま計画を進めることは容認できません。	
269	治安や防犯への具体的な対策はなされてない	
275-2	警察官に外国語を習得させなければ犯罪やトラブルの解決が出来ない事案が増えるのでは？	

設問2：懸念や不安に感じる事（368件）

278-3	治安への不安 他県でおきているような、文化の違いによる衝突。騒音問題等。人が増えただけでも起こりえのに、それが外国籍が増えれば尚更可能性が高くなる。また、問題がおきた場合に市や企業はどのように対応するのかを知りたい。（これは法律だけではなく、マナー等も含めて問題が起きた場合の対応が知りたい）	回2-4 ～ 回2-6
285-3	外国人の犯罪に関して、警察との連携とありますが、情報の連携くらいでは何も意味がないと思いますが、よく分からないので具体を教えてください（何を連携？）	
357	職員は外国籍の労働者も含まれるのか、だとすれば労働者当人の社会的安全性は保たれてるのか（犯罪歴の有無、過激な宗教思想等）	
316-2	できれば、交番等の設置も検討していただけないでしょうか。	
No.	2.1.4 子ども・女性・高齢者の安全確保（6件）	回答集 ページ
73-2	学校に通う子供たちの安全	回2-6 ～ 回2-7
94-2	反対派閥による運動、授業妨害。子供たちの安全。	
207-2	治安の悪化についても懸念しております。 我が家は小さい子供がおり外国人による犯罪に巻き込まれるリスクが上がることに強く不安を感じております。Q15にて事件や事故には警察機関と連携すると回答していますが、そもそも巻き込まれてからでは遅いと思います。事前の対策について現時点で検討していることや協議していることはあるのでしょうか。	
242	外国企業への土地売却が危険すぎる治安の悪化、子供達が外で遊べない。男女問わず襲われる危険。犯罪が増加。	
286	Q&Aの用紙で安全への懸念について、警察等の関係機関と連携していくとありますが、安全を守るために常に居てくれるのですか。ただでさえ子供たちが安心して暮らせる世の中ではない中で、これ以上安心できなくなる可能性がある中で暮らしていくのは困難です。	
305	日本人が高い授業料を払って通うほど魅力的な学校と思えない。わざわざ不便な場所のインターナショナルスクールを選ばないと思う。結局通うのは中国やインド系の家庭のみになり、実質移民受け入れの基礎作りと変わらないと感じる。 異民族を受け入れることは全く簡単なことではありません。 治安悪化が一番心配です。 子どもが1人で出歩ける環境を奪わないでほしい。	
No.	2.1.5 生活習慣・マナーの違いに起因する不安（4件）	回答集 ページ
131	外国人が急に増えて騒がしい、ルールを守らない等、治安が悪化しないか	回2-7 ～ 回2-8
178-2	近くにコンビニが1件しかないのそこでたむろとかされないか不安はあります。	
264-2	外国人が通うことにより、周辺地域など治安悪化が怖いことが、大きな懸念です。小さな子を育てる身としては、安全に静かに暮らせるよさがあり、わざわざ南区の奥地の地域を選んだにも関わらず、『札幌市で学ぶ場を設定する』『関係機関と連携する』とよく述べられる回答をいただいても、全く安心できない上に、たしかにそうだなと納得もできない。近年やはり、外国人による犯罪やマナーの悪さが目立つことは否めず、安心して子育てができる地域ではなくなることがとても不安で、建設には大反対です。事実、外国人が増えた地域では犯罪や従来の住民の暮らしにくさ、ルールを守らないことによる住民の辛さなどが増加している地域も全国には見受けられます。なぜ、もともと住んでいた私たちが、これから毎日不安を抱えながら、不便を感じながら暮らしていかなければいけないのか、納得できません。こんなことを言うと、差別だと騒がれてしまうかもしれませんが、事実として様々な問題は起きていますし、交通の問題も含めると、安心して子育てをすることができると思い、せっかく決めた思いは全て不安に変わります。一通り資料には全て目を通し、学校としては魅力ある学校ではありますが、やはり外国人の増加や、そこから予想されることを考えると、この静かな地域に、住民が築き上げてきた素敵な街に、海外の多くの方々観光以外で日常的に足を踏み入れられるのは大変憤りを感じます。生徒の推移予想も年々かなりの数の増加を見込んでおり、そんな数の子どもや保護者、職員が行き来するのは猛反対です。	
271	外国人が多くなり治安の悪化。ルールやマナーを守らないことへの不安。	
No.	2.1.6 反対運動や外部介入による治安悪化（8件）	回答集 ページ
81	外国人排斥運動の人達による、理屈の通らない暴力事件が起こる可能性。	回2-8 ～ 回2-9
85	地域外からの反対運動の拡大と地域住民に対するいやがらせ等による治安不安からの計画の撤退が不安です。	
102-1	今回の件でネットなどで間違った情報を広めていたような一部の過激な考え方をもちた反対派の人たちが、この地域でデモ等を行ったり、インターナショナルスクール並びに地域住民へ危害を加える行動をしていくことが1番怖い。	
112	仕事が休みの日の日中、旧常盤小学校の前を通ると、妙なプラカードを持った人がバス停に立っています。とても気味が悪いです。予定通りインターナショナルスクールが開校することになったら、そこに通う子どもたちとその保護者の皆さんが安心して通学できるよう、根拠のない誹謗中傷等を、札幌市として止めさせることを望みます。	
122	事業そのものの懸念は無いが、それに反対する排外主義者や右翼などが外部から流入して治安が悪化したり、住民間の意見対立を煽って分断を招く状況を懸念している。	
125	懸念する事は、右翼めいた輩が邪魔したり悪さをしに来ないかが気になります。アホな奴等が沢山いるので。皆んなが住み良い街にしたいだけに。住民に迷惑をかけるような輩を取り締まって欲しい。	

設問2：懸念や不安に感じる事（368件）

176	ニュースで騒ぎをみましたが、通学してくる子どもたちに心無い行為や言動をしたり、危害が及ぶようなことが起こりはしないかというのが心配になりました。そしてこの地域には幼稚園や小中学校もありますから、勘違いなどで地域の子どもたちがそのような目に遭わないかどうか不安になりました。これはこの地区だからではなく現在市内のどこに建てても同じことは起こると思いますので、市にはケースメソッドとしてどう対応していくべきか議論や対応を市民とともに行っていただきたいです。	回2-8 ～ 回2-9
185	周囲に迷惑なことがおきないか不安。右翼の街宣車が来たり、反対デモなど。	
2.2 交通渋滞・道路安全（32件）		
No.	2.2.1 公共交通（路線バス）との競合・混雑（3件）	回答集 ページ
17-2	バスの本数を増やしてほしい。	回2-9 ～ 回2-10
310-1	通学時間帯などに道路の渋滞 公共交通バスの混雑	
354	スクールバスの停車による渋滞	
No.	2.2.2 生活道路への侵入・違法駐車・マナー（5件）	回答集 ページ
95	通学や行事による道路沿い又は周辺の違法駐車・交通渋滞。	回2-10 ～ 回2-11
98	駐車場の確保はきちんとしてほしい。	
165	交通手段に疑問を感じる。地域住民の利用する公共交通機関に不便をきたすことがないようにしてほしい。 また、送迎の車が住宅街を通行しないような対応をとってほしい。	
197-3	保護者の送迎、スクールバスによる交通状況の悪化や近隣住宅付近での駐停車などの迷惑行為	
249-3	スクールバスでの通学に加え、保護者による送迎も相当数あると思うが、運転マナーの優れた国でない事は周知の事実であるため、保護者による送迎は禁止して欲しいがこの点について検討の余地はあるか？	
No.	2.2.3 通学手段・スクールバス運行計画への具体的疑問（5件）	回答集 ページ
34-1	スクールバスの運行を希望します。 送迎時渋滞緩和ができるだけないよう	回2-11
55-2	学校前の交通状況→資料を見て、少し安心しました。	
232-3	650人もの生徒数の通学はどうするのか	
232-4	スクールバスと書いてあったがどれだけのバスが用意出来るのか	
260-1	スクールバス運用による渋滞・交通事故	
No.	2.2.4 道路構造・地理的条件（一本道・冬期）に起因する問題（8件）	回答集 ページ
157	旧常盤小学校では、選挙会場として使用した際、国道交差点に近いこともあり、車両の出入りが難しかった。開校の際は、特に注意が必要だと思います。	回2-12 ～ 回2-13
161	冬期間の交通渋滞がやや不安です。近隣住宅地の排雪にも気を配ってほしいです。	
259	常盤小学校が移転して余計な交差点が出来たために酷い交通渋滞がおきているが、更に酷くなる可能性がある。万が一、緊急車両が遅れたために死人がでたときは札幌市で補償するのか？	
264-1	ただでさえ、1本道しかなく時間帯によっては道が混みます。学校が建つことによって、さらに混雑が予想され、交通の妨げになること。	
302-1	児童、生徒はスクールバスで通うとの事です 10年後に予定通り600人規模になった時に 石山陸橋からの片道一車線のこの道が大変な事になるのでは？と考えてしまいます。 特に冬場。国道の除雪幅も狭くなって来ていて今でもバス、大型車がすれ違うのが大変で渋滞の原因になっています。	
311-3	学校へのアクセスは一車線の国道453号線のみであり、路線バスは減便甚だしい中央バスしかなく、交通渋滞、バスの混雑が懸念される。仮に住民の反対意見を無視して学校が設立されるのであれば、学校関係者、生徒、その家族は自家用車も路線バスも絶対に乗らず、学校が用意する送迎バスしか乗らないことをグローバル社のみならず札幌市も連帯責任として保証すべき。地域住民との分離、接触回避を誓約してほしい。	
342	片側1車線の国道での渋滞や小学生から幅広い年代でバスを通勤、通学で使用しているが、バスの減便でものすごく混んでいるのが常である。これ以上のバス乗車客が増えた場合、かなり影響を及ぼす可能性が高いが如何か？	
362	渋滞 芸術の森小学校ができて、通学路の交差点が時差式の信号に変わってから、交差点を先頭に渋滞が発生しています。 自宅から国道へも渋滞でなかなか出られず、特に通学通勤時間、土日の9時～11時頃の渋滞発生は生活道路として大変不便になりました。 国道も片側1車線のため、渋滞解消の手立てはないと思います。 札幌市として、そのようなことは検討せずにプロジェクトを進めているように感じます。 スクールバス2台のみだから渋滞はこれ以上発生しないなど、安易な考えではなく、生活道路であることを念頭にいただきたい。 本来なら、芸術の森小学校を作る際に検討すべきことだったのでは？と思いますが、学校を設けるならば、再度検討すべきことではないでしょうか。	

設問2：懸念や不安に感じる事（368件）

No.	2.2.5 保護者の送迎・車両増加による渋滞への懸念（11件）	回答集 ページ
43	マイカーを利用している父母の移動で、交通が増えるのではないかと公共交通を便利にして使ってもらえるようにしては、	回2-13 ～ 回2-14
60	学校が道道に面しているため、保護者送迎による交通渋滞の可能性を考慮する必要があると思います。	
70	バス減便等で交通渋滞が懸念されており「マイカー等の送迎が多くなると朝夕の渋滞が気になります。	
94-1	学校関係者、生徒送迎による交通量増加、渋滞。	
158	交通渋滞にならないかが心配	
164-2	その他、送迎の自家用車による学校付近の国道の渋滞。	
166	最大規模になるまでの交通体系に不安です。	
177	登校時の渋滞が心配	
189	道路の混雑	
301	外国人が増え治安の悪化が懸念される。交通量が増え地域住民の生活環境の悪化が懸念される。	
316-1	一度にたくさんの海外の子ども達、日本の子ども達が、かようことになります。保護者の送迎等の交通量の増加や治安などが心配です。	
2.3 公共交通（バス）の混雑(13件)		回答集 ページ
164-1	バスについて。 インターナショナルスクールの生徒はスクールバス利用が原則と思われるが、路線バスを利用することもあるのか。芸術の森地区の小中学生が利用する時間帯に、バッティングしないか。	回2-14 ～ 回2-15
349	バスはスクールバス以外は通学に使うのですか	
44	バス路線が減少して不便になるので、朝夕の増便を市にお願いします。	
54-2	2027年8月開校予定なら、関連スタッフの通勤も考えられます。減便(中央バス)に苦しみ地域住民のためにも減便を止めて下さい	
320-2	バス利用に伴うラッシュアワー解消施策について、市とバス会社はどう対策する？	
355	学年が上がってくると通学にスクールバス以外を使う生徒も出てくるだろうし、バスの混雑が今以上のものになるのであれば、適宜本数を増やすことが出来るのか？ 学校付近に住む人が増えた場合、学校付近からバスに乗る人が増えて、バスがこれ以上混雑するのは避けて欲しい。対策を中央バスだけではなく市でも考えて欲しい	
359-1	登下校についてスクールバスがあるとはいえ、中央バスの利用が大幅に増えると見込まれる。現時点においても外人観光客増加に伴い混雑している場面が散見される。常盤地区は真駒内駅に行くための公共交通機関は中央バスしかなく高齢者、通学生も多い。スクールバス及び中央バスの増便、あるいは地下鉄延伸等、地域全体の移動手段も重視しなければならない。	
26	地域住民が使用する公共交通(中央バス)に影響が出ないと良いですが。	
89	交通機関の混雑が予想される程度です。	
203-1	バスが混むこと。	
273	インターナショナルスクールとはいえ公用語が英語のため少なくとも外国人は増えると思うので不安です。近隣や交通機関のマナー等、バスの本数や混雑具合も問題が出てくると思います。	
278-1	上記記載（最終的に650人規模を想定しているとのことだが、この規模の人数になった場合、中央バス等のインフラへの対策を知りたい。只でさえバスが混んでいる。インフラをそっちのけで人数が増えること事態に疑問が残る。）のインフラ	回2-15 ～ 回2-16
290-2	スクールバスに乗れなかった場合の路線バスの混雑。	
2.4 説明不足・合意形成（29件）		回答集 ページ
No.	2.4.1 プロセスへの不信感・住民軽視（14件）	回答集 ページ
45	開校前に近隣の不安を払拭できるよう最大の協力をお願いします。	回2-15 ～ 回2-16
145	地域とのコミュニケーション	
160	今後も説明会は必要だと思います。但し、地域住民以外の排外的な人たち対策をどうするのでしょうか。	
221	事前説明が無いからこういう事になる。最初からハッキリ説明	
267-6	つきましては、改めて住民説明会を開催されることを強く要望いたします。 それがなされない限り、本計画には地域住民として受け入れることはできません。	
279-2	札幌市の計画も勝手に決められて、この計画も一部の住民の方と決めて、その方針だからと言われても全く理解できません。札幌市の端の常盤ならもし何かあっても影響ないからと押し付けられてるような感覚を受けます。子供を育てているご近所の方達も不安の声しか聞いた事ありません。どうぞ、ご自分の家の近くにこの計画がたった時の事をご家族と一緒に考えてみて下さい。	
281-3	住民合意を欠いた計画決定への強い不信感 本計画は、地域住民への十分な説明や合意形成を経ることなく、少人数による判断で進められているように見受けられます。 公共財産である廃校跡地の利用について、地域住民の声が軽視されている現状に、強い不信感を抱かざるを得ません。	

設問 2：懸念や不安に感じること（368件）

282	学校跡地の利用については、これまで住民税を納めてきた「近隣住民」の意向を優先すべきと考えます。 いきなり「外国人」への利便を図る計画を提案されても、「近隣住民」の生活や福祉を向上させるためにどのような恩恵があるのか、全く想像できません。 考えたくはありませんが、「札幌市」と「開発業者」との間に、何らかの利害関係があるのではないかと疑われてしまう程、突拍子もない計画だと感じます。	
296-2	アンケートを取ったという既成事実が必要だから、今回このようにしただけで、読むこともせず、このまま事業を押し通すだけでなんでしょうが、住民は本気で憤りを感じてます	
307	質疑応答集から大体の事は把握しましたが、江別パキスタン村の二の舞になるのではないかと、自分の街の治安が悪くなり安全に暮らせないのではないかと懸念しています。最悪家を売り他所へ引越す事も視野にいれてますがあってはならぬ事。また販売価格を知り、あまりの安さに驚愕。札幌市は常盤地区の未来のビジョンを住民抜きで進めてる様にしか感じられません。街の行方に再考を望みます。	
343	現時点で恐らく想定外の逆風に晒されている面があると思うので、札幌市、事業者共にこれまで以上に情報公開の透明性確保と丁寧な対応を望みたい。	
363-1	住民への周知について、なぜ隣接しているサンブライト町内会には説明会が終わった後に通知したのでしょうか？ 少し離れているアートパーク町内会には届いてました。 現在、芸術の森小学校の東側にメガソーラーを建設中ですがこれももしかするとアートパーク以外には説明会実施済なののでしょうか？ 市の住民周知のプロセスに少し疑問を持ってしまったのと今後気をつけると説明会で返答をいただきましたが、原因が不明だったので太陽光発電の件も含め、なぜ周知を行わなかったのかの説明をお願いいたします。	回2-15 ～ 回2-16
363-2	20年ほど前に常盤公園でのポンプ場設置についても地域住民への周知が十分と言えず 市のプロセスで揉めた経緯があります。 今回もそれに似た状況になっているため同じような状況にならないかを懸念しています。	
363-3	何か問題が起きた際の対応について 想定外・前とは事情が違う・採算性が合わないので再検討が必要 等の理由で、市の対応が継続されなくなることを懸念しております。 近々ですと、里塚霊園火葬場の案件になりますが、地下鉄沿線の約束について、この発言を確認しています。 問題が発生する・しないかが分かるのは10年後20年後の未来であるため、この里塚の件が将来常盤地区にも起こりえることではないかと不安に思ってます。	
No.	2.4.2 周知不足・情報伝達の遅れ（6件）	回答集 ページ
169	外部からの情報からの現状を知り誰しもが望んでの旧小学校利用、錯綜して情報が不安をあおいで残念です。 地元住民に対しての説明第一にです。	
213	昭和60年代に改装されてて校舎は、「後々は高齢者用として再利用するための造りである」と当時の職員がPTAに対して説明していた。 今回の計画については、正に「寝耳に水」であり地域住民が驚くのは当然である。再考を求む！ 札幌市の行政管理に不安を抱く！ ①市財鋼材盗難の件、②日ハム球場移転先の件 ③市電循環の件④児童福祉関係業務の件、⑤ノースサファリ問題の件等々全て無責任行政の表れ！	
247-3	懸念として 私は最近までこの計画を知りませんでした。 常盤に住んでいるのにも関わらず。 地元住民への説明が足りなさ過ぎではないでしょうか？ また、賛成や反対など意見を集めたのでしょうか？ 静かに進めようとしていませんか？	回2-17 ～ 回2-18
268	周知が全くされてなく、ネット等で初めてこのような計画が進められていることを知った。全くの周知不足な上に、住民の賛否を反映しなければ進めてはいけない案件にも関わらず、その機会を設けようという意識すら無いのは大問題である。常盤地区のような住民が少ない地域において外国人のコミュニティや活動場所ができるというのは、他の地域と意味合いが違い影響が大きすぎる。他地域で出てきている外国人問題が常盤地区で発生した場合、限られたスペースの為被害は甚大になり、そもそもここでのまともな生活さえ危ぶまれる事態になるリスクが大きい。リスクというのはリターンがあればこそ犯す価値があるものであり、住民にとってリターンがなくリスクだけがあるこのような計画は利害関係者以外誰も望んでいない。不確かなデマに騙されないでなどとマスコミや立憲民主党の市議や共産党などが吹聴しているようだが、何が不確かなのか。実際に問題が起きた場合そういった連中は責任を取るなどなど決して無い。現実問題として現在北海道だけでも二セコ等の不法建築、釧路湿原や白老など多数の違法メガソーラー、江別のパキスタン人による違法ヤード等々外国人絡みの問題は山積みであるし、それらの問題に対し北海道なり札幌市が適正に対処できているとは全く思わないし、これからもできるとは到底思えない。このような状態で地域がリスクを負う可能性がある事業を容認することは絶対にできない。	

設問2：懸念や不安に感じる事（368件）

306-1	地域に充分説明を尽くしている等と言っている住民もいるようだが、インターナショナルスクールの件がお知らせに載ったのは最終の10号であり、それには既に優先交渉権者にGIE社に決定したと報じられ審査委員会の存在も見えてきた。住民とこの件の接点はそれまでは検討委員会。色々なことが降って湧いてきた事になる。 今の日本や海外の情勢をみても懸念を抱かざるを得ない事態が一方的に地域の理解を得ないままに進められている。 このまま進めても入る生徒さんが可哀想では？	回2-17 ～ 回2-18
331	地域住民への情報発信が少なすぎます。もっと早く丁寧に情報を伝える努力をすべきです。 私もそうですが、全く知らなかった人が多くいます。	
No.	2. 4. 3 説明内容の不備・範囲への不満（4件）	回答集 ページ
260-2	札幌市がインド人系学校ということをして今になって違うと否定しているのが不信感を持たせる	
298-2	そのようなことを考えると今回の事は地域住民としてはデメリットの方がかなり大きいと感じるのは当たり前だと思う。 また地域住民への説明や説得などは済んでいるなど書いていたがそのような事をしっかり説明されたことはなかったため今回の件は市に対してもかなりの不信感を覚えている。最低限また地域限定での説明会は何度か行うべきだと思う。 もし今回の事案を押し通すのだとしたら外国人が問題を起こした場合どうするのかなどもしっかりと説明しそれが現実になった場合しっかりと対応してもらいたい。 また常盤小学校は母校であるが母校が問題を起こす外国人を生み出す場所になる可能性があるとするのならば全力で反対したいと考えている。 問題が起こらないと思われている納得できる根拠はしっかりと説明していただきたい。	
367-1	私も説明会は参加させてもらいました。私の母校が外国人の持ち物になることに、不安感を覚えて参加しました。 常盤以外の、すぐ隣の石山東、石山緑地越えてすぐの石山や藤野からも来られてる方がいらっしゃいました。もし、インターナショナルスクールができたとしたら、常盤だけの問題ではなくなるからです。それほど、「元常盤小学校が外国人のものになる」ということは、大変で重大なことだと思います。だからこそ、ニュースレターを配るのは、ひっそりこそそと芸術の森地区だけではなく、もっと広い真駒内、藤野、川沿などまで周知徹底すべきです。 正直、この問題について、住民の方々の中には、関心を寄せていない方もいるかと思います。そういうよくわからない、という方たちに、インターナショナルスクールの薄い資料を見せて「こういう学校に生まれ変わります」と宣伝を打つのは、フェアではないと思います。今は、「ああそうなんだ、よくわからない」、という人たちの今後の生活に、大きな影響を与える可能性もあるからです。	回2-18 ～ 回2-19
367-2	せっかく説明会を開いたのですから、「もしインターナショナルスクールができたなら、こんなメリット・デメリットがあります」という、客観的な視点からの説明もして頂きたかったです。例えば、メリットとしては、 1, 地域に国際色を感じることができる 2, 交流などであれば、外国人について、理解を深めることができる というようなメリットもあると思います。 説明会では、生徒さんたちは、真駒内駅から専用バスで通学する、ということでしたが、学校の周りに移り住むご家庭もあるかと思っています。さらに、学校の職員や、生徒さん、その家族をアテにした外国人相手の商売をする外国人も、移り住んでくる可能性もないとは言えません。 そういう、外国人がたくさん集まっている地域には、どんな変化があるのか、調べてみると、 1, 日本のごみを出す時のルール(指定のごみ袋を使う・曜日ごとに出すごみの種類と分別など)をあまり理解できず、川にごみを流したり、ごみを外に放置して、カラスなどに荒らされる。 2, あらゆるものの窃盗事件や、性的暴行事件が増える可能性 3, 宗教観や生活習慣の違いが溝を生んでしまい、なかなか埋まらない。 これらがデメリットになるかと思っています。質疑応答集の14番と15番に、札幌市の「でも、がんばる」という内容の答えが載っていましたが、それでは、それなら安心だね、という回答を出すことはできません。そうなりますと、外国人が日本のルールやマナーを守らず困っている地域の警察や市政は、サボってがんばってないということでしょうか？ こうして少し考えただけでも、住民との間に軋轢が生まれるのは、簡単に予想がつき、それは想像以上だと思います。もし、デメリットの現象が起きたら、インターナショナルスクールが原因ということでしょう。なぜって、インターナショナルスクールができなかったら、ほぼ発生しない問題だからです。 そうになったら、インターナショナルスクールや札幌市は、その責任と対策についてどう考えるのか。そういうところまで説明して初めて、説明責任を果たした、といえるのではないのでしょうか。	

設問2：懸念や不安に感じる事（368件）

No.	2.4.4 報道・SNS・外部の声と実態の乖離（5件）	回答集 ページ
208	地域住民、また同じ南区や札幌市など全道・全国から、たくさん意見したい人がいるであろう事に対して、現在のところ個人個人の意見を発信できるのがSNSぐらいしか方法がない中、小さな近くの意見や不安を過激な反対活動をする一部の人間と一括りにして迷惑だとか頭がおかしいなどSNSのコメント欄などで抑え込もうという人達がいる事や、ニュースや新聞は、地域住民は大歓迎しているなど、誰からも聞いてないような話しが報道されていて何が何でも常盤小学校跡地をスクールにしなければならない！みたいな恐ろしさを感じます。 地域住民を代表した誰かとは、話し合いなどを重ねられたのかもしれませんが地域住民には、回覧板で一度（だったか）こういう事になりましたという報告だけだったように思いますし、地域説明会の時に警察や街宣車で何かあったのかな？→インターナショナルスクール？何それ!!という方もいらっしゃいました。 地域住民の間に、必要のないわだかまりなど生まれないようにしてほしいです。	回2-19
250	テレビや新聞では、住民は賛成しているが、一部の人間が強硬に反対しているという論調で報道されているが、少なくとも私は賛成していない。どういうことか。	
321	住民説明会等の報道で、反発が大きかったこと。（出席しておりませんので）	
363-5	個別の番組や局を批判したいわけではありませんが、報道のされ方全般について、住民として違和感を覚える点がありました。 説明会においては、感情的な行動を取った一部の場面が目立ちやすくその結果、反対意見全体が過激であるかのような印象が生じていないかを懸念しています。 実際には、周知不足、審査の公平性、事業者の対話姿勢など、具体的に意見を述べている住民もいます。 また、検討の経緯や時系列が整理されないまま報道されることで、公募全体の流れと、今回の選定の経緯が混同され、読者や視聴者に誤解を与える可能性がある点も気になりました。 新聞やテレビ報道は影響力が大きく、意見募集や説明会の前後に偏った印象が広がると、住民が自由に意見を表明しづらくなる環境を生む恐れがあります。 その結果、後の市の行政判断にも影響を与えてしまうのではないかと懸念しております。	
363-6	同じく今回の件、議員・党員の発言も含めて議論が進み、結果として地域の問題が政争の具のような形で扱われている点を不安に思っています。 これから述べることは、特定の議員や政党を批判する意図ではありません。 しかし、議員・元議員という立場からの言葉が先行することで、住民が「差別的だと思われたくない」「批判の対象になりたくない」と感じ、本来であれば上がってくる意見が出にくくなる状況が生じていないかを懸念しています。 差別や排外主義と受け取られかねない言葉が用いられることで、賛成・反対意見を持つ住民が「発言すると否定されるのではないかと」と感じ、意見表明を控える空気が生まれていないかについても、慎重な検証が必要だと感じました。 特定の立場や価値観に沿った発信が結果として優位に働き、住民の意見形成が偏ってしまう構造が生じていないか、市としても中立性・公平性の観点から検証していただきたいです。	
2.5 宗教・文化摩擦（31件）		
No.	2.5.1 生活様式・価値観の相違と「地域の外国化」への懸念（12件）	回答集 ページ
35	大勢の国籍の人が集まり(日本含む)地域住民とのトラブル（ルール・マナー）等々に依り軋轢が生じる事、又、問題が起きた時の対処方法は？	回2-19 ～ 回2-21
74	生徒層の国際化に伴い、日本文化との相違による生活様式での衝突等が一番に危惧されるのではないのでしょうか。	
134	外国人住民の多い地域では、文化や生活習慣の違いから、多少なりともトラブルがあると聞きます。言葉の障壁もあることから開校初期においては、スムーズな解決に至らない可能性が懸念されます。	
193	地域住民としましては、外国人を受け入れにはあまり賛成ではない	
214	この地域はおだやかな地域で長年住み慣れています、外国人家族により外国化されては困ります。	
229	外国人が増えるとニセコや倶知安のように土地の買い占めや文化の違いによるトラブルが増え、先住の人たちが住みづらくなる。	
241	やがては親族等も当該地域へ居住される事になると思われる。文化・価値観の違いから、現在日本各地で問題となっている事態は必然と思われる。	
254	生徒のみならず、その生徒の家族も学校の近隣に住むこととなると生活習慣の異なる外国人の数が莫大に多くなることに懸念があります。	
279-1	札幌市の質疑応答の回答を見ましたが、全く不安は解消されませんでした。学校ができれば、必ず外国人が常盤に集ってくると思います。今のニセコや江別のような外国人問題が起きる可能性があると思います。日本人とは宗教も習慣も違います。日本を理解してあわせられる人達だけが来るのなら理解できますが、彼らを理解して受け入れろみたいな事を言っている議員さんもいるようで、後先か逆でどうかしてと思っています。	
315-1	日本の文化の破壊、生活習慣を十分理解させる事	
324	全国で懸念されている外国人と地域の摩擦が心配である。	
348	地域の外国化	

設問2：懸念や不安に感じる事（368件）

No.	2.5.2 相互理解・交流・共生への期待と要望（8件）	回答集 ページ
9	今まで見かけなかった外国人にお逢いするのは慣るまでは、とまどうと思います。	回2-21 ～ 回2-22
12	文化の違いはあると思いますがその国を尊重しながら和をもって接したい。	
28	生活環境や考え方の違い等、最初は色々あると思いますがコミュニケーションを取り合いながら理解し合っていければと思います。	
32	マナーの悪い人は日本人にもたくさんいます。話し合いで解決出来ると思っており懸念や不安は全然ありません。	
34-2	文化の違い、生活面でのフォロー希望します	
37	外国人とくらす事に不安はありません。 むしろこの地域がより国際色にとんだ地になることを切に望みます。	
64	お互い知らない事による偏見があったら困るので、直接何かの行事で文化とか知る場があるといいです。	
313-2	同じ地域にある小中学校との摩擦が起きる可能性を懸念しています。	
No.	2.5.3 特定の国籍・移民政策への強い拒否感（11件）	回答集 ページ
276	中国人などアジア系で日本を良く思っていない国の人を入れないで	回2-22 ～ 回2-23
278-2	シンガポールに本社があるとのことの為、中国との関わりが気になる。（シンガポールは華系が約75%で構成されているため） 中国という国に対して、他の観光地や海外への事業をみると、ろくな噂がない。その関わりが少しでもあるというだけで、ろくなイメージがない。	
280	今 たででさえ移民問題 文化の違い 言葉の違い 考え方の違い 宗教の問題。マナー ルールの問題... 犯罪の増加！全世界で移民受け入れを制限もしくは禁止の動きになっている中なぜ逆行するのか！！共生なんて出来ないし する気もない。最近 滝野霊園やでっかい仏像が外国人の観光スポットになりオーバーツーリズム化し 外国人だらけで満員で路線バスに乗れない事はご存知ですか！？ コンビニに集団でいて迷惑 声大きい 怖い。ゴミ捨てマナーも悪い。 せっかく常盤というのどこで自然豊かな環境にマイホームを構えて この学校が開校することになるなら引っ越したいくらいです。絶対に反対します！！！！観光客でさえ迷惑でしかないのに 外国人学校ができるなんて絶対許せません！！ やめてください。家の価値や土地の価値も下がります！受け入れる気は全くありません。	
311-1	資料には学校運営の綺麗事ばかり記載されているが、地域への負担について触れられていない。どれだけ地域生活に危険やリスクをもたらすのか、もたらさないなら具体的な対策を示してほしい。常盤地区に住んでいる人の大半は静かで景観と治安に優れた住環境を求めており、この小さな町に得体の知れない外国人が大挙として押し寄せてくることは驚異でしかない。特に中国人はリスクそのものであり、中国人が教員や関係者、生徒として流入してくることは断固反対する（韓国人も似たようなもの）。	
212	宗教の問題。例えばイスラム教による道路などを封鎖してお祈り問題や、グローバルの学校内で親同士における宗教観のいざこざ。この辺は山が多く隠れて悪さをするのに最適な場所だともわれる。見回りなどを定期的にするのか。また、偏見ではあるが、外国の子供は火で遊ぶイメージが強く、日本に適応するための教育などをきちんと行えるか。騒音やゴミ問題。あとグローバルな学校における各国の祭りの開催など。	
247-2	次に宗教です。 宗教の相違により争いが起こる可能性が高いです。 日本は宗教に囚われることが無いので分からないかもしれませんが、特にヒンドゥー教は過激です。これがまた治安に繋がります。	
263	何年も前から外国の子供が増えている地域での開校は理解できます。しかし、外国人が限りなく少ない地域に、外国人が急激に増えてしまうのは、環境の変化に不安を感じます。特に宗教の違いは不安が大きいです。	
2	この学校自体よりそれをめぐる外国人排斥の動きに不安をかんじます	
38	ヘイトをあおる国策に不安を感じます。 説明会で一部の人の態度に恥ずかしい思いになりました。あるいは恐怖。	
315-2	日本人と平等に使う事ヘイトの問題	
216	南区内では既に小学校の統廃合が行われているのに日本人がわざわざ大学生並みの授業料を払ってまで行かない。 だからと言って就学者集めに他地域、外国から募集すると日本になじめない人々の学校になってしまう。公立でも就学していない者もいる そういう場所は増えてはならないと思います	
2.6 生活マナー・ルール・環境（26件）		
No.	2.6.1 ゴミ出し・騒音・公共マナーへの具体的懸念（14件）	回答集 ページ
41	最近アジア系の観光の方々が緑地公園や滝野方面に多数来ています。歩道やバス停の回りなどゴミのなげすてがふえている事が多いです。	回2-23 ～ 回2-24
59	地域でのルールが守れるか？が不安	
183	インパウンドの方の日本のマナーや文化の尊重に対する意識の低さも、地域の安定が維持できるのか、住民の不安になっていると思う。	
220	外国人が増加することによる環境の悪化 (特に中国人(一部だが)のマナーの悪さ、心配)	

設問 2：懸念や不安に感じる事（368件）

232-1	大人数の外国人が増える事による不安	回2-23 ～ 回2-24
232-2	常盤地区の環境が壊れるのではないかな	
257	ゴミ出しルール、生活習慣等によりトラブルが起きる。 安心して暮らせるまちづくりを進めると言っているが具体的な内容がわからない。 いいことはなんとでも言える	
260-3	生活習慣の違いによる夜中の騒音	
277-2	そうなるとこの地域に外国人が増えて、マナーが悪くなるのではないかな。全外国人がマナー悪いとは思わないけど、少なからず文化が違うので、日本の慣習文化に適應して暮らしてもらえるのか不安です。	
283	他県での外国人とのトラブルの話しや札幌での買い物中や旅行中に外国人のマナーの悪さや考え方の違いを見て来た為、同じ地域には来てほしくない！不安しかない！	
291	人種差別ではなく、地域のルールを守れるか、夜の騒音問題、犯罪や治安悪の増加 常識や価値観の違いから発生するトラブル。なってからでは遅い。	
302-2	札幌市さんも事業者さんも外国人が住み付く事は無いでしょうとの見解ですが、数年後どうなるか、どうなっていくかは誰にも分かりません。 現在国内のあちこちで増えている外国人のマナー等で困惑している地域の問題を聞いたり目にするとはやはり不安です。 ゴミ出し等の徹底もクマの心配のあるこの地区では必要になってきていますし… そうってしまった時にこの小さなコミュニティの声が行政や社会に取り上げてもらえるのか？心配です。	
310-2	生活習慣の違いなどで地域住民とのトラブル などが懸念される	回答集 ページ
336	生活のルール・マナー（ゴミ分別、バス・地下鉄の中、コンビニ等）が守られることを祈ります。	
No.	2. 6. 2 トラブル対応の実効性と責任所在への不信（8件）	回2-24 ～ 回2-25
175	マナーを守らない人や事件、事故が発生した場合、誰が責任を取りどのように改善するのか明確にしてほしい。	
205-1	外国人の増加により生活習慣の違いや治安悪化に関することなどは、いくら対策すると表明されても現実的に解決は簡単ではないと思います。	
207-1	外国人の増加によるトラブルの増加に対し不安を感じています。同封されたQA14に現在の札幌市取組が記載されておりますがどの程度効果が出ているものか疑問ですし、情報に興味を持たない層に対する対策は検討されていますか。	
267-1	騒音苦情を受けた際の24時間対応窓口および改善プロセスと期限	
284	ゴミだしや交通ルールなどトラブルが起きた場合、責任は誰が取るのか、対処しますなどの曖昧何やり方では結局地元住民が迷惑するだけではありませんか。札幌市がキッチリ責任を取るならまだしも、説明会での対応を見る限りでは全く期待できません	
289-1	既に質疑応答に記載されていることですが、騒音、ゴミ出し、交通規則など、外国人関係者が日本や近隣町内のルールを守れるのかが非常に不安です。スクールバスの運転手も、日本の交通ルールをよく知っている者を採用する予定との記載ですが、あくまで予定であり、確約されたものではありません。また、札幌市ではトラブルを防ぐべく情報発信に努めているとありますが、「努めている」や「指導している」だけでは不十分であり、対応していないのと同じことです。豊滝の動物園の例がありました。札幌市は指導を続けてきたと述べているだけで、従わないことへの次の対応が全くなされていなかったと感じました。事件、事故が起きてからの対応では遅いと思いませんか。契約条件に、地域とのトラブルになる行動は絶対に行わないこと、トラブルが起きた場合には何年後でも契約を無効にする旨などを明記するくらいの事前対応をしていただきたいと思います。	
294	全国的に民泊が問題になっているのにトラブルが起きた場合誰が対応に当たるのか、旅行者と学校では違うという認識なのだろうが地元住民にしてみたら同じです	
313-3	日本のルールやマナーは誰がどう教えて行くのでしょうか。守られない場合は、札幌市及び札幌市長が責任を負い、市が指導していくのでしょうか。	回答集 ページ
No.	2. 6. 3 ルールの周知徹底・教育・交流の要望（4件）	
180	やはり日本に居ることを考えてその土地のルールを守って住んでほしいので、その事をスクール側で伝えて友好的に進めてほしいです。トラブルなどがあるのではと不安に感じるところです。	回2-26 ～ 回2-27
312	ヨーロッパ等の移民難民の様子を見て、日本も外人が増え秩序がなくなっていくのでは…と心配です。 インターナショナルスクールができる事で、この地域に外人が集まって来るのでは、と懸念します。	
313-1	学校周辺に、多くの外国人居住者によるコミュニティができるのではないのでしょうか。スクールバスの利用を想定しているとのことですが、通常子供のことを考えれば、スクールの近くに住もうと考えるはずで。外国人が多い地域となれば、外国人による外国人のためのルールが自然形成されていくのではないのでしょうか。	
202		

設問2：懸念や不安に感じる事（368件）

2.7 将来の撤退・土地売却リスク（20件）

No.	2.7.1 外国資本への売却・国土保全（安全保障）上の不安（6件）	回答集 ページ
102-2	10年後の施設の利用方法が不明であり不安	回2-27 ～ 回2-28
209-3	「質疑応答集」の中にも記載されておりましたが、この金額ではあまりにも安すぎるのではないかと考えます。早く売却してしまいたい札幌市の考えはわかりますが、あまりにも安すぎるのではないかと考えます。	
295	契約上10年の用途指定期間とありますが、10年過ぎてから外国人に売却されることは考えられないのですか。特に今問題になっている中華系への売買は？現行の法律で規制できないのならなおのこと慎重になるべきだと思います。当初の地域住民の要望を無視して、更地にして宅地造成が一番だったのではないのでしょうか。	
297-2	仮にインターナショナルスクールになったとしても10年経ったら転用出来るんですよね。説明会でお聞きました。 他国の方に土地を売ってしまったら、その後はどうなるか分からないですよね。 地域の人間としては不安しかありません。 優秀な人材に来てもらい地域発展の為に考えているのであれば、土地は札幌市が持つべきです。	
311-2	北海道は外国資本に森林資源、水資源、ニセコや富良野の土地！釧路のメガソーラーといったものを売り渡した結果、未来に向けた負の遺産と安全保障上のリスクを遺すことになってしまっている。本件はまた同じ過ちを繰り返すものになるとしか思えない。	
337-4	同時に売却をすすめた石山東小学校は、スムーズにすすんだ。排外ではないが、外国資本にたいして信頼感を持ってないことが影響しているか。優先提案者の当該企業は、サウンディングはなく公募があったと思われる。当該企業は外国投資会社の出資もあるようで、投資に見合う収益の確保ができるか、用途指定期限10年後の事業継続に懸念する。	回答集 ページ
No.	2.7.2 契約条項・法規制の強化要望（転売制限・買戻し特約）（7件）	
79	将来学校運営が厳しくなった時が心配 転売、用途制限があるといっても不正な建築された場合の市などの対応および関与がどこまでできるのか？	回2-28
210-1	教育の場を作るのは結構なことだと思います。が、それを口実に契約、買取後は違法なことを平気で行う事象が目につく昨今です。そもそも日本の規制の甘さを利用されてるだけではないのでしょうか。札幌市として民法第580条を理由にあげてますが10年経過後はどのような考えなのか、さらにその先永劫的に用途指定、売却の禁止などとするための規制条例など作る準備も無いのでしょうか？ 日本の政令指定都市の一都市として いつまでも右にならえの姿勢で良いのでしょうか？ 私は札幌市の姿勢の方が懸念を感じます。是非、今後の札幌市としての覚悟、取組をお聞かせいただきたいと思います。	
210-2	土地と施設は未来永劫教育の為にのみ目的で継続することを契約条件に明記する事、仮に他社へ売却する考えがあるとするなら、売却条件に未来永劫教育目的のみに使用しなければならない土地、施設であることを条件として明記できますか。日本の土地、設備を勝手な目的に使用されるのは断じて許容できません。	
215	売買後、10年間は転売禁止となっているが10年経過においても安易な転売ができないよう規制はかけることができないか。	
234	売却すべきではないと思う。日本の子供たちのために作られた建物・土地なので、まこまるのように地域の人々が集まって、グラウンドで遊んで、天気の良いときには屋内でも遊べるような施設を望みます。	
266	10年経過後の事業廃止、転売可能性が残ることが不安。 民法の10年間の買戻し制限があったとしても、契約上で10年以後の転売時に「札幌市の承諾必要」を契約条件化すべきではないか。また、転売後の新所有者にも転売には「札幌市の承諾必要」とし業者間転売の介入を防止すべきではないか。経営者が変われば、対応が180度変わることは当たり前起こる。性善説前提では、将来に禍根を残すことになる。	回答集 ページ
289-2	売買契約後10年間は転売できない旨を契約条件に入れるとのことですが、心配なのはその後です。GIE社は実績のある企業かもしれませんが、何年か後に転売された場合、札幌市との協議を行っていない外国企業がやってきて法に従わない開発を行い、静かな常盤の街が壊れるのではないかと不安になります。小野田大臣がおっしゃっているように、ルールをきちんと守れる企業の選定が必要であり、未来にわたって継続できるような施策が必要と考えます。旧常盤小学校の建物は、用途地域の関係から宿泊施設への改築はできないことになっていると考えて良いのでしょうか。大型観光バスが何台もやってきて、出入り口付近での渋滞や事故が多発することはないと考えて良いのでしょうか。ニセコでも海外の企業が違法に山林を切り開き、道が中止命令を出しても対応もせず、結局は北海道の自然が壊されています。釧路のメガソーラーでは、日本の企業が法律を無視した工事を行っており、工事完了後は海外企業に転売するとか。GIE社が現目的を遂行できなくなった場合には、札幌市に返却し、あらためて札幌市が売却先を決めることにしなければ、この先の未来、札幌市は海外企業が運営する街になってしまいます。	
No.	2.7.3 事業破綻・撤退による「再度の廃墟化」リスク（7件）	回答集 ページ
90	永続的に運営していけるのか	回2-28 ～ 回2-29
136-1	札幌市内から距離が結構あるので、生徒が期待通り集まるかどうか？	
136-2	期待通りに生徒が集まらなければ、将来的にまた廃墟にならないか？	

設問2：懸念や不安に感じる事（368件）

168	倒産する事がないか？	
281-4	事業の継続性および将来的な転売に対する重大な懸念 仮に学校運営が継続できなくなった場合、土地や建物が転売され、地域の実情にそぐわない用途に使用される可能性があります。 その際、市が関与しない形で事が進めば、地域住民は将来にわたり不安定な環境を強いられることになります。 本地域に暮らす住民の安心と尊厳ある生活を守るためにも、本計画の推進は到底容認できるものではありません。 市におかれましては、地域住民の切実な声を真摯に受け止め、慎重かつ責任ある判断を強く求めます。	回2-28 ～ 回2-29
323	生徒があつまらずまた廃校になるのではないかな。	
337-3	義務教育の履行と認められない機関に、優秀な人材(教師・生徒)が集まるのか。日本人が50%以上で、GX、エネルギー関連等の高度人材の受け皿としたい市の目論みとはほど遠い。	
2.8 地域格差・不公平感（2件）		回答集 ページ
174-1	地域の校区に通う子どもとGIE社に通う子どもとの経験格差。	
205-3	芸術の森小学校という公立学校があるのに、わざわざ授業料のかかる民間インターナショナルスクールを校区内に設置するのは、地域内に教育格差を生む懸念もあります。	回2-29
2.9 教育内容・費用・制度（36件）		
No.	2.9.1 教育の質・カリキュラム・学校生活への具体的不安（6件）	回答集 ページ
57-1	生徒の学業以外の生活状況や寮生活の過ごし方が想像できないこと。	
57-2	教員15名でスタート、その後増員となっているが、本当に有能な教員が確保できるのか不安。	
181-1	生徒数確保のために入学要件が緩くなってしまうのか。	回2-29 ～ 回2-31
192-2	学費の根拠となる事項、人件費でしょうか、教材費は事前にプールされているのでは、	
194-1	大学進学実績はあるが、高校はどうなのか？	
346-2	また給食はあるのか記載されてない？	
No.	2.9.2 事業の実現性・持続性への疑問（立地・費用・冬期）（6件）	回答集 ページ
19-2	うまく生徒たちが集まるのか不安もあります。	
174-2	富裕層の住むエリアからここまでは雪道だとスクールバスなら片道1時間以上かかります。本当に国内の富裕層がここに通いながら習い事や塾も通わせることができるのかそういった地理的なこともよく考えてください。	
178-1	スクールバスは出ると思われますがこんな辺鄙なところに通ってくれるのでしょうか？	
277-1	札幌市には交通の便の良いインターナショナルスクールがいくつもあります。わざわざこんな南区の端で開校するのはなぜなのか？通わせるのも大変だと思うし、	回2-31 ～ 回2-32
346-1	授業料も高いですね。昨今高校は授業料無償の国内です。未就学児～中学生にしても一月15万円前後掛かります。これ位の頃の親の収入を考えると厳しい様に思います。金持ちの親御さんでなければ難しいのではないかと思います。	
367-4	もうひとつ、GIE社の方は、説明会では、「スクールに通う子供達の何割かは、日本人になる」と説明していたと思いますが、質疑応答集の12番の回答ですと、日本国籍の子供は通えないことになります。どんな日本人の子供が通うのですか？もし、日本人がこのスクールに子供を通わせようとしたら、親としての就学義務を怠っていることになるわけですね。 このスクールがダメだと言っているのではありません。ただ、もっと日本人の、札幌市民のためになるようにしてほしいです。	
No.	2.9.3 就学義務・法的地位に関する懸念（5件）	回答集 ページ
179	項目12インターナショナルスクールに就学させても法律で規定された就学義務を履行したことにならない、とあるが日本国籍の子どもがインターナショナルスクールに就学しつつ、法律の規定を満たすにはどういった手法があるのか	
222	Q12にある様に、この学校？は日本人のためにはならない施設	
258	送付されてきた質疑応答集の12で「日本国籍を有する子供について、法律で規定された就学義務を履行したことにはなりません」とありますが、小学生～高校生まで約1930万円もの授業料がかかるにもかかわらず就学義務を履行したことにならないのであれば日本国籍を有している子を通わせる意味がありませんし、初めから外国籍を有している人の学校としか思えません。	回2-32 ～ 回2-33
306-2	もしも数年通って途中何らかの理由で退学等になった場合、日本国籍の子供さんに対してはどの様に対応するのか？ 住居地近くの学校に編入できませんよね？就学義務を履行していないのですから。	
334	途中で他の校からの転入または他校への転出は可能なのでしょうか	
No.	2.9.4 生徒・関係者の居住と安全管理（5件）	回答集 ページ
187	学校へ通う子供たちはどこに住むのか？	
192-1	他校での生徒の国籍の割合と今回考えている割合は	回2-33 ～ 回2-34
204	札幌市南区は熊出没情報が出ていることが多いが、どれだけ安全に生徒を守る計画を具体的に示してほしい	

設問2：懸念や不安に感じる事（368件）

311-4	また、学校への通勤や通学も懸念されるが、関係者や生徒家族が常盤地区に転入してくることはあるのか。学校の敷地内だけならいざ知らず、敷地の外に出てくるのであれば、治安悪化がとても懸念される。	回2-33 ～ 回2-34
361	職員及び通学生等、不法滞在者の受け入れは確実に防ぐことはできるのか？	回答集 ページ
No.	2.9.5 地域貢献・連携・運営管理への不信（8件）	回答集 ページ
17-1	地域に開けた学校にしてももらえるか不安が少しあります。	回2-34 ～ 回2-35
267-2	地域住民との定期的な意見交換の場（連絡協議会等）の設置予定と開催頻度	
267-3	問題が繰り返された場合の責任の所在と確実な是正措置	
267-4	法的な強制力がないからこそこの不安 これらの問題は法律で罰せられないため、一度発生すると改善が極めて困難です。 学校側が自主的に「ほぼ100%遵守」を担保する仕組みを事前に文書で示していただけない限り、私たち住民の不安は解消されません。	
288-1	地域交流や貢献を謳っておりますが、それを実行しようとする意思が全く感じられない。不誠実な運営方針です。まず、タイトル以外に旧常盤小学校の名前すらない。（テンプレで名前だけ変えたのでしょうか。）まず地域周辺の調査結果もなしに、なぜこの要望や方針が通っているのか理解し難いです。「地域連携協議会、みんなの声ポスト」など記載がありますが、これも機能するか甚だ疑問です。しかも、つくば、大阪では日本昔教育の評価がだいぶ低いそうですね。その状況で、どう地域連携や、地域貢献するのですか？お金も発生しない、自分たちの子どもでもないボランティアとしてそこまで時間に余裕のある人々がどれくらい常盤にいらっしゃるのでしょうか？またその時間があるのがご年配の方々に限られた場合は、かなり地域の声としては偏りもありますし、それこそ子ども達に寄り添ったものではないと思います。防災・地域の声とでも、あなた方が地域と連携するポーズだけを、地域に貢献すると見せかけ、地域の負担をあげているだけに見えます。	
288-2	また地域雇用の実績ですが、用務員に仮に100名雇用するとしても、地域に対して大した経済効果はありません。しかも、卒業後、進学後の実績も有名大学への進学のみで、地域踏み台に新規雇用還元する気無いのが見え見えます。 地域に寄り添うつもりの外資本の教育機関はこれ以上札幌に必要ありません。	
360	東京、大阪、つくばの開校後地域住民とのトラブル等発生の際はなかったのでしょうか。	
365-2	この会社はちゃんと教育のみに運営してくれるのか？	
No.	2.9.6 日本文化・ルールの教育体制とスタッフの質（6件）	回答集 ページ
75	将来の子供たちのために、信念を持って取り組まれているのか不安です。たち上げた以上、何があっても穏やかに子供たちを導いてほしいです。	回2-36
135	日本語対応可能スタッフがいるということですが、言葉だけではなく日本の風習、日本人の特徴、学校に対する日本人の考え方やこの地域の特徴などが分かるスタッフがいるとトラブルなども未然に、もしくは小さくすむのではないかと思います。	
159	学校と事業体を信じていますが、地域連携と多文化融和に努力して下さい。活動が地域ルールや環境との対立を招来しないこと。	
181-2	地域との共存のためには日本の文化なども学ぶ必要があると思うがそういう教育はされるのだろうか？	
206	地域住民と仲良くしてほしい。インターナショナルでも公立でも、地域や回りの大人は、子どもが育つ環境の一部だから	
320-1	職員、外国人生徒・家族の日本文化・慣習への理解は？	
2.10 外部干渉・風評被害・分断（20件）		回答集 ページ
3	反対している人たちが地域の人でないことに不安 外部から来ていて反対している	回2-36 ～ 回2-37
8	住民以外の反対する人が不安や混乱を煽ることが心配	
10	地域外の反対勢力の動向。	
33	現在、SNSで反対している排外的で攻撃的な方たちが、開校後、妨害してこないか心配。	
120	共生条例が施行された札幌市において、外国籍であることをもって差別的に扱うことは決して許されることではありません。GIEが常盤に開校されることは歓迎すべきことであり、それに対する不安はありませんが、外国人を蔑視するような偏った考えをもっての方が反対運動をすることが懸念です。	
127	11月に家の郵便受けにインターナショナルスクール開校に反対のビラが入っていました。内容は何ら根拠のない妄想に近い理由が書かれています。しかも自分たちの連絡先は書かれておらず、意見はグローバル社と札幌市に連絡するようにと言うもので、これは明らかにSNS上の犬笛に相当するものと考えます。また旧常盤小学校前で「移民受け入れ施設です」というプラカードを掲げた男性を2度見かけました。このような外国人というだけで排除しようとする人たちに対して強い憤りと気味の悪さを感じています。近隣に住む者として心穏やかに過ごせません。	
137	反対の人たちのデモ	
151	地域外がよく理解してもいないで意見してくる団体的な動きには、危険なものを感じる	
153	外国人をあからさまに排除しようとする勢力があることは認知しているが、それらの人が地域の問題に口を挟むこと	
154-1	地元の住人でもない人が反対を叫んでいることに違和感を感じる。日本人、外国人関係なく仲良く出来ないものか。	

設問2：懸念や不安に感じる事（368件）

155	地域に住む者としてこの度の学校が出来ることには賛成していますが、SNSなどで不確かな事柄が広まってしまっていてここに通おうとしているお子さん達や保護者、関係者の方々が大変な思いをされること。 さらにその事で地域が混乱する事が心配です。	回2-36 ～ 回2-37
156	我が家には外国籍の家族がいるため、今回の反対運動が元々の外国人住民の排斥にも繋がってしまうことを強く懸念しています。町内会や少年団、PTAにも積極的に協力し地域に溶け込んできました。日本国籍の子供たちにとってはこの地区は故郷です。地域のためにも努力してきたのに、外国籍の親だけではなく、一家として、いつか住めなくなってしまうのではないかと、とても心配しています。	
178-3	今はインド人居住区ができるという近隣住民の間違った情報がどこから出てきたのか疑問に感じます。	
186	一部の反対者たちによって通学する子どもたちに盗撮や恐怖に感じる事などの危害がありそうなので、注意してほしい。	
188	真駒内駅の102乗り場に向かって演説していた男性がいましたが、その方が言うにはインドの難民がくる。インドが持て余している碌に教育を受けていない難民が補助金目当てに大勢くる、常盤地区の空き家に大挙して来る、日本語の通じない、ルールもわからない方々だ、といったことを語っていましたが、それがデマならそう言い切してほしい。	
191-1	異文化交流の機会が広がる一方で、地域外の方が増えることで、治安面や反対活動などへの不安もあります。常盤地区には交番がないため、万が一の際には対応が遅れてしまうのではないかと心配も残っています。	
191-2	反対運動をされている方々の今後の動きについても不安があり、SNS上で広がっている誤った情報にも心配を感じています。ニュースや新聞よりもSNSを参考にする人が多い印象があり、「インド村」といった表現が使われていることにも戸惑いがあります。こうした状況の中で、未来のある子どもたちをしっかりと守っていけるのか、不安が残っています。	
285-1	事業に反対されている方というのは、右翼団体でしょうか？	
285-2	インターナショナルスクールが出来た場合、右翼団体が頻繁に来ることになるのでは？	
326-1	反社会分子が増えることがないのか？	
2.11 肯定的・期待（27件）		
No.	2.11.1 誤情報・反対運動への批判と事業推進への支持（4件）	回答集 ページ
105	建設をめぐり、根拠のない誤解が広がっているので、早く払拭して欲しい	回2-37 ～ 回2-38
126	質疑応答にあるような懸念等は、全く感じません。むしろ、このせつかくの事業計画が反対の声で消えてしまうのではないかと、という不安があります。	
142	資料が事実であるならこのまま進むと良いと思います。 今色んな情報がとんでいて地域住民が振り回されていて本音を言えない状態です。このことでご近所関係にヒビが入らないよう正確で細やかな情報発信をお願いします。	
144	この計画に関する誤った情報や地域住民の不安を煽るような投稿が拡散している事。計画撤回を求める陳情書にも名前貸しの不正があったと聞いている。このような行為は、新しい学校の開校に期待する一地域住民として、大変残念で腹立たしく思っている。	
No.	2.11.2 地域活性化・廃校活用の有効性への期待（10件）	回答集 ページ
1	有りません。 この町があかるくなります！	回2-38 ～ 回2-39
16	閉校した小学校がいつまでも放置されることは、安全面で不安なので、早く事業者を決定してほしい。	
19-1	日本語と英語が普通に話されたり、1年生から高校生まで笑って元気に楽しんでいる光景は楽しみです。	
48	パンフレットにある地域貢献を進めてほしい	
86	ない、むしろあのまま廃れた状態の方が地域が発展しない	
111-2	高齢化が進む地域としては、活性化の要因として歓迎する。	
154-2	空き校舎のままでは物騒なので、早くより良い団体に活用してほしい。	
50	道内人口が減る中で国際的又は国内の人口が増えてほしい	
51	若い人の人口が減る一方なのでいい方法だと思う。	
84	海外の生徒が少数であることから親御さんも含め、そんなに不安はないのではと思いたい。	
No.	2.11.3 特段の不安なし・全面的歓迎（13件）	回答集 ページ
6	不安もないです	回2-39
15	不安は感じていません ぜひ実現するようにガンバッテ下さい	
20	地域の安心安全を第一にしてもらえると特に不安はありません。 歓迎する方向で考えたいと思います。	
47	いろいろ協議された様に思いました	
83	不安を感じることは無い、期待してる。	
87	地域活性化にはつながると思うので売却には賛成です	
109	既に他の地域で事業活動を行っていて問題は無いと伺っているので、不安や懸念は無い。	
110	全国の先進事例や、これからの地域社会の展望を考慮して、全く問題無いと考える。	
111-1	懸念や不安はない。	
117	ありません、大歓迎です	

設問2：懸念や不安に感じる事（368件）

	121	北海道新聞に掲載された記事を見ました。 特に不安はありません。 期待しています。	回2-39
	152	外国人だとか日本人だからと言って懸念や不安など感じることはまったくくない。	
	163	開校に伴う周辺環境の影響はあると思いますが、適切な運営に期待しており不安はない。	
2.12 災害・避難所機能（3件）			回答集 ページ
252-2	また、避難場所として活用できると書いてありますが、地域の人々が普段立ち入ることがないインターナショナルスクールに実際に災害が起きた時に避難するというイメージができません。		回2-39 ～ 回2-40
304-2	建物は避難所として利用するとしていますが、大きな地震が発生した場合に、建物は大丈夫でも内装材等の建材が破損する事が考えられます。 その際破損した建材からアスベスト等の有害物質が飛散し、避難民への健康被害が発生する事が考えられますが、どのような対策をするのでしょうか。		
367-3	また、質疑応答集の1番に「緊急時の避難所になる」ということですが、もし災害が起きたら、地域住民は「外国人の土地に間借りして避難」ということになるんですか？ そのためにスクール側にはお願いすることになるって説明会ではあったと思いますが…現実的ではないのではないのでしょうか？避難時は、ただでさえ大変なのに、この上、慣れない外国の方にお世話にならなくてはならないなんて、心労100倍になりそうです。		
2.13 その他（59件）			
No.	2.13.1 コミュニケーション・誤情報・社会的雰囲気への不安（13件）		回答集 ページ
54-1	なぜ、この契約がSNS上で非難・攻撃の対象となるのか理解できない、常盤・石山東以外に居住する人が多く発信しているのではないかと。		回2-40
55-1	反対意見が多く、開校できない。というのは残念になる。通学している子どもたちに悪いことが起きること。（反対の人たち）		
62	デマや誤情報が拡散していると思います。		
77	いたずらに不安をあおり、排外的な言動や活動があるのは残念です。		
91	私たちが、正確な情報に基づいた判断ができないことを一番恐れます。また地域に『外国人が増えたらやだねえ。』といった根拠のない不安感が漂うことが残念です。今回の件についてどう考えるかオープンに話せない雰囲気が、説明会直後にはあったように感じたのは、私だけでしょうか？ 物事の本質を見ないで、なんとなく不安感が煽られる現代の世相事態に懸念が生じます。 が、今回の件を糧に、今後しっかりと話し合ったり、問題点があるならば整理して、気持ちよく開校へ向かう道ができるようになれば、考えるための良い機会だったのかもしれないとも思います。グローバル化・排他主義・SNSの危険性・社会不安の本質など、日本が抱える問題を、身近なこととして一人ひとりが考えることが大切だと、痛感します。		
123	ニュースでなりすましがいた事を知ってその方が怖いと思いました		
139	地域住民以外の外部者から不正確な情報が発信され、当該事業が取りやめになり、廃墟のまま経過すること。		
170	話しかけられたら、どう対応したらよいか困る事ぐらいです。		
190	地域の子と交流や人種差別等		
197-2	全教員の60%は日本語対応が不可能（資料より）		
198	日本語・日本の学習、文化体験・日本の生活習慣をどのように伝えていこうとするのか？ 子供数が減少する中でインターナショナルといえども、学校は必要なのではないか？		
233	セココの中国人の話や江別のパキスタン人の話など外国人が一箇所に集中することに対し良いニュースがないので不安しかありません		
281-1	廃校となった旧常盤小学校跡地にインターナショナルスクールを建設・運営する計画について、当該地域に長年居住する住民として、住環境および治安への深刻な影響が避けられないと判断し、本計画に断固として反対いたします。 1. 高齢者が多く暮らす静穏な住環境が脅かされることへの懸念 当該地域は、長年にわたり高齢者を中心に形成されてきた住宅地であり、静かで落ち着いた生活環境こそが住民の健康と安全を支えてきました。 インターナショナルスクールの設置により、通学・送迎による車両の増加、不特定多数の出入り、騒音や生活環境の変化が生じることは避けられず、特に高齢者にとっては日常生活に深刻な支障をきたす恐れがあります。 住民にとって「静かであること」「人の流れが限定されていること」は安心して暮らすための重要な要素であり、本計画はその前提を根本から損なうものです。		
No.	2.13.2 教育水準・所得水準（1件）		回答集 ページ
249-2	教育水準、所得水準も上記地域と異なり立地的にも中心地から離れている事を加味した上で外国人の生徒が大半を占めるような可能性も否定できないのではないかと？		回2-41
No.	2.13.3 具体的な要望・肯定的意見（3件）		回答集 ページ
14	自然にマッチした校舎作りに最善を尽くして欲しいです。		回2-41 ～ 回2-42
25	地域の小中学校との交流を盛んにしてほしい。		
49	外国人と仲良く生活したい よろしくお願いします		

設問 2：懸念や不安に感じる事（368件）

No.	2.13.4 行政プロセス・契約・責任の所在への不信（16件）	回答集 ページ
167	問題が発生した時に適切な対応ができる法整備ができていますか！	回2-42 ～ 回2-43
209-4	この事案は札幌市側と相手事業所とのあいだでもう契約が終っていて、このアンケートも無駄になっているし、売却価格があれだけ安いのは決まっていることだからでは、との話も聞きます。	
219	インターナショナルスクールは古くから澄川に有るが札幌の常盤に必要なのか？ 札幌市は小学校が売れないので誰でも良いから売却したい気持ちが強いことか感じられる リーフレット作成などから証明される 住民に外資の事業を説明しても我々にはわからない。 札幌市としても本当の所はわからないのではないのか？	
227	学生に国又は道、札幌の税金がつかわれるか？	
246	10年後の転売、治安など。札幌市で責任を取るのか。	
289-3	札幌市には、売ったら終わりではなく、この街全体を市民の財産として管理していただきたいと考えます。	
299	グローバル化した企業であり一度拠点を与えれば、かつて放題にされると考えます 市にそれを是正能力と意欲はないでしょう（ノースサファリの例が物語るように）	
302-3	そうなった時のために対応出来る条例などをきちんと整備して施行する事や問題が出てきた時にしっかり対応し適切な措置をとる事を札幌市さんには約束していただきたい。 情報提供、関係機関との連携という言葉では足りないのではないかと感じます。 地域に丸投げされても住民だけではどうする事も出来ないと思いますので。	
319	すでに国内で開設されているスクールにおいてトラブル、事件、事故の実態調査はしていますか。今後、住民が被害を受けた場合の札幌市としての責任の明確化を計ってもらいたい。	
326-2	グローバル社の健全性は大丈夫か？	
335	スクール運営に文科省か、役所が関与できるのか？	
337-1	懸念事項 「学校跡活用検討会議」については上記の考え（検討会議の位置づけは、地域の重要事項について意思決定のできるものではなく、単に市の説明を受けて地域に情報提供するものと捉えていた）で、特段の権限をもったものではない。その設置をもって市がすすめる手続きのお墨付きとはならない。	
337-2	当該スクールは学校法人ではなく、義務教育の履行とはならないとある。法で定める一条校に該当せず、第一種低層住居専用地域の用途に反しており、当該企業が学校として運営することが可能なのか。また、用途変更を行政が先取りした場合の契約締結となると問題と考える。	
337-5	「公募提案審査委員会」のスコアリングシートによる採点は、委員の主観(知見)やプレゼンに影響される項目がある。委員会は諮問機関とは思われず、スコアリング結果を全てとしない判断が求められる。	
363-4	2025年11月4日の北海道新聞一面 「市が反対する市民に毅然と対応すべきだ」との市の幹部の発言があったのですが、これは市の総意なのかが知りたいです。 言い方は悪いですが、市として「反対意見を切り捨てる」という意味に読み取れてしまいました。 条例が掲げる「共生」には意見の異なる市民との対話が含まれないのでしょうか？。 これはインターナショナルスクールの件も含めて他の案件でもこのような対応をされないかの懸念になります。	
209-2	当該事業所に決まったからと言って、何かの困りごとがあった場合、相談する窓口を札幌市で設けていただきたいと考えます。（売却してしまっただけで終わり、という考えは、無責任ではないでしょうか）	
No.	2.13.5 国防・安全保障・国土保全への懸念（5件）	回答集 ページ
237	来年度 国において、外国人による不動産取得に対する国民の不安を解消するための方策を実施すると聞いていますので、当面はリース契約で対応すべきと思います。 （自衛隊施設に近いと思われるー安全保障上）	回2-43
265	やはり、外国の方が沢山集まる場所となるので、漠然とした不安はともあります。特に土地を買取ると言う所が一番嫌だと思ってます。日本の土地がどんどん海外の方に買い取られて、日本では無くなってしまいう気がします。それは、絶対に嫌です。	
308	海外企業、特にアジア大陸から我が国に侵略行為を行う可能性のある国に関連する企業の手に入る可能性があることは、国防上で危険な行為と考えます。恵庭の陸上自衛隊が有事の際に、山側の国道を経由して札幌市内に部隊を展開させる可能性があるため、除雪も最優先で作業すると聞いたことがあります。常盤小学校の位置は、海外の部隊が急襲して占拠する事で、自衛隊活動が阻害されます。しかもその際の背後に住民がいる事で、自衛隊がそれらを排除できなくなると思います。 陸上自衛隊に売却に関しての確認しましたでしょうか？	
345	日本国土の 減少に繋がらないか心配です。	
364-1	移民問題が世界や日本で問題になっている点で、外国の企業が経営をする事に対しての不安はあります。 日本人企業に買取って頂きたかったです。 実際に千歳で不審者が多発していたり、人糞が家の敷地内で発見されたりしていると、知人は大変困っておりました。	

設問2：懸念や不安に感じる事（368件）

No.	2.13.6 生活環境への影響（8件）	回答集 ページ
39	感せんの病気	回2-43 ～ 回2-44
65	学校周辺に寮ができたり外国の方が住むことが増えるのか	
205-2	また、ニセコのように外国人ばかりになるような事や、外国人向けに乱開発が行われる事も起きない とは思えないと思います。	
244	初年度～人が増えてくると、集団ができ、怖さがある 増加率がすごすぎて、想像するだけで恐ろしい、 バス減便やお店もあまりないのに、今いる人達はどうか？	
275-1	生徒数650名の規模だと家族合わせ2500～3000人規模の外国人を受け入れて生活保護や保険医療費など 税金で負担が増えるのでは？	
290-3	グリーンタウンで家を売りに出してます、この学校が出来ることで売れなくなる可能性。	
359-2	札幌各地から登下校するとは言え、常盤地区の外人居住者は間違いなく増える。地域の発展としては 反対ではないがその分近隣に医療機関、スーパー、ドラッグストア等の増設及び公共交通機関の拡充 等、常盤地区の現状を踏まえ近隣の生活環境も大きく整えていかなければ成立できない事項が多々出 てくるのは明白である。	回2-44 ～ 回2-46
249-1	東京、大阪、つくばにおける日本人の生徒の割合は資料の通り理解したが札幌においても同程度にな ると推計しているか？	
No.	2.13.7 施設の必要性・目的への疑問（6件）	回答集 ページ
194-2	日本人の子どもにとっての利点がないように思う。	回2-44 ～ 回2-46
226	インターナショナルスクールが、そもそも芸術の森地区に必要なのか疑問	
243	別に教育に対するものが札幌ではあるのではないか	
252-1	そもそもなぜ廃校になった施設にまた学校を作る必要があるのでしょうか。 この地域は子供の減少により小学校が統合され、今この辺りの学生はバス通学をしなくてはならない など不便を強いられているのに、廃校になった場所に（他の地域から通う学生のための）学校を開校 するというのは、地域のことを全く考えていない安易な計画だと感じます。 移民が想定されるとか問題になっているようですが、それ以前に学校をまた開校するというのが納 得いきません。	
261	立派な資料を拝見しましたが、結局は儲け最優先と確信しました。	
274	散々移民の事故や被害問題が毎日多発している中、何を頑張ってインターナショナルを推している のか理解できない。少なからず移民が増えることは確かなこと、学校の裏の敷地を開けていることを 大々的に発表していないのに、移民が増えることはないと言っていること、説明会で反対されると具 合の悪くなっていく移民を信用しろと言っている生理解できない。バスの運転手も移民なんて 問題外。移民の事故率、死亡率を考えてない札幌の年寄り議員たちの無能さが不安です。	
No.	2.13.8 漠然とした不安（7件）	回答集 ページ
73-1	もしかしたら・・・ですが、移住してくる方々が増えるかもしれません。ですが、不安などはありま せん。	回2-46 ～ 回2-47
76	在学する学生とその家族が学校の近隣に住居を持つことは、ありますか。	
235	ありすぎる	
303	すべてが不安 納得できることは一つもない	
314	外国人が増えること	
330	80代を迎えて地域、個人等で新しいことがある事は全て不安につながります。今までどおりこの地域 に、なんの不安もなくおだやかに暮らしたいです。	
364-2	先日我が家の敷地内に不審な人が窓から家の中を覗いておりとても恐怖を感じました。 今回の常盤小学校の問題に限らず、札幌市としても北海道としても土地の問題や、ソーラーパネル問 題などは真剣に考えて取り組んで行って欲しいです。	

カテゴリに分類したご意見・ご質問一覧

～設問3～

事業に期待すること（306件）

カテゴリ	ページ
3.1 地域活性化・にぎわいの創出（80件）	質3-1～質3-2
3.2 国際交流・教育・人材育成・オープンな運営・継続的な運営（63件）	質3-2～質3-4
3.3 地域住民との交流・連携・共生社会の実現（47件）	質3-4～質3-5
3.4 災害・避難所機能の維持（9件）	質3-5
3.5 施設活用・廃墟化防止（26件）	質3-6
3.6 雇用創出・地元経済への貢献（12件）	質3-6～質3-7
3.7 安全・マナーの徹底維持（9件）	質3-7
3.8 期待なし・反対・撤退要望（53件）	質3-7～質3-8
3.9 その他（7件）	質3-8

設問3：事業に期待すること（306件）

3.1 地域活性化・にぎわいの創出（80件）		
No.	3.1.1 芸術の森地区の特色ある発展（12件）	回答集 ページ
20	常盤地区の活性化に貢献してほしいと期待しています。	回3-1
55-1	地域の活性化、芸森エリアが良い意味でもし、また、住みやすい地域になればと！	
79	子供達の成長と南区の発展することを期待したい。	
86	より芸術の森周辺が活性化するような事業を展開してほしい	
88	常盤地区、芸術の森地区の活性化、自然保護	
91-2	そして、地域の人達の多くが望んでいる新しい学校を作ってください。全面的に応援・協力いたします。ここでしっかりと地域の発展へ向けて協力しあい、より住みやすい多様な芸術の森地区というにふさわしい街にしていけることが、反対派といわれる人たちへの答えともなると考えます。私の知る限りでは、多くの地域住民が学校を歓迎し、御社の活動が将来の希望につながると期待しています。	
106	芸術の森地区は芸術の森のみならず、その奥に家族で憩える滝野公園などのアクティビティ（レクリエーション）スポットを抱えているので、インターナショナルスクールが、それらの資源と有機的に連携し、地域全体活性化のハブとして機能することを期待する。	
122	自然環境や芸術に関する施設などこの地域の性格に合わせた価値の向上や、新たな活性化に期待している。	
144	閉校した小学校跡地が新たな学校として生まれ変わり、文化や国籍の垣根を超えた共生のモデルコミュニティとしてとして、この常盤地区が発展してゆく拠点の一つとなって欲しい。	
158	常盤が活気ある地域になれば良い	
165	この地域には芸術の森があるが周辺に民間の芸術関連施設等の展開がみられないのは市の努力不足かと思う。今回のスクールがこの地域の活性化につながることを期待しているので、市には地区全体を芸術色を出した地域となるよう当該スクールに対しても積極的に関与して欲しい。	
166	常盤地区が文教地区として発展していくことを期待します。	
No.	3.1.2 旧常盤小学校の再生と子供・若者の増加（15件）	回答集 ページ
40	この地区は、私の住む■■■を含め高齢者地区であり、学校があると活気が高まり、非常に楽しみである。	回3-1 ～ 回3-2
44	常盤地区が子供達の楽しい場所になる事を期待します。	
64	旧常盤小学校をまた活気づけて欲しいです。	
73	この地域が、活性化することを期待します。 子供たちが通った旧常盤小学校、 校舎を活用して頂ける業者が見つかった事は、ありがたいです。	
80-1	常盤小学校が閉校して放置された状態で3年以上たち、廃墟になっていくのをたまらない気持ちで見ておりました。これをまた学校として活用していただき、子どもたちの声が戻ってくることを楽しみにしております。 色々な学びの選択肢が増えることは、大歓迎です。	
101	若い人が集まり地域が活性化すること	
131	高齢化している地域のため、インターナショナルスクールが出来て子供たちが増える事は歓迎したい	
139	老人施設が多いこの地域において、未来ある子どもたちが集まる学校設立は地域活性化に繋がり、何より、元気な子どもたちの顔を見られるのが嬉しい。	
140	人口の増加。	
141	跡地にインターナショナルスクールが来ることはとても良いと思います。	
142	旧常盤小校舎の時計が止まったままです。 針が動き出し子どもたちの声や若い人の姿を見られることを願っています。	
156	インターナショナルスクールにはとても期待しています。私が少年団活動をしていたころは、団員の減少に悩んでいたものです。教育機関が一つ増えることで集う子供たちや若い家族が、地域に活気をもたらしてくれることでしょう。	
168	我が子が通っていた、学校が又元気な子供達 声、姿が見たいです。	
186-1	今は学校を運営するだけでも大変な中、開校を考えてくれるだけでありがたい。	
188	地域の再建。 こちらとしても雪に埋まり、時計が7時55分で止まったままの常盤小学校を見続けるのはつらい。また小学校として復活できるなら活気も出ていいと思うし、災害の際はまたそこが避難所として使えるのならそれもいい。まあ高齢化が進んでいるこの地域では無理だろうが、可能なら雇用も積極的にとってくれたらもっといい。	
No.	3.1.3 国際的な要素による活性化（3件）	回答集 ページ
32	むしろ、高齢に過疎化のこの常盤にインターナショナルスクールとは素晴らしいです。世界中の子供たちがこの地域を元気にしてくれると思います。	回3-2
104	常盤地区は子供が減少している中で世界各国の子供達が常盤に来てくれると言う事で、街が活性化して明るくなるのを期待しています！	
164	国際色豊かな地域になること。 交流の場を設け相互理解をはかることにより地域が活性化されること。	
No.	3.1.4 地域の全体的な活性化・発展への期待（34件）	回答集 ページ
11-1	地域貢献、地域の活性化	回3-2
13	この地区がいろいろな面で発展して行くことに期待しています。	
15	地域の為に期待します ぜひ開校を待っています	
16-2	少しでも地域が盛り上がる事ができれば、さらに良い。	
23-1	地域の発展、日本文化を知り大切にしたい	
26	地域の活性化につながると良いと思います。	

設問3：事業に期待すること（306件）

56	この地域が活性化すること	回3-2
62	地域が活性化するので開発して下さい。	
63	期待します	
71	地域が活気になったらいいです 生活水準の高い子達が通うので何も心配ないです 大賛成です！！	
72-1	地域の活性化に期待します	
82	賑やかに元気よく	
83	今の少子化の時に地域の活性化になると期待してる。	
84	この地域は年々高齢者が増え、南区の外れでもあり過疎化が進むでしょう。常小の現在の状況見ると少し寂しくなります。開校にあたり地域の活性化に役立つのであれば健全で明るいスクールであることを期待します。	
87	賑やかで活力ある地域創生に寄与する取り組みを期待します	
89	地域の活性化に繋がることに期待します。	
93	地域貢献	
96	地域活性化	
99	様々な媒体にて報道を拝見致しましたが、私個人としては地域の発展を考慮し歓迎致します。 数年に渡り廃校のままではイメージも良くありません。高齢化が進む地域、また昨今の運転手不足でのバスの減便などの影響も想定出来る地域にて事業が地域の貢献に繋がれば良いと考えます。	
103	人が栄えること	
11-3	地域の活性化	
113	地域の活性化を期待します。	
115	地域の活性化を期待している。	
117	地域が活性化するので大歓迎です	
118	地域活性化の期待	
143	地域貢献	
171	地域の活性化	
181	計画通りに生徒数が増えるならば地域の活性化にはつながると思う	
4-1	地域の発展	
326	地域の活性化	
336	地域の活性化になりますように	
351	地域活性化	
357	地域の活性化、南区の人口増税収増	
365	地域の活性化、多様化	
No.	3.1.5 地域住民との具体的な交流・連携・共生（16件）	回答集 ページ
6	地域もまきこんで、活性化に繋がれば良い！	回3-2 ～ 回3-3
9	静かな場所なので、子供達が伸びのびと成長出来て、町内の方とも仲良く出来たら嬉しいです。	
22-1	地域と共存	
24	地域になじんでくれると良いです	
28	地域の方々とコミュニケーションを取りながら若く新しい人々が明るく、楽しく生活できる様になればと期待しております。	
61	地域の活性化に協力して欲しい。 地域の小中学生との交流。主要校内イベントへの招待。（見学会）	
81	順調に運営されて、旧常盤小学校近辺が明るく活気のある街になること。地域住民との交流が盛んになっていくこと。	
94	開校をきっかけに、地域のコミュニティやイベントが活性化して行くこと。この地域に人の往来が活発になって、利用されなくなった空き地や空き店舗に飲食店や商店が出来ること。	
102-1	地域交流の活発化	
136	子供や若い世代が地域に昼間だけでも多くなることでこの地域ににぎわいが生まれると良いと思う。 またインターナショナルな生徒や職員と地域が交流することでこの地域に新たな活気が生まれれば良いと思う。	
150-2	地域に親しまれるスクール	
154	地域の活性化 この地域は高齢化で子供の数が少なくなっているので、地元民や小中学校との交流が生まれるなど期待できると思う。	
159	この地域の特性や各機関や組織と良きコラボレーションのプロジェクトを築き上げたいですね。	
169	地域活性化に繋がる事での人との交流が良いと考えています。魅力ある事業は人と人との結びつきからと思っていますので。	
190	地域の活性化、地域交流等、緊急対応など	
319	地域の活性化と人的文化交流	
3.2 国際交流・教育・人材育成・オープンな運営・継続的な運営（63件）		
No.	3.2.1 グローバル人材の育成と国際感覚の醸成（21件）	回答集 ページ
7	このスクールで学んだ外国人が将来日本で活躍することを期待する。	回3-3 ～ 回3-4
35	OWISが常盤の地でグローバルな国際教育の発信のハブとなる事を願っています	
41	北海道は、学どうの英語能力が低下してきていると思われています。国際的交流が多数ふえます様に。学力増進に期待します。	

設問3：事業に期待すること（306件）

43	海外への興味増すこと 特に子供達に	回3-3 ～ 回3-4
47	世界各国皆さん何か国かでの会話が普通の時代です日本はまだまだではないでしょうか？ 是非その様な事を思った学校が出来る事の様に思います	
52	教育のグローバル化に大いに賛成です。	
53	世界の為に	
57	小学生から、文化の異なる子供同士が共に学びまさに、国際共生能力を養うことができるチャンス子供達に与えることは素晴らしいこと、ぜひ実現を	
97	教育の向上及びグローバル人材養成と地域活性化という観点から、期待は大きいです。	
107	グローバル人材の育成に期待したい	
116	世界に出ていくような、人材の輩出と地域との結びつきに繋がるようなイベント等期待する。	
119	日本の子供達を世界に飛躍出来るスキルを育成するプログラムを持っていることから、多いに期待します。	
124	グローバル化に関しての教育に必要な事業です。	
134	日本の人口が減少していることから、外国人の労働力に頼らざるを得ない現状を鑑みると、これからの子供たちには、多くの外国人と接する機会を持つことで、グローバルな感覚を養ってもらいたいと思います。	
149	世界に通用する人材育成	
150-1	グローバルな人材の育成、質の高い教育	
162	日本は、今後ますます高齢化・人口減少化するの間違いなので、他国民と協調しながら繁栄を目指す術を意識出来る人材を育成してもらいたい。	
175	世界各国の子供と日本の子供と一緒に学びグローバルに活躍出来る人間が育つことを期待します。	
180	若い日本人がインターナショナルな人間に育つスクールなら(英語など話せるとか)良いと思います。	
348	国際色豊かな人材育成	
364	インターナショナルスクールが出来る事に対しての懸念はなく、グローバルな人材育成に繋がる事に期待をしております。	
No.	3.2.2 教育の質・学習環境への期待と要望（13件）	回答集 ページ
12	学びは、インド系としても日本での生活文化を知っていただきたいです。	回3-4
46	芸術の森美術館(野外を含む)も近い地域なので大いに活用して、学力だけでない感性豊かな子どもを育ててほしいです	
67	活性化(地域)につながるよう、大学も近くにあるのですから・インターナショナルでの文化交流も企画したり、新しい環境（教育のグローバル化）へ	
72-2	素晴らしい子供達の成長を望みます	
74	人材育成にあたっては、世界各国における文化の相違理解に重点を置くことにもっとも期待したい。	
112	公教育とは違った形の、質の高い教育の実践と、その発信にきたいしています。頑張ってください！	
146	学ぶ環境の選択肢が増えることに大いに期待する	
148	質の良い教育	
163	子どもたちが、国際的な感覚や多様な価値観を学ぶ良い機会となり、地域の教育環境の向上につながることに期待します。	
204	公立とは異なり小学校から英語に触れるプログラムがあることは良いことだと思うが、それ以外に高校、大学に進学するための授業プログラムを示してほしい	
210	当然ですが、モデルとなるくらいの教育現場を作っていただくことです。	
276	外国語を学べるのは良いと思うが	
346	私が上記に懸念している事が問題無く順調に進んだ場合事業として経営が成り立った場合、この学校を卒業されたら多様性を持った若者、英語力も有りいろいろメリットがあると考えます。	
No.	3.2.3 事業の継続性・健全な運営・コンプライアンス（16件）	回答集 ページ
2	地域の開かれた学校になってほしいです	回3-5
14	私は治安が悪くなるとは思っていません。しかし、時々どの様な事を学習計画としているのか知りたい気持ちもあります。（極端な閉鎖感はありません。）	
25	学校祭、音楽発表会などへ一般参加を可能にしてください。	
31	成功する事を期待しています。	
75	子供達が通う教育の場として、気負うことなく開校してほしいです。 何かあったから、すぐ他者の手に移ることがないように願います。	
77-1	地域に根ざした経営を切に望みます。	
100	継続的に事業展開していつもらえることを期待します。	
120	長い間、後活用が決まらなかった旧常盤小学校にきてくれる業者が決まりありがたい限りであり、地元住民として大歓迎します。偏った思想をもった方々に屈することなく、ぜひ常盤の地で開校していただきたいです。もともと常盤には外国に繋がる方が多く住まわれている土地です。外国の皆様や外国の子どもたちと共生し、「共生条例の理念を実現する街常盤」でありたいと思います。	
127	事業計画に則った学校運営を期待します。	
151	偏った価値観だけでのごきにならないように、オープンで公平な運営をのぞむ	
194	インターナショナルスクールという理念には共感するが現在の日本の教育制度の中では需要は多くないと思われる。生徒が外国人の子女ばかりになれば逆効果。	
208-2	公募提案型売却における審査項目 "事業の確実性・継続性"という事に対して能力があると判断されての事らしいので10年経った後も転売や事業転換などされず 計画書のような学校が継続されますように。	
322	とにかくキッチリと運営してもらいたい	

設問3：事業に期待すること（306件）

331	市は売却する事業者の売却後の事業内容をしっかり管理し、問題があれば事業の停止ができる形で行ってほしい。（期限を設定せずに）	回3-5
345	制約が無くなっても 真摯な態度(教育姿勢)を望みます。	
353	国際力を高める教育方針は良いと思うが実際にできるか不安	
No.	3.2.4 地域に開かれた運営と公平性（4件）	回答集 ページ
55-2	通学できない子たちにも、国際的な多様な文化を学べる、視野の広い子どもたちが増えるような取り組みに参加できるようにして欲しいです！	回3-5 ～ 回3-6
152	外国人だけでなく日本人も楽しく学べる学校を作って欲しいと期待しています。	
174	地域の子どもたちに市場相場よりも安価で国際交流の機会や英会話スクールを日常的に提供して欲しい。東川町の国際交流センターみたいに子供も大人も参加できる無料の1日言語教室などを開催して欲しい。	
213	跡地活用事業について、 跡地は市民の財産である、市民・住民が納得できる事業を計画し、高額授業料支払い者等の流入により、地域に所得カーストの発生を及ぼさない事。	
No.	3.2.5 運営プロセスへの要望・懸念・合意形成（4件）	回答集 ページ
199-2	最終的650名と数字があるが本当なのか	回3-6
201-2	生徒は日本人比率50%以上を保って欲しいです	
215-2	少子化時代で計画のような学生募集ができるか疑問である。	
226	開校時間を見ると、日本人の小中学生、高校生は、通常の学校に通学する時間帯なので結局のところ、外国人のみを対象とした、事業になるのではないか	
No.	3.2.6 文教地区としてのブランド化・拠点化（5件）	回答集 ページ
37	事業計画にはありませんが将来地元へ外国大学系の教育機関が出来ること期待しています。	回3-7
77-2	この地域がすぐれた文教地域として発展し御校の真の教育力が示されることを願います。	
92	芸術の森地区は、芸術の森美術館、札幌私立大学を有する札幌市屈指の文芸地区であり、また滝野すずらん丘陵公園、恵庭溪谷、支笏湖といった北海道の美しい自然に囲まれた場所に位置しており、偏見や固定概念に左右されない高い感性を持った住民が、互いに寄り添い合いながら心豊かに暮らしております。今般のインターナショナルスクールの開校は、我が町の文芸地区としての価値をさらに高めるだけではなく、継続的な多文化の相互理解を通じて国際的な感性と品位をも高めることのできるものとして、心から歓迎すべきことであります。昨今世界に蔓延する排他的な思想に屈することは、誇り高き芸術の森地区の住民として決してあってはなりません。予定通り我が町にインターナショナルスクールが開校し、将来的に芸術や自然への感性の高い卒業生が日本の、そして世界の平和と発展に貢献する人才として大活躍することを期待しております。	
157	芸術の森地区が文教地区になるように期待しています。	
170	地域に根ざした文教施設に育ってくれる事です	
3.3 地域住民との交流・連携・共生社会の実現（47件）		
No.	3.3.1 異文化理解・国際交流の促進（10件）	回答集 ページ
17-1	いろいろな文化にふれられること	回3-7 ～ 回3-8
51	日本の国ばかりでなくこれから国際的にも交流が必要だと思うので賛成です。	
78	国際交流、異文化交流につながるような開かれた教育事業となって欲しい。	
126	私が住んでいる場所は、少し離れていますが、それでも地域が活性化するのは感じられるでしょうし、多様な国の人や文化に触れられる機会が増えることが期待されます。	
161	近隣地域との国際交流	
177	地元住民との交流などによる地域活性化	
186-2	学校間交流など考えらえるとこの地域の世界が広がると思うのでそういった面を検討してほしい。	
317	異文化交流、地域住民のコミュニティーづくり。	
329	海外の文化をより身近に感じられたら嬉しい、食文化等。	回3-8
335	各国との交流、理解しあえることになるのは期待する。	
No.	3.3.2 運営プロセスへの要望・懸念・合意形成（4件）	回答集 ページ
91-1	今回の件をしっかりと検証して、あきらめることなく、説明会も開いて冷静に質疑応答できる場を作ってください。できれば、いろいろな時間帯と曜日で数回開いてください。また御社の代表者の中に日本人の方もいらしたほうが良いようにも思います。	回3-8
197	最優秀提案者(GIE社)と次点提案者による再審査、より具体的に2つの業者の内容が比較して理解できるように説明とそれに対する地域住民による公正な決定（住民投票）ができる機会があると、地域の理解も得られると思う。	
203-1	地域との関係づくり。企業や学校のことだけを考えた運営はしてほしくない。	
367	ちょっと範囲が狭いけど、札幌市政がなんとか住民の方々に話していこうという姿勢はわかります。今後は、もっとお知らせする地域をひろげて、日本人の、札幌市民のための道を一緒に模索していけるといいと思います。	
No.	3.3.3 具体的な連携・行事参加・地域貢献（14件）	回答集 ページ
1	町内とコミュニティーを取ることに！	回3-8 ～ 回3-9
17-2	地域の人に参加できる機会が多いこと	
38	積極的に地域と関わっていった開けた場所にできると良いですね。	
65	地域の学校とも連携・協力体制がとれて国際的な交流が生まれること	

設問3：事業に期待すること（306件）

68	地域住民との交流 ・学校行事への参加交流 ・地域の夏まつりへの参加交流 ・学校開放事業	回3-8 ～ 回3-9
111-1	スクール事業と地域コミュニティの連携や共働に大きな期待を寄せる。	
130	地域や小中学校との交流	
135	この地域は、町内会活動が盛んな地域でもありますので、地域社会との繋がりを大事にしてくれること、地域と一緒にイベントに参加する、学校ボランティアに地域の人を募集する、近隣の学校との往来など地域に根差した学校になってくれると、地域全体が活性化されるのではないかと思います。	
147	地域交流を活発に行っていただき、常盤地区が活性化されることを期待します。	
150-3	社会(地域) 貢献	
155	地域に開かれた学校となってくれる事。行事などが地域の人たちにも開放されて良い交流が出来て、学校関係者、地域住民どちらも気持ち良く過ごせるように、お互いが知恵を出し合える関係が出来る事を望みます。	
184	説明資料のとおり「地域貢献」地域の人々との交流を大切にすることを期待している。	
320	周辺の町内会、市立大学の行事等への参画	
340	地域連携協議会 どのような方と、どのような中身で話されるのか オープンなのか	
No. 3.3.4 地域との融和・共生社会の実現（19件）		回答集 ページ
8	共生社会の実現 地域住民との係わりについて、	回3-9 ～ 回3-10
11-7	地域に密接した学校	
18	旧常盤小学校が早く跡活用ができるよう願うとともに、地域と学校が連携し安心した生活ができ、より良い町づくりを期待しております。	
22-2	若い世代との交流	
39	みんなで交流できて楽しくなる	
45	人口減の社会である以上、否応もなく共生社会に移行せざるを得ませんどうしたらそれがスムーズに行くのかを考えながら前に進むしかないと思う。 排他主義は残念です。	
48	多様な若い人達が地域で活動することは、住民にとっても明るい話題だと思っています	
60	インターナショナルスクールの誕生により、外国人移住者と日本人が良好な関係を築き、南区が札幌市における外国人誘致成功のモデルケースになる事を願っています。	
69	緊急時の避難場所はありがたいこと。 地域と仲良く出来るのが大事。	
76	地域活性化。地域住民と仲良く、協力してほしい。	
80-2	デマで溢れるSNSを見ていると、逆にその様な方たちから開校後、妨害が入るのではと心配もありますが、どこの国の人だからではなく、人として共生して地域づくりをしていきたいと思っています。	
85	末永い事業継続維持と地域との触れ合いの発展。	
128	地域との交流を大切にしてほしい	
138	当法人は福祉事業所として営業している為、共に地域福祉の増進に向けて協力していける関係を築いて行きたいです。	
145	国籍に関係なく地域社会との良好な関係を築いて欲しい	
167	海外の人と接するのは、特別なことではない時代ですし良い関係が結ばれば良いと思います。	
206	地域住民も巻き込んで、どんな人も一緒に協力して暮らせる世の中になってほしい	
324	地域の子供達との交流	
361	地域と確実な合意がとれ、仲良く共生できること	
3.4 災害・避難所機能の維持（9件）		回答集 ページ
3	大阪校と同じように避難用品の学校内に保管してほしい	回3-10
10	常盤地区の繁栄と災害避難場所としての活用。	
58	旧常盤小学校の跡活用する事は大変良い事。 緊急時避難所になる。何年も今のままでは景観が悪い。	
102-2	避難所としての機能	
203-3	避難所の機能。	
	常盤・アートパーク・サンブライト	
208-1	現在の芸術の森小学校・常盤中学校・1区会館だけでは避難所は足りないと感じます。 非常時に柔軟に意思疎通が出来る施設である事。	
242-1	持続可能な避難場所コンパクトで良い。	
266	一時避難場所としては期待しているが、大増水時にはこの小学校前の道路は冠水と思うので、記録的大雨時には避難できないと思う。	
200	活性化と建物の維持管理	

設問3：事業に期待すること（306件）

3.5 施設活用・廃墟化防止（26件）

No.	3.5.1 地域コミュニティとの連携・交流拠点化（3件）	回答集 ページ
30-2	地域との交流ステーションになるといいですね。	回3-10 ～ 回3-11
234	南区には競技場・緑地、まこまるなど札幌から足をのばせば辿りつける場所がたくさんあって、その1つになった方がいいと思う。芸森小もできて、若い家族もコンスタントに入ってきています。子育てに優しい場所になってほしい。そんな場所になれば周囲にお店もできたり、わざわざ札幌中心部へ子供を遊ばせに行かなくてもいい。豊平区の人も、寄りたくなるような所にして下さい。	
338	子供達が学び、卒業した思いいれのある学校、校舎なので野ざらしでボロボロになるのは淋しいです。地域の参加が活発な地区なので、一緒に活動できるといいです。近くには市立大学もありますし。	
No.	3.5.2 地域住民への施設開放と利便性向上（9件）	回答集 ページ
17-3	図書コーナーやカフェがほしい。	回3-11 ～ 回3-12
66	地域の人達にも学べる機会があれば語学やグローバルな問題(地球温暖化)等の講習など..	
111-2	廃校の健全化や、グラウンド整備、体育館の利用、身近な防災施設としての再活用などに大きな期待を寄せる。	
114	体育館を地域の少年団活動に貸し出し、開放いただけたらと期待します。	
191	廃校のまま放置されるのではなく、地域が元気になるような形で活用してほしいと考えています。インターナショナルスクールに限らず、さまざまな用途を検討してもらえると嬉しいです。また、災害時には避難所として機能し、普段は体育館やグラウンドを地域の少年団やクラブチームが利用できる場として活かされることを期待しています。	
203-2	体育館開放してほしい。	
323	地域のサークル活動にも使えるようにしてほしい。	
330	地域の人達も利用可能なことも望みます	
339	地域の人々が楽しくスポーツや運動ができたり、おしゃべりができ、お茶飲みなどができる様な交流の場が良い。	
No.	3.5.3 廃校の再生・有効活用と景観改善（14件）	回答集 ページ
4-2	廃校となった跡地を有効に利用する 今回の計画は、将来の国際人を育てる上で有意義であり、今後の地域の発展に期待したい。	回3-12
5	現在草木もはえて、荒れているので早くきれいに整備して欲しい……	
16-1	もともと小学校だったので、教育関係で使われることは、良いと思う。	
23-2	空き学校の利用大変良い	
29	廃校跡地の有効活用や地域の活性化につながり、今後の国際社会化に対応する人材育成にも役立つものと考え本事業の推進に期待する。	
30-1	地域の学校としてお世話になった施設が有効利用されることを応援いたします。	
33	旧常盤小がきれいにうまれかわり、また 子どもたちの声がきこえる活気ある地域になること。学びの選択肢が増えること。	
54	まだ使えると思う旧常盤小学校が草におおわれていく姿は忍びない。 教育施設として再生されるのは良いと考える	
109	石山東、常盤地域を通る国道沿線は余り賑やかとは言えない状況が続いていましたので、常盤小学校跡地をグローバル社が活用することで、華のある通りに生まれ変わってほしい。	
110	一日も早い開校を望む。 (現状の常盤小学校は荒廃やグラウンドの草地化が進み、地域の環境維持問題を引き起こしている現状がある)	
123	廃墟化の阻止と近隣の活性化	
132	廃校をうまく活用できればと思ってます。	
137	使い道のない校舎の有効活用ができるのなら良い。法律やルールを守って活動してほしい。	
160	廃校が活用され、地域と共に学校が育っていくこと。魅力ある地域にするため一緒に考えていけることを希望。	

3.6 雇用創出・地元経済への貢献（12件）

No.	3.6.1 商業環境の活性化・地元店舗の利用（3件）	回答集 ページ
125	我々商売をしている身としては、是非、子供達やご家族等が利用して頂けると、非常に有難いです。	回3-13
202		
205	地域内に新たなお店が出来て利便性が増す可能性はあるかもしれません。	
No.	3.6.2 地域雇用の創出（7件）	回答集 ページ
59	地域雇用、地域活性化	回3-13
98	地域で雇用が生まれ活性化する事を期待しています	
121	地域の雇用創出 地域の子供達も語学力を身につけられるような交流の機会があっても良いと思います。	
129	地域雇用の創出もありと資料にありました。他にもスクールバスの運行予定とありますが、民間のバスに乗ることでの地域住民との交流もはかれると思います。	
150-4	地域雇用	
176	地域雇用や、地域との交流による理解と親交	
179	地域に雇用が生まれるのは良いと思う	

設問3：事業に期待すること（306件）

No.	3. 6. 3 納税・観光資源・労働力としての経済貢献（2件）	回答集 ページ
153	長い目で見て重要な観光資源であり、貴重な労働力と思う。	回3-13 ～
275	納税	回3-14
3. 7 安全・マナーの徹底維持（9件）		回答集 ページ
183	日本や地域のマナーや文化を大切に、地域との互恵性がある事業	回3-14
196	現状市立大学があるため、公共バスが混雑しているため、これ以上乗りづらくならないようにしてほしいです。	
199-1	南区地域の案に100%反対ではないが安全、安心を保障出来るのか	
201-1	渋滞緩和の為、基本はスクールバスのみにしてほしいです（保護者による送迎は緊急時のみ）	
208-3	万が一、インターナショナルスクール開校が強行される場合には 常盤地域に、交番（警察）・消防署 札幌市の責任において24時間トラブルに対応してくれる人員の配置など安全面に配慮していただきたいです。	
242-2	安心安全がすべての基本。 外国人の為に学校はいらない。	
265-2	そこで事業をしたいと言う事であれば、絶対に問題を起こして欲しくありません。常盤は高齢の方々が静かに生活してます、この事業が来る事によってもう常盤には住みたくないとならない様に願ってます。	
308	現在の芸術の森小学校、常盤中学校の学生は同じバス路線を使用して通学している現状にて、違う国籍の人と接触するメリットと、価値観が異なり大声で喋ったりするマナーの悪い人達が乗り込んで来るデメリットの比較は難しい。	
309	無し。敢えて言うなら、日本のルールや慣習を必ず守る事。	
3. 8 期待なし・反対・撤退要望（53件）		
No.	3. 8. 1 不安・懸念・不信感・不要論（27件）	回答集 ページ
178	特に何も期待してません	回3-14 ～ 回3-16
215-1	期待していない。	
223	説明資料は希望であり、実態は大きな違いがあると推測する。余り期待はしない。	
225	何も期待していない	
251	この事業に期待することは皆無	
255	全く期待しません。	
256	何も期待していません	
265-1	特に期待はありません。	
274	ひとつもない	
278	なにもない。	
282	全くありません。	
285	事業で期待して良いことなんてありますか？具体的に分かりやすく教えてください	
292	期待はしてません。	
298	ないメリットを考えられないため	
310	期待することは特に無い	
217	期待より不安が大きすぎる。	
219-1	期待することさえわからない	
227	期待？ はじめから合意形成目的ですか？	
244	期待できることを教えてください。 具体的に。不安しかありません。	
252	現時点で開校予定のインターナショナルスクールに期待することは全くなく、懸念と不安が100%です。	
254	期待は全くありません。インターナショナルスクールなんてこの地域には必要ありません。	
259	市街化調整区域のようだが、発展しようがないのでは？芸術の森まで地下鉄を呼べたら地域住民は大歓迎しそう。	
262	実際、私達にいい事は何一つ無いと思います。	
272	期待しません。私たち日本人が安心安全に暮らしている土地にとって、外国人のための学校は不用の施設だと思っています。	
273	期待できる事はないです。今までの開講実績と旧常盤小学校では環境が違いすぎるように思います。	
311	正直、学校運営事業はいつでもよい。事業がうまくいかず、早期撤退してくれることを期待する。開校を強行するのであれば、どれだけ地域にメリットをもたらすのか（地域経済へのメリット含め）、具体的なKPI（重要業績評価指標）を示し、達成出来ない場合はどうするのか、予め公約として掲げておくべき。	
363	陳情書の件、その後どうなりましたか？ 反対派が不正を行ったかのように受け取られかねない報道が多いように見受けられましたがその一方で、賛成・反対いずれの立場についても公平に検証された結果が示されていないように感じました。 このような段階で毎回メディアに公開されている点に懸念を感じました。 結果が確定していない段階での発信が、さらなる混乱を招いていないかこのあたりも合わせて検証していただけることに期待しています。	

設問3：事業に期待すること（306件）

No.	3.8.2 事業の撤退・中止・反対（26件）	回答集 ページ
216	期待無し、速やかに撤退されたし	回3-16 ～ 回3-17
218	外国人が多数来るのは大反対です。ぜったい止めて下さい	
222	反対します。 GIE社には契約しないで下さい。 Q15の項目は特に信用できないので外国人増加反対。	
233	期待はしていません 再計画してください	
241	事業の撤回。	
243	何ものなし、絶対反対する	
246	ない、撤退してほしい。	
249	第一回目の説明会や近年北海道における外国人問題に対する警戒感が増す中で開校に踏み切る事はそこに通う子供達にとって何らかの悪影響を及ぼすのではないかと懸念しています。 採算性だけではなくそこに通う子供達の事を第一に考え事業計画を中止とすることに期待します。	
260	期待は全くなし、辞めてほしい	
261	反対なのでありません	
263	常盤での開校は望みません。	
264	ありません。撤退していただけるのが一番です。	
268	今すぐこの計画を白紙撤回すること。この業者以外に適切な事業が見つからないのであれば、廃校舎は解体し更地に戻すべき。無理に変な事業者を押して付けて利用しようとするぐらいならその方が地域にとってはまだまし。とにかくこの常盤地区で外国人問題など起きて欲しくないし、そのような機会は必要ない。メガソーラーなども要らない。	
271	計画の中止	
277	撤退してほしい。	
279	ありません。自然豊かで静かに暮らしたい方がこの地区には集ってる方は多いと思いますので、来ないで頂きたいです。	
280	ないです。迷惑でしかない。来ないでください。	
283	期待なんか毛頭なく、この平和な地域に絶対来てほしくない	
288	撤退	
	グローバル社の撤退	
296	札幌市も事業に責任転嫁せず、やるべきことをやれ 住民が反対してるのだから、計画は中止にする それがあなたたちに今できること	
299	撤退を希望します	
301	ありません。速やかに計画を断念して下さい。	
303	やらないでほしい、やらせないでほしい、撤退せよ	
305	公募提案審査委員会において次点候補だった事業者を繰り上げ当選させるべき。得点がたったの2点差で、審査項目でもGIE社を上回っている点数があるためそこを評価すべき。 スーパーもない地域のため、光栽培の野菜は大変ありがたい。	
313-1	本件の事業撤退に期待します。 株式上場されていない会社ですので、出資者の実態など不明瞭な点が多いです。	
313-2	札幌市はこの企画を白紙にするという判断はないのでしょうか。	
3.9 その他（7件）		回答集 ページ
42	今のやる気なしをみているとイライラ。	回3-17
192	将来売却される事も予想されます。地域の不満にならぬよう規定作りを早急に。	
214-1	地域のおだやかさ、日本流を守って頂きたい、	
214-2	通学の送迎でバスやファミリーカーが増えると予想しますが国道453号に頼っている地域でもあり影響が心配です。	
219-2	急な内容を含んでいる説明でグローバル、ワンワールドなどの歌い文句はちょっと気になる。この事業に賛成とも反対とも言えないがもっと議論すべきではないか	
221	中央バスの運営を見ると結局民間業者は出来ないという事	
315	本書類で十分ご理解する事は困難である。 行政で善処されたく願する	

カテゴリに分類したご意見・ご質問一覧

～設問4～

その他の意見（351件）

カテゴリ	ページ
4.1 賛成・応援（64件）	質4-1～質4-2
4.2 反対・撤回（45件）	質4-3～質4-5
4.3 透明性・説明・情報公開（36件）	質4-5～質4-7
4.4 治安・安全・防犯（15件）	質4-7
4.5 地域交流・貢献・連携への要望（11件）	質4-7～質4-8
4.6 施設維持・売却プロセス（審査過程） ・契約内容・学校運営（22件）	質4-8～質4-9
4.7 ルール遵守・マナー・環境維持（14件）	質4-9～質4-10
4.8 意見収集の手法・行政対応への意見（60件）	質4-10～質4-12
4.9 文化・人種・外国人に関する懸念（8件）	質4-13
4.10 交通・道路・インフラへの要望（8件）	質4-13～質4-14
4.11 その他意見（68件）	質4-14～質4-16

設問4：その他の意見（351件）

4.1 賛成・応援（64件）		
No.	4.1.1 教育・国際化・多文化共生（9件）	回答集 ページ
1-1	賛成です、私の町内には、障害者施設、学園が有り人外国人も多数住んでいますがなにもトラブル有りません	回4-1
3	インターナショナルが常盤小跡地に出来るのは大賛成です	
38	近隣に住んでいるので、説明会も参加しました。途中退席しましたが…ずっと情報を追いかけていたので進め方に疑問をもつことはなかったです。老人施設とかになるよりずっと良いです。これを機にもう少し日本人の民度が上がることを期待します。	
39	とても未来的にいいこと 札幌や日本にとって	
69	引きこもりの子供が、この学校に入り英語を覚えて、自分に自信がつき成長していく。こういう子供が増えるといいですね。	
74	放課後等の特別プログラムに、日本古来の伝統あるものを最大限に採用頂くことをお願いしたい。※建物（休眠資産）運用問題の早期解決を望む者の一人です。	
129-2	マイナスイメージを持つ方が多いようですが、私はインターナショナルスクール開校に賛成です。地域住民向けイベントもあるとのこと、私には小学生の娘がいるので一緒に参加して、視野を広げるきっかけになればいいと思います。	
140	グローバルな人材が住んでくれて、現在住んでいる人達とも仲良くやってくれたら良いと思います。文化や習慣の違いを認めて、尊重し合う町になるきっかけになる事を望みます。	回4-1 ～ 回4-2
151	グローバルなかつあたたかな視点を大切にして予定通りに進めて良いと思う	
No.	4.1.2 単純な賛成・早期実現・期待（16件）	回答集 ページ
21	この計画を歓迎します	回4-1 ～ 回4-2
23	大いに期待してます	
37	札幌市の担当部門を色々和努力されていることと思いますが、一日も早く契約締結が実現されるように祈ります。	
44	常盤小学校が移転してさびしい思いをしてましたが、楽しみにしてます！	
47	楽しみにして居ます	
55-2	市民に歓迎されて開校になって欲しいです。	
83	なるべく速く開校実現してほしい。	
91	今回の意見を集める方法は、とても良いと思います。最近新聞やTVでも取り上げられているので、関心度は高いと思います。集計は大変な作業だと思いますが、市としての真摯な取り組みに感謝します。一人でも多くの方が、意見を述べられることを期待しています。	
103	事業に賛成です。	
119	是非とも、インターナショナルスクールが開校する事を願っています。	
124	是非、実現して下さい。	
148	賛成	
152	速やかに学校を開校して欲しいです。	
158	賛成です	
180	次世代が良い方向になるよう願っています。	
345	子供達の笑顔が続きますこと祈ります。	
No.	4.1.3 地域活性化・人口減少対策（12件）	回答集 ページ
50	芸術の森地区にふさわしい学校で世界にもアピール出来る地域でもあり大いに学校が出来る事に賛成である	回4-2 ～ 回4-3
88	9月27日の説明会では、常盤地区外の者が口を出し話し合いとは到底言えない状態だったようですが、私は賛成です。今常盤は、凄く速く高齢化が進んでおり若い人達が住みたくなる街作りの一環として良いと思います。（真駒内駅付近そうですが）	
95	地域の活性化の為にも必要だと思います。	
108	この地域が活性化するにはベストだと思います	
109	あれもダメこれもダメと言っているのは町が衰退して行く気がします。自然破壊は望みませんが、既に市立大学もあるので、新たに学校が出来て文教地域として賑やかになるのであれば喜ばしいことだと思っています。	
114	ようやく売却企業が決定して、子どもたちも通った学校跡が活かされる、と思っていた矢先の報道に戸惑っていました。住民のひとりとしては、地域の活性化に賛成以外の意見はありません。	
116	南区は人口減少が札幌で一番です。地域活性化に繋がればと。開校を望みます。	
150-3	常盤地区に在住する人は、開校される事を期待しています。旧校舎の活用、人の往来、活気ある地域環境を望んでいます。市の担当者は、一度座り込みをしている方に目的は何か、確認して頂きたいです。	
163	地域と連携しながらインターナショナルスクールが運営されることに、期待しています。	
170-1	近くの市立大学や芸森と連携した特長ある施設にしてほしいと望みます。	

設問4：その他の意見（351件）

175	反対意見が多いが、日本が好きで質の高い外国人が集まるのであれば地域の活性化にもなるだろうし個人的には一概に反対するものではない。	回4-2 ～ 回4-3
178	工事が始まったら工事関係者がちゃんとした業者かちゃんとした人かが気になります。コミュニティスペースとして活用するという意見もあったみたいですが自分は仕事をしているので使う機会がありません。と思いましたのでスクールが出来て子ども達が通って活気が出てくれば良いのではないかと思います。	
No.	4.1.4 地域住民としての協力・融和・防災（7件）	回答集 ページ
41	常盤の方々は、不安を感じている人が大勢いると思いますが、速く理解し合いながら、決まるといいですネ!	回4-3
57	芸術の森地区に住む者としてGIE社に跡地購入をしてもらい数年後の開校を期待している。開校後は、市民として協力することは惜しまないと思います。	
63	私が協力出来る事があれば協力します	
66	以前と同じく、緊急時避難場所ができるのは、ありがたいと思います。	
92	札幌市のご担当様へ 芸術の森地区の今後の未来を左右するまたとない機会です。必ずや開校に漕ぎつけ、学校が地域に定着できるよう、ご尽力くださいますようお願いいたします。	
98	芸術の森地区は自然環境もだが治安が良く住民同士が気持ちよく生活するために努力を惜しまない精神が根づいている地域です。交番が地域にないのがその表れだと思います。 子どもたちが通った小学校を再利用してくださるのは本当に嬉しい感謝です。 是非地域住民を巻き込んで素敵な学校を作ってください。協力は惜しみません。	
334-1	私は常盤一区内会に住んでおります。どのような個人、団体がきて活動するにしても町内会および周辺町内会とともに仲良くやってくれることを願うのみです	
No.	4.1.5 廃校の有効活用・施設維持への期待（8件）	回答集 ページ
32	常盤小は息子たちが通った思い出がたくさんつまった学校です、新しく生ま変わるのを楽しみにしています。	回4-3 ～ 回4-4
43	跡地が学校として残ることはとてもよいことと思っています。	
59	自身の子供2人常盤小学校に通い思い出が沢山あります。このまま朽ちていく姿を見たくありませんより良いスクールになるよう考えて頂きたい	
65	廃校の校舎を活用して地域的にも活性化すればよいと思う	
73	常盤小学校の校舎は、教室、ろう下、が、”木”です… 大切に使うことを希望します。	
75	地元の者としては、旧常盤小学校の校舎が、野ざらしされたままの状態はつらいものでした。明るい声が響く学校として再生を願います。	
105	旧常盤小学校建造物、土地を放置することなく、有効利用して欲しい。	
142	日々痛んでいく校舎を見てさみしく思っていました。 最後まで大切に使うてもらえたら良いですね。	
No.	4.1.6 反対活動への反発・行政への応援（12件）	回答集 ページ
4	おかしな排外主義者が変なデマを流しているが、そんなことに屈せずがんばって計画を進めてほしい。外国人と交流することが将来の日本には大事である。	回4-4
24	何でも反対する人が必ずいますが気にせず進めて下さい	
46	フェイク情報や外部の反対意見に負けず、地域の発展も目指して下さい	
86	反対している人々は代わりに旧常和小学校跡地をどうにかしようとしているのか？何も行動しないくせに、インターナショナルスクール設置に文句をつけてデマまで流すくらいなら別の場所にでも引っ越せばいいのでは？という気持ちです	
104	こう言う事業に対しては、賛成する人はあまり意見を言わず、反対する人が多く意見を発する事が多いのでぜひ賛成派の意見を重視してほしいと思います。	
113	とにかく大賛成なので反対意見に負けず頑張ってほしいです。開校日が楽しみです。	
120	常盤にお住まいの方は、偏った思想をもった方の発信するSNSの情報に惑わされることなく、GIEの皆様やそこに通う子どもと共生していきましょう。札幌市の行政の皆様におかれましては、このようなアンケートを実施してくださりありがとうございます。偏った思想をもった方の情報操作に屈することなく、毅然とした対応をされることを期待します。	
121	風評被害等、あり大変かと思いますが期待しています。	
123	子育てが終わって積極的な関心を持っていませんでしたがニュースを見て賛成意見も表示するのを感じました 氏素性をはっきりさせた上で意見を出せるこのような方法を取っていただきありがたいです	
125	右翼や、とんでもない輩の対処を是非検討して頂きたいです！子供達を不安にさせない為に！	
130	今回の右翼団体などによる抗議は、本当にびっくりです。よく知ろうともせずに異国者を排除しようという考えは、短絡的すぎだと思います。どのような事業なのか、しっかり理解した上での抗議ではないだろうかと、報道等を見て感じました。住民としては、廃校のままでいるより、特色ある学校となって子どもたちの学びの場となるのは、喜ばしいことだと思っています。	
146	跡地の有効利用にもなりますので、この事業を是非とも進めてほしい。 反対している人は、限られた一部の団体で、この地域とはまったく関係のない人達にみえます。 札幌市としては良識的に毅然と対処すべきです。	

4.2 反対・撤回（45件）

No.	4.2.1 公有地の外資への売却・安値売却への反対（12件）	回答集 ページ
194-1	「本部がシンガポール」とあるが、経営者が中国系ならば土地の売却には反対！	回4-4 ～ 回4-5
208	質疑応答集22にある 旧常盤小学校の裏にある宅地に関して不安がある地域住民の1人です。 確かに、こちらのスクールの話が出る前に宅地造成はしていたかと思います。 新築で家を建てるターゲットとなるのはゆっくり暮らしたいシニア世代も多いだろうけれど 結婚出産子育て世代が半数以上だと思うと常盤小学校が廃校になってなければ何の不思議もないのです が 2021年に芸術の森小学校として通学が遠くなった地域への宅地造成で地域の方と何でそこに？という話 しをする機会があって不思議に思っていました。 案の定、ずっと広告が入ってくるけど未決の宅地が多く残っているところハインターナショナルスク ールの話が出てきて 10年経てば転売する事も出来る（というか、市が介入しなくなるので、どうにでも出来る）という条件 があるという。 単純に住環境のことや利便性を考えたら今、メガソーラーの工事（？）をしている場所付近の方が 小学校・中学校が近くこの近辺では新しい住宅地にも近く若い世代の親御さん・お子さん達が多くコ ミュニティも作りやすいはず。 大手の素敵な住宅メーカーさん達がよってたかって見当違いの事をするとは思えないので 何かあるのかな…と、深読みできてしまいます。 あとは、滝野霊園の頭大仏の人气が高く海外からの観光客の皆さんで賑わっていて施設も新しくなっ たりしていますが その人気にあやかりとうする業者が周辺で宿泊施設など変な開発をしてみんなの大切な地域が壊され ないか心配です。	
217	市民の税金で作った小学校の土地や建物をなぜ外国人に使わせるのか、わけがわからん	
220	外国の企業でなく国内の企業で同じ様な事業を展開しているところへ変更してはどうか！北海道(日本) の土地を大事に活用してもらいたい。	
227	日本の税は、日本人に使われるべき	
232	どんどん日本の土地が外国人に買われてしまっているのに札幌市まで外国人に売らないでほしい 売却するのではなく借地ではダメなのか、今回騒がれてから市の方は対応している後手に回っている 騒がれる前に行動してほしかった 問題起きないと市は対応してくれないのではないかと不安でいっぱいだ	
238	道内における多国籍企業による不動産取得の現状に関し行政の課題対応が不十分と感じており、譲渡を 起点とした人の流入で地域コミュニティとの摩擦が懸念され今回の件には反対。	
266-3	売却に反対。 小学校は、国民の税金・札幌市民の税金で作られた市民の財産です。当初の不動産鑑定額4710万円(複数 社で鑑定をした結果なのか?)が、2回目は、2220万円で当初の半額以下。この金額に担当者は誰も疑問 を持たないのか？ 市民の財産のたたき売りだと思う。	
266-4	財産価値の観点から多方向に検討されていない。 職員の皆さんは、自宅を売却するときに当初鑑定額の半額以下で売却するのでしょうか？ 2回目の鑑定で 2220万円が示された時点で、市有財産の多額の減額を避けるための方針変更も含めた多方向の方法を検 討しましたか？ 市役所は、多額の鑑定価格減額に立ち止まり考えることもなく、あえて言えば何も考えず機械的に単に 方針どおりの事務手続き・スケジュールに則った処理を行ったのだらうと思います。しかし、売却の大 前提は、「適正な金額」で行われなければならない、4710万円 → 2220万円 の減額は適正とは思え ず、汚職はないと思いますが森友学園問題を思い起こさせます。 例えば教育目的にこだわらないのであれば、校庭(宅地用)と建物部分(起業者・芸術者用)に分けて売却 など市有財産を少しでも高く売却する手法を検討したのでしょうか？ 税金はしっかり徴収するのに、 市役所は市有財産の売却が市民感覚から乖離し杜撰だと思います。	
303	外資に札幌市の土地を売り渡したり優先的に事業をさせることを誰も望んでいない 自治体職員は、現行制度だけで判断せずに、今世の中で何が問題なのかをよく考えて仕事をしなさい 市議会議員はきちんと役割を果たすこと 議員は責務を果たしていない	
304	一定レベルの日本語を話せない外国人は通わせないでほしい。 旧常盤小学校は、貴重な札幌市民の財産です。 日本人である札幌市民の為の福祉の増進となる様な土地活用、建物活用をしてください。 外国人に土地や建物を売らないで下さい。	
305	南区に住んでいる日本人のためになる活用をしていただきたい。外資系企業に格安で販売するのは断固 として反対です。	

設問4：その他の意見（351件）

No.	4.2.2 行政不信・プロセスへの批判（3件）	回答集 ページ
230	住民の反対があるのに事業を推し進めるのは反対する。他の様に活用して貰いたい。	回4-5
294	北海道新聞の記事について 反対意見は地元以外の人で地元は賛成のような捏造記事はどういう事なのか 誰かが意図的にやらせているとしか思えない 地元では賛成している人なんかいません 町内会長は除く	
295	金融・資産運用特区に指定され海外から人材が集まるとのことでインターナショナルスクールが必要というのが理由の一つのようですが、南区市議会議員・あおいひろみ（市民連合）のピラには・誰もがつながり合う共生のまちづくり条例・の施行を上げ、【札幌市が「共生のまちづくり」を掲げる以上、今回のようなケースでは市自身が率先して～多様性を尊重する姿勢を具体的に示すことが求められます。】とリベラル思想丸出しの理由から、地域住民の不安を無視し、常盤地区を多様性のモデルケースとしたいようです。市側の本音はどちらなのでしょう？もし、市議会議員の言いなりに動いているのが本音です。というのであれば断固として反対します。埼玉県や江別市のモデルがあるように、なっからでは遅いのです。結論を出すのはそれからしていただけないでしょうか。 個人的な意見ですが やはり不安がありますので賛否となると現状のままでは反対です。	
No.	4.2.3 治安悪化・外国人増加・移民問題への懸念（10件）	回答集 ページ
141	中国人が増える事は困ります 😞	回4-5 ～ 回4-6
204	西葛西周辺にはインド人のコミュニティがあることは有名だが、常盤周辺に同様のインド人コミュニティができるのは非常に反対したい	
248-2	途上国の外国人は絶対にやめてください！駒岡小学校がまだあるんですよ！？母国に帰る前に小学生に対して事件を起こして逃げようとする労働者の男が出てくることがわからないんですか？ 本当にこんな言い方はしたくありませんが、先進国の白人しか安全ではありません。良い人もいますが、だから何？それが？で？というレベルで「そうでない人」が多すぎます。 インド！？冗談じゃない！カーストの低い人たちのルサンチマン(格上への嫉妬)を知らないんですか？ 「自分たちは貧乏なんだから、日本人からは奪っていい」と思ってるんですよ。 いいですか、仲良くできるのは「日本人からは特に欲しいものはない」人だけです。つまり、こんなこと言いたくありませんが、現実として、受け入れていいのは先進国の白人だけです。	
276	近隣に住んでいる者として、中国人など犯罪を犯す人たちは入れないで！	
279	札幌市の計画は理解できません。外国人問題が話題にあがり、北海道や大阪、関東、など色々な所で外国人による問題が広がり、ようやく政府も規制にのりだしている、そんな中でこのような計画をたてるのはおかしいと思います。ヨーロッパでも移民問題で苦勞してると言います。札幌市は札幌市に住みたいという外国人に何か具体的に対策を前もってやっていますか？今後も問題が起きてから対処するといつても遅いし、期待できません。なぜなら、生活に密着しているバスの運転手不足、冬は寒くて夏は暑い地下鉄の冷暖房すら言い訳ばかりで対処できていないからです。 このような大事な事を書面で済ませるのも理解できません。 札幌市はもっと市民に寄り添った街づくりを考えて下さい。	
280	偏向報道に嫌気がします。 事実を隠したり 嘘を報道したり... 本来に來ないでください。 あんな学校が開校すれば家の価値 土地の価値も下がります。誰が外国人いっぱいいる場所や地域に住みたいですか？ 絶対反対。住民説明会での担当者が急に体調不良？そんな体調悪い人に大事な説明会来させる会社にも不信感！！ 絶対反対ですので やめてください。	
283	外国人受け入れ絶対反対！！	
293	次の二つの理由で反対です。①近年、外国籍のドライバーによる交通事故が増えています。特に冬の雪道では慣れている北海道人も細心の注意が必要です。地域の安全を守るため心配の種を増やしたくありません ②札幌市の「共生のまちづくり条例」は、年齢、障害、性的指向、国籍などに関わらず多様性を認め合う社会を目指すもの、とあるが「国籍などに関わらず」という文言が入ることに疑問がある、ためです	
296	南区長 なにもせず、他区と比べると明らかに南区は店も遊ぶ場所もなにもありません アクセスも悪く、バスが頼りなのに、運数が減り運賃も高くなって南区はひどいですよ 土地はあるのに、大きい施設もなく、子供が遊べる場所もなく、公園も他区よりショボい 大きい遊具があって、スポーツが出来る場所くらい作れ 何もしないならやる気のある人に代わってください 何もしないのに、意味不明で治安悪化のある移民受け入れまでして何がしたいんですか ちゃんと考えろ、まず説明責任はあなたが果たしなさい 住民が反対してるのだから計画を中止にしなさい	
300-1	そもそも結果論ですが、なぜ芸術の森小学校を建築したのか、、、何故2校の統合が出来なかったのか、、、札幌市の結論に納得出来ません。そして、この跡活用の問題に発展してきたのですから。GIE社と契約をするのは反対です。現在日本国内でも、外国人の移民に対してさまざまな問題が出てきています。どのような事業計画を発表しようとも、どのような事業計画を発表しても断固として契約には反対します。	

設問4：その他の意見（351件）

No.	4.2.4 生活環境・静穏な暮らし・地域への影響（10件）	回答集 ページ
239	とにかくにも、平穏だった、この地域の情勢が変わった際、誰がその責任をとるのか？ 行政も事業関係者も、皆、ここに住んでいないため、傍観者でいられるだけです。	回4-6 ～ 回4-7
246	こんな学校ができるなら引っ越さなかった。札幌市に騙された気分です。常盤小学校は母校です。母校を外国人に売らないでください。迷惑です。	
247-6	常盤小学校を記念すべき100年目に卒業した卒業生として、海外に行ったことが多くこのインターナショナルスクールに反対でしかない地元の意見でした。 考え直して下さい。 態々常盤の地に家を購入した我々を後悔させないでください。 子供たちが楽しく遊べる平和な地を守らせて下さい。 この計画は断固反対です。	
254	年配層が多いこの地域には全くそぐわない施設ですので建設は中止にしてください。	
256	反対しています 静かで穏やかな暮らしを求めてここに住んでいます。周りの人達も同じ意見の方も多く本当に取りやめていただきたいです	
267	～常盤小学校跡地へのワンワールド・インターナショナルスクール開校計画について～ 以下の理由から強く反対いたします。 日常生活への影響に対する深刻な不安 開校により登下校・送迎・校庭利用に伴う人の流れが急増することは明らかです。しかし、ごみ分別・ポイ捨て、騒音といった「法律で強制できないマナー領域」について、私たち住民が納得できる対策が一切示されていません。 これまで学校側・行政側から具体的な説明がなされていない主な点は以下の通りです。 ごみ出し違反やポイ捨てに対する学校側の日常的な監視・指導体制	
268	海外企業誘致活動に向けて重要な役割を担うものであり、などと書かれていたがそれを担うのは企業を誘致した土地近辺であるべきで、このような少数住民の地域に負担を押し付けるべきではない。また、一旦入れてしまったらこちらに合わないから不要です帰ってくださいというわけには行かない。目先の事だけ考えて、その後どうなるかの責任など誰も取れないだろうし取るつもりもないのは間違いない。違うというなら札幌市も北海道も計画を進める前にこの事業によって起こりうる諸問題について全ての責任を負い、全ての補償をすることを約束しますという文書を地域住民に届けてから進めるべきである。そうでないこのような計画は断固認めることはできない。	
278	ただただ反対。 住んでいる側は静かに暮らしたい。自然が好きでここに住んでいる。それをわかって欲しい。	
281	本計画に断固として反対いたします。SNSによる誤情報を元に不安が増大してるわけではなく、なぜ自分たちが影響受けなければならないのかという生活への不安が強いからにほかなりません。意図しない影響で振り回されることに深刻な不公平感を感じます。仮に今後説明会を実施したとしても地域住民の分断を招く事態が予想され不安しかありません。またあわせて意見書を送付した地域住民からの賛成反対数および意見の分布状況を客観的に発表することを希望します。	
301	静かで穏やかな常盤の環境を脅かす計画は一刻も早く断念して、撤退して下さい。	
No.	4.2.5 絶対反対・即時撤回・代替活用の要望（10件）	回答集 ページ
225	反対意見を表明します。	回4-7 ～ 回4-8
228	開校、及び設置の反対。 近辺にはクマ等野生動物も多く、生態系への影響も考えられる為、その面からも反対。	
229	交流施設、文化施設など、他の地域の人々も利用できる。地域経済が活性化するような所に売却してほしい。	
231	絶対反対！！	
233	計画には反対です	
255	一度決めたものを元に戻すのは難しいため、 計画自体が無くなることを願います。	
269	絶対反対	
272	絶対にインターナショナルスクールを常盤に建てることはやめてください。大反対です。	
284	中止を強く望みます	
286	違う形で今からでも学校が使われる事を願います。 賛成の方は自分の家の近所でもそう思えるのでしょうか。	
4.3 透明性・説明・情報公開（36件）		
No.	4.3.1 一般的な透明性・説明姿勢・情報提供のあり方（9件）	回答集 ページ
30-2	情報公開が大切と思います。	回4-8
129-1	先日の説明会には町内会の行事が事前に予定で入っており残念ながら参加できませんでした。 なんだか近隣住民ではない人達が来ていたようですが、事業内容や学校のことなど色々聞いてみたい思 いでした。 今回このような資料配布して頂き少しでも知ることができて有り難いです。	
162	本件に限らず、情報開示への風穴を開けて欲しい！	
169	透明性に期待です。祖父母からの常盤の地ですので未来のある利用を次世代に望みます。	

設問4：その他の意見（351件）

188	常盤一区会館で説明会を行う前に、芸術の森地区へのこの情報公開、ここに至るまでの過程及びアンケート、を行うべきだったと思う。 一区会館での騒動は常盤地区の住民は突然置いてきぼりに好き勝手されそうで、札幌市は勝手ににやっていたと感じたから。 いただいた情報を読む限り、学校が再開しても治安が悪化したりはしなさそうだけれど、外国人とのめめごとが起きた場合は仲介は学校側と南区役所が請け負ってくれるのかははっきりしておいたほうがいい。	回4-8
275	この事業の受け入れに対する市の責任者名の開示	
310	地域住民に対しての説明が不十分で 理解が得られない	
348	より正確でオープンな情報発信	
352	送付していただいた質疑応答集の資料は、概ね正確としても二次情報です。地域説明会は公開として、今の時代ネットで閲覧できるようにするのが、より正しい理解を得られるものと考えます。	
No.	4.3.2 事業計画の詳細・実現性・財政的リスクの不透明さ（7件）	回答集ページ
211-3	事業計画の実現性について 本計画では、定員約650名、年間学費100～150万円という規模が示されていますが、すでに市中心部に複数のインターナショナルスクールが存在する中で、市の周縁部に位置する本地域において、この規模の需要が本当に見込めるのかについて、具体的な説明が不足していると感じます。 また、仮に計画が想定どおりに進まなかった場合、その影響が地域にどのように及ぶのかについても、あらかじめ明確に示される必要があるのではないのでしょうか。	回4-9
249	購入を検討するにあたり建物維持管理のデューデリジェンスはしっかりと行っているか？ 寒冷地での建物維持管理は東京大阪とは比べ物にならない維持管理コストがかかります。（除排雪、水道凍結等） 当該建物は老朽化が進んでいるため維持管理には多大なコストがかかる事はある程度把握されているかと思うが本州での試算はほぼ通用しない事を不動産従事者として老婆心ながら忠告させていただきます。	
287-1	■ 事業の採算性が不透明である点 類似するインターナショナルスクールの事例から、年間授業料は一人当たり概ね100～120万円程度と推定されます。この場合、授業料収入は生徒100人で約1億円、200人で約2億円、300人で約3億円規模にとどまります。教職員人件費や施設維持費等の固定費比率を踏まえると、300人規模の生徒数を安定的に確保できなければ、学校単体での継続的運営は困難と考えられます。	
287-2	■ 生徒数確保の合理的根拠が示されていない点 札幌市郊外という立地条件において、当該規模の生徒を長期的に確保できる需要予測や根拠が確認できません。	
287-3	■ 市の財政的関与の有無が不明確である点 授業料収入のみで採算が成立しない場合、市として補助金等の財政支援を行う可能性の有無は、本計画の妥当性を判断する上で不可欠な要素ですが、その整理がなされていません。この点は、将来的な公金支出の合理性を説明できるかという観点からも重要です。	
287-4	■ 事業撤退時の財産管理リスク 事業継続が困難となった場合の土地・建物の処理、市の関与、転売や用途変更に対する考え方が示されておらず、市有地であった公共性の高い財産として適切なリスク管理がなされているか確認できません。 以上の点が明確にされないまま計画を進めることは、後日の検証に耐え得る行政判断であったのかという観点からも慎重であるべきであり、本計画は中止または白紙に戻した上で再検討することが妥当と考えます。	
341-2	「事業計画書」の内容が、公開されていないがどのようなものか。	
No.	4.3.3 正確な情報発信・誤情報の対策（8件）	回答集ページ
85	ここ最近のメディアでの報道の経過報道の継続とSMS等での発信をお願いします。	
110-1	町（町内会）には、フェイクニュースが広がっている。正しい情報を頻繁に発信すべきである。	
110-2	ヘイト的な思想によるデマ、憶測を一部の住民が、風潮している事実がある。また、地域外（市内や近隣市町村）からの部落差別的な情報や、道外からの政治的誘導によるSNS投稿が発信されている。このような極右翼な反社会的な支持者のフェイクニュースに屈することなく、人種、民族、文化や宗教などを理由とする差別を無くし、全ての人が平等な地域社会の構築を強く希望する。	回4-9 ～ 回4-10
111-1	地域外からのフェイクニュースや、右翼志向の強い反社会的な団体の活動、並びに政治的な色濃い情報発信が多く、静かな暮らしを営む地域に、波紋が生じている。	
111-2	特に、根拠のないSNS情報の規制をしっかり行ってほしい。	
128	正しい情報が伝わるように頑張ってください	
350	根拠なき不正確な情報を発信する者に対して法的措置を取るべき。	
366-1	対応お疲れさまです。 ネットやメディアでかなりいろんな情報が出回り、正解な情報なのか？不正解な情報なのか？が分かりにくく地域住民としても正解な情報が難しいです。その為、今まで出されたニュースレターや先日議会に足を運びながら情報を集め自分なりに検討させて頂きました。自分が住み地域なのでこれからも住みやすく安全にと皆さんが考えていると思います。	
No.	4.3.4 選定プロセス・次点提案者・審査内容の開示（12件）	回答集ページ
245-5	次点提案者とほとんど点数の差なし、こちらは外国人がらみではないとのこと⇒知りたい！	回4-10
250-1	質疑応答集の4番、審査報告書はもっと具体的に案内すべき。	

設問4：その他の意見（351件）

252-2	配布された質疑応答集をみると選考採点結果の最優秀提案者と次点提案者の点数の差が僅かすぎると感じます。おそらく地域住民にとっては次点提案者の案の方が適しているのでは？ 叶うならば、次点提案者の提案も公表して、地域の意見を聞いてほしいです。	回4-10
263-1	次点提案者の事業についてどのような事業であったのか、調べてみましたが詳しいことは書いてありませんでした。どのような事業であったのか詳しく公開していただきたいです。	
285-1	審査報告書を拝見しましたが、次点提案者の情報がありませんが、公表出来ないですか？また、公表出来ないのなら理由は？	
285-2	審査報告書を見ましたが、採点の具体が分かりません。次点提案者の説明資料等くらいは公表出来ないですか？また、公表出来ないのなら理由は？	
285-5	審査報告書は点数しか載っておらず、審査理由が明確ではないため、何の参考になりませんが、如何でしょうか？	
299	選考過程が極めて不透明であり納得できません	
340-2	出来れば2番手、3番手もどのように手をあげられたのかも知りたいです賛成・反対どちらにも手を挙げられません	
341-1	「公募提案審査委員会」のメンバーの職業等とか人数について教えてほしい。	
346-1	審査委員会で決定されたと記載有りますが委員の方々はどのような方ですか？可能な範囲で結構です。	
346-2	次点提案者はどのような方(企業)ですか？これも答えられる範囲で結構です。お願いします。	
4.4 治安・安全・防犯（15件）		
No.	4.4.1 具体的な防犯対策・責任の所在・入国審査（5件）	回答集ページ
7	但し、入国にあたっては、自国において重大な犯罪をしていないという条件をつけてほしい。	回4-11
250-3	同15番、具体性がない、具体例を少なくとも10個、挙げるべき。	
291	トラブルが起きた時の責任の所存	
319	治安の維持に関する具体的方策	
329	治安悪化だけが心配。外国籍の方は日本で裁かれないイメージが強いため、そこを払拭するような誓約は欲しい。	
No.	4.4.2 交番設置・警察機能の強化・地理的不安（4件）	回答集ページ
176	学校や子どもたちや地域を守ることを検討していただきたいです。交番が石山まで行かないとないので、現状のままでは安全確保に不安があります	回4-11 ～ 回4-12
191	こども園や小中学校、大学、そしてインターナショナルスクールが並ぶ文教地区であるにもかかわらず、近くに交番がないことを考えると、地域の安心・安全が十分に守られるのか心配に感じています。	
258	質疑応答集の15で「警察等の関係機関と連携してまいります」とありますが、石山東、常盤、芸術の森地区にはそもそも交番がありません。 1番近くで石山交番で距離が約3キロ近くあります。その様な状況の中で事件・事故があった場合迅速な対応ができるとは到底思えません。 警察等と連携していくとありますが、警察や関係機関の職員に多国語を話せる職員を配置してもらわなければ言葉も通じないのなら対応すらできないと思います。	
317	交番を新設。警察巡回の強化。	
No.	4.4.3 地域の平穏・安全確保への要望と不安（6件）	回答集ページ
187	地域が安全に過ごせるよう対策をとっていただければ良いです	回4-12 ～ 回4-13
201	芸術の森地区は治安も良く閑静な住宅街なので、治安を維持できることを優先していただきたいです	
247-3	同じく外国人関係より15について 今まで何も無くても治安が良く、子供から老人まで不安を感じず過ごしていたのにも関わらず、態々警察と連携してまですることなのでしょうか？ この落ち着いた地域だからこそ家を購入し、長く住んでいる方々も多いです。	
321-1	地域住民やスクール利用者の安心、安全を第一に考えていただきたいと思います。	
122	懸念点で書いたように反対勢力による治安悪化への対応を考えなければならないので、対立なく建設的な話し合いができるような環境構築を関係者には考えていただきたい。	
166	地域との交流において、サロンみたいな地域の人々が常に利用できるスペースがあればいいなと思います。そのなかで地域の人もグローバルな意識と知識を持てたらいいと思います。	
4.5 地域交流・貢献・連携への要望（11件）		
No.	4.5.1 教育・文化プログラムの相互提供（2件）	回答集ページ
25	日本文化の課外クラブを作ってください。書道、囲碁将棋、剣道、生け花など	回4-13
164-1	定期的な交流の場を設けて欲しい。 市民向け講座など。 英会話、インドの2桁かけ算の覚え方!?, など。	

設問4：その他の意見（351件）

No.	4.5.2 施設の地域開放・活用要望（1件）	回答集 ページ
252-1	この地域には芸術の森や市立大学など芸術に触れる場所(しかも市立)があり、その環境を気に入って住んでいる人も多いです。 もっと芸術に関係ある施設、例えばアーティストインレジデンスや音楽スタジオなど、民間にばかり頼らないで、市が主体となって計画してほしいです。 地域のことを考えてもらえるのであれば、例えば図書館にするとか、道の駅のような地産地消の物を販売するような施設にするとか、南幌あるような子供の施設を作るとか、もっと地域住民が出入りしやすい施設にしてほしいです。	回4-13
No.	4.5.3 地域行事・イベントへの参加と交流（8件）	回答集 ページ
9	開校したら、子供達の様子を一度見せていただくチャンスがあると嬉しいです。	回4-14
133	地域がにぎやかになること 子どもたちが増えることを期待します	
157	芸術の森などで行う地域イベントへの参加など、地域との交流を期待しています。	
174	■■■■地区です。 週末に真駒内に住む孫を連れて行けるイベントがあったら嬉しい。	
76-1	町内会に加入してほしい	
76-2	町内会行事等に一緒に交流してほしい	
160	地域連携協議会（仮称）に参加したい。公募制であれば応募したいと思っています。	
184	地域と連携した防災訓練は必須です。	
4.6 施設維持・売却プロセス（審査過程）・契約内容・学校運営（22件）		
No.	4.6.1 プロセスへの不満・次点者・住民周知（4件）	回答集 ページ
207-2	また、今回の地域住民に対する資料の配布や意見募集が優先交渉者決定後に行ったのはなぜでしょうか。審査委員会の前に行い、審査の材料にすることは検討されなかったのでしょうか。	回4-15 ～ 回4-16
250-4	同18番、現行制度を見直すことも考慮した質問であるはず、誠実に回答していない。	
313-1	説明会の質疑応答にて、本件は町内会の上の方で決めた、と説明した町内の方がおられましたが、町民は知りませんでした。決定前に町民と市の間で話し合いが必要だったのではないのでしょうか。 ・旧常盤小学校の土地を売却するのに、この値段は格安ではないかと思います。 ・創立百年近くの学校地に近辺の人は思い入れがあるのは当たり前です。なぜ土地ごと外国の所有にするのでしょうか。 ・この質問状の結果は札幌市民全体に分かるように公開するべきではないのでしょうか。何戸に配布したのか、説明会は何戸に知らせたのか、具体的な戸数を公開すべきと考えます。 ・芸術の森地域にのみ本件のお知らせや質問状を配布しているようですが、サンブライトや石山東地域に知らせているか存じませんが、本件について知らない住民は多いと聞いています。 ・説明会にて、市の担当者の方が、バスの運転手など、外国から沢山の労働者を受け入れ、その家族のためにもこのスクールが必要だというお話がありました。スクールの開校は、育成就労制度や特定技能制度の外国人受け入れに合わせて決定されたのでしょうか。	
367	質疑応答集の8番では、「次点に権利が移る」とありましたが、次点はどんな交渉権者でしょうか？	
No.	4.6.2 契約後の責任・リスク管理・買戻し特約（5件）	回答集 ページ
341-3	違反した場合は、売買物件を買戻す事になっているが、相手方がつかめない場合はどうするのか。	回4-16
20	札幌市も売却後も責任をもって対応してほしい。	
164-2	報道によると市に対する色々な意見が出ていますが、行政として土地や建物が売却された後も、適正な活用や運営がなされているか、何らかの方法で、継続的に指導、監督することができれば、地域住民や売却に異議を唱える人たちへの安心材料になるのではと思いました。	
250-2	制限されていても、強行される場合は多々ある、その時にどうするかを示すべき。	
311	もし地域社会になにかしらの不利益をもたらしたり、トラブルを起こした場合は行政が強制撤去できるような契約にしておくべき（撤退条件として契約条項に盛り込んでおくべき）。	
No.	4.6.3 売却価格の減額・安値売却への不信（5件）	回答集 ページ
197	最低売却価格の鑑定額2220万円とした過程、決定額がなされた4710万円から2220万円に減価されたことが不明瞭。一般的な戸建て住宅の相場価格からみて、大きくかけ離れ過ぎていると考えられるくらい安価なのはなぜか。	回4-16 ～ 回4-17
222	旧常盤小跡地は更地にして住宅用地として民間に売却して下さい。2220万円以上になるはず。緊急時の避難場所やコミュニティの拠点は芸森小と常盤一区会館で充分である	
245-2	価格が異常に安過ぎ(2500万円)	
285-3	結局、審査は金額で最終決定されているようにしか見えません（他の項目は僅差となるよう点数合わせに見えます）	

設問4：その他の意見（351件）

337	地域住民としての立場 旧常盤小学校の跡活用については、早期の売却を望んで多少の関心をもっていた。 町内回覧の「学校跡活用検討会議のおしらせ」（短時間で回付する）程度の情報しかない中で、不動産鑑定額4,710万円が、いきなり2,220万円に減価（特に説明はなし）したことに疑問をもった。 また、検討会議の位置づけは、地域の重要事項について意思決定のできるものではなく、単に市の説明を受けて地域に情報提供するものと捉えていたが、検討会議からの情報提供は特に何もなく、この間状況をみていた。 そういう中で、開催された「地域説明会」（不参加、議事概要より）、および今回の送付資料から、いくつかの懸念をもった。 結語 「公募提案審査委員会」報告の6. 講評・付帯意見では、甲乙つけがたい提案であると、次点提案者（学生の記載があり教育機関か）を高く評価している。 2点差（うち1点は、運営・理念ではなく売買価格差）であり、評点結果は誤差の範囲である。上記5の考えから、契約締結は次点提案者含め、総合的な判断が求められると考える。	回4-16 ～ 回4-17
No.	4.6.4 売却反対・リース契約や転売制限の要望（8件）	回答集 ページ
61-2	できれば10年以上のリース。	回4-17
61-3	中国・ロシア系企業への転売禁止、等	
215	国外事業者による公有資産を売却するのは基本的に反対である。 売却金額の問題ではないと思う。	
219	常盤のスクールが開業してもしばらくしてから他の外国企業に転売される可能性もあるのでは。たとえば中国系とかに。日本はWTO加盟時、共産国を含めて不動産の売買を自由化してしまった。これが問題となっている	
242	札幌市も、北海道も、諸外国で起きている、外国人問題を勉強して、安易に土地等を売らないで欲しいです。	
288	地域還元をととても蔑ろにしている、寄り添う気がない、宣言資料から、貴社並びに札幌市から誠意を全く感じられないです。公的財産を外国企業に売却する理由も、売却理由の説明を提案型売却の審査基準に話をすり替えて答えておりますね。 まず外国企業にわざわざ売る理由を説明する必要があります。あなた方は必要に迫られている訳でもないのに、自ら「売る」んです。その理由を具体的、明確に回答して説明してください。それをしないと、札幌市のポーズだけのインターナショナル化で地域住民が負荷が押し付けられるだけです。私たちはあなた方の尻ぬぐいをするために、税金を払って生きている訳では無いのです。 まずは説明してから、話を進めて撤退してください。なぜなら、「地域（常盤）は必要としていない」のに、あなた方は公共の財産を「売り渡して」地域にその負担押し売りするわけですから。	
306-1	リースでなく、売ってしまう事はおかしいのでは？ この地域は交番も消防署もない地域。GIE社となる時には交番の設置が必須。以前から地域として道路の拡幅と交番設置を要望していて叶わなかった事もあり必須条件。何もないかも知れないがあるかもしれない。 あった時の対応策を示すべきでは？	
314	売却はやめてほしい リースにしてほしい	
4.7 ルール遵守・マナー・環境維持（14件）		
No.	4.7.1 地域住民の生活環境・安寧の維持（5件）	回答集 ページ
90-2	なにより、地元住民の安楽な生活を最優先に考え、地域にとけこむ姿勢を示してほしい。経営はその次。	回4-18
90-1	計画自体には賛成ですが、大都市札幌市郊外の手頃な土地という考えではなく、先人たちが開拓した崇高な土地に建てる学校であるということの重みを自覚していただいた上で、運営して頂きたい。	
172	条件付で可 児童数を日本人50%以上とする事 生活ルールの遵守	
209	グローバルの時代ではありますが、「郷に入っては郷に従え」という日本の諺があります。私たち近隣住民が我慢をする、環境を変える、という押さえつけられる事がないようにしてもらいたいです。	
332	現環境の維持	回答集 ページ
No.	4.7.2 日本のルール・マナー・文化の指導と遵守徹底（6件）	
11-1	ある一定のルール・マナー、規律等の保守	回4-18
81	外国人に、地域のルールを守っていくように、教えること。	
171	ルール作りと実行	
182	生徒さんだけでなく、外国籍の教職員も含めて、日本のマナーや文化を理解して過ごすようにして欲しい	
192	地域のルールなどの徹底必要	
328	共に生活するのであれば日本（公共の場での）のマナー秩序そして衛生環境等をしっかり学び生活することを望みます 尚、札幌市によるしっかりした指導（継続的に！！）を望みます。	

設問4：その他の意見（351件）

No.	4. 7. 3 文化・習慣の違いや外国人増加による懸念（3件）	回答集 ページ
214	現在、インターナショナルスクールと無関係でも将来つながっていく事も予想されます。規定が必要です。 ・一部地域が外国人町内になって独立的にはならないのでしょうか ・町内のルール、活動への影響は出ませんように。	回4-19
247-1	インターナショナルスクールより12について もう既に近くに新しく開校された芸術の森小学校があります。 そんな安心して通うことの出来る小学校があるのに態々治安の悪そうなインターナショナルスクール通わせる親は少ないです。 つまり、殆どが外国籍の集まりになります。 外国籍が過半数を占め、さらに多国籍となるとルールが守られません。	
247-2	外国人関係より14の懸念について 学ぶ場を提供するとの事ですが、海外の方の大半がこの様な場に行くとお思いでしょうか？ あまりにも甘く見すぎではないでしょうか？ 外国人の性格等を知らなすぎです。 ルールやマナーを教えてもすぐにマイルールにしてしまいます。	
4. 8 意見収集の手法・行政対応への意見（60件）		
No.	4. 8. 1 アンケート手法・ID付与・配布への不満（12件）	回答集 ページ
165	今回の意見収集をはがきで行っているが、報道されているように注目を浴びているので、外から見られないような工夫(封書など)をしてほしかった。	回4-19 ～ 回4-20
194-2	下記の住所、氏名くらいマスキングするのが礼儀だと思う。	
203	インターナショナルスクールについては基本的に反対ではなく、アンケートでその旨を伝えようと思っていたが、このアンケートにやる気のなさを感じてしまった。アンケートの目的が見えない。	
211-2	今回の意見募集における運営方法（ID付与）について 今回の意見等の募集に際し、各家庭に配布されたハガキに個別のID番号が付与されている点について、強い違和感を覚えました。 この方法では、誰がどのような意見を提出したのかが特定可能となり、自由な意見表明を心理的に抑制するおそれがあります。 住民の声を広く丁寧に集めることが目的であるならば、発言の自由と安心感を担保するための配慮が不可欠であり、現行の方法はその点において十分とは言えないと考えます。	
245-3	”集計”という言葉が使われているが賛成、反対のアンケートなし、賛成に誘導しているように見える	
252-3	また、今回意見記入ハガキが同封されていましたが、ハガキの 小さいスペースには書ききれず、web回答フォームが使えない人にとってはとても不便なハガキと感じました。 もっと違う方法を検討してほしいです。	
266-1	地域住民全員にハガキを配布すべき。 なぜ1戸1枚のハガキ(ID)なのか？ 住所・氏名を書かせ、IDで特定するぐらいなら、家族内でも意見はいろいろあるのになぜ全員に聞こうとしないのか？ 結局、この中途半端なやり方は「地域住民の意見は聞いた」との市役所のアリバイ工作が目的なのか？	
266-2	地域住民にハガキで賛否を確認すべき（「民主主義の根本は選挙による多数決」を援用）。 新聞報道される問題となり、地域住民に聞くのに「賛成・反対」欄がない。市役所としても本当は、そこを確認したいはず。そこを行わないのは、結論ありきで事業推進のための「地域住民の意見は聞いた」とのアリバイ工作と疑ってしまう。	
274	ハガキが入っていない人が多発していますが、大丈夫ですか？全員に配るものを全員に配れていない時点で問題。税金を使って無駄なものを印刷して配っているのだから、せめて、必要書類を全員に配るべき。ハガキを入れる作業もできない人を使わないでほしい	
320	グローバル社の説明資料のプリント(今回、同封)は次ページ毎、上下逆さまで見辛い。市の方で改善してプリントする配慮なし。こういったことが市政にもあるのでは？	
321-2	(今後は保護シール等の添付をのぞみます。デリケートな問題なので)	
331	テレビで自宅の映っている映像が無断で流れていました。非常に不快で迷惑です。	
No.	4. 8. 2 行政の姿勢・プロセス・責任の所在（22件）	回答集 ページ
78	引渡しから10年間、札幌市として事業計画の履行状態をどのように確認、把握する予定なのか？また、その結果をどれくらいの頻度でどのように市民に周知する予定なのか？	回4-20 ～ 回4-21
79	事業運営がうまくいっている時は良いが、不安が生じた時の、区・市がどこまで対応、関与できるのか？	
134	行政として丁寧な説明をしていただいたことに、感謝します。	
144	この事業計画を後押ししている札幌市として、運営会社をもっとサポートしてもらいたい。地域住民への説明や対話の場を、運営会社任せにせず、市が率先して関わって欲しい。インターナショナルスクールとは一体どういう学校なのか、他のスクールの具体例を示すなどして、計画に不安を持つ人々の理解を深める努力を市としても進めてもらいたい。	
195	結果ありきの本業の進め方では、ないのか。	
199	市として対処法が、いろいろな問題についてきちんとした考えがあるのか	

設問4：その他の意見（351件）

207-1	公募審査委員会の報告書を拝見しましたが、先の住民説明会の経緯を見ても、現状本事業が地域に受け入れられやすい事業とは思えませんし、事業者が地域との対話体制が取れているとも感じられません。この状況のまま契約を進めるのは地域住民として非常に不安があります。	
211-1	このたびの旧常盤小学校跡地活用に関するインターナショナルスクール計画について、地域住民として説明会に参加した立場から、以下の点について意見を述べさせていただきます。 私は本事業そのものに対して、当初から反対の立場ではありません。 しかし、これまでの説明および市の対応を通じて、いくつか看過できない不安や不信を感じており、それらが十分に解消されていない現状に懸念を抱えています。 説明会における実態と市の認識の乖離について 初回の地域説明会に実際に参加した立場から申し上げますが、会場では事業内容や今後の地域への影響について、不安や疑問の声が多数挙がっており、必ずしも「一部の過激な反対意見」に留まる状況ではありませんでした。 また、その中で事業者代表が体調不良を理由に説明会を途中で切り上げたことは、住民との十分な対話がなされなかったという印象を強く残しています。 こうした経緯を踏まえると、「地域住民の多くが賛成している」とする現在の市の説明には、実際の状況との乖離があるのではないかと感じています。	
243	市はもっと地域住民の意見を聞き発展を見てほしい	
253-1	市のこれまでの売却売却経緯の説明が充分でなく、かつ不透明であること。4.7 が2.2になったこと	
253-2	公的財産を外国企業に売却する市の根拠説明が曖昧なこと。	
253-3	地域住民への説明は購入者でなく売却者である。市が主体となって実施すべきと問題になったからといって、今頃Q&Aを作って住民に了解を求めようとしているような事は、住民から見れば信頼に欠ける行為である。	
253-4	市の売却対応において、校舎を撤去しないで売却する方法は本来限界があったのに、それにこだわったため発生した問題であると考えれば、統廃合に伴う市の対応は理解できない。	
253-5	すべての問題は、市にあるから、購入者や説明会に参加したものに、問題があるわけではないと考える。	
253-6	これらのことから、本件跡地の利用については、売却者の住民対応が充分でないばかりでなく行政の手続きとしては、評価すべきことがないことから、不安や疑問は払拭できないことから、撤回して再度、住民説明すべきだと考える	
259	2千万円分の売却は安すぎる。札幌市のやり方に不満がある。周知のやり方に問題があるのでは？	回4-20 ～ 回4-21
260	札幌市は言うことを変えているし、信頼置けない。わざわざ外資に売るのはなく、校舎は潰せば良いだけの話なのではないか	
261	札幌市は財政赤字なので高いお金で買い取ってくれる外資系に売却なんですね。市民の意見はまるで無視。外資系が地域に侵攻してきても、一つたりとも協力はしません。	
265	今、国会でも外国人に対しての対応等、色々考えてくれそうなので期待してるのですが、現状では国籍を理由に土地売買を制限出来ないそうなので、一刻も早く国会で細かな制限をしっかりと作って欲しいと願ってます。それまでは、常盤の土地を売るのは待つて欲しいと思います。	
285-4	地域の理解とかで点数が高くてついていますが、このようなアンケートをとっている時点で、理解されていないのでは？それでも、地域の理解が次点提案者より高い理由を詳しく教えてください	
297	これからはどんどんAI化が進んで行き、どう考えても人が余るのにわざわざ外国から人を入れる必要はないです。 人が余った時にどうするつもりですか？ それなりの方は外国へも行かず、国内でもそれなりの仕事につくでしょう。 まだ日本の文化に馴染んでくれたら良いですが、自国の文化や宗教などを無理やり持ち込み『国が来てくれて言ったんだから、権利だ』って言われたら札幌市でも責任取れますか？ 日本はなくなります。 外国人が来ようが、ここは日本です。 外国の方に日本国民の権利を与えるなら、義務も負わせなければおかしくないですか？ そんな時に困って帰って下さいってお願いしても自国には帰りませんよ。 インターナショナルスクールはその布石になるんですよ。これらを助長させる事になるんですよ。 これだけ分かっているのに推し進めるのはどうゆう事なのか説明してください。	
363-2	また、同時期における行政・議員・メディアの発信に偏りが見られ、行政の中立性・公平性に疑念が生じています。 その結果、地域内でも正常な合意形成が困難な状況となっていると思えます。 最初の段階で、市・連合会・PTAにおいて反対の声が上がらなかったとされていますが、そのこと自体が、情報提供や議論の前提に偏りがあったことに起因する可能性もあると感じました。 このまま計画を進めても、本当の住民の意見を反映した結果にはならないと思います。 インターナショナルスクール開校に反対ではないのですが、計画を一度白紙に戻し、中立性・公平性のある立場で説明責任を徹底した上で、最初から住民の意見を丁寧に聞きながら進めたいと考えています。	
No.	4.8.3 説明会・情報提供のタイミングと方法（14件）	回答集 ページ
58	説明資料を早めに配布すれば良かった。	
185	大通りでの反対デモや真駒内駅での反対行動など、地域住民へ大きな不安を与え、地域イメージが非常に悪くなった。もっと早く地域住民や市民に正しい情報を伝えるべき。市の対応が遅すぎため、おおごとになったと思う。しっかり正しい情報を伝え理解を得られてから進めて、騒ぎにならないよう進めてほしい。	回4-21 ～ 回4-22

設問4：その他の意見（351件）

196	跡地の事業計画前に、私達に提案のアンケートを配布してもらい、結果を待っていましたが、勝手に向こうで決定した形になり、決定する前に間いただきます考えはなかったのですか?信頼は細かな意見交換からうまれると思います	
205	9月の説明会の一部地域にしか案内が来ておらず、当方の居住地では説明会があった事を後日インターネットで知りました。 情報がオープンになっておらず、札幌市とスクール側で内々で話が進められているように感じています。 ニュースでは、地域住民は賛成なのに反対派のユーチューバーが説明会を乱したような報道がされていましたが、地域住民全てが賛成派ではありません。 地域内でも賛否両論があり、このまま予定通りに開校すれば、地域内での軋轢も生みかねません。 スケジュールにとらわれず、時間をかけて議論をしてもらいたいです。 昨今の外国人によるトラブルや、外資系業者によるメガソーラー問題などを見ると、常盤地区にも同様の事態が起きるのではないかと危惧しています。	
211-5	本事業は、地域にとって長期的な影響を持つ重要な判断であるからこそ、形式的な説明や制度論に留まらず、住民の実感や不安に正面から向き合った丁寧な対話を強く求めます。 今後の検討において、これまでに寄せられた地域住民の声が実質的に反映されることを切に願うとともに、あらためて、広く門戸を開いた2回目の説明会の開催を強く要望いたします。	
212	説明会をいつおこなうのか。参加方法など必ず知りたい。今回のように全家庭に封書を送っていただけるのか。誰も見ない札幌市のHPなどでひっそりと通知されるのは、大変困る。	回4-21 ～ 回4-22
236	このはがきも、もうすべて計画されていて、反対の予地はありません。この学校が出来る事じたい、まるで、ひみつにして行った様にさえ感じます。町内会でも何も知らされていません。	
245-1	必ず、説明会を開催するように!!	
245-4	初期段階で、一部の役員の意見だけで、話が進んだ	
285-6	質問に関しては全て回答をいただけるのでしょうか?いただけないのであれば理由は?	
290	1度説明会が開かれましたが、住民としては納得いく形で終わることがなかったのにも関わらず、2度目の開催をしないというのはおかしいと思います。 そして、説明会は決定する前にいき、住民の意見を聞くべきなところ、もう売却決定の段階での説明会は違うと思います。 そこで説明会をされても住民は怒る事しか出来ず、そりゃあ話が進むわけがありません。	
306-2	説明会の開催を希望。住民も理解して跡地活用に関わるべきではないか? 出来れば、ピン差で2位の企業の内容も伺いたい。地域にとってどちらが有益か、安心か、地域のコミュニティに貢献してもらえるか、住民の幸せに繋がるか、住民にも考えさせて貰う事が必要である。	
334-2	今回の説明会をもう少し早く開催してほしかったと思う一人です。	
338	外部の方や卒業生は参加せず、地域住民・札幌市・GIE社のみの説明会があるといいです。 平日なら仕事があるためで夜だと助かります。	
No.	4.8.4 反対活動・外部介入・差別的言動への対応（12件）	回答集 ページ
26	住民ではない方が反対運動を行っていると言いました。混乱にならないよう願います。	
40	インド人がどうのこうのと言っている人達の主張のエビデンスを確認し反論すべき。	
48	町外による排外的な主張には不自然な面もあり(ユーチューブに排他的な動画がいっきに増えた)住んでいる住民の結論を優先してほしいです	
62	住民とは関係のない(グループ)を排除して進めて欲しいです。	
68	反対意見等には、適切に対応して下さい。 反対団体を明らかにしてほしい。	
127	最近札幌市でもヘイトスピーチデモが活発化していると聞きます。これ以上広がらないように札幌市として「ヘイトスピーチ禁止法」のような条例を早急に作っていただきたいです。 川崎市ではヘイトを撒き散らす人々を排除することにある程度成功しました。ヘイトを繰り返す人たちの行き場をなくすためにも、札幌市も積極的に取り組んでいただきたいです。	
136	報道で、地区の説明会が荒れたとか、SNSで全く意味不明な噂を流布しているなど、現状をととても残念に思います。 本当にこの地域に住んでいる方が意見しているのか疑問に思います。差別主義者や右翼等がこの機に便乗して荒らしていると思えてなりません。 このような、人種差別を許していいのですか? 札幌市はもっと明確にこのプロジェクトの意義を主張し、差別的な意見に対しては断固とした主張をし、場合によっては法的な措置をとるなど毅然とした対応をするべきだと思います。	回4-22
147	極左的な人がいますが、常盤の住人なのか確認してほしい。まともな議論ができなくなるような人は退場させ、次回からは入場禁止にすべき。	
156	自らの主張のみを通そうとし、他者の意見を受け入れない姿勢は、民主主義とは相容れないものです。むしろそうした人々の姿勢が犯罪に繋がるリスクを懸念します。	
159	排外的反対運動に抗議します。良識ある住民の心配や不安は是認し、その解消に事業体と行政は最大努力してほしい。	
161	地域に居住していない人達からの嫌がらせのような反対論は断固として無視すべきです。	
292	賛成している地主さんから、反対しているとなんらかの圧力をかけられている方がいるときこえてきますが	

設問4：その他の意見（351件）

4.9 文化・人種・外国人に関する懸念（8件）		
No.	4.9.1 外国人増加そのものへの反対・日本文化喪失への懸念（3件）	回答集ページ
251	絶対に外国人の受け入れはやめて欲しい	回4-22
298	札幌市のバス運転手が減っているのを外国人で補おうとしているのだとしたら乗用車の運転手目線でも乗客目線でも不安な為やめて欲しい	
364	札幌にはまだ外国人の方が少ない印象ですが、関東地方ではコンビニ店員は外国人がほとんど聞いております。 人口減少対策に必要な面も理解はしますが、日本を大切にする為の対策も札幌市として、北海道として考えて欲しいです。 よろしくお願い致します。	
No.	4.9.2 治安悪化・犯罪拠点化・身元への警戒（2件）	回答集ページ
61-1	教職員の採用にあたっては、Security Clearance を厳正にして欲しい。（共産国出身者等）	回4-23
200	外人のコミュニティが出来て犯罪の拠点にならないか？	
No.	4.9.3 生活マナー・衛生・具体的トラブルへの嫌悪（3件）	回答集ページ
135	外国人が増えることによってトラブルが増えると考える人も多いようですが、困った時の相談窓口開設をしたり、地域住民と外国人が交流できるようなイベント（言葉や風習、日本料理教えるなど、生活する上で必要な事）を開くなど地域を巻き込むと良いのではないのでしょうか。お互いに顔を合わせて話をする不安は減るのではないのでしょうか。	回4-23
247-5	医療機関で働いている身として外国籍の方々は異臭がすることが多いです。 空気の綺麗な常盤を汚すつもりですか？ また、自分の話ばかりしてこちらの意見を聞かないことが多いです。 コミュニケーションもこちら側から気を遣うことばかりです。 はっきり言ってとても大変です。	
248-1	駒岡地区に外国人労働者のかたが来てから、特定を避けるために詳細は伏せますが私自身が見たものです。 警察に通報したものもあります。 「小学校の近くに深夜数ヶ月継続的に同じワゴン車が駐車している」 「夜に懐中電灯で校舎のガラス窓をひとつひとつ覗き込む男性」 「車の窓からゴミ袋を道に放り投げ、中身のゴミ（コンビニのお弁当容器など）が道に散らばる」 「家のインターホンを押され、出るとスマホを使いたいから貸してくれと東南アジア系の男性に要求される」 「家の前の歩道に大量のゴミ（コンビニ弁当の空き容器など）を置き去りにしていく」 「民家の庭に入り込み、木の陰で立ち小便をしていく」 「外国人労働者のかたのいる宿舎のエリアに暴走族のような騒音を立てる車が入って（帰って）いく」 という状況が起こっています。	
4.10 交通・道路・インフラへの要望（8件）		
No.	4.10.1 バスの増便・公共交通の充実（4件）	回答集ページ
27	芸術の森があり、外国人が増加する事には、良。公共交通の充実を望みます。	回4-24
168	バスの便が多くなると良いですが？	
323	スクールバスではなく、路面バスの利用 バス増便できるようにしてほしい。	
282	インターナショナルスクールを開設するのであれば、もっと公共交通機関が発達した地域に設けるべきと考えます。 当然招致されているとは思いますが、常盤地区の公共交通は、「バス」のみです。 しかも、昨今のドライバー不測の影響を受けて、減便が進められ、近い将来には廃線が計画されているような路線です。 なぜ、このような僻地にインターナショナルスクールを開設するのでしょうか。 回答を希望します。	
No.	4.10.2 交通安全・ルール遵守（2件）	回答集ページ
11-2	交通規則の厳守 ※開校に期待しています。	回4-24
30-1	冬場の交通安全など課題について、話し合えると安心です。	
No.	4.10.3 交通渋滞・混雑・既存利用者への配慮（2件）	回答集ページ
206	送迎についてはよく考えてほしい。スクールバスや家庭の送迎とのことだが、道が1本なので混雑がやいように。また、中央バスにのる子もいるだろうから、バスに乗れない子がいないようにしてほしい。今でも、大学や芸術の森のイベントにより、特に帰りのバスに乗れない子がいる。その他、学校の先のバス停では、乗れない客（取りこぼし）があるのも現実。バスの減便と、時間帯により乗れない事実が相反している。その部分の検討を強く要求します。	回4-24 ～ 回4-25

設問4：その他の意見（351件）

247-4	同じく外国人関係より17について ただでさえ片側1車線で車道が狭いというのにバスが増えると渋滞しやすいです。 夏の朝はもちろん、冬はとても邪魔です。 元々常盤に住んでいる住民の妨害となるものは辞めてください。	回4-24 ～ 回4-25
4.11 その他意見（68件）		
No.	4.11.1 学校運営・教育内容・生徒への具体質問と懸念（21件）	回答集 ページ
10	改修工事の規模は。	回4-25 ～ 回4-27
94-1	学校給食制ですか？どんな料理を考えていますか？ 日本の学校とメニューや配膳方法はおなじですか？	
94-2	基本言語は英語を使用すると思いますが、その他スペイン語や中国語日本語などを学ぶ授業はありますか？	
94-3	日本の学校のように生徒に掃除をさせる時間はありますか？	
106	【札幌市に対する質問】 質疑応答集の12番に、「学校教育法第1条の義務違反になる」旨の紋切型回答が記載されているが、グローバル社のインターナショナルスクール事業を「札幌市が取り組むまちづくり推進に寄与する」最優秀提案として採択したのであれば、同校への入学を希望する日本国籍の子女（保護者）が、学校教育法第1条の義務違反（罰則）を懸念することなく同校を選択できるような何等かの後押しを行う考えはないのか？	
150-1	授業料が高額 年間の授業料が高額に感じます。 札幌市での計画に記述する年間の授業料は、高所得者層の子供しか入学しないのでは？生徒が集まらなければ運営にならないと感じます。	
223	日本人による、経営本部である事を希望する。	
244	配布してもらった資料は素晴らしいことばかり書いてますが、大阪・つくばの地域みなさんが、困ったことや良かったことはどんな事が教えてほしいです。	
341-4	札幌市内にも、インターナショナルスクールに似た学校もあると思いますが、現状についてどのような調査がなされたのか。	
341-5	生徒の学費等何かしらの金銭がかかるが、その裏付けとなる親等の生活レベルは、どのように考えているのか。	
341-6	先生や職員の生活環境をどのように整えていかれるのか。	
341-7	「ご説明資料」について、ページ数が明示されておらず、数ページは、反対に印刷されているが、これでは質問も説明時にも不便と思うがいかがですか。	
341-8	海外校の様子で、校舎外観が出ているが、実際建築されている建物なので、パースがえがかれているが、何故か。	
341-9	校舎と生徒達が写っているが、建物の割には子供達の人数が少なく思われるが、いかがなものか、	
341-10	国内における学校について、実地調査でトラブルetcを把握しているのか。	
341-11	生徒数推移予想が、直線的増加する様に表現されているが、現実的には、この様な事はありえないと思うが、いかがか。	
341-12	生徒や保護者に対するサポートを厚くする様に表現されているが、日本の子供達に対するフォローもあまり的確だと思わないが、絵に描いたもちではないか。	
341-13	南区でも、地域の主体である町内会そのものが、低調であり、総会では、解散という声もあがっている…札幌市でも町内会関係の条例が作られているが、その辺の情報は、市民にもあまり周知されていないと思う。 この提携する団体が無いのに、地域住民とのふれあいはむずかしいのではないか。	
341-14	避難場所としての位置づけは、大変重要で、石狩湾から津波がおそって来た場合、札幌の中心部は壊滅状態です。 この地域は、TV塔と同じ高さであり、被害は少ないと思われる。避難民がここに殺到する事が考えられる。 水は大丈夫だが、電気については不安であると思うがいかがか。	
341-15	「OWISの生徒数推移(実績と推計)」のグラフにおいて、統計の基準が変化しているのは何故か。（8月が基準日になっている!）	
365	授業料が高く、かつ義務教育としてみとめられてなければ、日本人の子供の入学はハードルが高すぎると思います	
No.	4.11.2 交通・立地・インフラ（2件）	回答集 ページ
273	開設するのであれば芸術の森小学校までバス通学が必要な距離（石山東地区）に住む子どもに関しては石山緑小の方が近いので通学する学校を選べるようにしてください。その方が混雑緩和にもなりますし、このままでは芸術の森小、中学校には通学させたくありません。	回4-27
300-2	跡活用とは全く関係がないのですが、札幌市への要望として書かせていただきます。 1. ■■■までのバス利用していますが、外国人観光客の乗車でバスに乗れない時があります。便数を増やす等の検討をお願いします。 2. 最終バスの発車時間を以前のように最終の地下鉄との連携は出来ないでしょうか。運転手が不足等は承知ですが、この■■■に住んでいる身としては大変不便です。このような状態では南区の人口も増えない、若い人たちが住める地域ではないと思います。	

設問4：その他の意見（351件）

No.	4.11.3 行政プロセス・手法・信頼性（15件）	回答集 ページ
12	この様な説明や意見をのべられる機会を作っていただき嬉しく思います。 安心しますし、政治参加を感じます。ありがとうございます	回4-27 ～ 回4-28
42	日本ハムの北広島誘致がいかに地域を分断させているかわかるように、真駒内公園が最適であっても近隣の地域住民の意見が最優先されて南区の発展の芽をつぶれたことを考えると最終的には市長が今回は材料をみすえて勇気ある決断をもって判断することが必要だと思います	
118	先日、ニュースでも問題になったがなりすましのアンケート回答があったみたいだが大丈夫か？	
137	説明会にも参加しましたが、耐えられず途中で出てしまいました。	
177	住民説明会の時に不審人物を防ぐ為に住所氏名を記入するのは効果はありませんか？	
202		
210	質疑応答集に書かれているのはほんの一部だと思います。このタイミングで札幌市が説明の場を作られたのはなぜなのでしょう、市の所有＝札幌市民の所有、を売却検討する段階で地域への説明があるべきではないかと思っております。メディアでよくみかけますが事後に官民のご担当が謝罪される映像が普通になってますが、そうならない様に検討、対応するのが大事なのでは？と 見るたびに残念でなりません。謝罪される事態にならない様札幌市の対応を期待します。	
224	札幌市役所の方々は仕事もせず毎日遊んでます。知事や市長なにをしている。税金泥棒だ。個人情報漏れます（かならず）いやなことです。信用出来ない。	
240	市に対する不信感があります。	
312	このインターナショナルスクールの事、説明会の直前くらいに回覧が回って来ましたが町内会の役員さんは予め知っていたのでしょうか。 私の周りの人は（役員ではない人）誰も知らない感じでしたが。 札幌市の、つながるさっぽろ条例 この条例に札幌市民は皆賛成なのか疑問です。多文化共生を押し付けないで欲しい。	
313-2	南区では豊平峡温泉やノースサファリの件が長年放置されていて、SNSで話題になってからやっと着手された経緯があり、本事業において問題があった場合、適切に対処がなされるかどうか懸念があります。	
340-1	新聞報道が先でしたネ 再度説明会がありましたら参加します	
363-1	現在の状況では、住民が自由に意見を言える環境が整っておらず、SNS等において、意見募集実施前後に偏った情報が流れたことで、市民の発言が、一定の影響を受けやすい状況が生じていると考えます。	
366-2	学校跡活用検討会議について ここでの委員の方々の意見が地域住民の答えだと思わないでください。私は前に行われていた学校規模適正検討委員会に委員として出席させて頂いていましたが、その時も親たちの声より地域の声が大きく、私たちの子どもが通う学校なのにと嫌な思いをした経験があります。連合会の役員が多く、若い方やPTAの声が出にくい状況だと思います。	
366-4	陳情について 全部目を通しましたが、陳情の中の半分以上は同じく、しかも札幌以外の方もいたり、知らないで名前を使われていたりと信憑性が疑います。今回の地域住民への対応は有りがたく思っております。地域住民の声を受け入れるのは難しいと思いますが検討のほどよろしくお願いします。	
No.	4.11.4 心情・その他（3件）	回答集 ページ
14	孫が、常盤小学校を卒業しておりますが、本人に聞いてみますと、一部思い出（内部）は残してもらえたら…と話してました。	回4-28
19	この地区で学校がなくなりガッカリしていました	
221	もっとブレない人達が必要だと思う	
No.	4.11.5 代替活用・別用途の提案（6件）	回答集 ページ
170-2	個人的には、「避難場所」としても利用可能な「運動施設」が望ましいと思っていましたが？	回4-28
173	夏の行楽シーズン、特にお盆の墓参りシーズンの大渋滞対策として、真駒内御料線と支笏湖線のY字交差点の拡幅用地(下り滝野方面と支笏湖方面専用レーン)を市の用地として残しておいて欲しい。	
218	使い道がないのであれば分譲住宅地としてはどうだろうか	
234	芸森があるんだから三笠みたいに芸術で地区を盛りあげてもいいと思う。	
263-2	個人としては地域が活性化する道の駅のような施設を希望します。例えるなら千葉県の道の駅保田小学校のような施設です。	
309	旧常盤小学校の活用について、地域の住民も活用できる場にするとの事で、募集していたのですよね？それなら、真駒内駅前の学校のように、全世代が利用出来る場所に出来なかったのか？ 自主学習が出来る場所や、このWEB回答のように、今後はパソコンやスマートフォンを使えないと難しい事が多いと思います。レストランに行っても、モバイルオーダーであったり。JRの問い合わせでは、電話でのやり取りは出来なくなりました。パソコン講座等の色々な講座を開く場所にするなど、もっと活用方法はあるはずです。グローバル社のように、特定の年齢にしか使えない物は望みません。	
No.	4.11.6 地域共生・防災・町内会・地域還元（13件）	回答集 ページ
17	地域の人や、外の人が外国の人に乗っられるような不安を言う声があるようですが、どうやったら共存できるか考えるのが平和の元だと思います。	回4-28 ～ 回4-29
35	旧常盤小学校跡活用に依り地域全体が発展・活性化する事	
55-1	大人の英語教室などでできればうれしい。	
70	英会話教室等地域還元等を期待します。	
82	地域の避難場所としての機能を期待しています。	

設問 4：その他の意見（351件）

138	以前は災害時の避難所として指定されていましたが、今後再度一時避難所としての機能を持つ事が出来るようになるのでしょうか？	
153	日常的に、散歩している外国の人に挨拶された時、挨拶を返すのは当たり前のことです	
211-4	地域との共生に関する具体性について 外国人との共生や生活ルールに関する市の取り組みについては理解していますが、制度や理念の説明に留まらず、本地域において実際にどのような体制で運用されるのか、現場レベルでの具体像が示されていない点に不安を感じます。 地域住民としては、「問題が生じた場合に、どこが責任を持ち、どのように対応するのか」という実務的な部分こそが重要であると考えます。	
241	問題が起きてても法律や条例で処理出来ぬ問題が大半である。その際事業者は言うに及ばず市もあてにはならない。	回4-28 ～ 回4-29
322	跡地を無駄にするのは勿体無いと思う。公募によってナショナルスクールしかなかったのではあればそれは致し方ないが、アジア系が中心と言う事がネックで、同じアジア人でも日本人とはあらゆる面で違い拒絶感を隠せない。	
335	将来にわたる関係性（良い）が増進できるのか、不明なら反対	
361	方針として常盤地区自治会の決定に従います。	
366-3	グローバル社の学校運営について 説明資料の中に「地域連携協議会」の設置があります。私は地域で■■■■として活動しております。地域の学校となるため今後何かの関わりをしたいと考えております。教育もだんだん変化してきて、国際的な教育が問われる時代となってくると思いますが、インターナショナルスクールに通える生徒は高い教育を受けることが出来るが、それより、今、公立の学校に通っている生徒が大半なのでまずその生徒たちへの高い教育を検討して頂きたいです。	
No.	4. 11. 7 反対活動・外部干渉への違和感（8件）	回答集 ページ
8	芸森(常盤)地区の住民ではなく身元不明な人が不安を煽るようなチラシを配ったり反対することに憤りを感じる。	
16	常盤地区で見かけたことがないような人たちが過激すぎるような反対をしていて、少し怖い。この意見を書くのも、逆うらみされたら…。と思いきやなかなか、個人情報取り扱い、よろしく！！	
29	知らなかったでは済まされない。インド人等外国人が増えて治安が悪化するなどと根拠のない排外主義的な根拠のないチラシが投函されており、一部排外主義的主張をする勢力の存在がみられる。	
67	反対している方の怒声をネットで目にして逆にびびりしてしまいました。代替案でもあるのでしょうか？子供の声ほどエネルギーがあり未来あり。	
100	これまで自宅周辺で建設反対や今後を懸念する声は見聞きたことがなかったので、報道されていた説明会に参加した地域の方（？）の意見の数々に驚きました。 排他的な考えを感情的に叫ぶことの方がよっぽど怖いな、と感じます。	回4-29
126	排外主義がはびこっているのが、気になりますし、嫌な気持ちになります。	
150-2	インターナショナルスクール建設は移民政策の一環なのか？ 札幌市の質疑応答集には、外国人材の受け入れを促進する条件に行なったものではない。と、回答されていましたが、現在、旧常盤小学校前のバス停でGSGの開校は移民受け入れの窓口等と言うプラカードを掲げ、座り込みを続ける人がいます。 この様な方がいる限り、開校は困難なのかな？と疑問を感じます。地域住民では無いと思います。	
186	地域外の人間の活動によって地域が分断することだけはあってはならないと考えます。 行政には過度に反応せず、淡々と必要な対応だけをお願いします。	

お寄せいただいたご意見・ご質問に対する GIE社及び札幌市の回答一覧

設問1 「GIE社の事業計画に関する質問」に対する回答※

※「ご意見・ご質問一覧」で分類したカテゴリごとに回答しております。

カテゴリ	ページ
1.1 教育内容・制度・学生属性・学校運営（85件）	回1-1～回1-12
1.2 説明不足・合意形成・回答への不満（20件）	回1-13～回1-16
1.3 将来の撤退・跡地利用・売却リスク・売買契約（18件）	回1-17～回1-20
1.4 地域格差・選定理由・地元雇用（1件）	回1-20～回1-21
1.5 交通・道路安全（11件）	回1-22～回1-23
1.6 生活マナー・近隣環境（3件）	回1-23～回1-24
1.7 災害・避難所機能（5件）	回1-24～回1-25
1.8 治安・防犯面（6件）	回1-25～回1-26
1.9 宗教・文化摩擦・移民政策（6件）	回1-26～回1-27
1.10 外部干渉・風評被害（1件）	回1-27
1.11 肯定的・期待・理解（36件）	回1-28
1.12 その他・全般的な質問（30件）	回1-28～回1-30

設問1 グローバル社の事業計画に関する質問（222件）

1.1 教育内容・制度・学生属性・学校運営(85件)

1.1.1 学校運営・経営・施設・費用（26件）

【生徒数確保と採算性の見通し】（GIE社回答）

学費水準に対するご懸念については認識しておりますが、札幌市内におけるインターナショナルスクールの選択肢は限られており、豊かな自然環境と国際教育を組み合わせた本校の教育モデルには一定の需要が見込まれるものと考えております。事業計画としては、開校初年度は未就学児から小学5年生まで約50名の少人数で開始し、段階的に学年を拡大していく計画です。開校から6年後の2033年以降には、高校3年生までを含む最大約650名の定員を想定しております。既存の大阪校および東京圏の学校では生徒数は増加傾向にあり、大阪校では日本人生徒が約55%を占めております。これらの実績から、日本国内においても国際教育に対する需要および事業の採算性は十分に見込めると判断しております。

【資本・組織と信頼性】（GIE社回答）

札幌での開校を目指しているワン・ワールド・インターナショナル・スクールの運営母体は、シンガポールに本部を置くグローバル・スクールズ・グループです。特定事業の付属組織ではなく、学校運営を専門とする国際教育機関として事業を展開しております。世界各国において650以上の教育関連アワードを受賞しており、当グループのグローバル・インディアン・インターナショナル・スクール東京校は、品質管理における世界で最も権威のある賞の一つであるデミング賞を教育機関として世界で初めて受賞しております。同賞は、厳格な運営システム、革新的な教育実践、ならびに教育のあらゆる側面における一貫した測定可能な成果が高く評価されたものです。過去の個別事案件数の集計は行っておりませんが、これらの国際認証および受賞歴は、当グループのコンプライアンスおよび教育の質に対する姿勢を示すものと認識しております。

【反対意見への対応と今後の方針】（GIE社回答）

昨年9月の説明会以降、地域の皆様の中に不安が広がっている状況については重く受け止めております。現在は、誤情報の拡散防止および正確な事業理解の促進を目的として、事業紹介資料およびアンケートの全戸配布等により情報提供とご意見の収集を行いました。今後も札幌市と連携し、いただいたご意見に対する考え方を整理のうえ順次公表してまいります。現時点において事業計画の撤回は予定しておらず、引き続き対話を重ねながら事業を推進してまいります。

【学費（想定額）】（GIE社回答）

想定している年間学費は以下のとおりです。

未就学児：約150万円、小学1～5年生：約160万円、小学6年生～中学2年生：約170万円、中学3年生以上：約180万円～。 ※別途、施設費等が発生する場合があります。

【教職員体制】（GIE社回答）

本校の運営体制は、生徒数の増加に応じて段階的に拡充する計画としております。開校初年度は教職員約15名体制で開始し、生徒数650名規模時には約110名体制を想定しております。内訳は以下のとおりです。

教員：約60名

アシスタント教員：約20名

事務職員：約15名

施設管理・清掃・警備等：約15名

なお、事務職員および施設管理・運営スタッフ等については地域からの雇用を積極的に行い、650名規模時には約25～30名程度の地域雇用を見込んでおります。教員採用にあたっては履歴書のみならず、人間性や前職からの推薦状等も重視し、世界各国から優秀な人材を採用いたします。北海道内および日本国内の人材についても、要件を満たす場合には積極的に採用対象いたします。

大阪校の国籍別教職員数（生徒数約290人）

区分	国籍（人数）	構成比
日本	日本（11）	18%
	アメリカ（13）、ポルトガル（1）、シンガポール（1）、韓国（1）、イギリス（4）、メキシコ（2）、オーストラリア（7）、フランス（1）、アイルランド（1）、カナダ（2）、クロアチア（1）、ウェールズ（1）、バルバドス（1）、フィリピン（9）、ガーナ（2）、インドネシア（1）、ウガンダ（1）、南アフリカ（1）	82%
	合計（61）	100%

【日本語対応および地域雇用】（GIE社回答）

災害時対応および安全確保の観点から、全教職員の約40%を日本語対応可能なスタッフとする計画です。また、清掃、用務員、除雪等の施設管理業務については地域の関係機関と連携し、地域住民の方々に就労いただくことで地域雇用の創出にも寄与したいと考えております。

【校舎改修と資金計画】（GIE社回答）

旧常盤小学校の既存施設を有効活用し、日本国内の他校と同様に必要な改修を行ったうえで校舎として使用いたします。雨漏りや避難経路等の建物状況については、札幌市から引き渡しを受けた後、責任をもって適切な修繕および維持管理を行います。資金については、シンガポール本社からの投資により整備および運営を行う計画です。

【寮・住居・不動産斡旋】（GIE社回答）

学校敷地内および周辺に寮や教員住宅を建設する計画はございません。学校として不動産の斡旋を行う計画はございません。生徒およびご家族の居住地は札幌市内および近郊を想定しており、学校にてスクールバスを運行し広域からの通学を可能とする体制を整えます。

【避難所としての利用】（GIE社回答）

体育館は災害時の緊急避難場所として地域の皆様に開放する予定です。札幌市と協議し、適切な管理体制を構築します。日本語対応可能な教職員が常駐することで、緊急時の対応および地域の方々との円滑なコミュニケーションを確保します。

【対象年齢と進路実績】（GIE社回答）

初年度は未就学児から小学5年生までを対象とし、その後必要に応じて学年を順次拡大し、最終的には未就学児から高校3年生までの初等・中等・高等教育を提供する計画です。グローバル・スクールズ・グループ全体の進学実績としては、東京大学、早稲田大学、慶應義塾大学等の国内難関大学に加え、オックスフォード大学、ケンブリッジ大学等の海外トップ大学への進学実績もございます。今後は、これらの実績についても広報資料等を通じて地域の皆様に周知してまいります。

【海外校の状況と事業の継続性について】（GIE社回答）

ご質問にございました海外校（マウントバッテン校、サンテック校等）およびつくば校の状況につきましては、ご不安な思いをおかけしておりますこととお詫び申し上げます。各校の状況につきましては、事業主体としての責任を重く受け止めており、閉校および開校延期に至った理由について、以下のとおりご説明いたします。

◆マウントバッテン校（2022年閉校）

当該校は、入居施設の契約条件および長期的な運営環境に関する課題が生じ、継続的な教育提供が困難であると判断したため閉校いたしました。在籍していた児童生徒につきましては、系列校への転校支援等の対応を行っております。

◆サンテック校（2024年閉校）

当該校は、都市再開発計画に伴う施設利用条件の変更により、当初想定していた教育環境を維持できない状況となりました。安全性および教育環境の確保を最優先に検討した結果、閉校の判断に至りました。

◆ブンゴール校（2023年開校遅延）

当該校は新設校として開校準備を進めておりましたが、建設および許認可手続における外部要因の影響により、開校時期が変更となりました。その際、一部保護者様との間で返金に関する調整が生じましたが、現在は解決しております。

◆つくば校（2025年開校遅延）

つくば校につきましては、日本国内における教育施設基準、許認可および施設整備条件への適合確認に想定以上の時間を要したことが主な要因です。関係機関と連携し、適法かつ安全な施設整備を最優先に進め、2025年10月に開校いたしました。

当グループ（グローバル・スクールズ・グループ）は、2002年の設立以来20年以上にわたり、地域ニーズや教育環境の変化に応じてキャンパス網の最適化を図りながら継続的な成長を遂げてまいりました。現在は世界11か国において64キャンパスを運営し、45,000名以上の生徒が在籍しております。特に日本国内においては事業は拡大基調にあります。つくば校は茨城県からの正式な誘致を受け、県および市の長年のご支援のもと開校いたしました。開校記念式典には県知事、市長、議員、区長、筑波大学関係者の皆様にもご出席いただいております。また、2023年に開校した大阪校においても、開校時22名であった生徒数が現在は約300名まで増加し、行政および地域と連携しながら安定的に運営しております。これら日本国内における着実な開

校および運営実績に加え、2023～2024年にも複数校がグローバル・スクールズ・グループに加わるなど、世界規模で学校ネットワークを拡大しております。これらは当グループの事業計画の確実性および将来性を示すものと考えております。

1.1.2 学生属性・国籍・ターゲット層（16件）

【国籍の内訳と「インド人学校」という懸念について】（GIE社回答）

「インド人が多くなるのではないか」「なぜアジア系を中心に扱うのか」といったご質問をいただいておりますが、「ワン・ワールド・インターナショナル・スクール」は、特定の国籍や人種に偏らない多文化共生を教育理念としており、いわゆる「インド人学校」ではございません。実際に、日本国内で運営しているワン・ワールド・インターナショナル・スクール各校における生徒の国籍構成（2025年時点）は以下のとおりです。

◆大阪校：日本54.7%、中国30%、アメリカ・カナダ・オーストラリア10%、韓国2.2%、インド0.7%、その他2.4%

◆つくば校：日本82%、モンゴル9%、中国7%、インド2%

このように、既存のワン・ワールド・インターナショナル・スクール各校において、インド国籍の生徒は少数です。札幌校においても、特定の国籍が多数を占める計画はなく、多様な国籍・文化的背景を持つ生徒が共に学ぶ環境の形成を目指します。なお、東京で運営しているグローバル・インディアン・インターナショナル・スクール（ワン・ワールド・インターナショナル・スクールとは異なるブランド）においては、20か国以上（日本、インド、中国、韓国、ロシア、フィリピン、ネパール等）の生徒が在籍しており、こちらも多様な背景を持つ生徒が学ぶ学校となっています。

【日本人比率の変動と制限について】（GIE社回答）

大阪校における日本人生徒の比率が、開校当初に報道された約70%から、現在54.7%へと変化している点についてご質問をいただいております。これは、日本人生徒が減少したということではなく、開校当初は生徒数が少ない状態（22名）からスタートし、その後、生徒数が約300名規模へと順調に増加する過程で、海外からの駐在員家庭や他国籍の生徒の入学が増え、結果として国際的な構成比へと自然に変化したものです。ワン・ワールド・インターナショナル・スクールでは、国籍割合について厳密な上限や制限は設けておりませんが、「多文化環境の中で学ぶこと」そのものを教育の目的としており、特定の国籍だけで構成される学校運営を行う考えはありません。

【どのような家庭が対象か】（GIE社回答）

「どのような家庭が入学を検討するのか」「生活・経済状況はどうか」といったご質問についてですが、本校は、国際的な教育プログラムである国際バカロレア（IB）等に関心を持ち、お子様に英語力だけでなく、グローバルな視野や探究力を身につけさせたいと考えるご家庭を主な対象としています。想定している学費は、年間150万円～180万円程度（別途、施設費等）であり、こうした教育投資に価値を見出していただけるご家庭が中心となります。

【入学目的と対象となる子ども】（GIE社回答）

入学目的としては、将来的に海外大学への進学を視野に入れているご家庭や、知識の詰め込みではなく、「自ら考え、問い、答えを探す」探究型学習を求めるケースが多く見られます。国際バカロレア（IB）等の国際資格取得に対応したカリキュラムを提供することで、国内外の大学への多様な進路選択を可能としています。

【札幌での需要と立地について】（GIE社回答）

「少子化が進む札幌で需要があるのか」「立地が不便ではないか」といったご懸念については承知しております。一方で、私たちは、札幌の豊かな自然環境と、芸術の森地区が有する文化的・教育的な特性こそが、探究型・国際教育に適した環境であると評価し、進出を希望いたしました。生徒募集については、芸術の森地区周辺に限らず、スクールバスを運行することで札幌市内全域および近郊地域から広く生徒を募る計画です。東京や大阪と同様に、札幌においても国際教育を求める一定の層が存在すると見込んでおり、事業の継続性および採算性は確保できるものと考えております。

【日本人スタッフ・日本語対応について】（GIE社回答）

「常時、日本語で対応できるスタッフがいるのか」という点については、ご安心ください。本校では、全教職員の約40%を日本語対応可能なスタッフとする体制を整える計画です。日本語での対応が可能な教員およびスタッフが常駐するため、緊急時の対応や、保護者・地域の皆様とのコミュニケーションに支障はありません。開校当初は約15名の教職員体制でスタートし、生徒数の増加に応じて段階的に増員していきます。採用にあたっては国籍を問わず、教育学的な専門性と人間性を重視した人材を採用します。

【家族を含めた人口増加の懸念】（GIE社回答）

「1000人以上の人口増加が生じ、地域で対応できるのか」というご懸念についてですが、本計画には、学校敷地内に寮（寄宿舍）や保護者用住宅を建設する計画は含まれておりません。生徒は、原則として札幌市内または近郊の自宅から、スクールバスや保護者による送迎により通学します。そのため、生徒数が増加した場合であっても、芸術の森地区の限られたエリアに、短期間で多数の家族が移住してくる想定ではありません。

【入学要件について】（GIE社回答）

「生徒数確保のために入学要件が緩くなるのではないか」とのご懸念についてですが、本校では教育環境と学習の質を維持する観点から、入学時に年齢相応の発達状況や学習への適応性等を確認する手続きを設ける予定です。英語力そのものを入学条件とはしておりませんが、入学前にレベル確認を行い、必要に応じて英語・日本語のサポートプログラムを提供することで、無理なく学習に参加できる体制を整えます。したがって、学校の教育方針に適合し、集団教育に参加できることを前提として受入れを行います。

1.1.3 教育カリキュラム・内容（5件）

【国際バカロレア（IB）認定の順序と時期について】（GIE社回答）

ご質問のとおり、本校は初年度において未就学児から小学5年生までを対象とし、その後、学年を段階的に拡大していく計画です。国際バカロレア（IB）の認定申請について、私たちの教育の大きな目標の一つは、生徒が将来、国内外の大学へ進学可能な国際資格である国際バカロレア・ディプロマプログラム（IBDP）を取得できる環境を整えることにあります。そのため、資料上では高校段階における「IBDP認定校申請予定」を中心に記載しております。一方で、初等教育段階においても、IBの教育理念に基づく探究型学習を重視しており、国際バカロレア・プライマリー・イヤーズ・プログラム（IB-PYP）に準じた教育内容を提供します。実際に、先行して開校したワン・ワールド・インターナショナル・スクール大阪校およびつくば校では、現在IB-PYPの候補校（Candidate School）として、認定取得に向けた手続きを進めております。札幌校においても、学年の進行に合わせて適切なプログラムの認定取得を目指す方針です。IBDPの認定取得時期については、最初の生徒が高校段階に到達する時期に合わせ、認定が受けられるよう準備を進めていく計画です。現時点では、2030年代前半以降に高学年を順次設置する想定のもと、段階的に対応してまいります。

【カリキュラムの特徴】（GIE社回答）

本校のカリキュラムは、教師が一方的に知識を伝達する形式ではなく、生徒自身が問いを立て、考え、答えを探究する「探究型学習」を基盤としています。英語による授業を通じて、協働的に学ぶ姿勢や創造性、批判的思考力を育成し、変化の激しい社会において主体的に行動できる力を養うことを目指します。

【日本の生活習慣・文化・マナーの学習】（GIE社回答）

「日本に学校を設置する以上、日本の文化や習慣を学ぶべきである」というご意見につきましては、私たちも重要な点であると認識しております。ワン・ワールド・インターナショナル・スクールでは、日本の国語教科書を使用した「日本語（国語）」の授業を設けており、言語習得にとどまらず、その授業を通じて日本の文化、生活習慣、道徳的価値観についても学びます。また、日本語習熟度が十分でない生徒に対しては、レベル別のクラスを設け、日本での生活や地域との交流に支障が生じないよう支援します。私たちは、国際的な視野を持ちながらも、地域社会の一員として適切に行動できる生徒の育成を目指しています。グローバル人材育成だけではなく世界一礼儀正しい日本の文化をしっかりと身につけさせるのを大切にします。

【就学義務と「ミスマッチ」というご意見について】（GIE社回答）

ご指摘のとおり、本校は学校教育法第1条に定める学校（一条校）ではないため、日本国籍のお子様が通学された場合、法律上の就学義務を履行したことにはなりません。しかしながら、文部科学省の基準に基づき、国際バカロレア・ディプロマプログラム（IBDP）等の認定を受けることで、卒業生が日本の大学入学資格を取得できる教育環境を提供することが可能です。「土地柄とのミスマッチではないか」というご懸念については、私たちはむしろ、札幌・芸術の森地区が有する豊かな自然環境と文化的背景こそが、探究型学習を重視する本校の教育方針に適した環境であると考え、この地を希望いたしました。また、札幌市においても、海外企業の誘致や北海道・札幌 GX金融・資産運用特区（現：北海道・札幌 GX/AI金融・資産運用特区）

の推進にあたり、インターナショナルスクールの存在は重要な役割を担うものとされており、本計画は札幌市の政策目的とも整合するものと認識しております。

【保護者用の住宅施設について】（GIE社回答）

学校敷地内に、保護者や家族向けの住宅施設を整備する計画はございません。生徒は原則として、札幌市内および近郊の自宅から、保護者による送迎またはスクールバス（開校時は2台を予定）を利用して通学する想定です。本事業は、あくまで教育機関としての学校運営を目的としたものであり、住宅開発を行うものではありません。

【地域連携協議会（仮称）の設置について】（GIE社・札幌市回答）

（GIE社回答）

地域との継続的な対話の場は、私たちも必要不可欠であると認識しており、地域の皆様・札幌市・学校の3者からなる「地域連携協議会（仮称）」を設置し、施設運営、学校行事、防災対応等について協議を行う予定です。あわせて、「みんなの声ポスト（意見箱）」を設置し、日常的に地域の皆様からご意見をいただける体制を整えます。いただいたご意見を真摯に受け止め、地域住民の皆様との信頼関係を大切にしながら、法令を遵守し、誠実な学校運営に努めてまいります。

（札幌市回答）

札幌市としても、上述の「地域連携協議会（仮称）」へ参画し、開校後も引き続きGIE社へ助言を行う等、積極的に関与していく考えです。

1.1.4 教育制度・法的地位・進路に関する懸念（15件）

【就学義務と法的な位置付けについて】（GIE社回答）

ご質問のとおり、本校は学校教育法第1条に定める学校（一条校）ではありません。本校は学校法人ではなく、株式会社が運営するインターナショナルスクールとして、国際的に評価の高い教育カリキュラムを提供しています。国際バカロレア・ディプロマプログラム（IBDP）の認定校において所定の課程を修了し、修了証を取得した生徒は、文部科学省の定める基準に基づき、日本国内の大学入学資格を得ることが可能です（※高等学校卒業資格とは異なる制度です）。なお、東京校はすでにIBDP認定校として運営しており、大阪校・つくば校・札幌校についても、今後IBDP認定取得に向けた申請を予定しています。これらの点については、入学にあたり保護者の皆様へ十分に説明を行い、ご理解をいただいたうえで、教育方針の選択肢の一つとしてご判断いただくことを前提としています。

【就学義務について】（GIE社回答）

インターナショナルスクールへ通学する場合、学校教育法上、保護者が就学義務を履行したとはみなされませんが、直ちに違法行為となるものではありません。また、札幌市においても、本事業は北海道・札幌 GX金融・資産運用特区（現：北海道・札幌 GX/AI金融・資産運用特区）や海外企業誘致を含む国際化施策の一環として位置づけられており、設置されることをもって違法行為を助長または容認するものではないと認識されています。

【今後の学校法人化について】（GIE社回答）

本校は、株式会社立のインターナショナルスクールとして、国際的に評価の高い教育プログラムを提供することを目的としています。現時点の事業計画において、将来的に学校法人化し、学校教育法第1条に定める学校（一条校）へ転換する予定はありません。これは、一条校の制度的枠組みにとらわれることなく、英語による探究型学習や国際バカロレア（IB）等の国際標準の教育を柔軟に実践し、教育の質と国際性を最大限に発揮するための運営方針によるものです。

【卒業後の資格と大学進学について】（GIE社回答）

「卒業資格が得られないのではないか」「上位学校へ進学できないのではないか」といったご不安についてですが、本校は国際バカロレア（IB）の認定校となることを目指しています。国際バカロレア・ディプロマプログラム（IBDP）の認定を受け、所定の成績を修めて修了証を取得した生徒は、文部科学省の定める基準に基づき、日本国内の大学入学資格（高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者）を得ることが可能です。グローバル・スクールズ・グループ全体としては、東京大学、早稲田大学、慶應義塾大学等の国内難関大学に加え、オックスフォード大学、ケンブリッジ大学など海外トップ大学への進学実績も多数あります。制度上、日本の高等学校卒業資格とは異なりますが、国内外の大学への進学ルートは確保されています。

【資格認定の時期と不安への対応について】（GIE社回答）

「開校時点で資格が認められるのか」「早期に国際バカロレア・ディプロマプログラム（IBDP）認定を取得すべきではないか」といったご意見もいただいています。札幌校は初年度、未就学児から小学5年生までを対象として開校します。IBDPは高校2・3年生向けのプログラムであるため、開校時点でIBDP認定を取得する必要はありません。計画では、最初の生徒が高校段階へ進級する2030年代に向けて段階的に学年を拡大し、そのタイミングに合わせてIBDPの認定申請・取得を行う予定です。東京校での運営実績に加え、大阪校・つくば校における申請準備の経験を活かし、着実な認定取得を目指します。

【日本人家庭にとってのメリットと需要】（GIE社回答）

「就学義務に算入されないにもかかわらず、日本人が通学するのか」という点についてですが、近年、英語による探究型学習、多文化環境での成長、海外大学への進学可能性を重視する日本人家庭は増加しています。北海道においても、同様のニーズは一定数存在すると見込んでいます。

【外国人家庭にとってのメリット】（GIE社回答）

外国人家庭にとっては、将来的な転居や帰国の際にも教育内容を中断することなく継続できる点が大きなメリットです。国際的に標準化されたカリキュラム（IB等）により、国や地域を越えた進学・学習の選択肢が確保されます。

【途中退学時の対応と地域への影響】（GIE社回答）

ご指摘の「途中退学率が高い」とする数値については、当方では確認できていません。本校では、英語に不慣れな生徒向けの英語準備プログラムやカウンセリング体制を整え、日本語によ

る学習補助も行うことで、学習上の不安や離脱を防ぐ支援を行います。また、保護者対応のカウンセラーが定期的に保護者と対話し、学校運営に対する意見を丁寧に伺い、改善が必要な点については随時対応しています。つくば校ではモーニングティータイムを設け、保護者が校長、コーディネーター、教員と直接交流できる機会を設けるなど、信頼関係の構築に努めています。本校としては、「地域連携協議会（仮称）」等を通じて継続的な情報共有と対話を行い、地域の学校や住民の皆様にご負担が生じないよう、誠実に対応してまいります。

1.1.5 地域連携・貢献・地元雇用（15件）

【経済効果と税金・経費について】（GIE社回答）

具体的な経済波及効果の数値試算は現時点では行っておりませんが、本事業は市有地の購入費用、校舎リニューアル工事費、年間の施設維持管理費、教職員人件費等をすべて当社の自己資金により賄う計画です。公費（税金）に依存する事業ではなく、固定資産税等の納税、地域事業者への発注、教職員および在校生家庭による消費活動などを通じ、札幌市および地域経済に一定の貢献が見込まれるものと認識しております。

【地元雇用と職種、インターンについて】（GIE社回答）

地元雇用については、積極的に推進する方針です。ワン・ワールド・インターナショナル・スクール大阪校・つくば校と同様に、事務職員、清掃員、用務員、除雪業務、施設管理業務等について、地域関係機関と連携し、地域住民の方々の雇用機会の創出を図ります。アルバイトやインターン制度については、現時点で具体的な枠組みは確定しておりませんが、採用は国籍を問わず公正な基準で行い、教育的専門性および人格的適性を重視します。採用情報は今後、公式ウェブサイト等にて公表する予定です。

【施設開放と地域交流の具体策】（GIE社回答）

旧常盤小学校が地域にとって大切な場所であるとのことご意見は、真摯に受け止めております。学校運営に支障のない範囲で、グラウンド、体育館を地域団体の皆様へ開放する計画です。また、札幌市と協議のうえ、防災・緊急時対応に関する体制整備も進めます。校舎内スペース（例：図書コーナー等）の開放については、セキュリティ確保を前提に、「地域連携協議会（仮称）」において地域の皆様と協議し、実施可能な範囲を検討してまいります。

【つくば校のカルチャースクールについて】（GIE社回答）

つくば校におけるカルチャースクールにつきましては、開校後の運営体制の安定を優先する必要があったため、地域交流プログラム全体を一時的に整理・調整している段階にあります。正式に中止を決定したものではなく、実施時期や内容について再検討を行っている状況です。開校前には校内覧会を開催し、多くの地域住民の皆様にご参加いただきました。校舎の再生や活用方法について、前向きなご意見も多数頂戴しております。また、地域の代表の方（町内会長様等）とは定期的に学校にて意見交換の場を設けており、継続的な対話を行っております。現在、第二回目の学校内覧会の開催も計画しており、今後も地域の皆様との交流機会を段階的に拡充していく方針です。札幌校においては、「地域連携協議会（仮称）」を設置し、施設開放やイベント開催について、合意形成を図りながら段階的に実施していく方針です。

【町内会との連携・行事参加】（GIE社回答）

地域（町内会）との連携については、「地域連携協議会（仮称）」を中心に具体的内容を協議します。大阪校では、地域の夏祭り、餅つき大会、防災訓練、フードバンク活動等への参加実績があります。札幌においても、地域行事への参加や共同企画について、継続的な対話を通じて検討してまいります。

【学校スケジュールと通学体制】（GIE社回答）

年間計画は以下の通り想定しています。

- ◆開校時間：午前9時～午後3時30分（高校生は午後4時30分まで）。
- ◆長期休暇（予定）：夏季休暇（7月中旬～8月中旬）、冬季休暇（12月中旬～1月下旬）、春季休暇（3月最終週）。
- ◆通学体制：保護者による送迎、スクールバス運行（開校時2台予定）。

バス運転手は雪道運転経験を有する人材を採用し、校地内に十分な駐車スペースを確保することで、周辺道路への交通影響を最小限に抑える対策を講じます。

【自然環境を生かした教育ビジョン】（GIE社回答）

札幌・芸術の森地区を選定した理由の一つは、豊かな自然・文化環境です。ワン・ワールド・インターナショナル・スクールの教育は探究型学習を基盤としており、教室にとどまらず、地域の自然や芸術文化を学習資源として活用します。地域環境を教育活動のフィールドとして位置づけ、主体的学習の深化を図ります。

【地域住民との相互理解】（GIE社回答）

地域文化への配慮や信頼関係構築については、単発の説明会ではなく、継続的対話が重要であると認識しています。「地域連携協議会（仮称）」の定期開催のほか、常設の「みんなの声ポスト（意見箱）」の設置を通じ、日常的に意見を伺う仕組みを整えます。大阪校では、行政・地域・学校の3者による協議を重ね、信頼関係を構築してきました。札幌においても、同様に誠実な対話を継続してまいります。

【地域住民向けプログラム】（GIE社回答）

在校生以外も参加可能な放課後課外活動や、季節型特別プログラム（サマーキャンプ等）を実施する計画です。これにより、地域の児童生徒にも英語環境や国際的学習機会を提供します。

【他地域での評価】（GIE社回答）

大阪校（旧生野小学校跡地）およびつくば校では、自治体と連携しながら運営しています。大阪校は開校時22名から約300名へ生徒数が増加しました。つくば校の開校式典には県知事および市長が出席されています。これらの事例は、地域との協調を重視した運営の結果であると認識しています。

【周辺環境への影響】（GIE社回答）

既存校舎を改修して活用するため、大規模な新規開発は行いません。通学者は未就学児から高校生まで（初年度約50名、将来的に最大650名）と教職員です。特定国籍に偏ることなく、多様な家庭が通学します。大規模寮の建設や集住型開発の計画はありません。

1.1.6 立地選定・通学環境（8件）

【日本および札幌への進出理由】（GIE社回答）

「なぜ日本か」という点につきましては、GIE社の母体であるグローバル・スクールズ・グループは、2006年の東京校開校以来、日本を重要な教育拠点として位置づけてまいりました。現在は東京・大阪・つくばにおいて学校を運営しており、日本国内での教育実績と信頼を積み重ねております。

「なぜ札幌か」とにつきましては、札幌市は、北海道の中核都市としての機能を持ちながら、自然環境と都市機能が調和した、子どもを育てる環境として極めて優れた都市です。

近年はGX関連産業や半導体産業の進出により、高度外国人材の流入が見込まれており、国際教育インフラの整備は今後ますます重要になると考えております。また、札幌は北海道全体の国際化を牽引する都市であり、私たちは単なる一校の設立ではなく、「北海道の国際教育の中核」としての役割を担いたいと考えております。

現在、国際バカロレア（IB）一貫教育や完全英語環境を提供する選択肢はまだ限られており、多様な教育ニーズに応えられるものと判断いたしました。

【常盤地区を選んだ理由と都心部との比較】（GIE社回答）

「なぜ中央区などの都心部ではなく常盤地区なのか」「価格面が理由ではないか」とのご質問についてお答えいたします。

私たちが常盤地区を選定した最大の理由は、下記の通りです。

◆教育環境面：芸術の森地区には、山・川・森といった豊かな自然環境に加え、美術館や文化施設が隣接しており、都市中心部では得難い学習資源が整っています。また、旧常盤小学校という長年地域に親しまれてきた校舎を活用できる点も、大きな意義があると考えました。

◆価格について：売却価格（2,220万円）は、札幌市が不動産鑑定士に依頼して算定された適正な評価額（最低売却価格）であり、建物の老朽化状況や過去の公募状況等を踏まえた価格設定と理解しております。本件は価格のみで決定されたものではなく、「地域コミュニティへの貢献」や「避難所機能の維持」等の公募条件を満たす提案内容が総合的に評価された結果であると認識しております。

◆地域への姿勢について：私たちは決して地域や日本人社会に背を向ける意図はございません。むしろ、自然豊かで落ち着いた教育環境において、札幌市や地域と調和しながら学校運営を行いたいという前向きな理由による選定です。既存校（東京・大阪・つくば）においても日本人児童生徒が多数在籍しており、日本文化や地域社会を尊重した教育を実践しております。

【通学圏および需要について】（GIE社回答）

「郊外立地で通学需要があるのか」とのご懸念についてですが、当校は特定地域に限定せず、札幌市内および近郊から広域で生徒を募集する方針です。

国際教育を重視される保護者の中には、利便性だけでなく、自然環境や教育理念を重視される方も多くいらっしゃいます。そのため、開校時にはスクールバス2台の運行を予定し、保護者送迎も含め、十分に通学可能な体制を整備する計画です。

【自然環境の教育への活用ビジョン】（GIE社回答）

常盤地区の自然環境は、私たちにとって大きな教育資源です。ワン・ワールド・インターナショナル・スクールの探究型学習では、実体験を通じて課題を発見し、解決策を探る力を育成します。

具体的には、以下のような活動を想定しています。

- ◆理科・環境教育：周辺の森林や河川における生態系観察や環境調査を通じた実践的な学習
- ◆芸術・文化連携：芸術の森美術館や野外美術館との連携による創作活動やアートプログラム
- ◆体育・野外活動：自然環境を活用したスポーツ活動やサマーキャンプ等による心身の育成

このように、地域資源を活用した教育プログラムを展開することで、常盤地区ならではの特色ある学校づくりを目指します。

【安全性・緊急時対応・冬期対策】（GIE社回答）

郊外立地に伴う緊急対応や冬期安全対策についても、重要課題として認識しております。

◆校内体制：教職員には応急手当研修を義務付け、事故や急病発生時の初動対応体制を整備します。養護教諭の配置や対応マニュアルの整備も行い、救急搬送までの対応を確実に進めます。

◆保護者への事前説明：立地条件や緊急対応体制について、入学前に十分な説明を行い、ご理解のうえで入学いただく方針です。

◆冬期および野生動物対策：スクールバス運転手には冬道運転経験者を採用し、安全運行を徹底します。また、熊等の野生動物対策についても、行政指導や地域情報に基づき、敷地管理を適切に実施いたします。

【工事および地域への影響】（GIE社回答）

改装工事に伴う交通規制等については、現時点で詳細は未確定ですが、地域住民の生活への影響を最小限に抑えることを最優先といたします。

交通誘導員の配置、警察や関係機関との協議、工事車両の通行時間帯の調整などを行い、事前に地域へ情報共有をさせていただきます。

1.2 説明不足・合意形成・回答への不満(20件)

1.2.1 説明会の中断・混乱・対応への不信（6件）

【説明会中断の判断について】（GIE社回答）

説明会当日の状況および中断の判断について、事業者としての見解をご説明いたします。

当日10時の開始直後より、会場外から音楽が大音量で流される状況が発生いたしました。この時点で、通常の説明会とは異なる状況であると認識し、会場の安全確保および説明会が円滑に実施できるかについて強い懸念を抱きながら進行せざるを得ない状況となりました。

その後、移民反対の趣旨を示す掲示物を掲げた方が会場に入り、質疑応答の時間帯には、登壇者の近くで「移民反対」等の発言が大声で繰り返され、これに呼応する拍手も断続的に発生いたしました。このような状況が複数回繰り返され、説明の進行および質疑応答の継続が著しく困難な状態となりました。

会場には警察官2名が立ち会っていましたが、発言や拍手が継続する中で、冷静かつ建設的な対話の場を維持することが難しい状況であると判断いたしました。また、参加されている方々の安全確保も重要であると考えておりました。

なお、当日の参加者につきましては、説明会開催中はすべて地域住民の皆様であると認識しておりましたが、説明会終了後に確認した情報によりますと、他地域から来られた移民反対の立場の方々も含まれていた可能性があることが分かりました。当日はその区別ができない状況であり、全員が地域の皆様であるとの前提で対応しておりました。

当初予定していた時間を超過して説明を続けておりましたが、状況の改善が見込めないこと、さらに登壇者に体調不良の兆候が見られたことも踏まえ、これ以上継続することは、参加者の安全確保および説明会の本来の目的である建設的な対話の実現という観点から適切ではないと判断いたしました。

これらの状況を総合的に勘案し、「会場の安全確保」「参加者の安心と安全の確保」「対話の実効性の確保」「さらなる混乱の拡大防止」を優先すべきであると考え、やむを得ず説明会を中断する決定をいたしました。

なお、他地域で実施した説明会においては概ね円滑に進行しており、外国籍の教職員やインターナショナルスクールの設置に対しても多くのご理解をいただいております。そのため、今回の状況は事業者としても重く受け止めております。

地域の皆様の中に、外国人や国際教育に対する不安や懸念が存在することを改めて認識し、その不安に十分に向き合うための説明や体制が不足していた点については、真摯に受け止めております。私たちは対立を深めることではなく、相互理解を深める努力を重ねることが重要であると考えております。しかしながら、このような状況があったことをもって説明責任が軽減されるものではないと認識しております。結果として十分な質疑応答の時間を確保できなかったことにつきましては、事業者として重く受け止めております。

今後は、引き続き丁寧に説明責任を果たしてまいります。地域の皆様との対話を軽視するものでは決してなく、誠実な対話を実現するための判断であったことをご理解いただければ幸いです。

1.2.2 合意形成プロセス・説明時期への批判（3件）

【札幌市からの注文による開発なのか】（GIE社回答）

「札幌市まちづくり政策局から注文を受ける開発業者」というご指摘をいただきましたが、弊社は開発業者ではなく、学校運営を行う教育機関です。今回の事業は、札幌市が発注した公共工事などではなく、札幌市が所有する「旧常盤小学校」の跡地・校舎を民間事業者に売却して活用してもらうための「公募提案型売却」です。弊社は、この公募に応募し、外部有識者を含む審査委員会での審査を経て、「優先交渉権者（契約の相手方の第一候補）」として選定されました。したがって、札幌市の指示で開発を行う業者ではなく、自社の責任と資金で学校運営を行う事業者という立場になります。

【売買契約の締結について】（GIE社回答）

「学校購入前に説明すべきだったのではないか」というご意見ですが、現時点（2026年5月時点）では、まだ弊社は旧常盤小学校を「購入」しておりません。現在はあくまで「優先交渉権者」が決まった段階であり、売買契約の締結時期は未定です。契約締結の前に、どのような事業者がどのような計画を持っているかを地域の皆様にご説明し、ご理解をいただくために、昨年9月の説明会や今回の資料配布を行っております。

【これまでの地域検討の経緯】（札幌市・GIE社回答）

「事前に説明が必要だった」という点については、事業者が決定する前の段階から、地域の方々（芸術の森地区学校跡活用検討会議：地域代表やPTA役員等で構成）と札幌市との間で、2020年から売却条件等の検討が行われてきました。その中で「地域コミュニティの維持・向上」や「避難場所の確保」といった条件が決められ、その条件を満たす提案として弊社が選定されました。しかしながら、優先交渉権者（弊社）に選定されてからの説明において、地域の皆様への周知や配慮が不足していた点は真摯に反省しており、今回このように全戸配布という形で改めて詳細をご説明した次第です。

【高齢者の方への配慮と現在の対話方法】（札幌市・GIE社回答）

高齢者の方が多い地域であることは十分に認識しております。前回の説明会のような一時的な場やインターネットだけでなく、紙媒体でじっくりと内容をご確認いただけるよう、今回は「事業計画の概要」や「質疑応答集」を全戸配布させていただきました。まずはこの書面を通じて、皆様からのご質問やご意見を広く募り、それに対する回答を札幌市と連携して公表することで、丁寧な説明を行いたいと考えております。

【近隣住民と札幌市との議論・協議の場】（GIE社回答）

「計画実施前に協議の場を設ける予定はあるか」というご質問について回答いたします。現在行っているこの意見収集の取組が、まさに地域の皆様との対話の第一歩であると認識しております。さらに、学校開校後の運営に関しては、地域の皆様・札幌市・学校の3者で話し合う「地域連携協議会（仮称）」の設置を計画しております。大阪校でも同様の3者協議体を設けて定期的に開催しており、施設運営や地域貢献について直接議論する場を設ける予定です。今回の公募プロセスや選定理由など、札幌市の政策に関わる部分については、札幌市とも共有し、連携して誠実に対応してまいります。

1.2.3 説明内容・回答の具体性・姿勢への不満（8件）

【再度の説明会と資料の扱いについて】（GIE社回答）

「説明会を求める声」や「この資料が全てなのか」というご質問について回答いたします。前回の地域説明会での混乱や、SNS等で事実と異なる情報が拡散している状況を踏まえ、札幌市と協議の上、まずは「正しい情報を、地域の全世帯に、文字として確実にお届けすること」を最優先とし、今回の全戸配布を実施いたしました。この配布資料が「全て」ではなく、今回いただいたハガキやWEBフォームからのご質問・ご意見に対しても、札幌市と連携して、このような形で回答いたしました。現時点では、限られた時間で一部の方しか参加できない対面の説明会よりも、全ての住民の方に同じ情報を公平にお伝えし、記録に残る形での回答を優先しておりますが、今後、「地域連携協議会（仮称）」を設置し、継続的に対話の場を設ける計画です。

【わかりやすい説明への要望】（GIE社回答）

専門用語が多く分かりにくい点があり、申し訳ございません。今回の回答公表などを通じ、可能な限り平易な言葉で、地域の方々に事業内容をご理解いただけるよう努めてまいります。

【治安への不安とリスク】（GIE社回答）

「治安悪化」や「リスク」についてのご懸念ですが、本校は外国人労働者の研修施設や、不特定多数の大人が出入りする施設ではありません。未就学児から高校生までの児童・生徒が通う「学校」です。生徒はスクールバスや保護者の送迎で通学し、学校管理下で教育を受けますので、生徒が地域を徘徊して治安を悪化させるといったリスクは極めて低いと考えております。また、警察等の関係機関とも連携し、法令遵守を徹底いたします。

【地域への具体的なメリット】（GIE社回答）

地域住民の皆様への具体的なメリットとしては、以下を計画しております。

- ◆災害時の避難場所：体育館を緊急避難場所として開放します。
- ◆施設の地域開放：学校運営に支障のない範囲で、グラウンドや体育館を地域団体の皆様に開放します。
- ◆地域雇用の創出：清掃、除雪、用務員業務などで、地域の方々を雇用することを目指します。
- ◆交流イベント：夏祭りやイベントへの参加・開催を通じ、異文化交流の機会を提供します。

【不正確な情報と住民の意見について】（GIE社回答）

私たちが「不正確な情報」と申し上げているのは、反対のご意見そのものではなく、SNS等で見られる「インド人学校ができる」「外国人労働者の研修施設である」といった、事業の実態と異なる情報のことです。住民の皆様が抱かれる率直な不安や反対のご意見については、今回のようにしっかりと耳を傾け、一つひとつ回答していく必要があると考えております。

【なぜインドに30校あるのか】（GIE社回答）

弊社の母体であるグローバル・スクールズ・グループは、シンガポールに本部を置き、世界11カ国で学校を運営する国際教育グループです。創業者がインド系であり、インドは口規模および教育需要が非常に高い国であるため、結果としてインド国内の校数が多くなっています（イ

ンド30校、シンガポール5校等）。札幌で開校予定のワン・ワールド・インターナショナル・スクールは、特定国籍向けの学校ではなく、国際標準カリキュラムである国際バカロレア（IB）等を採用するインターナショナルスクールです。日本国内においても、グローバル・インディアン・インターナショナル・スクール東京、ワン・ワールド・インターナショナル・スクール大阪校、ワン・ワールド・インターナショナル・スクールつくば校を運営しており、多くの日本人生徒が在籍しております。特に大阪校およびつくば校では、日本人生徒が多数を占め、インド籍生徒はごく少数です。

【南区での需要について】（GIE社回答）

「南区には移住者が少なく、高額な学費を払える家庭も少ない」とのご指摘ですが、私たちは常盤地区の「豊かな自然環境」こそが、探究型学習を行う国際教育に最適であると考え、この地を選びました。生徒募集は地域限定ではなく、スクールバスによって札幌市内全域や近郊から通学いただく計画です。また、札幌市が推進する北海道・札幌 GX金融・資産運用特区（現：北海道・札幌 GX/AI金融・資産運用特区）に伴い、今後海外からの高度人材のご家庭が増加した場合、必要な教育インフラとなると考えています。現状では不安の声が大きいことは認識しておりますが、教育内容と地域貢献策を丁寧にご説明し、最終的には「地域にあってよかった」と思っただけの学校を目指してまいります。

1.2.4 地域との調和・今後の連携への要望（一部肯定的意見含む）（3件）

【地域との調和と今後の情報発信について】（GIE社回答）

「地域住民と調和してほしい」というお言葉、大変ありがたく存じます。私たちも、単に学校という施設を作るだけでなく、芸術の森地区の一員として受け入れていただき、地域と共に歩む存在になりたいと強く願っております。開校に向けて、具体的な教育カリキュラム（探究型学習や国際バカロレアプログラム等）や、生徒の日々の活動については、地域の皆様にも分かりやすくお伝えしていく所存です。地域との連携のあり方につきましても、設置を予定している「地域連携協議会（仮称）」などを通じて具体化し、グラウンドや体育館の開放、イベントへの参加などを通じて、皆様にその内容を随時お知らせしてまいります。

【今回の周知方法へのご評価について】（札幌市・GIE社回答）

札幌市による資料の全戸配布という手法について、「理解協力を求める手段として有力であった」とご評価いただきありがとうございます。前回の説明会での混乱や、一部で不正確な情報が広がっている状況を踏まえ、まずは正しい情報を地域の全ての世帯に確実にお届けすることが最優先であると考え、このような形をとらせていただきました。今回いただいたご意見を励みに、今後も誠実な情報公開と対話を継続し、地域の皆様にご理解とご協力をいただけるよう努めてまいります。

1.3 将来の撤退・跡地利用・売却リスク・売買契約(18件)

1.3.1 事業の継続性・経営破綻リスク（4件）

【一般企業としての運営能力】（GIE社回答）

ご指摘の通り、弊社は「学校法人」ではなく「株式会社」という形態をとっておりますが、その母体はシンガポールに本部を置く「グローバル・スクールズ・グループ」です。グローバル・スクールズ・グループは2002年の設立以来、23年以上にわたり学校運営を専門に行ってきた国際的な教育機関グループであり、現在世界11カ国で64キャンパスを展開し、約45,000人以上の生徒が在籍しております。世界中で600以上の教育賞を受賞するなど、教育の質と経営の両面で国際的に高い評価を得ており、一個人の経営や経験の浅い企業による事業ではございません。

【日本国内での実績】（GIE社回答）

日本国内においても、2006年の東京校（グローバル・インディアン・インターナショナル・スクール）開校以来、約20年にわたり安定した運営を続けてまいりました。近年では、2023年に大阪市で廃校（旧生野小学校）を活用したキャンパスを、2025年には茨城県つくば市にもキャンパスを開校いたしました。特に大阪校では、開校時の生徒数22名から短期間で290名（2026年1月時点）へと生徒数を伸ばしており、株式会社立のインターナショナルスクールとして確かな需要と経営実績がございます。

【長期的なビジョンと札幌市の審査】（GIE社・札幌市回答）

（GIE社回答）

「10年後も成り立っているか」という点につきまして、私たちは一時的な利益ではなく、長期的な視点で教育事業を行う計画です。事業計画では、2027年の開校から段階的に生徒を増やし、2033年以降に最大定員約650名を目指す長期成長モデルを描いております。少子化が進む日本においても、国際教育へのニーズ（特に英語での探究型学習や海外大学進学への道）は年々高まっていると分析しており、実際に東京・大阪・つくばでの生徒数増加がそれを証明しています。また、札幌市が推進する北海道・札幌 GX金融・資産運用特区（現：北海道・札幌 GX/AI金融・資産運用特区）により、今後海外からの高度人材の流入も見込まれており、札幌校の経営は十分に成り立つと判断して事業を提案いたしました。

（札幌市回答）

今回の優先交渉権者の選定にあたり、札幌市の公募提案審査委員会（外部有識者を含む）において、GIE社の事業計画や事業の確実性などの審査が行われました。その結果、財務の安定性、事業の継続性、管理運営に必要な十分な能力を有すると判断しております。

【契約上の担保】（GIE社回答）

札幌市との契約において、引渡しから「10年間」は提案通りの用途（学校運営）を行う義務があり、違反した場合は札幌市が買い戻す特約が設けられる予定ですが、審査委員会では「10年に限らず、可能な限り長く実施できるか」という視点でも審査されており、私たちは10年を超えて永く地域に根ざす学校を目指しております。

【地域との共存】（GIE社回答）

経営が成り立つことはもちろんですが、運営に支障をきたさないためには地域の皆様へご理解いただくことが不可欠と考えています。今回実施した全戸配布アンケートや、「地域連携協議会（仮称）」などを通じて正しい情報をお伝えし、ご不安を解消するための対話を重ねてまいります。決して無理やり推し進めるのではなく、健全な経営と地域との調和の両立を目指して準備を進めてまいります。

1.3.2 土地・建物の売却・転売・外国資本への流出懸念（9件）

【撤退・転売の防止策（買戻し特約）】（GIE社回答）

「事業がうまくいかず撤退したらどうなるのか」「勝手に転売されるのではないか」というご懸念についてですが、札幌市との売買契約において「用途指定」および「買戻し特約」が設定される予定です。具体的には、物件引渡しから10年間は、提案した事業計画（インターナショナルスクール運営）通りに使用する義務があります。仮に当社がこの期間内に事業を停止したり、無断で転売したり、別の用途に使用しようとした場合は、札幌市が土地・建物を買戻すことができます。

【10年経過後の計画と制限】（札幌市・GIE社回答）

「10年経過後は自由に売却してしまうのか」という点ですが、民法の規定により買戻し特約の期間は最長10年と定められております。しかし、10年を過ぎたからといって何でも建てられるわけではありません。なお、当該用地には都市計画法に基づく用途地域が定められており、建築できる建物の用途は法的に制限されています。また、私たちGIE社の事業計画は、2027年の開校から段階的に学年を増やし、2033年以降に最大定員を目指す長期的な計画です。10年で撤退・転売することを前提とはしておらず、旧常盤小学校公募提案審査委員会においても「事業の確実性・継続性」について審査を受け、長期的な運営能力があると評価されております。私たちは10年を超えて永続的に地域に根ざす学校を目指してまいりたいと考えております。

【売却か貸出（リース）か】（札幌市回答）

旧常盤小学校は、行政目的での利用予定がなかったことから、地域の意向を踏まえた売却条件を設定し、活用する事業者を公募で募り、民間活力による跡活用の取組を進めることとしました。仮に、行政目的での利用予定がない施設を貸し付けにより活用する場合、貸主である札幌市が施設を維持する必要があり、コストがかかります。公費で施設を維持しても、直接その恩恵を受けるのは借主となった特定の企業や個人であるため、そうした維持費を負担するよりも、売却による活用が有効と考えています。

【外国企業への売却と価格について】（札幌市回答）

「売却価格（2,220万円）」は、札幌市が不動産鑑定士に依頼し、建物の劣化状況や過去の公募結果（前回4,710万円で応募がなかった経緯）も踏まえて適正に算定された時価です。また、現行の日本の法制度上、国籍のみを理由として土地売却を制限することはできません。今回の選定においては、企業の国籍ではなく、提案された事業計画や財務の安定性などが審査され、GIE社が適格であると判断しました。

【緊急時の避難先としての機能】（GIE社回答）

「緊急事態の際の避難先として使用可能にすべき」というご意見について、今回の事業計画に、「緊急時における避難場所の提供」が明確に含まれております。たとえ民間所有になったとしても、札幌市と連携し、体育館を地域住民の避難所として開放するなど、公的な役割を維持・継続いたします。自衛隊等の活動拠点としての利用についても、緊急時の要請があれば札幌市と連携して協力する体制を整えます。

私たちは、単なる営利目的の転売業者ではなく、教育機関としてこの地に根を下ろし、地域の皆様との約束を守って運営していく所存です。

1.3.3 契約条件・法的責任（2件）

【売買契約の対象と形態について】（札幌市回答）

当該施設の取得にあたっては、土地および建物の双方を含む売買契約を締結する予定です。札幌市による最低売却価格（2,220万円）の算定においても、不動産鑑定士により「土地及び建物の価格」として、地価上昇分と建物の劣化による減価分を考慮した上で評価・算定されております。

【契約における特約（用途指定と買戻し特約）について】（札幌市・GIE社回答）

「民法が定める以外の特約」は用途指定や転売禁止が該当します。具体的には、売買物件の引渡し日から10年間を「用途指定期間」と定めており、この期間中は当社が提案した事業計画書の内容（インターナショナルスクール運営等）に従って物件を利用しなければならず、同期間内における第三者への所有権移転等を制限しています。仮にこの義務に違反して当初の計画と異なる用途で利用した場合などは、札幌市が当該物件を買い戻すことができる権利を行使できるという特約です。これは民法第580条の規定に基づき設定されるもので、公共財産の適正な利用を担保するための重要な取り決めとなっております。なお、民法改正により瑕疵担保責任から改められた契約不適合責任に関し、本件については買受人は物件説明書に記載の内容を了承して買い受ける特約を付し、札幌市は契約不適合責任を負わない契約内容としています。

1.3.4 運営の監視体制・企業の信頼性（3件）

【実績と信頼性について】（GIE社・札幌市回答）

「聞いたことのない会社で心配」とのご意見ですが、弊社の母体であるグローバル・スクールズ・グループは、シンガポールに本部を置き、世界11カ国で64キャンパスを展開し、約45,000人以上の生徒が在籍する実績を持つ国際的な教育機関です。20年以上にわたり学校運営を専門に行い、世界中で600以上の教育賞を受賞するなど、第三者機関からも運営の質を高く評価されています。

日本国内においても、2006年の東京校開校以来、長年にわたり安定した運営を続けております。2023年には大阪市で廃校（旧生野小学校）を活用したキャンパスを開校し、2025年には茨城県つくば市にも開校するなど、着実に実績を積み重ねてまいりました。

今回の公募選定においても、旧常盤小学校公募提案審査委員会により、財務の安定性や管理運営能力、事業の継続性について審査を受け、「能力を有する」と判断され、優先交渉権者に選定しております。

【事故等の責任と安全管理】（GIE社回答）

万が一の事故等への対応については、学校運営事業者として責任を持って対応いたします。日常の安全管理として、教員への応急手当訓練の義務付けや定期的な避難訓練の実施、スクールバスへの安全装置の導入、警備員の配置など、生徒と地域の安全を守る体制を構築することを検討しております。

【「地域連携協議会（仮称）」の設置について】（GIE社回答）

「地域住民が半数以上を占める監督組織の指示下に学校を置くべき」というご提案につきましては、学校運営の法的な責任主体が弊社にあることから、住民組織の「指示下」に置くという形態をとることは難しいのが現状です。しかしながら、学校運営が地域と調和し、適切になされているかを確認・協議する場合は必須であると考えております。そのための仕組みとして、地域の皆様・札幌市・学校の3者による「地域連携協議会（仮称）」の設置を計画しております。

【「地域連携協議会（仮称）」の構成と機能】（GIE社回答）

「地域連携協議会（仮称）」は、地域の皆様・札幌市・学校の3者で構成することを想定しています。大阪校での実績と同様に、施設運営の状況、イベント開催、防災対策などについて定期的に話し合い、信頼関係を構築します。また、学校内に「みんなの声ポスト（意見箱）」を常設し、日常的に地域の皆様からのご意見を収集して、協議会を通じて運営に反映させる仕組みを整えます。これにより、一方的な運営ではなく、地域の声を尊重した透明性の高い運営を目指します。

【地域雇用における具体的な職種】（GIE社回答）

地域雇用につきましては、清掃職の他にも、以下の職種で地域の方々の力を借りたいと考えております。ワン・ワールド・インターナショナル・スクール大阪校やつくば校では地域雇用を行っております。この雇用を通し、地域の方の大切さを改めて感じており、札幌でも同様に地域雇用を進めてまいります。

◆スクールバスの運転手：冬道の運転に精通した技術が必要であるため、地域の方の採用を重視しています。バスの委託業者を利用の場合は、運転手はバス業者での手配になります。

◆用務員・施設管理：校舎や敷地の維持管理業務です。

◆除雪業務：冬季の安全確保のため、地域事情に詳しい方との連携を検討します。

当法人が運営する他の拠点と同様に、地域の関係機関と連携して、これらの業務において地域雇用を積極的に創出することを目指しております。

1.4 地域格差・選定理由・地元雇用(1件)

【学費と幼児教育無償化の適用】（GIE社回答）

ご指摘の通り、本校は公的な補助を受けない株式会社が運営しているインターナショナルスクールであるため、学費は年間約150万円～180万円程度（＋設備費等）を想定しており、すべてのご家庭にとって通いやすい金額ではないことは認識しております。しかしながら、幼稚部

(3～5歳)につきましては、国の「幼児教育・保育の無償化」制度の対象校となる予定です(既存のワン・ワールド・インターナショナル・スクールJapan拠点も対象です)。これにより、地元の子育て世帯の皆様にも、幼児期における国際教育の選択肢の一つとしてご検討いただきやすくなるものと考えております。

【通学世帯について】(GIE社回答)

「どれだけの世帯が通えるか」という点については、各ご家庭の判断となりますが、私たちは特定の富裕層や海外からの移住者だけを対象としているわけではありません。既存校(大阪・つくば)においても、日本人のご家庭が半数以上(大阪校は約55%、つくば校は約82%)を占めており、教育内容に価値を感じて選んでくださる一般のご家庭も多くいらっしゃいます。

【放課後プログラム・季節講習の開放】(GIE社回答)

「地元の子どもたちへの恩恵がなければ分断を助長する」というご懸念に対し、私たちは本校に入学しない地元のお子様にも、国際教育や英語に触れる機会を提供する計画を持っています。本校では、在校生以外の方(地域のお子様)でも参加できる「放課後の課外活動」や「季節ごとの特別プログラム(サマーキャンプ等)」を実施する計画です。これにより、本校に通っていない地元のお子様であっても、英語でのアクティビティや探究型学習といった「グローバルな教育」を体験できる場を提供します。

【施設開放と交流】(GIE社回答)

学校運営に支障のない範囲で、グラウンドや体育館を地元のスポーツ少年団や地域団体の皆様に開放いたします。また、年に一度、学校主催のイベント(夏祭りやスプリングカーニバル等)を開催し、地域住民の皆様をご招待して、異文化交流を楽しむ機会を設けます。

【地域と分断されない学校づくり】(GIE社回答)

私たちは、塀の中に閉じこもるような学校運営は行いません。ワン・ワールド・インターナショナル・スクールの教育モデルは、「他者への奉仕」「地域社会への貢献」を重要な価値観として掲げています。カリキュラムの中には、生徒がボランティア活動を行ったり、地域の方々と交流したりするプログラムが含まれています(大阪校ではフードバンク活動や地域清掃等を実施)。外から隔離された学校ではなく、生徒が地域の一員として活動し、地元の方々と交わることで、相互理解を深め、心理的な分断や排外主義が生まれないよう努めてまいります。

【「地域連携協議会(仮称)」の設置】(GIE社回答)

地域の皆様・札幌市・学校の3者で構成する「地域連携協議会(仮称)」を設置し、継続的に地域の皆様の声に耳を傾けてまいります。私たちは、この学校が地域に存在することで、地元のお子様たちにとっても「世界への窓」となり、地域全体にプラスの影響をもたらす存在になることを目指しております。

1.5 交通・道路安全(11件)

【地域交通への影響】（GIE社回答）

「既存の路線バス等のインフラへの対策」や「地域交通に影響を与えない方法」についてのご質問ですが、本校の通学手段は、スクールバスの運行および保護者の自家用車による送迎を基本として計画しております。ご指摘の通り、国道453号や既存の路線バスの減便・混雑状況については私たちも課題として認識しております。そのため、地域住民の皆様の利用を妨げることのないよう、学校側で専用のスクールバスを手配することを考えております。南区外や遠方からの通学者についても、主要な駅やエリアを経由するルートを設定し、スクールバスで対応する計画です。東京校など既存校の実績に基づき、広域からの通学をカバーできる運行体制を整えます。

【常盤地区への居住見込みについて】（GIE社回答）

「常盤にどの程度の世帯が住む見込みか」という点ですが、本計画には寄宿舍（寮）や保護者用住宅の建設は含まれておらず、生徒や家族が常盤地区に一斉に移住してくる計画ではありません。生徒は札幌市内全域や近郊の自宅から通学することを前提としており、常盤地区の居住人口や生活インフラ（上下水道やごみ処理等）に急激な負荷をかけるものではございません。

【650名規模時の交通対策】（GIE社回答）

将来的に生徒数が最大650名規模となった場合の交通混雑対策については、生徒数の増加に応じてスクールバスの台数および車両規模を段階的に調整するとともに、自家用車送迎の台数管理を行うことで、周辺道路への負荷を分散いたします。スクールバス台数は生徒数に単純比例して増加するものではありません。既存校の運行実績では、例えば大阪校では生徒約300名に対し4台、東京校では約1,400名に対し22台の運行体制となっており、車両サイズや運行ルートの設定により効率的な輸送が可能となっております。本校においても、開校初期に生徒数約50名規模でスクールバス2台を計画しているのは、通学エリアの広がりを見据えた初期設計によるものです。生徒数増加時には、大型バスの導入やルート統合・最適化により輸送効率を高めるため、650名規模においても単純に20台規模へ増加する想定ではありません。また、保護者送迎に伴う公道上での乗降・待機による渋滞（迷惑駐車）を防止するため、敷地の一部を車両動線および乗降スペースとして整備し、周辺の国道や生活道路の交通への影響を極力与えない運用を徹底します。登下校時には交通誘導員を配置し、安全確保と渋滞緩和に努めます。

【冬期の交通障害への対応】（GIE社回答）

国道453号の冬期の積雪や渋滞リスクについては、十分認識しております。「30分以上の遅延もありうる」という厳しい環境下でも安全に運行するため、スクールバスの運行管理には万全を期します。遅延を見越したスケジュールの調整や、保護者への連絡体制（アプリ等での位置情報共有など）を整備し、安全第一で運営いたします。

【地域雇用の創出】（GIE社回答）

スクールバスを自社運営とし、直接運転手を雇用する場合には、以下の方針で採用を行います。運転手の採用にあたっては、日本の交通ルールおよび冬道運転に精通した人材を必須条件

とする計画です。また、本事業では地域貢献の一環として地域雇用の創出を掲げており、スクールバス運転手はその主要な職種の一つと位置付けております。そのため、地域の道路事情に精通した日本人および地域住民の方の採用を優先して募集を行う方針です。なお、国籍のみを理由として排除することはいたしません、冬道運転技術および地域理解を最優先の要件といたします。

【なぜ利便性の良い街中ではなく常盤なのか】（GIE社回答）

「なぜ常盤地区への設置なのか」というご質問ですが、私たちが常盤地区を選定した最大の理由は、都心部にはない「豊かな自然環境」です。ワン・ワールド・インターナショナル・スクールのカリキュラムは「探究型学習」を重視しており、芸術の森地区の自然や文化施設に隣接している環境こそが、教室の中だけでは得られない学びを提供できる最適な場所であると判断しました。

【通学の負担と需要について】（GIE社回答）

「遠方から通う子が本当にいるのか」というご質問ですが、既存のワン・ワールド・インターナショナル・スクール大阪校やつくば校、東京のグローバル・インディアン・インターナショナル・スクールにおいても、保護者の方々は「通学時間をかけてでも、この環境と教育を受けさせたい」という強い動機を持って通われています。交通の不便さは、スクールバスの運行によって可能な限り解消し、車内での安全や快適性にも配慮することで、通学の負担を軽減する対策を講じます。私たちは、地域の交通事情に最大限配慮し、皆様の生活環境を乱すことのないよう、責任を持って運行管理を行ってまいります。

1.6 生活マナー・近隣環境(3件)

【ルール順守と教育体制】（GIE社回答）

「地域のルールに基づき円滑に進められるか」「エチケットになじめるか」というご質問ですが、私たちは学校教育の一環として、ごみの分別や騒音などの生活ルールやマナーを、生徒および保護者、教職員に周知いたします。具体的には、以下の取組を行います。

◆カリキュラムでの指導：ワン・ワールド・インターナショナル・スクールでは、日本の国語教科書を使用した授業や日本語サポートプログラムを実施し、言語だけでなく、日本の文化、道徳、生活習慣についても学習します。

◆行政との連携：札幌市が実施している「生活オリエンテーション」等の教材や動画を活用し、ごみの分別や騒音などの生活ルールを、生徒および保護者、教職員に周知します。

◆「マナーを守らない人が参加するか」への回答：本事業は、不特定多数が出入りする施設ではなく、在籍する生徒と教職員が決まっている「学校」です。したがって、生活指導は「任意の講習会」ではなく、学校生活における「必須の教育活動」として行います。指導に従わない場合は、学校として責任を持って対応・是正いたします。

【苦情の申し出やすさと「みんなの声ポスト」】（GIE社回答）

「苦情を言った際のトラブルや報復が怖くて声を上げにくい」という現状の切実なご不安、重く受け止めております。こうした心理的負担を軽減し、直接の対人トラブルを避けるために、私たちは「みんなの声ポスト（意見箱）」を学校施設内に常設いたします。

- ◆機能：地域住民の皆様が、騒音やマナー違反等の気づきを、書面等で投函できる窓口です。
- ◆安心感：これにより、マナー違反をしている当事者に直接注意をするリスクを負うことなく、学校運営側に問題を伝えることができます。

【責任の所在と解決の仕組み（「地域連携協議会（仮称）」）】（GIE社回答）

いただいたご意見は、単に学校内部で処理するのではなく、地域の皆さま・札幌市・学校の3者で構成する「地域連携協議会（仮称）」にて共有・協議いたします。

◆責任の所在：学校運営に関する最終的な責任は事業者である弊社（GIE社）にあります。また問題解決にあたっては、「地域連携協議会（仮称）」により地域の皆様と随時コミュニケーションを行うことで、客観性と透明性を確保します。

◆解決策：「個人的なご近所トラブル」として放置せず、組織として対応策を検討・実施し、その結果を皆様にフィードバックする体制を作ります。

【法令違反等への対処】（GIE社回答）

ご懸念の通り、日常生活への影響が犯罪に至らないレベルであっても、住民の方にとっては大きな問題であることを理解しております。万が一、事件・事故等の法令違反に関わる事案が発生した場合には、法に基づき厳正に対処されるべきであり、学校として警察等の関係機関と連携して対応いたします。

1.7 災害・避難所機能(5件)

【日本語対応スタッフの配置】（GIE社回答）

緊急時の避難場所として使用される際、言葉が通じるかというご不安については、ご安心ください。本校では、全教職員の約40%が日本語対応可能なスタッフとなる計画です。日本語対応可能な教員やスタッフが常駐する体制を整えますので、避難所開設時や緊急時においても、地域の皆様と円滑にコミュニケーションを取り、誘導や対応を行うことが可能です。

【地域との具体的な連携・コミュニケーション方法】（GIE社回答）

ご指摘の通り、本校は学校教育法第1条に定める学校（一条校）ではないため、通常の公立校とは異なる部分がございますが、地域コミュニティの一員としての責任は果たしてまいります。避難場所としての運用や地域との連携については、以下の具体的な方法でコミュニケーションをとります。

◆「地域連携協議会（仮称）」の設置：地域の皆様・札幌市・学校の3者で構成する「地域連携協議会（仮称）」を設置し、防災対策や避難所の運用ルールについて定期的に話し合いを行います。

◆札幌市との連携：災害時に円滑に避難所として機能するよう、札幌市と協議し、公的な避難場所としての役割を明確にします。

【10年経過以降の継続保証について】（GIE社回答）

「10年」という期間は、民法の規定に基づき、札幌市が買い戻しできる特約（買戻し特約）の最長期間として設定されているものです。しかし、私たちの事業計画は2033年以降に最大定員を目指すなど長期的なものであり、旧常盤小学校公募提案審査委員会の審査において事業の継

続性などが評価されております。10年経過後も学校運営を継続する前提であり、地域との約束である「緊急時の避難場所」としての機能は、10年経過後も継続してご提供する方針です。なお、当該用地には都市計画法に基づく用途地域が定められており、建築可能な建物の用途は建築基準法によって制限されております。

【避難所や選挙会場としての利用】（GIE社回答）

体育館を緊急時の一時避難場所として地域に開放することは、事業計画の柱の一つであり、確実に実施いたします。選挙会場としての利用については、札幌市の要請に応じて対応を検討します。

1.8 治安・防犯面(6件)

【交番がない地域での対応と警察への要請】（GIE社回答）

「常盤地区には交番がないのにどうするのか」「交番設置を要請するのか」というご質問について回答いたします。ご指摘の通り、常盤地区には交番がなく、管轄が石山交番であることは認識しております。このことを踏まえ、以下の対策を講じます。

- ◆通学時の安全：生徒はスクールバスまたは保護者送迎での登下校が基本です。
- ◆警察・市役所との協議：札幌市は、事件・事故等の法令違反については国籍に関わらず法に基づき厳正に対処する方針であり、警察等の関係機関と連携することとしています。交番の新規設置については、警察本部の管轄事項であり一民間事業者が確約できるものではありませんが、設置予定の「地域連携協議会（仮称）」には札幌市も参加しますので、地域の安全確保に必要な措置（パトロール強化の要請等）について、警察と協議を行ってまいります。

【世界各地での運営実績】（GIE社回答）

「世界各地の治安や政治情勢を理解しているか」という点ですが、弊社の母体であるグローバル・スクールズ・グループは、シンガポールに本部を置き、イギリス、中東、東南アジアなど世界11カ国で学校を運営しております。多様な国家・文化・宗教的背景を持つ70カ国以上の生徒が在籍しており、国際的な情勢や文化摩擦には細心の注意を払って運営を行っております。特定の政治思想を持ち込む施設ではなく、多文化共生を学ぶ「教育機関」としての運営に徹しております。

【迷惑施設というご指摘について】（GIE社回答）

「迷惑施設である、断念してほしい」との厳しいお言葉、重く受け止めております。しかし、本計画は外国人労働者の収容施設や研修施設ではなく、未就学児から高校生までが学ぶ「学校」です。また、旧常盤小学校という「学び舎」としての機能を再生し、地域のお子様への英語教育の機会提供や、避難所としての機能維持など、地域にとってプラスとなる施設を目指しております。

【「騙される」「後悔する」というご懸念に対して】（GIE社回答）

「外国人は口先だけではないか」「日本人は人が良すぎて騙されるのではないか」といったご不安のお声があることは、率直なお気持ちとして受け止めております。地域の将来に関わる大きな計画だからこそ、「本当に大丈夫なのか」と慎重になるのは当然のことと考えておりま

す。私どもは、この問題を国籍の違いの問題とは捉えておりません。どの国籍であっても、誠実に取り組む人もいれば、そうでない人もいるというのが現実だと思います。最終的に大切なのは、「誰が言っているか」ではなく、「何を約束し、どのように実行してきたか」だと考えております。そのため、私たちは言葉だけでなく、以下の実績と仕組みによってご判断いただきたいと考えております。なお、これまでの取組みについては、以下の日本国内での実績をご覧ください。

◆20年近い実績：2006年から東京で学校運営を続けており、閉校することなく拡大しています。日本人の信頼：運営するワン・ワールド・インターナショナル・スクール大阪校では生徒の約55%、つくば校では約82%が日本人のご家庭のお子様です。多くの日本人の保護者が、私たちの教育内容と誠実さを評価して、大切なお子様を預けてくださっています。

◆行政の審査：今回の選定にあたっては、札幌市の外部有識者等による旧常盤小学校公募提案審査委員会において、財務状況を含む事業計画が審査され、選定されました。

【信頼回復に向けて】（GIE社回答）

現在は「信用できない」というご評価であっても、私たちは撤退するのではなく、約束を守り、安全な学校運営を積み重ねることで、「常盤地区に来てくれてよかった」と思っていたけるよう、時間をかけて信頼を築いていく所存です。

1.9 宗教・文化摩擦・移民政策(6件)

【「外国籍の方の集落」などを作る計画はありません】（GIE社回答）

「移民政策の足掛け」「外国籍の方の集落が作られる」「日本人には住みづらいタウン・ヤードを作るのではないか」というご懸念について、明確に否定させていただきます。私たちの事業はあくまで「学校教育施設の運営」であり、学校周辺に外国籍の方専用の居住区（タウンやヤード）を開発したり、保護者用の住宅を整備したりする計画は一切ございません。

【生徒・保護者の居住形態について】（GIE社回答）

「外国籍の方が近隣に移り住む人々が増えるのでは」という点ですが、本校の生徒は、原則として札幌市内全域や近郊の自宅からスクールバス（開校時2台予定）等を利用して通学します。既存校（大阪・つくば）の事例においても、学校周辺が外国籍の方だけの集落（外人村）になったという事実はございません。生徒は広域から通学しており、特定の地域に外国籍の方が固まって住む状況を作り出すものではありません。

【「一条校ではない＝日本国籍の方が来ない」ではありません】（GIE社回答）

「就学義務を履行したことにならないため日本国籍の方が少なくなり、結果として外国籍の方が多くなる」というご推察につきまして、弊社の既存校の実績に基づきご説明します。確かに本校は学校教育法第1条に定める学校（一条校）ではありませんが、グローバル化社会において「我が子に英語での探究型学習を受けさせたい」、「国際バカロレア（IB）等の資格で国内外の大学進学を目指したい」と考える日本人のご家庭は年々増えています。実際、私たちが運営するワン・ワールド・インターナショナル・スクールの既存校では、以下の通り日本人生徒が過半数を占めています。

◆ワン・ワールド・インターナショナル・スクール大阪校：日本人54.7%

◆ワン・ワールド・インターナショナル・スクールつくば校：日本人82%
このように、「一条校ではないから日本人が通わない」という状況ではございません。

【価値観の相違と生活バランスへの配慮】（GIE社回答）

「価値観の異なる外国籍の方と近くで生活することに抵抗がある」「生活のバランスが崩れる」という率直なご意見、重く受け止めております。グローバル・スクールズ・グループは世界11カ国で学校を運営しており、地域ごとの文化や国民性の違いを尊重することを教育の根幹に置いています。私たちは、外国独自の価値観を地域に押し付けるつもりなく、生徒には日本の文化やルールを尊重するよう教育します。

【具体的な教育と対応策】（GIE社回答）

◆日本のルール・文化の学習：日本の国語教科書を使用した授業を行い、日本語だけでなく日本の道徳や文化についても学びます。

◆マナー指導：日本の生活習慣（ごみ出し、騒音マナー等）について、行政の資料なども活用しながら生徒、保護者、教職員に周知します。

◆地域との溝を埋める仕組み：一方通行にならないよう、地域の皆様・札幌市・学校の3者で構成する「地域連携協議会（仮称）」を設置し、懸念事項があればすぐに話し合える場を作ります。

私たちは、既存拠点と同様に、地域の皆様の暮らしやコミュニティを大切にしながら、分断を生むことのない運営に努めてまいります。

1.10 外部干渉・風評被害(1件)

【説明会の運営および危機管理について】（GIE社回答）

このたびは説明会にご出席いただき、また率直なご意見をお寄せいただきましたこと、心より御礼申し上げます。当日の説明会につきましては、参加者の確認方法や運営体制が十分でなかったことにより、会場環境が適切に保たれず、結果として地域の皆様に安心して説明をお聞きいただき、発言いただける場とならなかったことについて、お詫び申し上げます。ご指摘のとおり、今回のような状況が生じる可能性についての予測および備えが十分であったとは言えず、主催者としての認識と準備が不足していた点を真摯に受け止めております。弊社はこれまで他地域（大阪・つくば等）において地域説明会を実施してまいりましたが、同様の事態が生じたことはなく、結果として今回の状況を十分に想定できていなかったことは事実であり、反省すべき点であると認識しております。本来、説明会は地域の皆様が冷静に情報を得て判断できる場であるべきであり、その環境を整える責任は主催者にあるものと考えております。今回いただいたご意見は、地域の将来を真剣に考えてくださっているからこそのお声であると受け止めております。弊社といたしましては、地域の皆様と丁寧に対話を重ねながら相互理解を深めていくことが重要であると考えております。今後も説明責任を果たし、信頼の醸成に努めてまいります。

1.11 肯定的・期待・理解(36件)

【イベント開催と施設開放による「顔の見える関係」づくり】（GIE社回答）

温かいご期待をいただき、大変励みになります。私たちは、地域の方々と生徒が自然に交流し、お互いの文化を尊重し合える関係づくりを目指します。

◆交流イベント：既存のワン・ワールド・インターナショナル・スクール大阪校では、「スプリングカーニバル」や「夏祭り」などの学校行事に地域住民の皆様をご招待し、生徒によるパフォーマンスや出店を通じて交流を深めています。札幌校でも同様に、地域の皆様に参加いただけるイベントを年1回程度開催する計画です。

◆施設開放：グラウンドや体育館を地域のスポーツ少年団やサークル活動等に開放します。こうした日常的な接点を通じて、生徒・保護者と、地域の皆様とのコミュニケーションの機会を創出します。

【「地域連携協議会（仮称）」を通じた対話】（札幌市・GIE社回答）

お互いを知らないことによる偏見を防ぐため、地域の皆様・札幌市・学校の3者で構成する「地域連携協議会（仮称）」を設置します。定期的に顔を合わせ、学校の活動状況を報告したり、地域の行事への参加を相談したりすることで、相互理解を深める場として機能させます。

1.12 その他・全般的な質問(30件)

【税金投入と補助金について】（札幌市・GIE社回答）

旧常盤小学校は、行政目的での利用予定がなかったことから、地域の意向を踏まえた売却条件を設定し、活用する事業者を公募で募り、民間活力による跡活用の取組を進めることとしました。また、本事業における整備費および運営費は、すべてGIE社グループ（シンガポール本社を含む）の自己資金で賄う計画です。札幌市から建設費や運営費に対する補助金・助成金の交付は現時点ではなく、将来的にも予定されておりません。したがって、本校の整備や運営のために、新たに市民の皆様の税金が投入されるものではございません。

【学費について】（GIE社回答）

本校の授業料（年間約150万～180万円程度を想定）ですが、札幌市から特定の職業の方（外国人労働者を含む）に対して授業料助成が行われる予定もございません。ただし、幼稚部（3～5歳）につきましては、国の「幼児教育・保育の無償化」制度の対象校となる予定であり、国籍や職業に関わらず、制度要件を満たすすべてのご家庭が利用可能となります。

【なぜ廃校になった場所にまた学校を作るのか】（GIE社回答）

「学校が必要ないから閉校したはず」とのご指摘ですが、少子化による地域の児童数減少と、広域から生徒を集める私立校の需要は異なります。私たちが常盤地区を選んだ理由は、この地域特有の「豊かな自然環境」と「芸術文化」です。ワン・ワールド・インターナショナル・スクールのカリキュラムである「探究型学習」にとって、教室の中だけでなく自然の中で学ぶことは不可欠であり、都心部では得られない教育環境がここにあると判断しました。近隣の公立

校（芸術の森小学校等）とは役割が異なり、国際的な教育プログラムである国際バカロレア（IB）等を提供する独自の教育機関として再生させます。

【「侵入」「画策」とのご懸念について】（GIE社回答）

「侵入」、「何を画策しているのか」というご懸念についてですが、私たちは何かを隠して地域を乗っ取ろうとしているわけではありません。弊社の目的は、札幌市の北海道・札幌 GX金融・資産運用特区（現：北海道・札幌 GX/AI金融・資産運用特区）の推進に寄与し、多様な背景を持つ子どもたちに質の高い国際教育を提供することです。

【選定基準とプロセスの公平性】（札幌市回答）

「採点基準が変更された」、「出来レースではないか」というご懸念について、回答します。選定は、外部有識者を含む旧常盤小学校公募提案審査委員会において、募集要項に定めた5つの審査項目（地域貢献、事業の確実性等）に基づき審査が行われました。GIE社は合計点が最も高く、事業内容や地域連携の取組、事業の確実性などを総合的に評価し選定しました。

【市長発言と「働きかけ」の齟齬について】（札幌市回答）

「札幌市からの誘致・働きかけ」に関する報道との齟齬についてですが、札幌市は北海道・札幌 GX金融・資産運用特区（現：北海道・札幌 GX/AI金融・資産運用特区）の実現に向けた取組の一環として、一般論としてインターナショナルスクールの誘致・環境整備を掲げています。このため、今回の公募では特定の業者（GIE社）だけを優遇して誘致したわけではなく、公平な公募プロセス（3回目の公募）を経て事業者を決定しました。

【開校日の表記と「結論ありき」への懸念】（GIE社回答）

資料の開校日（2027年8月）等の記載が決定事項のように見えるのご指摘ですが、これは「事業計画上のスケジュール」であり、現在も売買契約の締結日は確定しておりません。地域の皆様への説明とご理解が不十分な状況であることを踏まえ、現在は契約を急ぐのではなく、正しい情報の提供と対話を優先しております。

【用途地域と許可】（札幌市回答）

当該地には第一種低層住居専用地域のほか第一種住居地域が含まれており、制度上は、ご質問にある民泊施設、外国人向け住宅街、外国人専用学校及び宗教施設は一定の要件のもとで建築可能ですが、GIE社からは2033年以降も継続してインターナショナルスクール事業を行う長期的な事業計画が提案されています。別の施設への転用を前提としたものではなく、インターナショナルスクールとして地域と共生しながら運営を継続していく方針であると承知しております。

【10年後と転売・用途変更のリスク】（GIE社回答）

「10年後に転売される」「外国籍の方の集落になる」というご不安についてですが、契約には「10年間の用途指定」があり、違反すれば札幌市が買い戻すことができます。10年経過後であっても、用途地域の制限は継続します。また、私たちの計画は2033年以降に定員増を目指す長期的なものであり、10年で撤退・転売することを前提としておりません。

【売却価格について】（札幌市回答）

売却価格（2,220万円）は、過去に4,710万円で公募して応募がなかった経緯を踏まえ、不動産鑑定士が建物の劣化等を考慮して算出した適正な「時価」であり、特定の利益関係者のために安くしたものではありません。

【地域住民の皆様へのメリット】（GIE社回答）

本計画における地域への具体的なメリットとして、以下の取組を予定しております。

◆防災面での貢献：体育館を緊急時の避難場所として開放し、地域の防災拠点として活用いたします。

◆施設の地域開放：グラウンドや体育館を、地域団体の活動や地域行事、文化イベント等にご利用いただけるよう開放いたします。なお、安全確保および適切な管理運営の観点から、利用にあたっては一定の基準を設ける予定です。

◆地域と学校の協働活動の推進：学校と地域団体が共同で企画・実施するお祭り、展示会、講演会、多世代交流型の学習活動等を通じて、地域の皆様との相互理解と共生関係の深化を図ります。また、地域住民の皆様がゲストスピーカーやメンターとして学習活動に参画できる仕組みを整え、学校と地域という枠を越えた個人同士のつながりの創出にも取り組みます。

◆周辺に立地する大学との連携：大学教授による特別講義やワークショップ、学生による学習支援や課外活動支援、研究施設・国際交流プログラムの共同企画・運営等を想定しております。

◆周辺の美術館との連携：美術館とは、学芸員による美術史や作品解説の授業、鑑賞会やワークショップの実施、児童生徒の作品展示や発表機会の創出、共同アートプロジェクトの企画・運営等を計画しております。

◆地域雇用の創出：清掃、施設管理、除雪等において、地域の方々の雇用機会の創出に努めます。

◆教育機会の地域への提供：放課後プログラム等を地域のお子様にも開放し、学びの機会の拡充に貢献いたします。

これらの取組により、子どもたちの豊かな感性を育むとともに、地域における文化交流と国際的な文化理解の深化に寄与いたします。

【実行上の大目標（一つ上げるとすれば）】（GIE社回答）

大きな目標は「地域と調和し、共に発展する学校づくり」です。学校が単独で存在するのではなく、地域社会の一員として受け入れていただき、地域の皆様と子どもたちが共に学び、支え合える関係を築くことを最も重要な目標としております。

お寄せいただいたご意見・ご質問に対する GIE社及び札幌市の回答一覧

設問2 「懸念や不安に感じること」に対する回答※

※「ご意見・ご質問一覧」で分類したカテゴリごとに回答しております。

カテゴリ	ページ
2.1 治安・防犯面（70件）	回2-1～回2-9
2.2 交通渋滞・道路安全（32件）	回2-9～回2-14
2.3 公共交通（バス）の混雑（13件）	回2-14～回2-15
2.4 説明不足・合意形成（29件）	回2-15～回2-19
2.5 宗教・文化摩擦（31件）	回2-19～回2-23
2.6 生活マナー・ルール・環境（26件）	回2-23～回2-27
2.7 将来の撤退・土地売却リスク（20件）	回2-27～回2-29
2.8 地域格差・不公平感（2件）	回2-29
2.9 教育内容・費用・制度（36件）	回2-29～回2-36
2.10 外部干渉・風評被害・分断（20件）	回2-36～回2-37
2.11 肯定的・期待（27件）	回2-37～回2-39
2.12 災害・避難所機能（3件）	回2-39～回2-40
2.13 その他（59件）	回2-40～回2-47

設問2 懸念や不安に感じる事（368件）

2.1 治安・防犯面（70件）

2.1.1 外国人増加による全般的な治安悪化・漠然とした不安（29件）

【学校独自の警備と生徒の行動管理】（GIE社回答）

学校施設としての万全のセキュリティ対策を講じます。警備体制としては、校内に警備員を配置し、防犯カメラ等のセキュリティシステムを導入して24時間体制で厳重な施設管理を行います。不審者の侵入を防ぐため、セキュリティゲートや入館管理を徹底します。通学管理について、生徒はスクールバスまたは保護者送迎による登下校が基本です。授業終了後は速やかに帰宅するため、生徒が放課後に地域内に溜まることはございません。

【警察・行政との連携】（札幌市回答）

札幌市では北海道警察本部と「北海道警察・札幌市行政連絡会議」を定期的開催しています。本校の開校に伴う地域の安全対策やパトロールの強化についても、この公式なルートを通じて札幌市から警察へ直接要望・協議を行ってまいります。また、事件・事故等の法令違反については、国籍に関わらず法に基づき厳正に対処されるべきものであり、札幌市としても警察等の関係機関と連携して対応いたします。

【生徒指導】（GIE社回答）

暴力事件等が増えるのではないかと不安の声に対し、教育機関として厳しく対応いたします。グローバル・スクールズ・グループは、多様な価値観の尊重を教育の根幹に置いており、暴力などを一切容認いたしません。万が一、学校関係者が迷惑行為を起こした場合は、学校として警察と連携し、厳正な対応を行います。

【特定の居住区を作る計画について】（GIE社回答）

外国人が集まって住むというご懸念ですが、私たちの事業は学校運営であり、外国人労働者の受け入れや、学校周辺に特定の国籍の人々が集住する居住区を開発する計画は一切ございません。生徒は札幌市内全域や近郊の自宅から通学します。寄宿舍（寮）も建設しないため、常盤地区の人口構成が急激に変化し、地域の方々にとって住みづらくなるような状況は発生しません。

【生徒・保護者の属性】（GIE社回答）

SNS等でインド人学校ができるといった情報が見られますが、これは事実ではありません。本校は多様な国籍の生徒を受け入れるインターナショナルスクールです。実際に、私たちが運営する既存校の実績（2024年時点）では、ワン・ワールド・インターナショナル・スクール大阪校の日本人比率は約54.7%、ワン・ワールド・インターナショナル・スクールつくば校は約82%となっております。このように、日本人生徒が過半数を占めており、また、さまざまな外国籍の生徒も在籍していることから、特定の国籍の方で構成される閉鎖的なコミュニティになることはありません。また、本校は高水準の教育を求めめるご家庭を対象としています。

【移民政策との関係】（札幌市回答）

北海道・札幌市は令和6年6月に、国家戦略特別区域諮問会議において、北海道が国家戦略特区に指定されるとともに、北海道・札幌市がGX金融・資産運用特区（現：北海道・札幌 GX/AI金融・資産運用特区）として指定されました。

インターナショナルスクールは、上述した北海道・札幌 GX金融・資産運用特区の推進に向けた高度人材受入のための教育環境整備に資するものであり、量的な労働力の受け入れ拡大を目的とした「移民政策」ではありません。

【生活マナーと文化摩擦の解消】（GIE社回答）

文化や習慣の違いによるごみ出しや騒音等のトラブルについては、札幌市の多文化共生施策とも連携して対策を講じます。マナー教育として、「生活オリエンテーション」の教材を活用し、ごみの分別や騒音などの日本の生活ルールを入学時および定期的に生徒・保護者へ周知します。また、学校内に「みんなの声ポスト（意見箱）」を設置し、マナー違反等にお気づきの際は、直接注意するリスクを負うことなく学校側へ通報いただける仕組みを整えます。

【宗教的な観点】（GIE社回答）

治安や宗教的な混乱についてご心配のお声があることは、真摯に受け止めております。日本国内で運営している各校において、学校の設置により地域の治安が悪化した事例や、宗教的対立・混乱が発生した事例はこれまでございません。本校は特定の宗教に属する学校ではなく、宗教的に中立な教育機関です。在籍する生徒や家庭にはさまざまな文化的背景がございますが、学校として特定の宗教活動を行うことはなく、日本の法令および社会規範を遵守した運営を徹底しております。

【過去のトラブル事例について】（GIE社回答）

日本国内で運営している学校は6校でございます。各校において、開校当初は地域の皆様からご不安やご質問をいただくことはございました。しかし、定期的に地域、行政、弊社3社による協議の場を設け、対話を重ねることで、地域行事への参加や施設開放など、良好な関係を築いております。大阪校では、地域の夏祭りや防災訓練への参加、フードバンク活動への協力などを通じて地域との交流を継続しています。つくば校においても、地域の代表の方（町内会長様等）との定期的な意見交換を行い、連携体制を構築しております。このように、課題が生じた際には誠実に対話し、改善を積み重ねてきたことが現在の信頼関係につながっていると考えております。札幌においても、同様に継続的な対話を重ねながら、地域に根ざした学校づくりを進めてまいります。

【審査と選定の正当性】（札幌市回答）

今回の事業者選定は外部有識者を含む旧常盤小学校公募提案審査委員会により、事業の確実性も含めて客観的な審査が行われました。採点結果は、GIE社が80.4点（次点78.4点）であり、事業内容、地域連携などの提案が総合的に評価され、最高得点を得たGIE社を優先交渉権者に選定しました。

2.1.2 具体的な犯罪（暴力・暴動）への恐怖（10件）

【警察・行政との連携】（札幌市回答）

「交番がない地域でどうするのか」「外国人が増えて不安」という点については、管轄の警察署と緊密に連携して対処いたします。

◆行政連絡会議の活用：札幌市では、北海道警察本部と「北海道警察・札幌市行政連絡会議」を定期的に開催しています。本校の開校に伴う地域の安全対策やパトロールの強化についても、この公式なルートを通じて札幌市から警察へ直接要望・協議を行ってまいります。

◆法令順守：事件・事故等の法令違反については、国籍に関わらず法に基づき厳正に対処されるべきものであり、札幌市としても警察等の関係機関と連携いたします。

【学校独自の警備と生徒の行動管理】（GIE社回答）

学校施設としての万全のセキュリティ対策を講じます。

◆警備体制：校内には警備員を配置し、防犯カメラ等のセキュリティシステムを導入して24時間体制で厳重な施設管理を行います。不審者の侵入を防ぐため、セキュリティゲートや入館管理を徹底します。

◆通学管理：生徒はスクールバスまたは保護者送迎での登下校が基本です。授業終了後は速やかに帰宅するため、生徒が放課後に地域内でたむろしたりすることはございません。

【特定の居住区を作る計画の否定】（GIE社回答）

「パキスタン村のようになる」「外国人が集まって住む」というご懸念ですが、本事業と他地域の事例は性質が異なります。

◆居住実態：私たちの事業は学校運営であり、外国人労働者の受け入れや、学校周辺に特定の国籍の人々が集住する居住区（ヤード等）を開発する計画は一切ございません。

◆通学型：生徒は札幌市内全域や近郊の自宅から通学します。寄宿舍（寮）も建設しないため、常盤地区の人口構成が急激に変化し、日本人にとって住みづらくなるような状況は発生しません。

【生徒・保護者の属性】（GIE社回答）

SNS等で「インド人学校ができる」「特定国籍の村になる」といった情報が見られますが、これは事実ではありません。本校は多様な国籍の生徒を受け入れるインターナショナルスクールです。実際に、私たちが運営する既存校の実績（2024年時点）は以下の通りです。

◆ワン・ワールド・インターナショナル・スクール大阪校：日本人 約54.7%

◆ワン・ワールド・インターナショナル・スクールつくば校：日本人 約82%

このように、日本人生徒が過半数を占めており、また、さまざまな外国籍の生徒も在籍していることから、特定の国籍の方で構成される閉鎖的なコミュニティになることはありません。また、本校は就労目的の移民施設ではなく、高水準の教育を求めるところを家庭を対象としています。

【移民政策との関係】（札幌市回答）

北海道・札幌市は令和6年6月に、国家戦略特別区域諮問会議において、北海道が国家戦略特

区に指定されるとともに、北海道・札幌市がGX金融・資産運用特区（現：北海道・札幌 GX/AI金融・資産運用特区）として指定されました。

インターナショナルスクールは、上述した北海道・札幌 GX金融・資産運用特区の推進に向けた高度人材受入のための教育環境整備に資するものであり、量的な労働力の受け入れ拡大を目的とした「移民政策」ではありません。

【生徒指導】（GIE社回答）

暴力事件等が増えるのではないかと不安の声に対し、教育機関として厳しく対応いたします。グローバル・スクールズ・グループは、多様な価値観の尊重を教育の根幹に置いており、暴力などを一切容認いたしません。万が一、生徒による触法行為や地域への迷惑行為があった場合は、学校として警察と連携し、退学処分を含めた厳正な対応を行います。

【生活マナーと文化摩擦の解消】（札幌市・GIE社回答）

文化や習慣の違いによるごみ出しや騒音等のトラブルについては、札幌市の多文化共生施策とも連携して対策を講じます。

学校では、ごみの分別や騒音、交通ルールなどの日本独自の生活習慣を入学時に指導します。また、札幌市では「外国籍市民が日本の生活習慣等を学ぶ場」として「生活オリエンテーション」を実施するほか、国も地域社会のルール等を習熟するための取組の重要性を掲げておりますので、教育教材として活用してまいります。

また、学校内に「みんなの声ポスト（意見箱）」を設置し、マナー違反等にお気づきの際は、直接注意するリスクを負うことなく学校側へ通報いただける仕組みを整えます。

【審査と選定の正当性】（札幌市回答）

「住民の声を無視した」「責任転嫁」というご批判については、今回の事業者選定は外部有識者を含む旧常盤小学校公募提案審査委員会により、事業の確実性も含めて客観的な審査が行われました。採点結果は、GIE社が80.4点（次点78.4点）であり、事業内容、地域連携などの提案が総合的に評価され、最高得点を得たGIE社を優先交渉権者に選定しました。契約においては「10年間の用途指定」や「買戻し特約」を設け、公共財産の適正な利用を担保しております。

2.1.3 警察機能・法的責任・行政対応への不信（13件）

【警察への要望ルートと交番設置について】（札幌市回答）

「交番がない地域で不安」「交番を設置してほしい」という切実なご要望に対し、札幌市として以下の対策を講じます。

◆警察との連携：札幌市では、北海道警察本部と「北海道警察・札幌市行政連絡会議」を定期的に開催しています。本校の開校に伴う地域の安全対策やパトロールの強化についても、この公式なルートを通じて札幌市から警察へ直接要望・協議を行ってまいります。

◆交番の設置：交番の新設は警察の管轄事項ですが、上記会議を通じて、地域の不安の声をしっかりと届けてまいります。

【日本の法律の適用と責任の所在】（札幌市・GIE社回答）

「日本の法律が適用されるのか」「基地問題のようになるのでは」というご懸念についてですが、本校は民間の教育施設であり、大使館や米軍基地のような治外法権は一切ございません。校内であっても地域であっても、日本の法律が適用されます。万が一、生徒や職員による事件・事故等の法令違反があった場合は、国籍に関わらず法に基づき厳正に対処されるべきものであり、学校としても警察の捜査や指導に全面的に協力いたします。また、当事者の責任だけでなく、学校の管理監督責任が問われる場合は、誠実に対応いたします。

【警察との連携の具体的内容】（札幌市回答）

「情報の連携くらいでは意味がない」とのご指摘ですが、単なる連絡にとどまらず、札幌市は道警本部（生活安全部等）と、今後、外国人への交通安全マナー啓発について協議を行っていきます。札幌市の多文化共生施策とも連携して、事件事故の未然防止に努めます。

【マナー教育と「生活オリエンテーション」】（GIE社回答）

「習慣の違いからトラブルが発生する」という点については、事前の教育とルール周知で予防に努めます。

◆マナーの周知：札幌市が実施している「生活オリエンテーション」等の教材や動画を活用し、ごみの分別や騒音などの生活ルールを、生徒および保護者、教職員に周知します。

◆学校の指導：GIE社では、日本の教科書を使った日本語の授業も行い、言語だけでなく日本の道徳やマナーについても教育します。

【相談窓口の設置】（GIE社回答）

トラブル発生時、地域の方が直接外国人に注意するのはハードルが高いという懸念を踏まえ、学校内に「みんなの声ポスト（意見箱）」を常設します。マナー違反等にお気づきの際は、直接当事者と接触することなく学校側に通報いただける仕組みを整え、学校が責任を持って指導・解決にあたります。

【職員の身元確認と日本語対応】（GIE社回答）

本校の教職員には、日本国籍の職員に加え、外国籍の職員も含まれます。これは、英語による国際教育を実施するインターナショナルスクールとして、専門性や指導経験を重視しているためです。採用にあたっては、国籍にかかわらず、以下の事項を厳格に確認しております。

- ◆大学または大学院卒業、もしくはそれと同等と認められる学歴
- ◆専門資格の確認
- ◆教員資格および専門資格
- ◆履歴書および職務経歴書
- ◆前職からの推薦状
- ◆有効な在留資格および就労資格

また、日本の法令を遵守し、適法な在留資格を有することを確認した上で雇用契約を締結しております。犯罪歴の確認についても、個人情報保護法および各国の法制度を踏まえ、可能な範囲で前職照会等の確認を行っております。なお、本校は特定の宗教に属さない中立的な教育機関です。教育者としての倫理観と児童生徒の安全を最優先に採用判断を行っております。

【地域との問題発生時の対応】（GIE社回答）

ご懸念の「地区や地元住民との問題が発生した場合の対応」についてですが、本校は地域との共存共栄を重要な方針としており、何か問題やご意見があった場合には速やかに対応する仕組みを整えております。具体的には、地域の皆様・札幌市・学校の3者で構成する「地域連携協議会（仮称）」を設置し、懸念事項や問題が生じた場合にはこの協議会を通じて話し合い、解決策を検討・実施します。また、日常的にも学校行事や地域交流イベントなどを通じて地域の皆様との連携を図り、問題が大きくなる前に共有・解決できる体制を整えます。

2.1.4 子ども・女性・高齢者の安全確保（6件）

【警察・行政との連携】（札幌市回答）

「何かあってからでは遅い」「警察が常にいるわけではない」という切実なご懸念に対し、事件・事故を未然に防ぐための予防策と連携体制を強化します。

札幌市では、北海道警察本部と「北海道警察・札幌市行政連絡会議」を定期的に開催しています。本校の開校に伴う地域の安全対策やパトロールの強化についても、この公式なルートを通じて札幌市から警察へ直接要望・協議を行ってまいります。

【学校独自の警備とトラブル未然防止策】（GIE社回答）

学校としても「警察任せ」にするのではなく、自律的な安全管理を徹底します。

◆警備体制：校内には警備員を配置し、防犯カメラ等のセキュリティシステムを導入して24時間体制で厳重な施設管理を行います。

◆通学管理：生徒はスクールバスまたは保護者送迎での登下校が基本です。授業終了後は速やかに帰宅するため、生徒が放課後に地域内に溜まることはございません。これにより、地域のお子様とのトラブルを低減します。

◆相談窓口：学校内に「みんなの声ポスト（意見箱）」を設置し、不安な点やマナー違反等にお気づきの際は、直接注意するリスクを負うことなく学校側へ通報いただける仕組みを整えます。

【生徒の属性】（GIE社回答）

「実質的な移民受け入れではないか」「中国やインド系の家庭のみになる」というご懸念ですが、これは事実と異なります。本校は高度な教育カリキュラムを提供するインターナショナルスクールであり、就労目的の移民受け入れ施設ではありません。また、私たちが運営する既存校の実績（2024年時点）は以下の通りです。

◆ワン・ワールド・インターナショナル・スクール大阪校：日本人 約54.7%

◆ワン・ワールド・インターナショナル・スクールつくば校：日本人 約82%

このように、日本人生徒が過半数を占めており、また、さまざまな外国籍の生徒も在籍していることから、特定の国籍の方で構成される閉鎖的なコミュニティになることはありません。

【公募選定の正当性と契約による制限】（札幌市回答）

「外国企業への売却が危険」というご意見に対し、今回の事業者選定は厳正な審査を経て行われました。

◆採点結果：外部有識者を含む旧常盤小学校公募提案審査委員会において、GIE社が80.4点（次

点78.4点)であり、事業内容、地域連携などの提案が総合的に評価されました。

◆契約内容：売買契約には「10年間の用途指定」と、違反した場合に札幌市が土地建物を買い戻すことができる「買戻し特約」が盛り込まれます。これにより、公共財産の適正な利用を担保しております。

◆売却価格：2,220万円という価格は、不動産鑑定士による適正な評価額（過去に4,710万円で公募不調だった経緯などを踏まえ、不動産鑑定士が建物の劣化状況等を考慮した再評価額）であり、特定の企業を優遇したものではありません。

【生活マナーの周知と教育】（札幌市・GIE社回答）

文化の違いによるトラブルを未然に防ぐため、札幌市が実施している「生活オリエンテーション」等の教材や動画を活用し、ごみの分別や騒音、交通ルールなどの日本の生活習慣を入学時および定期的に生徒・保護者へ周知します。また、国も地域社会のルール等を習熟するための取組の重要性を掲げておりますので、その動向を注視してまいります。

【反対運動と子どもたちの安全】（札幌市・GIE社回答）

「反対派による運動や子どもたちの安全」について、札幌市としても重く受け止めています。適法な意見表明は尊重されますが、生徒や近隣住民の平穏な生活を脅かすような過激な妨害行為やデモ等に対しては、札幌市が警察と緊密に連携し、子どもたちの安全確保を最優先に対応いたします。

2.1.5 生活習慣・マナーの違いに起因する不安（4件）

【警察・行政との連携】（札幌市回答）

「外国人が増えて治安が悪化するのではないか」、「警察は動いてくれるのか」という切実なご懸念に対し、札幌市では、北海道警察本部と「北海道警察・札幌市行政連絡会議」を定期的で開催しており、本校の開校に伴う地域のパトロール強化や安全対策についても、この公式なルートを通じて札幌市から警察へ直接要望・協議を行ってまいります。

【学校独自の警備とトラブル未然防止策】（GIE社回答）

「コンビニに溜まるのではないか」というご不安についてですが、生徒の指導を徹底します。

◆通学管理：生徒はスクールバスまたは保護者送迎での登下校が基本です。授業終了後は速やかに帰宅するため、生徒が放課後に地域内のコンビニ等に溜まったりすることはございません。

◆警備体制：校内には警備員を配置し、防犯カメラ等のセキュリティシステムを導入して24時間体制で厳重な施設管理を行います。

【マナーの周知や教育】（札幌市・GIE社回答）

「ルールを守らないことによる住みにくさ」への懸念に対し、事前の教育とルール周知で予防に努めます。

◆マナーの周知：学校では、ごみの分別や騒音、交通ルールなどの日本独自の生活習慣を入学時に指導します。また、札幌市では「外国籍市民が日本の生活習慣等を学ぶ場」として「生活

オリエンテーション」を実施するほか、国も地域社会のルール等を習熟するための取組の重要性を掲げておりますので、教育教材として活用してまいります。

◆日本語教育：GIE社では、日本の教科書を使った「日本語（国語）」の授業も行い、言語だけでなく日本の道徳やマナーについても教育します。

【トラブル解決の仕組み】（GIE社回答）

マナー違反等があった際、地域の方が直接外国人に注意するのはハードルが高いという点を踏まえ、学校内に「みんなの声ポスト（意見箱）」を常設します。お気づきの点は、直接当事者と接触することなく学校側に通報いただける仕組みを整え、学校が責任を持って指導・解決にあたります。

【生徒の実態と「インド人学校」への懸念】（GIE社回答）

「外国人が急増して治安が悪化する」というご懸念については、本校の実態は以下の通りです。

◆日本人生徒の割合：本校は特定の国籍に偏らないインターナショナルスクールであり、既存のワン・ワールド・インターナショナル・スクール大阪校では生徒の約54.7%、ワン・ワールド・インターナショナル・スクールつくば校では約82%が日本人の生徒です（2024年実績）。外国人のみが集まる学校ではありません。

◆居住実態：本事業は学校運営であり、学校周辺に特定の国籍の人々が集住する居住区を開発する計画は一切ございません。生徒は札幌市内全域や近郊の自宅から通学するため、常盤地区の人口構成が急激に変化し、日本人にとって住みづらくなるような状況は発生しません。

【公募選定の厳格性】（札幌市回答）

今回の事業者選定は外部有識者を含む旧常盤小学校公募提案審査委員会により、事業の確実性も含めて客観的な審査が行われました。採点結果は、GIE社が80.4点（次点78.4点）であり、事業内容、地域連携などの提案が総合的に評価され、最高得点を得たGIE社を優先交渉権者に選定しました。また、契約には「10年間の用途指定」と、違反時に札幌市が買い戻すことができる「買戻し特約」を設け、公共財産の適正な利用を担保しております。

2.1.6 反対運動や外部介入による治安悪化（8件）

【警察・行政との連携による厳正な対処】（札幌市回答）

「外部からの活動家による治安悪化が懸念される」などの地域住民の皆様の切実な声に対し、下記のとおり、安全確保に努めます。

◆警察連携：札幌市では、北海道警察本部と「北海道警察・札幌市行政連絡会議」を定期的開催しています。本事業に対する過激な反対運動や妨害行為が予想される場合は、この公式な枠組みを通じて、パトロールの強化や警備体制について警察へ直接要望・協議を行ってまいります。

◆過激な妨害行為への対応：表現の自由は尊重されますが、生徒や近隣住民の平穏な生活を脅かすような脅迫、暴力、過激な妨害行為に対しては、警察と緊密に連携し、法に基づき厳正に対処いたします。

【誤情報・誹謗中傷の是正】（札幌市回答）

根拠のない誹謗中傷に対し、札幌市としても対策を講じます。SNS等で拡散されている「インド人学校ができる」「学校裏にインドタウンができる」といった情報は事実と異なります。こうした誤った情報が不安や偏見を助長し、過激な行動の引き金とならないよう、札幌市公式ホームページ等を通じて、責任を持って「正しい情報」を発信し続けます。

【学校独自の警備と生徒の保護】（GIE社回答）

「通学してくる子どもたちに危害が及ぶのではないか」というご心配について、学校として生徒の安全を最優先に守ります。

◆警備体制：校内には警備員を配置し、防犯カメラ等のセキュリティシステムを導入して24時間体制で厳重な施設管理を行います。不審者の侵入を防ぐため、セキュリティゲートや入館管理を徹底します。

◆通学管理：生徒はスクールバスまたは保護者での送迎が基本です。教職員による見守りを行い、生徒がトラブルに巻き込まれるリスクを低減します。

【地域分断の防止と信頼回復】（札幌市回答）

「住民間の意見対立や分断」を懸念される声も重く受け止めています。今回のアンケート（全戸配布）では、複数のご懸念やご心配の声がある一方で、「地域の活性化に期待する」といった肯定的なご意見もいただいています。一部の過激な意見や誤情報によって地域が分断されることがないように、札幌市が正確な情報を発信するとともに、地域の皆様・札幌市・学校の3者からなる「地域連携協議会（仮称）」等により、地域との対話の場も作ってまいります。

2.2 交通渋滞・道路安全（32件）

2.2.1 公共交通（路線バス）との競合・混雑（3件）

【スクールバスおよび保護者送迎について】（GIE社回答）

「バスの本数を増やしてほしい」「路線バスが混雑するのではないか」というご懸念について、既存の路線バスに負担をかけ、地域住民の皆様の通勤・通学の足である公共交通機関の混雑を招かないよう、スクールバス及び保護者送迎を基本とした通学体制を整えます。開校当初は2台のスクールバスで運行を開始し、生徒数の増加に合わせてバスの台数やサイズを調整します。

【交通インフラへの影響】（札幌市回答）

「バスの減便で困っている」という地域の現状については認識しております。本事業に伴い、地域住民のバス利用に支障が出ないように、GIE社にはスクールバスの運行を基本とするよう求めています。なお、札幌市では、バス事業者への補助金交付等によりバス路線の維持に努めていますが、全国的な運転手不足により市内全域で路線バスの減便等が進んでいます。頂いたご意見はバス事業者にお伝えするとともに、今後もバス事業者と緊密に連携しながら運転手確保に向け様々な支援を行うなど、持続可能な公共交通ネットワークの確保に取り組んでまいります。

【敷地内での乗降による渋滞回避】（GIE社回答）

スクールバスの停車や保護者の送迎車による渋滞（通学時間帯の混雑）を防ぐため、敷地の一部をバスや車の通行・待機スペースとして整備します。送迎車両を敷地内に引き込み、路上での乗降や待機を厳禁とすることで、周辺の国道や生活道路の交通への影響を極力与えない運用を徹底します。

【時差通学と運行管理】（GIE社回答）

登下校の時間帯については、学年ごとに時間をずらす等の調整を行い、交通量のピークを分散させる対策を講じます。また、保護者へは送迎ルートやルールを定期的に案内し、交通誘導員を配置するなどして安全管理に努めます。

2.2.2 生活道路への侵入・違法駐車・マナー（5件）

【スクールバスの運行と公共交通への配慮】（GIE社回答）

「地域住民の利用するバスが混雑するのではないか」というご懸念に対し、既存の路線バスに負担をかけ、地域住民の皆様の生活の足である公共交通機関に混雑等の不便をきたさないよう、スクールバス及び保護者送迎を基本とした通学体制を整えます。

【行政による交通調整】（札幌市回答）

「バスの減便で困っている」という地域の現状については認識しております。本事業に伴い、地域住民のバス利用に支障が出ないように、GIE社にはスクールバスの運行を基本とするよう求めています。なお、札幌市では、バス事業者への補助金交付等によりバス路線の維持に努めていますが、全国的な運転手不足により市内全域で路線バスの減便等が進んでいます。頂いたご意見はバス事業者にお伝えするとともに、今後もバス事業者と緊密に連携しながら運転手確保に向け様々な支援を行うなど、持続可能な公共交通ネットワークの確保に取り組んでまいります。

【敷地内での乗降完結による渋滞・迷惑駐車防止】（GIE社回答）

「送迎車が住宅街を通らないようにしてほしい」、「路上駐車・違法駐車」への対策として、敷地の一部をバスや送迎車の通行・待機スペースとして整備します。送迎車両を学校敷地内に引き込み、路上での乗降や待機を厳禁とすることで、国道や周辺の生活道路の交通への影響を極力与えない運用を徹底します。また、登下校時には交通誘導員を配置し、安全管理に努めます。

【運転マナーの指導と生徒属性】（GIE社回答）

「運転マナーの懸念があるため保護者送迎を禁止してほしい」とのご意見ですが、送迎は重要な通学手段であるため一律禁止は想定しておりませんが、以下の対策を講じます。

◆ルールの徹底：入学時および定期的に、送迎ルートや日本の交通ルール（一時停止、歩行者優先等）に関する案内を保護者へ通知し、遵守を誓約させます。

◆生徒の属性：既存のワン・ワールド・インターナショナル・スクール大阪校では生徒の約54.7%、つくば校では約82%が日本人のご家庭です（2024年実績）。特定の国籍の生徒のみに偏

るわけではなく、また外国人保護者に対しても、警察との連携などを通じて日本の交通マナーを指導します。

【苦情・意見の受付窓口】（GIE社回答）

万が一、送迎車両による迷惑行為やマナー違反等にお気づきの際は、直接注意するリスクを負うことなく学校側へ通報いただけるよう、学校内に「みんなの声ポスト（意見箱）」を常設します。寄せられた情報は、地域の皆様・札幌市・学校の3者からなる「地域連携協議会（仮称）」等で共有し、速やかに是正措置を講じます。

2.2.3 通学手段・スクールバス運行計画への具体的疑問（5件）

【スクールバスおよび保護者送迎について】（GIE社回答）

「650人もの生徒がどう通学するのか」「どれだけのバスを用意できるのか」というご質問について、本校の生徒はスクールバスの運行および保護者の自家用車による送迎を基本とし通学する計画です。開校当初（生徒数約50名）は2台のスクールバスで運行を開始します。その後、2033年以降に最大定員約650名を目指す長期的な生徒増に合わせて、バスの台数やサイズ（大型バスの導入等）を順次拡大し、輸送体制を確保します。地域住民の皆様の足である路線バスに負担をかけ、既存交通機関の混雑を招かないよう責任を持って対応いたします。

【行政による交通インフラへの対応】（札幌市回答）

「バスの減便で困っている」という地域の切実な声については認識しております。本事業に伴い、地域住民のバス利用に支障が出ないよう、GIE社にはスクールバスの運行を基本とするよう求めています。なお、札幌市では、バス事業者への補助金交付等によりバス路線の維持に努めていますが、全国的な運転手不足により市内全域で路線バスの減便等が進んでいます。頂いたご意見はバス事業者にお伝えするとともに、今後もバス事業者と緊密に連携しながら運転手確保に向け様々な支援を行うなど、持続可能な公共交通ネットワークの確保に取り組んでまいります。

【敷地内での乗降による渋滞回避】（GIE社回答）

「送迎時の渋滞緩和」や「学校前の交通状況」に関するご懸念に対し、敷地の一部をバスや送迎車の通行・待機スペースとして整備します。送迎車両を学校敷地内に引き込み、路上での乗降や待機を厳禁とすることで、国道453号や周辺的生活道路の交通への影響を極力与えない運用を徹底します。これにより、登下校時の渋滞や交通事故のリスクを最小限に抑えます。

【運行管理と安全対策】（GIE社回答）

登下校の時間帯については、学年ごとに時間をずらす等の時差通学を行い、交通量のピークを分散させる対策を講じます。また、保護者へは送迎ルートやルールを定期的に案内し、交通誘導員を配置するなどして安全管理に努めます。冬期間の運行については、「日本の交通ルールや地域の雪道運転に精通した方（日本人・地元住民）」をバス運転手として優先的に採用し、安全な運行を確保します。

2.2.4 道路構造・地理的条件（一本道・冬期）に起因する問題（8件）

【敷地内での乗降完結による渋滞回避】（GIE社回答）

「片側1車線の国道で渋滞がひどくなる」「車両の出入りが難しい」という懸念に対し、徹底した運行管理を行います。

◆敷地内への引き込み：保護者の送迎車やスクールバスは、路上での乗降や待機を厳禁とし、敷地の一部を整備した待機スペースへ必ず引き込みます。これにより、国道や交差点付近での駐停車による交通阻害を防ぎます。

◆通学手段の分散：生徒数が最大650名になった際も、スクールバス（大型含む）の増便や時差通学により交通量を調整します。開校当初は約50名（バス2台程度）からスタートし、段階的にシミュレーションを行いながら台数を調整します。

【冬期間の安全運行と除雪】（GIE社回答）

「冬の渋滞や排雪」への懸念については、雪国での運行リスクを課題として認識しており、以下の対策を行います。

◆ドライバーの雇用：スクールバスの運転手には、「日本の交通ルールや地域の雪道運転に精通した方（日本人・地元住民）」を優先的に採用します。

◆運行管理：GPS等による位置情報管理を行い、遅延時には保護者とリアルタイムで連携します。また、敷地内の除雪・排雪はGIE社の責任において適切に行い、雪の堆積によって周辺道路の視界を遮らないよう管理します。

【スクールバスの利用と公共交通への配慮】（GIE社回答）

「バスが混んでいて乗れなくなる」「路線バスを使わないでほしい」という切実な声について、本校の生徒の通学は、地域住民の皆様の通勤・通学の足である公共交通機関の混雑を招かないよう、既存の路線バスに負担をかけないように、スクールバス及び保護者送迎を基本とした通学体制を整えます。

【行政による交通インフラ調整】（札幌市回答）

「バスの減便で困っている」という地域の現状は認識しております。本事業に伴い、地域住民のバス利用に支障が出ないように、GIE社にはスクールバスの運行を基本とするよう求めています。なお、札幌市では、バス事業者への補助金交付等によりバス路線の維持に努めていますが、全国的な運転手不足により市内全域で路線バスの減便等が進んでいます。頂いたご意見はバス事業者にお伝えするとともに、今後もバス事業者と緊密に連携しながら運転手確保に向け様々な支援を行うなど、持続可能な公共交通ネットワークの確保に取り組んでまいります。

【緊急車両の通行確保と校内体制】（GIE社回答）

渋滞等による緊急車両の遅れに関するご懸念については、以下の対策を行います。

◆交通誘導：登下校時や行事の際には交通誘導員を配置し、緊急車両の通行を妨げないように誘導を徹底します。

◆救急体制：教職員には応急手当の訓練を義務付け、養護教諭等を配置して救急車到着までの救命措置を確実に実行する体制（一時救命処置体制）を構築します。

【事故等の責任について】（札幌市回答）

万が一、本事業に起因して死傷事故等が発生した場合の補償については、法に基づき原因者が責任を負うことになります。札幌市としては、そうした事態を未然に防ぐため、警察署や道路管理者と連携し、必要な安全対策（パトロール強化等）を協議してまいります。

2.2.5 保護者の送迎・車両増加による渋滞への懸念（11件）

【敷地内での乗降完結による渋滞回避】（GIE社回答）

「国道453号に面しており、送迎車による渋滞が心配」「朝夕の混雑が不安」というご指摘について、地域住民の皆様の生活道路を塞ぐことがないように、対策を講じます。

◆敷地内への引き込み：保護者の送迎車やスクールバスは、路上での乗降や待機を厳禁とし、敷地の一部を整備した待機スペースへ必ず引き込みます。送迎車両を学校敷地内に誘導し、敷地内で乗降を完結させることで、周辺の国道や生活道路の交通への影響を極力与えない運用を徹底します。

◆誘導員の配置：登下校時には交通誘導員を配置し、車両のスムーズな出入りと安全確認を行います。

【スクールバスの運行と公共交通への配慮】（GIE社回答）

「バス減便の中で混雑が心配」「マイカー移動を減らしてほしい」という声にお応えします。

◆スクールバスの利用：本校の生徒は、スクールバスの運行および保護者の自家用車による送迎で通学する計画です。地域の皆様の足である路線バスに負担をかけ、公共交通機関の混雑を招かないよう、スクールバス及び保護者送迎を基本とした通学体制を整えます。

◆段階的な増便：開校当初（生徒数約50名）は2台のバスで運行を開始し、将来的（2033年以降、最大650名想定）には大型バスの導入や台数の調整を行い、生徒増に対応した輸送体制を構築します。

◆冬期対策：冬道の安全運行のため、スクールバスの運転手には「日本の交通ルールや地域の雪道運転に精通した方（日本人・地元住民）」を優先的に採用します。

【行政による交通インフラ調整】（札幌市回答）

「バスの減便で困っている」という地域の現状は認識しております。本事業に伴い、地域住民のバス利用に支障が出ないように、GIE社にはスクールバスの運行を基本とするよう求めています。なお、札幌市では、バス事業者への補助金交付等によりバス路線の維持に努めていますが、全国的な運転手不足により市内全域で路線バスの減便等が進んでいます。頂いたご意見はバス事業者にお伝えするとともに、今後もバス事業者と緊密に連携しながら運転手確保に向け様々な支援を行うなど、持続可能な公共交通ネットワークの確保に取り組んでまいります。

【外国人増加への懸念と学校の実態】（GIE社回答）

「外国人が増えて治安が悪化する」というご不安に対し、本校の実態をご説明します。

◆生徒の属性：本校は特定の国籍に偏らない多国籍校です。既存のワン・ワールド・インターナショナル・スクール大阪校では生徒の約54.7%、ワン・ワールド・インターナショナル・スクールつくば校では約82%が日本人の生徒です（2024年実績）。「外国人ばかりが増える」という状況ではなく、日本人のご家庭も多く通われる学校となります。

◆通学型：生徒は札幌市内全域や近郊の自宅から通学します。寄宿舍（寮）や保護者用住宅を建設する計画はなく、学校周辺に特定の国籍の人々が集住することはありません。

【警察・行政との連携支援】（札幌市回答）

治安への懸念に対し、札幌市として警察と連携した具体的な対策を講じます。札幌市では、北海道警察本部と「北海道警察・札幌市行政連絡会議」を定期的を開催しています。本校の開校に伴う地域のパトロール強化や安全対策についても、この公式なルートを通じて札幌市から警察へ直接要望・協議を行ってまいります。

【生活マナーと相談窓口】（GIE社・札幌市回答）

◆マナーの周知：学校では、ごみの分別や騒音、交通ルールなどの日本独自の生活習慣を入学時に指導します。また、札幌市では「外国籍市民が日本の生活習慣等を学ぶ場」として「生活オリエンテーション」を実施するほか、国も地域社会のルール等を習熟するための取組の重要性を掲げておりますので、教育教材として活用してまいります。

◆相談窓口：学校内に「みんなの声ポスト（意見箱）」を常設し、マナー違反等にお気づきの際は、直接注意するリスクを負うことなく学校側へ通報いただける仕組みを整えます。

2.3 公共交通（バス）の混雑(13件)

【スクールバスおよび保護者送迎について】（GIE社回答）

「路線バスを利用するのか」、「地域住民が乗れなくなるのではないか」というご懸念に対し、本校の生徒はスクールバスの運行および保護者の自家用車による送迎で通学する計画であり、既存の路線バスに負担をかけることは想定しておりません。開校当初は2台のスクールバスで運行を開始し、生徒数の増加に合わせてバスの台数やサイズを調整することで、地域住民の皆様の方である公共交通機関の混雑を招かないよう、スクールバス及び保護者送迎を基本とした通学体制を整えます。

【交通インフラへの対応】（札幌市回答）

「バスの減便で困っている」、「増便してほしい」という地域の切実な声については認識しております。地域住民のバス利用に支障が出ないよう、GIE社からはスクールバスの運行を基本とする旨伺っております。なお、札幌市では、バス事業者への補助金交付等によりバス路線の維持に努めていますが、全国的な運転手不足により市内全域で路線バスの減便等が進んでいます。頂いたご意見はバス事業者にお伝えするとともに、今後もバス事業者と緊密に連携しながら運転手確保に向け様々な支援を行うなど、持続可能な公共交通ネットワークの確保に取り組んでまいります。

【敷地内での乗降による渋滞回避】（GIE社回答）

将来的に生徒数が最大650名になった際の交通負荷についてですが、保護者の自家用車による送迎で国道や生活道路が渋滞しないよう、敷地の一部をバスや車の通行・待機スペースとして整備します。送迎車両を敷地内に引き込み、路上での乗降や待機を厳禁とすることで、周辺の道路の交通への影響を極力与えない運用を徹底します。

【時差通学と運行管理】（GIE社回答）

登下校の時間帯については、学年ごとに時間をずらす等の調整を行い、交通量のピークを分散させる対策を講じます。また、保護者へは送迎ルートやルールを定期的に案内し、交通誘導員を配置するなどして安全管理に努めます。

【冬道に精通したドライバーの採用】（GIE社回答）

「冬の峠道で安全に運行できるのか」という点については、雪国での運行リスクを十分に認識し対策を行います。スクールバスの運転手については、「日本の交通ルールや地域の雪道運転に精通した方（日本人・地元住民）」の採用を最優先としています。地域雇用の創出という観点からも、地元の道路事情を熟知した方のお力をお借りしたいと考えております。

【運行管理と安全対策】（GIE社回答）

ホワイトアウトや渋滞等によるスクールバスの遅延が予想される場合は、無理な運行を行わず安全を最優先にする判断基準を設けます。また、GPS等によるバス位置情報システムを導入し、遅延状況を保護者とリアルタイムで共有する体制を整え、冬期間でも確実な通学手段を確保します。

2.4 説明不足・合意形成（29件）

2.4.1 プロセスへの不信感・住民軽視（14件）

【公募プロセスの経緯と周知範囲】（札幌市回答）

「勝手に決められた」、「住民の声が軽視されている」というご不信を招いたことについて、旧常盤小学校の跡活用は、2020年から地域の代表やPTA役員等で構成される「芸術の森地区学校跡活用検討会議」において、数年にわたり検討を重ねてまいりました。その結果、「地域コミュニティの維持・向上」や「避難場所の確保」を条件とすることを決定し、過去2回の公募不調を経て、今回の3回目の公募でGIE社を選定いたしました。その経過はニュースレターの回覧や札幌市公式ホームページでお知らせしてまいりました。

「サンブライght町内会への通知が遅れた」等のご指摘については、これまで主に対象校区（旧常盤小・旧石山東小）を中心に回覧で周知を行ってきたため、同じ区域を対象に回覧を行いましたが、今後は、地域の皆様への情報提供が不十分であったとのご指摘を踏まえ、適切なタイミング・方法で情報提供できるよう心掛けてまいります。

【「開発業者への注文」ではなく「対等な審査」】（札幌市回答）

GIE社は札幌市の下請け開発業者ではなく、公募により選定された事業主体です。今回の事業者選定は外部有識者を含む旧常盤小学校公募提案審査委員会により、事業の確実性も含めて客観的な審査が行われました。採点結果は、GIE社が80.4点（次点78.4点）であり、事業内容、地域連携などの提案が総合的に評価され、最高得点を得たGIE社を優先交渉権者に選定しました。

【全戸配布による正確な情報提供の優先について】（札幌市・GIE社回答）

「改めて住民説明会を開催してほしい」というご要望を一部の方からいただいております。しかしながら、9月に開催した説明会では会場が混乱し、十分な説明や質疑応答ができない事態となりました。また現在、SNS等で「インド人学校ができる」「学校裏にインドタウンができる」といった事実と異なる情報が拡散しております。そのため、限られた人数しか参加できない対面の説明会よりも、「正しい情報を、地域の全世帯に、文字として確実にお届けすること」を最優先とし、今回の全戸配布（GIE社事業計画書、質疑応答集及び意見収集はがき）を実施いたしました。

【脅迫、暴力を伴う過激な妨害行為への対策と透明性の確保】（札幌市回答）

「脅迫、暴力を伴う過激な妨害行為」について、札幌市としても懸念しております。地域分断を防ぐため、北海道警察本部との「北海道警察・札幌市行政連絡会議」等の枠組みを活用して、過激な妨害行為や治安対策について協議・連携を行います。また、今後の対話の場として、地域住民、GIE社、札幌市の3者からなる「地域連携協議会（仮称）」を設置し、事業者任せにせず、札幌市もメンバーとして参加し、透明性の高い協議を継続します。

【契約による制限】（札幌市回答）

契約による制限：売買契約には「10年間の用途指定（インターナショナルスクールとしての運営義務）」と、違反時に札幌市が土地建物を買い戻すことができる「買戻し特約」が盛り込まれます。これにより、公共財産の適正な利用を担保しております。

【売却価格の正当性】（札幌市回答）

「安すぎる」とのご指摘ですが、2,220万円という価格は、過去2回（4,710万円）の公募で応募がなかった経緯を踏まえ、不動産鑑定士が建物の劣化状況等を考慮して算定した適正な評価額です。特定の企業を優遇した価格ではありません。

【特定の国籍の方の集住の否定と通学の実態】（GIE社回答）

「特定の国籍の方の集住」というご懸念に対し、明確に否定いたします。本事業は学校運営であり、外国人労働者の受け入れや、学校周辺に特定の国籍の人々が集住する居住区を開発する計画は一切ございません。生徒は札幌市内全域や近郊の自宅からスクールバス等で通学します。寄宿舍（寮）も建設しないため、常盤地区の人口構成が急変し、地域の方々にとって住みづらくなるような状況は発生しません。

【住民への具体的メリット】（GIE社回答）

地域住民の皆様への還元として、以下の取組を行います。

- ◆防災：体育館を災害時の緊急避難場所として開放します。
- ◆施設開放：学校運営に支障のない範囲で、グラウンドや体育館を地域団体に開放します。
- ◆防犯：校内に「みんなの声ポスト（意見箱）」を設置し、マナー違反等の苦情を直接学校へ通報できる窓口を設けます。また、独自の警備体制により24時間監視を行います。
- ◆教育：夏休み等のサマースクールや放課後プログラムを地域のお子様にも開放し、英語教育の機会を提供します。

2.4.2 周知不足・情報伝達の遅れ（6件）

【検討の経緯と住民代表との協議】（札幌市回答）

「聞いていない」「勝手に決められた」というご不信を招いたことに対し、ご説明いたします。旧常盤小学校の跡活用については、突然決定したものではなく、2020年（令和2年）から地域の代表やPTA役員等で構成される「芸術の森地区学校跡活用検討会議」において、数年にわたり検討を重ねてまいりました。その中で「地域コミュニティの維持・向上」や「避難場所の確保」を公募条件とすることを決定し、過去2回の公募不調を経て、今回の3回目の公募でGIE社を選定いたしました。その経過はニュースレターの回覧や札幌市公式ホームページでお知らせしてまいりました。これまでは主に対象校区（旧常盤小・旧石山東小）や検討会議を中心に回覧で周知を行っていましたが、今後は、地域の皆様への情報提供が不十分であったとのご指摘を踏まえ、適切なタイミング・方法で情報提供できるよう心掛けてまいります。

【全戸配布による情報格差の解消】（札幌市回答）

地域への周知不足を解消するため、現在は配布対象を芸術の森地区連合会の全区域（約5,000世帯）へ拡大し、事業計画書および質疑応答集の全戸配布を実施いたしました。インターネット等で不正確な情報が発信されている現状を踏まえ、まずは正しい情報を全ての世帯へお届けし、ハガキ等で広くご意見を伺うことで、丁寧な説明と合意形成を図ってまいります。

【「インド人学校・インドタウン」の否定】（札幌市回答）

「インド人学校ができる」、「学校裏にインドタウンができる」といった情報が拡散されていますが、これは事実と異なります。

◆分譲地について：学校周辺で販売されている分譲宅地（グリーントウン芸術の森）は、市内の民間事業者が本件公募前から開発していたものであり、今回のインターナショナルスクール計画とは一切無関係です。

◆学校の性質：GIE社の計画は、多様な国籍の生徒を受け入れるインターナショナルスクールであり、特定の国籍のみを対象とした学校や、外国人労働者の研修施設ではありません。

【居住の実態と地域への影響】（GIE社回答）

「外国人問題が常盤地区で発生した場合、被害が甚大になる」とのご懸念ですが、本校は学校運営のみを行い、敷地内に寄宿舍（寮）や保護者用住宅を建設する計画はございません。生徒は札幌市内全域や近郊の自宅からスクールバス等で通学します。したがって、常盤地区に通学するご家庭の方が新たに集住するような事態は発生しません。

【選定の公平性と契約による歯止め】（札幌市回答）

「出来レース」、「無責任行政」とのご批判についてですが、選定プロセスは公正に行われました。今回の事業者選定は外部有識者を含む旧常盤小学校公募提案審査委員会により審査が行われました。採点結果は、GIE社が80.4点（次点78.4点）であり、事業内容、地域連携などの提案が総合的に評価され、最高得点を得たGIE社を優先交渉権者に選定しました。また、将来的なリスクに対しては、売買契約に「10年間の用途指定」と、違反時に札幌市が買い戻すことができる「買戻し特約」を盛り込みます。これにより、公共財産の適正な利用を担保しております。

【住民意識の分析】（GIE社回答）

「誰も望んでいない」とのご意見ですが、今回の全戸配布に伴うアンケートでは、懸念の声がある一方で、「地域の活性化に期待する」「廃墟になるより活用してほしい」といった賛成・中立のご意見も多数寄せられています。反対のご意見については重く受け止めつつ、地域の方々からの幅広いご理解を得られるよう、誠実な学校運営に努めます。

2.4.3 説明内容の不備・範囲への不満（4件）

【全戸配布による正確な情報提供と周知エリアの拡大】（札幌市回答）

「説明が不十分」、「周知範囲が狭い」というご指摘について、これまで主に対象校区（旧常盤小・旧石山東小）を中心に回覧で周知を行ってまいりましたが、今回実施した意見収集の取組では配布対象を「芸術の森地区連合会の全区域（約5,000世帯）」（常盤、石山東、駒岡、サンブライト真駒内、滝野など12単町区域）へ拡大し、GIE社の事業計画書及び質疑応答集の全戸配布を実施いたしました。また、インターネット等で不正確な情報が発信されている現状を踏まえ、まずは正しい公式情報をより広い範囲の世帯へお届けし、ハガキ等で広くご意見を伺ったところです。

【再度の説明会よりも情報の確実な伝達を優先することについて】（札幌市・GIE社回答）

「説明会を再度行うべき」とのご意見を一部の方からいただいておりますが、9月に開催した説明会では会場が混乱し、十分な説明や質疑応答ができない事態となりました。そのため、限られた人数しか参加できない対面の説明会方式で再度行うよりも、まずは「正しい情報を、地域の全世帯に、文字にて確実にお届けすること」を最優先としております。いただいたご質問に対しては、今後、札幌市のホームページ等で責任を持って公式回答を公表し、説明責任を果たしてまいります。

【トラブルへの具体的対策と責任の所在】（札幌市・GIE社回答）

「外国人が問題を起こした場合どうするのか」、「トラブル発生時の責任」について、具体的な仕組みで対応します。

◆マナーの周知：学校では、ごみの分別や騒音、交通ルールなどの日本独自の生活習慣を入学時に指導します。また、札幌市では「外国籍市民が日本の生活習慣等を学ぶ場」として「生活オリエンテーション」を実施するほか、国も地域社会のルール等を習熟するための取組の重要性を掲げておりますので、教育教材として活用してまいります。

◆解決の仕組み：学校内に「みんなの声ポスト（意見箱）」を常設し、マナー違反等にお気づきの際は、直接当事者と接触することなく学校側に通報いただける窓口を設けます。寄せられた声は「地域連携協議会（仮称）」等で共有し、学校が責任を持って指導・是正にあたります。

◆法的対応：万が一、学校関係者による事件・事故等の法令違反があった場合は、国籍に関わらず法に基づき厳正に対処されるべきものであり、札幌市としても警察等の関係機関と連携いたします。

【地域への具体的なメリット】（GIE社回答）

地域住民の皆様へのメリットとして、以下の取組を計画しております。

- ◆防災：体育館を災害時の緊急避難場所として開放します。
- ◆施設開放：学校運営に支障のない範囲で、グラウンドや体育館を地域団体に開放します。
- ◆教育：夏休み等のサマーキャンプや放課後プログラムを地域のお子様にも開放し、英語教育の機会を提供します。

【生徒の実態と多国籍校としての実績】（GIE社回答）

私たちは当初より特定の国籍に偏らないインターナショナルスクール（ワン・ワールド・インターナショナル・スクール）を提案しており、「インド人学校」という情報はSNS等での誤解に基づくものです。その根拠として、私たちが運営する既存校の実績（2024年時点）を提示いたします。

- ◆ワン・ワールド・インターナショナル・スクール大阪校：日本人 約54.7%
- ◆ワン・ワールド・インターナショナル・スクールつくば校：日本人 約82%

このように、日本人生徒が過半数を占めており、また、さまざまな外国籍の生徒も在籍していることから、特定の国籍の方で構成される閉鎖的なコミュニティになることはありません。今後も正確なデータに基づき、事実をお伝えし続けます。

2.4.4 報道・SNS・外部の声と実態の乖離（5件）

【報道による「反対意見」の切り取りについて】（札幌市回答）

報道機関の編集内容に札幌市が関与することはできませんが、札幌市としては、報道で注目されやすい一部の感情的な場面だけでなく、住民の皆様が抱く不満、不安、疑問などのご意見を冷静に受け止めております。また、賛成・反対を含め、多様な立場の意見が共存している現状を十分に認識しています。なお、建設的な議論を阻害するような差別的言動（ヘイトスピーチ）に対しては、地域住民の安心と発言の自由を守る観点から、毅然とした対応をとる方針です。地域の皆様のご意見等は、今回実施した意見収集の取組や今後新たに設置する「地域連携協議会（仮称）」などを通じて、広く声を吸い上げ、寄せられた不安や懸念については、皆様への丁寧な説明と対話を積み重ね、課題解決に取り組んでまいります。

2.5 宗教・文化摩擦（31件）

2.5.1 生活様式・価値観の相違と「地域の外国化」への懸念（12件）

【「生活オリエンテーション」の徹底とルール遵守】（札幌市・GIE社回答）

「文化や価値観の違いによる衝突」を未然に防ぐため、以下の対策を徹底します。

- ◆マナーの周知：学校では、ごみの分別や騒音、交通ルールなどの日本独自の生活習慣を入学時に指導します。また、札幌市では「外国籍市民が日本の生活習慣等を学ぶ場」として「生活オリエンテーション」を実施するほか、国も地域社会のルール等を習熟するための取組の重要性を掲げておりますので、教育教材として活用してまいります。

- ◆学校での指導：GIE社では、日本の教科書を使った「日本語（国語）」の授業も行い、言語だけでなく日本の道徳やマナーについても教育カリキュラムの中で指導します。
- ◆多言語啓発：札幌市は北海道警察本部に対し、外国人への交通安全マナー啓発について協議を行い、多言語による注意喚起等で連携します。

【トラブル解決の仕組みと相談窓口】（GIE社回答）

「摩擦が起きた時の対処」について、地域住民の皆様が直接当事者とトラブルになることを避ける仕組みを作ります。

- ◆「みんなの声ポスト」の設置：学校内に専用の意見箱（みんなの声ポスト）を常設し、マナー違反等にお気づきの際は、直接注意するリスクを負うことなく学校側へ通報いただける窓口を設けます。
- ◆地域連携協議会（仮称）：行政・地域・学校の3者で構成する「地域連携協議会（仮称）」を設置し、定期的に問題を共有・解決する場を設けます。
- ◆日本語対応：全教職員の約40%を日本語対応可能なスタッフとする計画であり、言葉の壁によるコミュニケーション不全を防ぎます。

【特定の居住区を作る計画について】（GIE社回答）

「外国人が常盤に集まってくる」、「ニセコのようにになる」というご懸念に対し、本事業の実態をご説明します。

- ◆居住実態：本事業は学校運営であり、学校周辺に特定の国籍の人々が集住する居住区（ヤード等）を開発する計画は一切ございません。敷地内に寄宿舍（寮）や教員住宅も建設しません。
- ◆通学型：生徒は札幌市内全域や近郊の自宅からスクールバス（開校時2台予定）等で通学します。したがって、常盤地区の人口構成が急変し、地域の方々にとって住みづらくなるような状況は発生しません。
- ◆近隣の分譲地：学校裏で販売されている宅地（グリーンタウン芸術の森）は、本件公募前から開発されていたものであり、インターナショナルスクール計画とは無関係です。

【生徒の属性と「多国籍校」としての実績】（GIE社回答）

「外国人が莫大に多くなる」というご懸念について、既存校の実績は以下の通りです。

- ◆ワン・ワールド・インターナショナル・スクール大阪校：日本人 約54.7%
 - ◆ワン・ワールド・インターナショナル・スクールつくば校：日本人 約82%
- このように、日本人生徒が過半数を占めており、また、さまざまな外国籍の生徒も在籍していることから、特定の国籍の方で構成される閉鎖的なコミュニティになることはありません。

【警察との連携と厳正な対処】（札幌市回答）

「外国人家族により外国化されては困る」「トラブルが増える」という不安に対し、法に基づき毅然と対応します。

- ◆警察連携：札幌市と道警本部による「北海道警察・札幌市行政連絡会議」の枠組みなどを活用し、本校開校に伴うパトロール強化等を札幌市から警察へ直接要望します。
- ◆法令順守：学校関係者による事件・事故等の法令違反については、国籍に関わらず法に基づ

き厳正に対処されるべきものであり、札幌市としても警察等の関係機関と連携して地域の安全を守ります。

2.5.2 相互理解・交流・共生への期待と要望（8件）

【イベント開催と施設開放による「顔の見える関係」づくり】（GIE社回答）

「国際色豊かな地域になることを望む」、「文化を知る場があるといい」という温かいご期待をいただき、大変励みになります。私たちは、地域の方々と生徒が自然に交流し、お互いの文化を尊重し合える関係づくりを目指します。

◆交流イベント：既存のワン・ワールド・インターナショナル・スクール大阪校では、「スプリングカーニバル」や「夏祭り」などの学校行事に地域住民の皆様をご招待し、生徒によるパフォーマンスや出店を通じて交流を深めています。札幌校でも同様に、地域の皆様に参加いただけるイベントを年1回程度開催する計画です。

◆施設開放：学校運営に支障のない範囲で、グラウンドや体育館を地域のスポーツ少年団やサークル活動等に開放します。こうした日常的な接点を通じて、生徒や保護者が地域の皆様と顔を合わせる機会を創出します。

【「地域連携協議会（仮称）」を通じた対話】（札幌市・GIE社回答）

お互いを知らないことによる偏見を防ぐため、地域の皆様・札幌市・学校の3者で構成する「地域連携協議会（仮称）」を設置します。地域の皆様とは定期的に顔を合わせ、学校の活動状況を報告したり、地域の行事への参加を相談したりすることで、相互理解を深める場として機能させます。

【「生活オリエンテーション」によるルール周知】（札幌市回答）

札幌市では「外国籍市民が日本の生活習慣等を学ぶ場」として「生活オリエンテーション」を実施しております。また、国も地域社会のルール等を習熟するための取組の重要性を掲げておりますので、その動向を注視してまいります。

【学校による生活指導と相談窓口】（GIE社回答）

「話し合いで解決できる」との信頼にお応えできるよう、学校としても責任を持って指導にあたります。

◆日本語・文化教育：日本の国語教科書を使った授業を行い、言語だけでなく日本の道徳やマナーについても教育カリキュラムの中で指導します。

◆みんなの声ポスト：万が一、生活習慣の違いによる摩擦が生じた場合に備え、学校内に「みんなの声ポスト（意見箱）」を常設します。直接言いづらいことでも学校側にお伝えいただける窓口を設けることで、大きなトラブルになる前に対処します。

【摩擦の防止と教育的連携】（GIE社回答）

「地元の小中学校との摩擦」というご懸念について、私たちは対立ではなく協調を目指します。

◆地域への開放：在校生以外のお子様（地域の小中学生等）も参加できる「放課後プログラム」や「サマーキャンプ」を実施する計画です。地元の子どもたちが英語や国際教育に触れる

機会を提供することで、子ども同士の自然な交流を促し、心理的な壁を取り除きます。

◆トラブル防止：通学時のマナーや行動については、スクールバスの運行や保護者への指導を通じて管理し、地元の児童・生徒の通学や学校生活に影響を与えないよう配慮します。

2.5.3 特定の国籍・移民政策への強い拒否感（11件）

【「多国籍校」としての実態と移民政策との区別】（GIE社・札幌市回答）

（GIE社回答）

「中国やインドなど特定のアジア系に偏るのではないか」、「反日的な人が来るのではないか」という懸念の声をいただいておりますが、ワン・ワールド・インターナショナル・スクールは、特定の国籍や宗教に偏らない多国籍共生を理念としています。実際に、私たちが日本国内で運営する既存校の生徒国籍比率（2024年実績）は以下の通りです。

◆ワン・ワールド・インターナショナル・スクール大阪校：日本 約54.7%、中国 約30%、欧米豪 約10%、その他

◆ワン・ワールド・インターナショナル・スクールつくば校：日本 約82%、モンゴル 約9%、中国 約7%

このように、日本人生徒が過半数を占めており、「特定国籍の村」や「インド人学校」になるという情報は事実ではありません。また、本校は教育施設であり、政治的な思想教育を行う場ではありません。

（札幌市回答）

北海道・札幌市は令和6年6月に、国家戦略特別区域諮問会議において、北海道が国家戦略特区に指定されるとともに、北海道・札幌市がGX金融・資産運用特区（現：北海道・札幌 GX/AI金融・資産運用特区）として指定されました。

インターナショナルスクールは、上述した北海道・札幌 GX金融・資産運用特区の推進に向けた高度人材受入のための教育環境整備に資するものであり、量的な労働力の受け入れ拡大を目的とした「移民政策」ではなく、就労ビザの発給要件緩和等とも一切関係ありません。

【生活ルールの徹底と相談窓口の設置】（札幌市・GIE社回答）

「宗教の違いによる争い」「ごみや騒音」への懸念に対し、以下の取組みにより対応します。

◆マナーの周知：学校では、ごみの分別や騒音、交通ルールなどの日本独自の生活習慣を入学時に指導します。また、札幌市では「外国籍市民が日本の生活習慣等を学ぶ場」として「生活オリエンテーション」を実施するほか、国も地域社会のルール等を習熟するための取組の重要性を掲げておりますので、教育教材として活用してまいります。

◆宗教への対応：学校運営は国際的な教育カリキュラムである国際バカロレア（IB）等に基づいて行われ、特定の宗教行事を地域社会に強要したり、道路を封鎖して礼拝を行うようなことはございません。

◆相談窓口：万が一、マナー違反やトラブルが発生した際に備え、学校内に「みんなの声ポスト（意見箱）」を常設します。地域住民の方が直接当事者に注意するリスクを負うことなく、学校側に通報・相談できるルートを確保し、学校が責任を持って指導します。

【治安維持と警察連携】（札幌市回答）

札幌市と北海道警察本部による「北海道警察・札幌市行政連絡会議」の枠組みなどを活用し、本校開校に伴うパトロール強化等を札幌市から警察へ直接要望します。法令違反等があれば、国籍や宗教に関わらず厳正に対処されるよう連携します。

【正確な情報発信による冷静な環境づくり】（札幌市回答）

「ヘイトを煽る動きが不安」、「説明会での態度が怖かった」というご意見について、札幌市としても重く受け止めています。現在、SNS等で拡散されている「インド人学校ができる」「学校裏にインドタウンができる」といった情報は事実と異なります。こうした誤情報が不安や偏見を助長し、地域分断を生まないよう、札幌市公式ホームページや今回の全戸配布資料を通じて、責任を持って「正しい情報」を発信し続けます。また、地域の皆様・札幌市・学校の3者からなる「地域連携協議会（仮称）」を立ち上げ、地元の皆様との継続的な対話の場を設けます。

【日本人家庭に選ばれる教育水準】（GIE社回答）

「日本人が高い授業料を払って来るわけがない」とのご指摘ですが、現状は異なります。大阪校やつくば校では日本人生徒が過半数（54.7%～82%）を占めています。これは、「探究型学習」や「英語環境」を求めて本校を選択する日本人家庭が一定数いらっしゃることに由来するものです。

本校の幼稚部（3～5歳）は、国の「幼児教育・保育の無償化」の対象となる予定です。これにより、地域の子育て世帯にとっても選択肢の一つとなり得ます。国際的な教育カリキュラムである国際バカロレア（IB）等による、グローバルな進路（国内外の難関大学等）を目指すための教育機関として運営されます。

2.6 生活マナー・ルール・環境（26件）

2.6.1 ごみ出し・騒音・公共マナーへの具体的懸念（14件）

【「生活オリエンテーション」の実施と相談窓口の設置】（札幌市・GIE社回答）

「ごみ出しや騒音等のルールが守られるか不安」「なってからでは遅い」というご懸念に対し、以下の対応を行います。

◆マナーの周知：学校では、ごみの分別や騒音、交通ルールなどの日本独自の生活習慣を入学時に指導します。また、札幌市では「外国籍市民が日本の生活習慣等を学ぶ場」として「生活オリエンテーション」を実施するほか、国も地域社会のルール等を習熟するための取組の重要性を掲げておりますので、教育教材として活用してまいります。

◆学校での指導：GIE社では、日本の国語教科書を使った「日本語」の授業も行い、言語だけでなく日本の道徳やマナーについても教育カリキュラムの中で指導します。

◆相談窓口：万が一、マナー違反やトラブルが発生した際に備え、学校内に「みんなの声ポスト（意見箱）」を常設します。地域住民の方が直接当事者に注意するリスクを負うことなく、学校側に通報・相談できるルートを確保し、学校が責任を持って指導・解決にあたります。

【警察への要望ルート】（札幌市回答）

「治安が悪化する」「警察との連携とは具体的に何か」という点について、実効性のある対策を講じます。

◆警察連携：札幌市と北海道警察本部による「北海道警察・札幌市行政連絡会議」の枠組みなどを活用し、パトロール強化等を要望します。

◆法令順守：学校関係者による事件・事故等の法令違反については、国籍に関わらず法に基づき厳正に対処されるべきものであり、札幌市としても警察等の関係機関と連携して地域の安全を守ります。

【居住区を作る計画はなく、日本人も多い学校です】（GIE社回答）

「外国人が増えて環境が変わる」、「外国人の集住区域ができる」というご懸念に対し、本事業の実態をご説明します。

◆居住実態：本事業は学校運営であり、学校周辺に特定の国籍の人々が集住する居住区（ヤード等）を開発する計画は一切ございません。敷地内に寄宿舍（寮）や教員住宅も建設しません。

◆通学型：生徒は札幌市内全域や近郊の自宅からスクールバス（開校時2台予定）等で通学します。したがって、常盤地区の人口構成が急変し、日本人にとって住みづらくなるような状況は発生しません。

◆生徒属性：「外国人の生徒ばかりになるのでは」というご意見については、既存のワン・ワールド・インターナショナル・スクール大阪校では生徒の約54.7%、ワン・ワールド・インターナショナル・スクールつくば校では約82%が日本人の生徒です（2024年実績）。このように、日本人生徒が過半数を占めており、また、さまざまな外国籍の生徒も在籍していることから、特定の国籍の方で構成される閉鎖的なコミュニティになることはありません。

【契約による歯止め】（札幌市回答）

「数年後どうなるかわからない」という不安に対し、売買契約には「10年間の用途指定」と、違反時に札幌市が土地建物を買い戻すことができる「買戻し特約」が盛り込まれます。これにより、公共財産の適正な利用を担保しております。

2.6.2 トラブル対応の実効性と責任所在への不信（8件）

【法令違反への厳正な対処と契約による担保】（札幌市回答）

「曖昧な対処では困る」、「札幌市が責任を取るのか」というご指摘についてですが、万が一、学校関係者による事件・事故等の法令違反があった場合は、国籍に関わらず法に基づき厳正に対処されるべきものであり、札幌市としても警察等の関係機関と連携して対応します。また、ご要望にある「地域とのトラブル発生時には、即契約無効」という取り交わしは法的に困難ですが、事業者との売買契約には「10年間の用途指定」と、違反した場合に札幌市が土地建物を買い戻すことができる「買戻し特約」を盛り込みます。これにより、公共財産の適正な利用を担保しております。

【警察・行政の連携体制】（札幌市回答）

治安や交通ルールへの懸念に対しては、札幌市と北海道警察本部による「北海道警察・札幌市行政連絡会議」の枠組みなどを活用し、本校開校に伴うパトロール強化等を札幌市から警察へ直接要望します。

【学校教育としてのマナー指導】（GIE社回答）

本校は不特定多数の外国人が出入りする民泊等の観光施設ではなく、在籍生徒が決まっている教育機関です。したがって、生徒に対し責任を持って以下の指導を行います。

◆日本語・道德教育：日本の国語教科書を使った授業を行い、言語だけでなく日本の道德やマナーについても教育カリキュラムの中で指導します。

◆マナーの周知：学校では、ごみの分別や騒音、交通ルールなどの日本独自の生活習慣を入学時に指導します。また、札幌市では「外国籍市民が日本の生活習慣等を学ぶ場」として「生活オリエンテーション」を実施するほか、国も地域社会のルール等を習熟するための取組の重要性を掲げておりますので、教育教材として活用してまいります。

◆学校での指導：GIE社では、日本の国語教科書を使った「日本語」の授業も行い、言語だけでなく日本の道德やマナーについても教育カリキュラムの中で指導します。

◆体制：全教職員の約40%を日本語対応可能なスタッフとする計画であり、生徒や保護者への指導が言語の壁で疎かになることを防ぎます。

【情報発信】（札幌市回答）

札幌市では外国籍市民を特別視せず地域の一員として連携していくための施策を検討しており、単なる情報発信にとどまらず、地域の皆様（町内会等）と連携してルール遵守を促す環境づくりを進めます。

【運転手の雇用】（GIE社回答）

スクールバスの運転手については、「日本の交通ルールや地域の雪道運転に精通した方（日本人・地元住民）」の採用を最優先としています。「あくまで予定」とのご懸念ですが、冬道の安全運行は学校運営の生命線であり、地理に不案内な外国人を採用することはリスク管理上の関連から想定しておりません。

【「みんなの声ポスト」と「地域連携協議会（仮称）」】（GIE社回答）

「騒音苦情への対応」や「改善プロセス」について、以下の仕組みを設置し、責任を持って対応します。

◆みんなの声ポスト：学校内に専用の意見箱（みんなの声ポスト）を常設します。騒音やマナー違反等にお気づきの際は、直接当事者とトラブルになることを避け、この窓口を通じて学校側に通報いただけます。

◆地域連携協議会（仮称）：地域の皆様・札幌市・学校の3者で構成する「地域連携協議会（仮称）」を定期的に開催し、寄せられた苦情や課題に対する改善策を協議・報告します。

◆対応フロー：苦情を受付次第、事実確認を行い、該当する生徒・保護者への指導を行います。その結果については地域連携協議会等を通じて地域へ報告し、改善が見られない場合は退学勧告等の厳しい措置も含めて対応します。

2.6.3 ルールの周知・教育・交流の要望（4件）

【日本のルールを守る教育の実施】（GIE社回答）

「日本のルールを守ってほしい」という当然のご要望に対し、学校教育の中で責任を持って指導します。

◆マナーの周知：学校では、ごみの分別や騒音、交通ルールなどの日本独自の生活習慣を入学時に指導します。また、札幌市では「外国籍市民が日本の生活習慣等を学ぶ場」として「生活オリエンテーション」を実施するほか、国も地域社会のルール等を習熟するための取組の重要性を掲げておりますので、教育教材として活用してまいります。

◆カリキュラム：日本の国語教科書を使った授業を行い、言語だけでなく日本の道徳やマナーについても教育カリキュラムの中で指導します。

◆相談窓口：万が一、マナー違反等にお気づきの際は、直接当事者とトラブルになることを避けるため、学校内に設置する「みんなの声ポスト（意見箱）」へ通報いただき、学校が責任を持って指導・解決にあたります。

【警察・行政との連携】（札幌市回答）

治安や秩序への不安に対し、札幌市として実効性のある対策を講じます。札幌市と北海道警察本部による「北海道警察・札幌市行政連絡会議」の枠組みなどを活用し、パトロール強化等を要望します。

【特定の居住区を作る計画との懸念】（GIE社回答）

「学校の近くに外国人が集まってくるのではないか」「外国人によるルールが形成される」というご懸念について、明確に否定いたします。

◆通学型：生徒は札幌市内全域や近郊の自宅からスクールバス（開校時2台予定）等で通学します。敷地内に寄宿舍（寮）や教員住宅を建設する計画はなく、学校周辺に特定の国籍の人々が集住する居住区を開発することはありません。

◆近隣の分譲地：学校裏で販売されている宅地（グリーンタウン芸術の森）は、本件公募前から地元の民間事業者が開発していたものであり、今回のインターナショナルスクール計画とは一切無関係です。

【生徒の属性と「移民・難民」との違い】（GIE社回答）

「ヨーロッパのような移民難民の流入」を心配されていますが、本校は高度な教育カリキュラムを提供する私立学校であり、就労目的の移民受け入れ施設ではありません。実際に、私たちが運営する既存校の実績（2024年時点）は以下の通りです。

◆ワン・ワールド・インターナショナル・スクール大阪校：日本人 約54.7%

◆ワン・ワールド・インターナショナル・スクールつくば校：日本人 約82%

このように、日本人生徒が過半数を占めており、また、さまざまな外国籍の生徒も在籍していることから、特定の国籍の方で構成される閉鎖的なコミュニティになることはありません。

【GX特区としての位置づけ】（札幌市回答）

北海道・札幌市は令和6年6月に、国家戦略特別区域諮問会議において、北海道が国家戦略特区に指定されるとともに、北海道・札幌市がGX金融・資産運用特区（現：北海道・札幌 GX/AI金融・資産運用特区）として指定されました。

インターナショナルスクールは、上述した北海道・札幌 GX金融・資産運用特区の推進に向けた高度人材受入のための教育環境整備に資するものであり、量的な労働力の受け入れ拡大を目的とした「移民政策」ではありません。

【契約による用途の担保】（札幌市回答）

売買契約には「10年間の用途指定（インターナショナルスクールとしての運営義務）」と、違反時に札幌市が土地建物を買い戻すことができる「買戻し特約」が盛り込まれます。これにより、公共財産の適正な利用を担保しております。また、今回の事業者選定では、外部有識者を含む審査委員会においてGIE社が80.4点（次点 78.4点）を獲得し、地域連携への提案等が評価されています。単なる施設の売却にとどまらず、地域住民の皆様が利用できる体育館開放などを通じ、地域活性化に資する施設となるよう協議してまいります。

2.7 将来の撤退・土地売却リスク（20件）

2.7.1 外国資本への売却・国土保全（安全保障）上の不安（6件）

【契約期間（10年）終了後の「転売・転用」リスク】（札幌市回答）

GIE社からは、長期的な計画で教育事業を行う提案がなされているほか、公募提案審査委員会における審査の中でも、財務の安定性、事業継続性、管理運営等に必要十分な能力を有すると評価されています。民法第580条で、買戻しが可能な期間は最長で10年と定められております。そのため、指定した用途に供さなかった場合に札幌市が買戻しできるよう、10年間の用途指定期間を設定しております。なお、当該用地には都市計画法に基づく用途地域が定められており、建築可能な建物の用途は建築基準法によって制限されております。

【北海道全体の「外国資本買収」事例に基づく警戒感】（札幌市回答）

今回の旧常盤小学校跡活用事業は、水源地や森林資源の買収を目的とした開発事業とは性質が異なります。旧常盤小学校の跡活用では、地域の実情に応じて地域コミュニティの拠点機能の確保に配慮し、地域と対話を重ね、「地域コミュニティの維持・向上につながる場」「緊急時の避難場所」を条件に公募提案型売却を行い事業者の選定を行ったところです。GIE社の提案では、2033年以降も生徒数を拡大させる長期的な事業計画となっており、公募提案型売却における「事業の確実性・継続性」の審査においても、財務の安定性、事業の継続性、管理運営に必要な能力を有するものと判断されています。

【売却手法（価格・所有形態）への批判と代替案】（札幌市回答）

旧常盤小学校は、行政目的での利用予定がなかったことから、地域の意向を踏まえた売却条件を設定し、活用する事業者を公募で募り、民間活力による跡活用の取組を進めることとしまし

た。仮に、行政目的での利用予定がない施設を貸し付けにより活用する場合、貸主である札幌市が施設を維持する必要があり、コストがかかります。公費で施設を維持しても、直接その恩恵を受けるのは借主となった特定の企業や個人であるため、そうした維持費を負担するよりも、売却によることが有効と考えています。売却価格（2,220万円）につきましては、不動産鑑定士による鑑定を過去に3回実施し、建物の劣化状況や市場性を適正に反映した結果です。過去の公募では買い手がつかなかった経緯もあり、決して安易に安売りしたものではありません。

2.7.2 契約条項・法規制の強化要望（転売制限・買戻し特約）（7件）

【10年経過後の「転売・用途変更」リスクへの法的規制】（札幌市回答）

民法第580条で、買戻しが可能な期間は最長で10年と定められております。そのため、指定した用途に供さなかった場合に札幌市が買戻しできるよう、10年間の用途指定期間を設定しております。なお、当該用地には都市計画法に基づく用途地域が定められており、建築可能な建物の用途は建築基準法によって制限されております。仮に違法な建築物が建築された場合には法令に基づいて札幌市が適切に対応いたします。

【契約上の「永久的な制限」や「札幌市の承諾権」の追加要望】（札幌市回答）

民法第580条の規定により、不動産の売買契約において、契約違反時に売主（札幌市）が土地を取り戻せる「買戻し特約」の期間は、最長で10年と定められています。そのため、民法上可能な買戻しの最大期間を超えてまで転売制限をすべきではないと考えています。民法の解釈に基づく用途指定期間（10年）の限界はございますが、それ以降も地域の皆様・札幌市・学校の3者が参加する「地域連携協議会（仮称）」の枠組みを維持することで、札幌市が継続的に関与する体制を構築します。

【悪質な開発（ニセコ・釧路事例）への懸念と「実効性」】（札幌市回答）

本事業は山林を切り開く開発事業ではなく、既存の校舎を活用する事業です。万が一、建築基準法に違反する増改築や、近隣に影響を及ぼすような違法行為があった場合には、国籍に関わらず、警察や関係行政機関と連携し、法令に基づき厳正に対処いたします。

2.7.3 事業破綻・撤退による「再度の廃墟化」リスク（7件）

【世界的な経営基盤と長期的な運営計画】（GIE社回答）

「永続的に運営できるのか」という点について、弊社の母体であるグローバル・スクールズ・グループは、シンガポールに本部を置き、世界11カ国で64キャンパスを展開、約45,000人以上の生徒が在籍する強固な経営基盤を持っています。日本国内においても、2006年の東京校開校以来、約20年にわたり安定した運営を続けており、撤退することなく事業を拡大しています。札幌校についても、2027年の開校から段階的に学年を増やし、2033年以降に最大定員約650名を目指す長期的な計画で運営に臨みます。

【審査による評価】（札幌市回答）

事業の継続性については、今回の事業者選定は外部有識者を含む旧常盤小学校公募提案審査委員会により審査が行われました。採点結果は、GIE社が80.4点（次点78.4点）であり、財務の安定性や管理運営能力、事業の継続性などについて総合的に評価され選定されています。

【破綻後の「転売・廃墟化」と住環境への脅威】（札幌市回答）

札幌市と事業者との売買契約において、物件引渡しから10年間は、提案された事業計画通りに学校として使用する義務（用途指定）を課しています。もし、この期間内に事業継続が困難となり、学校としての運営ができなくなった場合は、札幌市が土地と建物を買い戻すことができる「買戻し特約」を設定しています。なお、当該用地には都市計画法に基づく用途地域が定められており、建築可能な建物の用途は建築基準法によって制限されています。仮に違法な建築物が建築された場合には法令に基づいて札幌市が適切に対応いたします。

【行政の責任ある判断と「関与の継続」の要求】（札幌市回答）

本事業は、単に市有地を売却して終わりではありません。開校後は、地域の皆様・札幌市・学校の3者が定期的に協議を行う「地域連携協議会（仮称）」を設置し、運営上の課題について、札幌市が継続的に関与し続ける体制を構築します。

2.8 地域格差・不公平感（2件）

【GX特区における国際教育インフラとしての役割】（札幌市回答）

「公立校があるのになぜインターナショナルスクールが必要なのか」という点についてですが、札幌市が国から指定された北海道・札幌 GX金融・資産運用特区（現：北海道・札幌 GX／AI金融・資産運用特区）の推進に向け、海外からの高度金融人材等が家族帯同で安心して暮らすためには、英語で授業が行われ、帰国後もスムーズに各国の教育課程に接続できるインターナショナルスクールが必要です。近隣の公立校である芸術の森小学校は学習指導要領に基づく日本の教育を行う学校であり、本校は国際バカロレア（IB）等の国際基準のカリキュラムを提供する場として、それぞれ異なる教育ニーズに対応する役割を担っています。

2.9 教育内容・費用・制度（36件）

2.9.1 教育の質・カリキュラム・学校生活への具体的不安（6件）

【学費設定の根拠について】（GIE社回答）

学費の設定につきましては、営利を優先する考え方ではなく、学校として安定的かつ継続的に教育を提供するために必要な運営費用を基礎として算定しております。インターナショナルスクールの運営費用の中で最も大きな割合を占めるのは教職員の人件費です。国際的な教育課程に対応できる教員の確保・配置、少人数制授業の維持、安全管理体制の整備等に必要な費用がこれに含まれます。加えて、施設維持管理費、光熱費、教育環境整備費、スクールバス運行費、管理運営費等も継続的に発生します。教材費につきましては、一般的な学校のように長期分を事前に積み立てる方式ではなく、幼稚園相当・小学・中等・高等の各段階ごとに、学期単

位の定額の教育活動費としてご負担いただいております。これは教材や校外学習等の教育活動に充当する費用です。本校は株式会社による運営ではありますが、教育施設的特性上、開校初期には施設整備や教育環境構築に多額の投資を要し、また人件費比率も高いため、短期的に利益が生じる構造ではありません。学費は利益確保を主目的として設定しているものではなく、教育の質と安全性を維持し、長期的に安定した学校運営を行うための必要経費を基に設定しております。

【生徒の学業以外の生活状況や寮生活の過ごし方について】（GIE社回答）

「寮生活があるのでは」とのご懸念につきましては、本校は寄宿舎を伴わない通学制の学校であり、生徒はすべて自宅から通学いたします。学校周辺に生徒が居住したり、集団生活を行う形態はございません。通学はスクールバスまたは保護者送迎を基本とし、授業終了後は各家庭へ帰宅します。したがって、寮生活に伴う特別な生活圏が地域内に形成されることはありません。

【昼食の提供方法について】（GIE社・札幌市回答）

既存校の運営形態を踏まえ、本校においても学校内で調理を行う給食施設は設置しない形を想定しております。昼食は、提携事業者によるお弁当の注文制、またはご家庭からの持参を基本とする方式を予定しております。

札幌校においても同様の運用を想定しておりますが、具体的な提供方法については、今後の運営準備の中で検討してまいります。

【国際バカロレア・ディプロマプログラム（IBDP）による大学進学】（GIE社回答）

「高校はどうなるのか」という点ですが、本校は学校教育法第1条に定める学校（一条校）ではないため、日本の「高校卒業資格」そのものは得られません。しかし、高校段階（16～18歳）では国際バカロレア・ディプロマプログラム（IBDP）の認定取得を目指しており、この修了証を取得することで、日本の文部科学省の基準に基づき、日本国内の大学入学資格を得ることができます。グローバル・スクールズ・グループ全体では、東京大学や早稲田大学、慶應義塾大学などの国内難関大学や、海外トップ大学への多数の進学実績があり、高校段階でも生徒の進路を強力にサポートします。

【世界的なネットワークによる優秀な教員確保】（GIE社回答）

「有能な教員が確保できるか」というご不安に対し、母体であるグローバル・スクールズ・グループは世界11カ国で学校を運営し、650以上の教育賞を受賞している実績があります。このグローバルなネットワークを活かし、履歴書だけでなく人間性や前職の推薦状を重視して、世界各国から優秀な人材を採用します。開校当初は約15名体制でスタートし、生徒数に合わせて増員しますが、全教職員の約40%を日本語対応可能なスタッフとする計画であり、質の高い教育と安全管理を両立させます。

【入学要件と教育水準について】（GIE社回答）

「生徒数確保のために入学要件が緩くなるのではないか」とのご懸念についてですが、本校では教育環境と学習の質を維持する観点から、入学時に年齢相応の発達状況や学習への適応性等

を確認する手続きを設ける予定です。英語力そのものを入学条件とはしておりませんが、入学前にレベル確認を行い、必要に応じて英語・日本語のサポートプログラムを提供することで、無理なく学習に参加できる体制を整えます。したがって、生徒数確保のために入学基準を下げるという考え方ではなく、学校の教育方針に適合し、集団教育に参加できることを前提として受入れを行います。

2.9.2 事業の実現性・持続性への疑問（立地・費用・冬期）（6件）

【選定理由について】（GIE社回答）

「なぜ交通の便が良い都心部ではなく、南区の端なのか」というご質問について、私たちが常盤地区を選定した最大の理由は、「豊かな自然環境」です。本校が提供する「探究型学習（Inquiry-based Learning）」では、教室内の座学だけでなく、森や川などの自然に触れながら自ら問いを立てて学ぶプロセスを重視します。都心部のビル型キャンパスでは得られないこの教育環境こそが、保護者が本校を選ぶ決定的な動機になると確信しており、常盤地区を希望いたしました。

【広域からの通学とスクールバス運行】（GIE社回答）

「雪道で時間がかかる」「遠方から通うのか」というご懸念に対し、既存のインターナショナルスクール（東京・大阪・つくば）の実績からも、質の高い教育を求めて遠方から時間をかけて通学されるご家庭は一定数存在します。通学の負担を軽減するため、スクールバス（開校時2台予定、順次拡大）を運行し、札幌市内全域や近郊からの安全な通学手段を確保します。また、冬期間の運行については、雪道運転に精通したドライバーを採用し、安全管理を徹底します。

【学費と幼児教育無償化】（GIE社回答）

学費（年間約150万～180万円程度）については、ご指摘の通り安価ではありませんが、国際的な教育プログラムである国際バカロレア（IB）等や専門性の高い教員配置に必要な経費です。一方で、地域の子育て世帯の皆様にも選択肢としてご検討いただけるよう、幼稚部（3～5歳）については国の「幼児教育・保育の無償化」の対象施設となる予定です。

【法的位置づけ】（札幌市回答）

ご指摘の通り、本校は学校教育法第1条に定める学校（一条校）ではないため、日本国籍を有するお子様が通学されても、法律上の「就学義務」を履行したことにはなりません。

【どのような日本人が通うのか】（GIE社回答）

「就学義務違反になるのに誰が通うのか」という点について、実際に私たちが運営するワン・ワールド・インターナショナル・スクール大阪校では生徒の約54.7%、ワン・ワールド・インターナショナル・スクールつくば校では約82%が日本人の生徒です（2024年実績）。通われているのは、将来の海外大学進学を見据えているご家庭や、「個性を伸ばす探究型学習」を求めているご家庭のお子様です。

【地域への貢献】（GIE社回答）

「札幌市民のためになるように」というご要望にお応えするため、本校に入学しない地域の子どもたちにも国際教育の機会を提供します。具体的には、在校生以外も参加可能な「放課後の英語プログラム」や「サマーキャンプ」を実施し、地元の子どもたちが英語や異文化に触れられる場を作ります。また、学校運営に支障のない範囲でグラウンドや体育館を地域開放し、地域全体の活性化に貢献します。

2.9.3 就学義務・法的地位に関する懸念（5件）

【日本人が本校を選択する理由】（GIE社）

「就学義務を履行したことにならないなら、日本人を通わせる意味がないのでは」というご指摘について、本校の法的位置づけと教育的価値の観点からご説明します。ご指摘の通り、本校は学校教育法第1条に定める学校（一条校）ではないため、日本国籍のお子様が行われても、法律上の「就学義務」を履行したことにはなりません。しかし、高校段階で国際バカロレア・ディプロマプログラム（IBDP）の認定を取得することで、日本の文部科学省の基準に基づき、国内大学の入学資格（高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者）を得ることができます。既存の東京校では、早稲田・慶應・上智・筑波大学などの国内難関大学や、海外トップ大学への進学実績があります。日本人の在籍実態：「外国人の学校」と思われがちですが、既存のワン・ワールド・インターナショナル・スクール大阪校では生徒の約54.7%、ワン・ワールド・インターナショナル・スクールつくば校では約82%が日本人の生徒です（2024年実績）。

【在籍の扱いについて】（GIE社・札幌市回答）

日本国籍を有する場合は、お住まいの地域の公立小中学校の在籍となります。

【公立学校への復帰について】（札幌市・GIE社回答）

日本国籍の児童生徒につきましては、住民票のある自治体の公立小・中学校への就学することとされており、公立小・中学校に学籍を置く手続きを保護者の方にしていただくこととなります。そのため、インターナショナルスクールに通わなくなったとしても、公立小・中学校に通っていただくことができます。

【転入・転出について】（GIE社回答）

途中から通い始めたり、通うのをやめることについてご懸念とのことですが、本校では基本的に柔軟な対応を予定しております。

通い始める際は、入学希望学年に応じて学習状況や教育環境への適応力を確認した上で受け入れを調整いたします。本校への通学をやめる場合においても、在籍児童生徒の希望や進学計画を考慮し、スムーズに手続きができるよう対応いたします。

本校は、生徒一人ひとりの学習機会や教育環境を大切に考え、円滑に対応できる体制を整えてまいります。

【学費について】（GIE社回答）

学費（年間約150万～180万円程度）は安価ではありませんが、国際基準の教育環境を維持するために必要な経費です。なお、幼稚部（3～5歳）については、国の「幼児教育・保育の無償化」の対象施設となる予定です。これにより、地域の子育て世帯の皆様にも、幼児期における選択肢の一つとしてご検討いただきやすくなると考えております。

2.9.4 生徒・関係者の居住と安全管理（5件）

【地域情報との連携と施設管理の徹底】（GIE社回答）

ご懸念の「熊出没など自然環境による生徒の安全確保」について、本校では、通学や校内活動における生徒の安全を最優先に考え、以下の具体的な対策を計画しております。

◆通学時の安全確保：生徒はスクールバスまたは保護者送迎で登下校します。徒歩通学は最小限にし、必要時は教職員の同行や安全ルートの設定を行います。また、学校周辺での野生動物出没情報を定期的に確認し、警報や注意喚起を保護者・生徒に迅速に通知します。

◆校内外の監視・防護策：校舎周辺のフェンスや安全設備を整備し、敷地内への野生動物の侵入を防止します。教職員は野生動物への対応マニュアルを学習し、万が一の接近時の行動手順を徹底します。

◆緊急時対応体制：熊やその他の危険が確認された場合は、直ちに生徒を安全な建物内へ避難させ、必要に応じて警察や自治体と連携します。定期的な避難訓練や安全教育を行い、生徒自身も適切に行動できるよう指導します。

これらの仕組みにより、自然環境下においても生徒が安全に学べる環境を確保し、保護者および地域の皆様に安心していただける学校運営を行ってまいります。

【不法滞在者の受け入れ防止について】（GIE社回答）

ご懸念の「職員や通学生に不法滞在者が含まれるのではないか」という点についてですが、本校では日本の法令遵守を徹底の上、以下の仕組みにより不法滞在者の受け入れを防止しています。

◆職員の確認体制：外国籍の教職員を採用する場合、必ず有効な在留資格と就労資格を確認し、法的に問題のないことを確認した上で雇用契約を締結しています。必要に応じて前職照会や推薦状の確認を行い、社会的安全性を確保しています。

◆生徒の入学時確認：外国籍の生徒についても、在留資格や就学資格を確認した上で受け入れます。不法滞在や法令違反が疑われる場合は、入学をお断りする仕組みを設けています。

◆継続的な確認・管理：入学後や勤務後も、必要に応じて法令上の資格確認を継続的に行います。これらの手続きにより、法的に問題のある方が学校に在籍することはありません。安心して学校運営にご理解いただける体制を整えております。

【地域への集住】（GIE社回答）

「学校へ通う子どもたちはどこに住むのか」というご質問に対し、回答いたします。

◆居住エリア：生徒は、札幌市内全域や近郊の既存の自宅からスクールバス（開校時2台予定）等を利用して通学します。

◆転入の可能性：学校敷地内に寄宿舍（寮）や教員住宅、保護者用住宅を建設する計画は一切

ございません。したがって、学校関係者や生徒家族が常盤地区に集中的に転入し、人口構成が急変したり、特定の国籍のコミュニティが形成されたりすることは想定しておりません。

【他校での生徒の国籍の割合と今回考えている割合】（GIE社回答）

実際に、日本国内で運営しているワン・ワールド・インターナショナル・スクール各校における生徒の国籍構成（2025年時点）は以下のとおりです。

- ◆大阪校：日本 54.7%、中国 30%、欧米（米・加・豪）10%、韓国 2.2%、インド 0.7%、その他 2.4%
- ◆つくば校：日本 82%、モンゴル 9%、中国 7%、インド 2%
- ◆札幌校（想定・開校初期）：日本 75～80%、中国・モンゴル等アジア 10～12%、欧米（米・加・豪・欧州）5～8%、韓国 2～3%、インド 1～2%、その他 1～3%

札幌校においては、開校初期はつくば校と同様に日本人生徒が7～8割程度を占める構成を想定しております。特定の国籍が多数を占める計画はなく、日本人を中心に多様な国籍・文化的背景を持つ生徒が共に学ぶ環境の形成を目指しております。

このように、既存のワン・ワールド・インターナショナル・スクール各校においては、日本人が過半数または大多数を占めており、特定の外国籍の生徒が多数を占める状況は想定しておりません。

2.9.5 地域貢献・連携・運営管理への不信（8件）

【地域との信頼関係構築】（GIE社回答）

「地域に開かれた学校になるのかご不安がある」とのご懸念につきましては、地域の皆様との共存共栄を本校運営の重要な方針の一つとして位置付けており、本校では、学校施設や教育活動を地域とつなぐ取組を段階的に進め、地域の皆様に学校を身近に感じていただける環境づくりを行ってまいります。具体的には、学校内覧会や交流イベント、地域との意見交換の場の継続的な開催などを通じて、開かれた学校運営に努める方針です。今後も地域の皆様のご意見を伺いながら、地域に根ざした学校として信頼関係を築いてまいりたいと考えております。

【大阪校での実績に基づく具体的な交流計画】（GIE社回答）

「地域交流を実行する意思を感じられない」とのご指摘ですが、実際に運営しているワン・ワールド・インターナショナル・スクール大阪校（2023年開校）では、地域住民の皆様を招いた「スプリングカーニバル」や「夏祭り」を開催し、多くの地域の方々と生徒が交流しています。また、フードバンク活動や地域清掃などのボランティア活動を教育カリキュラムに組み込み、生徒が地域の一員として貢献する活動を実践しています。札幌校においても、常盤地区の実情に合わせ、グラウンドや体育館を地域のスポーツ少年団や町内会に開放する計画です。

【「地域連携協議会（仮称）」への行政の参画】（札幌市回答）

地域連携が着実に実施されるよう、設置予定の「地域連携協議会（仮称）」には、事業者と地域代表だけでなく、札幌市もメンバーとして参加します。札幌市が参画することで、開校後も引き続きGIE社へ助言を行う等、積極的に関与していく考えです。また、今回の公募審査におい

て、GIE社は地域連携・協力の項目でも評価され、総合点80.4点（次点78.4点）を獲得しており、その提案内容が実現されることを札幌市としても確認していきます。

【地元雇用の具体化と定着】（GIE社回答）

「経済効果がない」「踏み台」とのご懸念ですが、私たちは地域に根を張ることを前提としています。雇用については、用務員や清掃員に加え、冬期間の安全運行に不可欠な「スクールバスの運転手」や「除雪業務」において、地域の道路事情に精通した日本人の方を採用する方針です。また、グローバル・スクールズ・グループは2006年の東京校開校以来、約20年にわたり日本で撤退することなく運営を拡大しており、短期的な利益目的で地域を利用する意図はございません。

【協議会と「みんなの声ポスト」による解決サイクル】（GIE社回答）

地域住民との意見交換の場として、「地域連携協議会（仮称）」を設置し、定期開催を行います。また、日常的なトラブルや苦情（騒音、マナー違反等）については、学校内に「みんなの声ポスト（意見箱）」を常設し、直接注意しづらい内容でも学校側に通報できる仕組みを作ります。寄せられた声は協議会で共有し、学校が責任を持って是正措置（生徒指導、ルール変更等）を講じ、その結果を地域へ報告するサイクルを徹底します。

【警察連携と行政の関与】（札幌市回答）

問題が繰り返される場合や治安への懸念に対しては、札幌市と北海道警察本部による「北海道警察・札幌市行政連絡会議」の枠組みなどを活用し、札幌市から警察へパトロール強化等を直接要望・協議します。また、札幌市も参加する「地域連携協議会（仮称）」を通じて、事業者が誠実に対応しているかを行政の立場で関与してまいります。

【問題が繰り返された場合の責任の所在と確実な是正措置】（GIE社回答）

「地域との間で問題が発生した場合にどのように対処されるのか」というご懸念について、ご説明いたします。本校では、地域との良好な関係を最優先に考えており、問題が生じた際には責任の所在を明確にした上で、迅速かつ適切に対応する体制を整えています。具体的には、学校管理者、教職員、運営本部が連携して原因を特定し、必要に応じて再発防止策や改善措置を講じます。さらに、地域の皆様のご意見やご懸念は、定期的な地域連携協議会（仮称）などの意見交換の場で共有し、問題解決の進捗状況も確認できるようにいたします。この仕組みにより、地域との信頼関係を維持しつつ、教育環境の安定的な運営を実現します。

【「買戻し特約」と「用途指定」による法的拘束】（札幌市回答）

売買契約には「10年間の用途指定（インターナショナルスクールとしての運営義務）」と、違反した場合に札幌市が土地建物を買い戻すことができる「買戻し特約」が盛り込まれます。これにより、公共財産の適正な利用を担保しております。

2.9.6 日本文化・ルール教育体制とスタッフの質（6件）

【カリキュラム内での日本文化・道徳の必修化】（GIE社回答）

「日本の文化や慣習を学んでほしい」、「穏やかに子どもたちを導いてほしい」という暖かいご期待に応えるため、単なる語学教育にとどまらない人間教育を行います。

◆教科書の使用：日本の国語教科書を使用した授業を導入し、日本語の習得だけでなく、日本の文化、道徳、礼儀作法についても教育課程の中で責任を持って指導します。

◆生活ルールの指導：「生活オリエンテーション」の動画や教材を活用し、ごみ出しや騒音マナー、交通ルール等の日本独自の生活習慣を、入学時および定期的に生徒・保護者・外国人教職員へ指導します。

【日本語・日本文化対応スタッフの配置】（GIE社回答）

「言葉だけでなく地域の風習や特徴が分かるスタッフを」というご要望に対し、万全の体制を整えます。全教職員の約40%を日本語対応可能なスタッフとする計画です。単なる通訳にとどまらず、日本の習慣や常盤地区の特性を熟知したスタッフが常駐することで、生徒や外国人教員と地域住民の皆様との間に入り、文化摩擦やトラブルを未然に防ぎます。

【「地域連携協議会（仮称）」による継続的な対話】（GIE社回答）

「地域住民と仲良くしてほしい」というご要望を実現するため、地域の皆様・札幌市・学校の3者で構成する「地域連携協議会（仮称）」を設置します。定期的に顔を合わせて対話を行うほか、学校内に「みんなの声ポスト（意見箱）」を常設し、地域の方々が気兼ねなく意見を伝えられる環境を作ることで、対立ではなく協調による学校運営を目指します。

【信念をもった学校運営】（GIE社回答）

「将来の子どもたちのために、信念を持って取り組んでほしい」という暖かいご意見、ありがとうございます。本校は、開校にあたり教育理念や方針を明確に定め、子どもたちの安全と成長を第一に考えた運営を行うことを基本としています。教職員一同、日々の教育活動において、学習面だけでなく生活面においても、穏やかに、かつ適切に子どもたちを導くことを使命と考えております。今後も地域の皆様と連携し、信頼関係を大切にしながら、安心して子どもたちが学べる環境づくりに努めてまいります。

2.10 外部干渉・風評被害・分断（20件）

【根拠のない情報の否定】（GIE社回答）

「インドタウンができる」「インド人学校」といった情報が発信されていることは弊社でも把握しておりますが、これらは事実無根であり、明確に否定いたします。

◆学校の性質：本校は高度な教育カリキュラムである国際バカロレア（IB）等を提供する私立学校であり、難民受け入れ施設や外国人労働者の研修所ではありません。

◆資金：校舎のリニューアルや運営費は全て弊社の自己資金で賄います。札幌市からの補助金や助成金を受け取る計画は一切ございません。

◆居住：生徒は札幌市内全域や近郊の自宅からスクールバス等で通学します。学校敷地内に寄

宿舍（寮）や保護者用住宅を建設する計画はなく、常盤地区の空き家に集団移住することも想定しておりません。

（札幌市回答）「インドタウンができる」「インド人学校」といった情報は、本計画とは無関係な近隣に分譲宅地（民間事業者が以前から開発）と混同された誤情報です。札幌市としても、こうした誤った情報が市民の皆様の不安を助長することがないように、公式ホームページや今回の全戸配布等を通じて、「正しい情報」を発信し続けます。

【警察との連携による安全確保】（札幌市回答）

「地域外からの反対者が怖い」、「子どもたちへの危害が心配」という切実な声に対し、過激な妨害行為や、通学する子どもたちへのつきまとい等が懸念される場合は、札幌市と北海道警察本部による「北海道警察・札幌市行政連絡会議」等の枠組みを活用し、本校開校に伴う周辺警備やパトロールの強化を札幌市から警察へ直接要望・協議いたします。

【常盤地区の防犯体制強化】（札幌市回答）

「交番がないため不安」というご指摘については、管轄の警察署（南警察署等）と連携し、事案発生時の初動対応や巡回頻度について協議を行います。

【ハイトスピーチや差別への毅然とした対応】（札幌市回答）

「移民受け入れ施設」等の事実と反するプラカードや、外国人であることを理由とした排除・差別的な言動（ハイトスピーチ）は、札幌市が目指す多文化共生の理念に反するものです。札幌市としては、特定の国籍や外国人を蔑視するような偏った情報に惑わされず、冷静にご判断いただけるよう、正確な情報の発信に努めます。

【多国籍校としての実態】（GIE社回答）

「インド村」という表現が使われていますが、本校は特定の外国籍に偏る学校ではありません。実際に運営している既存校の実績（2024年時点）は以下の通りです。

- ◆ワン・ワールド・インターナショナル・スクール大阪校：日本 約54.7%、中国 約30%、インド 約0.7%
- ◆ワン・ワールド・インターナショナル・スクールつくば校：日本 約82%、モンゴル 約9%、中国 約7%、インド 約2%

このように、日本人のご家庭も多く通われている多国籍な学校です。

2.11 肯定的・期待（27件）

2.11.1 誤情報・反対運動への批判と事業推進への支持（4件）

【近隣開発との混同および「インド人学校」の否定】（札幌市・GIE社回答）

（札幌市回答）

「根拠のない誤解が広がっている」とのご心配のとおり、現在、SNS等で拡散されている「学校裏にインドタウンができる」「インド人学校が建設される」といった情報は、事実と異なる誤

情報です。

◆分譲地について：学校周辺の分譲宅地（グリーンタウン芸術の森）は、本件公募前から市内の民間事業者が開発・販売しているものであり、インターナショナルスクール計画とは一切無関係です。

◆学校の性質：GIE社の計画は、多様な国籍の生徒を受け入れる方針であり、特定の国籍のみを対象とした学校や、外国人労働者の研修施設ではありません。

札幌市としては、こうした誤情報が地域社会の分断や不安を招くことがないように、今回のような全戸配布資料や札幌市公式ホームページを通じて、責任を持って「正しい情報」を発信し続けます。

（GIE社回答）

「インド人だらけになる」という風評に対し、私たちが運営する既存校（ワン・ワールド・インターナショナル・スクール大阪校・つくば校）の実績（2024年時点）は以下の通りです。

◆ワン・ワールド・インターナショナル・スクール大阪校：日本人 約54.7%

◆ワン・ワールド・インターナショナル・スクールつくば校：日本人 約82%

このように、日本人生徒が過半数を占めており、また、さまざまな外国籍の生徒も在籍していることから、特定の国籍の方で構成される閉鎖的なコミュニティになることはありません。今後も透明性を持って正確な情報をお伝えし続けてまいります。

【地域への感謝と事業推進に向けた考え】（GIE社回答）

「事業を進めてほしい」、「期待している」という温かいお言葉をいただき、大変勇気づけられます。私たちは札幌・常盤地区の豊かな自然環境こそが教育に最適であると確信しております。地域との関係に配慮しつつ、正しい情報を発信し続けるとともに、開校後は「地域連携協議会（仮称）」を通じて地域住民の皆様と誠実に対話し、「地域にあって良かった」と思っただけの学校づくりに邁進いたします。

2.11.2 地域活性化・廃校活用の有効性への期待（10件）

【廃墟化の防止と防犯・安全面での早期活用要望】（札幌市回答）

「閉校した校舎が放置されるのは防犯上不安」「廃墟になるより早く活用してほしい」というご意見につきまして、地域の安全を守る上での重要な課題と認識しております。建物は使われない期間が長引くほど老朽化が進み、管理が行き届かなくなることで、地域の治安にとっても好ましくない状況を生んでしまいます。そのため、早期に事業者が責任を持って施設を管理する体制が整うよう努めてまいります。

【高齢化地域における活性化と「明るさ」への期待】（札幌市回答）

旧常盤小学校を活用してインターナショナルスクールが開校し、子どもたちがこの地域に通い、再び学びの声が響くようになることは、地域に新たな活気をもたらすきっかけになると考えております。GIE社からは、単に学校運営を行うだけでなく、夏祭り等のイベント開催や、体育館・グラウンドの地域開放など、地域の皆様と積極的に交流したいとの提案を受けておりま

す。地域全体が明るく元気になるような施設となるよう、札幌市としても事業者と地域をつなぎ、活性化に向けた取組を支援してまいります。

【生徒構成の実態と冷静な受け止め】（札幌市回答）

GIE社が運営する国内の既存校（東京・大阪・つくば）の実績では、在籍生徒の半数程度は日本国籍の子どもたちが占めております。札幌校につきましても、特定の外国籍の生徒に偏るのではなく、日本人を含む多様な国籍の生徒が共に学ぶ環境となる予定です。

2.11.3 特段の不安なし・全面的歓迎（13件）

【事業への信頼・期待と地域活性化に向けた決意】（札幌市回答）

GIE社は国内外において自治体と連携した安定的な学校運営実績を有しており、札幌市といたしましても、本事業が地域コミュニティの維持・向上に寄与するものと認識しております。今後、他都市で培われた「地域連携協議会（仮称）」等のノウハウが活かされ、透明性を確保した上で着実に事業が進められるものと考えております。地域の皆様からいただいた「安心・安全を第一に」というご指摘も踏まえ、札幌市としても事業者と連携しながら地域の活性化に取り組んでまいります。当施設が、体育館やグラウンドの地域開放、災害時の避難場所の確保、イベントを通じた交流などを通じて地域コミュニティを支え、国際理解と多文化共生の新たなモデルケースとなるよう支援してまいります。

2.12 災害・避難所機能（3件）

【「公的な避難所」としての運営】（札幌市・GIE社回答）

（札幌市回答）

避難所について「外国人の土地に間借りする」、「企業にお願いする立場となり現実的ではない」というご懸念について、仕組みをご説明します。「緊急時の避難所」の設置は、公募要領に定めた条件であり、体育館は災害時の緊急避難場所として開放することは、GIE社からの提案であることから、事業者はこれを履行する責任を負います。具体的には、札幌市とGIE社で協議し、適切な管理運営体制を構築します。

（GIE社回答）

「慣れない外国の方にお世話になるのが不安」という点について、避難所運営において地域の皆様にストレスを感じさせない体制を作ります。

◆日本語対応：全教職員の約40%を「日本語対応可能なスタッフ」とする計画です。緊急時には日本人スタッフや日本語ができる教員が常駐し、避難誘導や地域の皆様とのコミュニケーション、札幌市職員との連携をスムーズに行います。

◆日常的な関係づくり：いざという時に「知らない場所」に避難するのはハードルが高いものです。そのため、平時からグラウンドや体育館を地域開放し、イベント等を通じて地域の皆様に施設に慣れ親しんでいただくことで、心理的な壁を取り除きます。

【法令に基づく安全対策とリニューアルの徹底】（GIE社回答）

「建材破損による健康被害」のご懸念に対し、徹底した安全管理を行います。旧常盤小学校の校舎を活用するにあたり、開校前に大規模なリニューアル工事を実施します。この際、建築基準法等の関係法令に基づき、アスベスト等の有害物質の調査および必要な対策（除去や封じ込め等）を確実に実施し、安全性を確保した上で学校運営を開始します。子どもたちが毎日過ごす学校施設ですので、環境の安全性は最優先事項です。当然ながら、災害時における避難者の皆様の健康を害するような状態で施設を供用することはございません。また、ご指摘のような雨漏り等の既存不具合につきましても、札幌市から引き渡しを受けた後、弊社の責任と自己資金において適切に修繕・維持管理を行い、安心して避難いただける環境を維持します。

2.13 その他（59件）

2.13.1 コミュニケーション・誤情報・社会的雰囲気への不安（13件）

【誤情報の拡散と「地域外」からの介入への戸惑い】（札幌市回答）

SNS等において、事実とは異なる情報や、不安をあおるような投稿が散見されることについて、地域住民の皆様が戸惑いや恐怖を感じておられることを深く憂慮しております。「インド人学校ができる」、「外国人労働者の研修施設である」といった情報は事実ではありません。本校は日本人を含む多様な国籍の児童生徒を対象としたインターナショナルスクールであり、特定の国籍に限定した施設や、移民受け入れのための施設ではありません。札幌市として、正確な情報をニュースレターや公式ホームページ等を通じて、まずは地域の皆様に直接お届けすることを最優先に進めてまいりました。引き続き、事実に基づいた正確な情報発信に努めてまいります。

【外国人増加に対する「漠然とした不安」と言葉の壁】（札幌市回答）

GIE社によりますと全教職員の約40%は日本語対応が可能なスタッフとなる予定であり、日本人の教員も常駐します。また、札幌市としても、単に外国人を受け入れるだけではなく、日本の生活ルール（ごみ出しやマナー等）を学ぶ「生活オリエンテーション」等の情報提供を行っております。他地域の事例（ニセコ等）をご心配される声もありますが、本事業は広域からバス通学する児童生徒が中心であり、特定のエリアに外国籍の方の居住が集中する計画ではありません。

【冷静な議論ができない「閉鎖的な空気感」への懸念】（札幌市回答）

本事業をきっかけに地域が分断されたり、言論が萎縮したりすることは、札幌市としても本意ではありません。一部の極端な意見や誤った情報に流されることなく、事実に基づいて話し合える公式の場として、札幌市・地域住民・事業者が参加する「地域連携協議会（仮称）」を設置する予定です。いただいたご意見にあるように、この課題を「多文化共生」や「これからの地域のあり方」を考える前向きな機会となるよう、札幌市としても誠意を持って対話を続けてまいります。

2.13.2 教育水準・所得水準（1件）

【生徒の国籍割合】（GIE社回答）

ご質問の「教育水準や所得水準が異なり、立地的にも中心地から離れているため、外国人の生徒が大半になる可能性はないか」という点についてご説明いたします。本校「ワン・ワールド・インターナショナル・スクール」は、多文化共生を教育理念としており、特定の外国籍や文化的背景の生徒が多数を占める学校にはしない方針です。実際に日本国内で運営しているワン・ワールド・インターナショナル・スクール各校においては、日本人生徒が過半数または大多数を占めており、外国籍の生徒は多様な国籍で構成されています。札幌校においても、開校初期は日本人が7～8割程度を占める構成を想定しており、特定の外国籍の生徒が大半を占める計画はございません。地域の特性や立地を踏まえつつ、日本人を中心にさまざまな国籍・文化的背景を持つ生徒が共に学ぶ、多文化共生の環境づくりを進めてまいります。

2.13.3 具体的な要望・肯定的意見（3件）

【既存校舎のリニューアルと自然を活かした「探究型学習」】（GIE社回答）

「自然にマッチした校舎作りを」というご要望、大変嬉しく思います。私たちは、この常盤地区の豊かな自然環境こそが、世界に誇れる教育資源であると考えています。

◆校舎活用：新たに大規模な建物を建設して自然を破壊するのではなく、歴史ある旧常盤小学校の校舎をきれいにリニューアルして大切に使用します。

◆教育内容：私たちが提供する「探究型学習」では、教室の中だけでなく、周辺の森や川でのフィールドワーク、芸術の森美術館と連携したアートプログラムなどを通じ、地域の自然や文化を教材として最大限に活用します。

【放課後プログラムの開放とイベントによる交流】（GIE社・札幌市回答）

（GIE社回答）

「地域の小中学校との交流を」、「仲良く生活したい」という温かいお言葉に、心より感謝申し上げます。私たちは地域から孤立した学校ではなく、地域と共に歩む学校を目指します。

◆子ども同士の交流：在校生以外のお子様（地域の小中学生等）も参加できる「放課後プログラム（After School Program）」や「サマーキャンプ」等の特別プログラムを実施する計画です。これにより、地元の子どもたちが英語や国際感覚に触れる機会を作り、自然な形での交流を促進します。

◆イベント開催：既存のワン・ワールド・インターナショナル・スクール大阪校と同様に、「夏祭り」や「スプリングカーニバル」等の学校行事を地域に開放し、生徒と地域住民の皆様が顔の見える関係を築ける場を作ります。

（札幌市回答）

札幌市としても、こうした地域交流が円滑に進むよう支援します。「地域連携協議会（仮称）」には札幌市職員も参加し、地元の芸術の森小学校や町内会とインターナショナルスクールが連携した活動が実現できるよう、橋渡し役を担います。

【前向きな声に応える学校づくり】（札幌市・GIE社回答）

「外国人の方と仲良くしたい」というご意見も多く寄せられております。札幌市では、外国籍市民を特別視せず地域の一員として迎えるための施策を推進しており、皆様の「仲良くしたい」という想いが実現できる環境を整えます。本校でも、異なる文化や国籍を持つ人々が共に学び、互いに理解し合う多文化環境の形成を大切にしています。地域の皆様との交流も積極的に進め、学校行事や地域イベントを通じて、外国の方々とも自然に親しみながら生活できる環境づくりに努めてまいります。

【言葉の壁を越えるサポート】（GIE社回答）

交流の妨げとなる「言葉の壁」を解消するため、全教職員の約40%を「日本語対応可能なスタッフ」とする計画です。また、学校内に「みんなの声ポスト（意見箱）」を常設し、困りごとだけでなく「こんな交流がしたい」という前向きなご提案も広く受け付け、地域に愛される学校運営に努めます。

2.13.4 行政プロセス・契約・責任の所在への不信（16件）

【選定プロセスの透明性と「結論ありき」への疑義】（札幌市回答）

現時点（令和8年5月時点）では優先交渉権者を決定した段階であり、売買契約はまだ締結しておりません。売却価格（2,220万円）につきましては、決して恣意的に安くしたものではなく、不動産鑑定士による公正な鑑定に基づいています。過去に4,710万円で公募しましたが応募がなく、不動産鑑定士が建物の劣化状況等を考慮し再鑑定を行った適正価格です。また、選定プロセスについては、外部有識者を含む旧常盤小学校公募提案審査委員会により審査が行われました。採点結果は、GIE社が80.4点（次点78.4点）であり、事業内容、地域連携などの提案が総合的に評価され、最高得点を得たGIE社を優先交渉権者として選定しました。また、札幌市として反対意見を無視するようなことはせず、事業者と連携し地域の不安払拭に努めてまいります。なお、北海道新聞に掲載された「札幌市が反対する市民に毅然と対応すべきだ」との記事について、札幌市は承知しておりません。

【売却後の「管理責任・介入権限」の欠如への懸念】（札幌市回答）

契約上の担保として、引き渡しから10年間は提案通りの用途（インターナショナルスクール）で使用する義務を課しており、これに違反した場合は札幌市が土地建物を買い戻すことができる特約を設けます。なお、当該用地には都市計画法に基づく用途地域が定められており、建築可能な建物の用途は建築基準法によって制限されております。仮に違法な建築物が建築された場合には法令に基づいて札幌市が適切に対応いたします。運営面での関与については、法的な権限に加え、地域の皆様・札幌市・学校の3者による「地域連携協議会（仮称）」を設置します。この協議会のメンバーとして札幌市も継続的に関与し、責任を持って調整や助言を行ってまいります。

【法的整合性と「税金投入」の有無】（札幌市回答）

本スクールの整備費及び運営費は全て事業者（GIE社）の負担で行われるものであり、札幌市が補助金（税金）を投入する計画は一切ございません。また、事業者の経営状況（健全性）については、公募審査の段階で財務諸表等を確認し、長期的に事業を継続できる能力があるかを評

価した上で選定しております。本公募におきましては、現行の土地利用制限にとらわれない幅広い事業提案を受け付けております。ご懸念の用途地域の変更要否や、それに伴う手続きのあり方等につきましては、現在検討を行っている段階です。

2.13.5 国防・安全保障・国土保全への懸念（5件）

【法的な公平性と維持管理コストの観点からの「売却」判断】（札幌市回答）

旧常盤小学校は、行政目的での利用予定がなかったことから、地域の意向を踏まえた売却条件を設定し、活用する事業者を公募で募り、民間活力による跡活用の取組を進めることとしました。仮に、行政目的での利用予定がない施設を貸し付けにより活用する場合、貸主である札幌市が施設を維持する必要があり、コストがかかります。公費で施設を維持しても、直接その恩恵を受けるのは借主となった特定の企業や個人であるため、そうした維持費を負担するよりも、売却によることが有効と考えています。また、現行の日本の法制度上、国籍のみを理由として土地売却を制限することはできませんが、今回の公募において、財務の安定性や事業の継続性等を総合的に審査し、GIE社を優先交渉権者として選定しました。

【「用途指定」と「買戻し特約」による目的外利用の防止】（札幌市回答）

契約による制限：売買契約には「10年間の用途指定（インターナショナルスクールとしての運営義務）」と、違反時に札幌市が土地建物を買い戻すことができる「買戻し特約」が盛り込まれます。これにより、公共財産の適正な利用を担保しております。

【グローバル・スクールズ・グループについて】（GIE社回答）

「侵略行為を行う可能性のある国に関連する企業ではないか」というご不安に対し、明確に否定いたします。

◆企業の実態：私たちの母体であるグローバル・スクールズ・グループは、シンガポールに本部を置く民間教育機関です。特定の国家の政治的意図や戦略に基づく組織ではなく、純粋に国際教育を提供する事業体です。

◆多国籍性：運営する学校（ワン・ワールド・インターナショナル・スクール）は、特定の国籍に偏らない多文化共生を理念としています。既存の大阪校やつくば校では日本人の生徒が過半数を占めており、その他多様な国籍の生徒も在籍していることから、特定の国の人々が集まる排他的なコミュニティになることはありません。

◆地域との共生：私たちは「地域に根ざした学校」を目指しており、地域の皆様に不安を与えるような活動は一切行いません。学校運営を通じて、地域社会の一員として信頼していただけるよう努めてまいります。

2.13.6 生活環境への影響（8件）

【学校周辺の居住について】（GIE社回答）

ご懸念の「学校周辺に寮ができるのか」「外国の方が増えるのではないか」という点につきまして、本校では寮の設置予定はなく、生徒は原則として自宅から通学します。したがって、学校周辺に外国の方が集中的に住む状況は想定しておりません。通学は主にスクールバスや保護者による送迎であり、地域の皆様と共存できる環境を重視した運営を進めてまいります。

【税金に依存しない自立した運営、衛生管理】（GIE社回答）

「2500～3000人の外国人が来て税負担が増える」というご懸念は、生徒構成の実態と異なります。

◆生徒の内訳：私たちが運営する既存校の実績（2024年時点）では、ワン・ワールド・インターナショナル・スクール大阪校の生徒の約54.7%、ワン・ワールド・インターナショナル・スクールつくば校の約82%が日本人の生徒です。札幌校においても、生徒の多くは札幌市内等から通う日本人家庭や、既に在住している外国人家庭を想定しており、海外から数千人が一気に流入して生活保護や医療費を圧迫するという事態は考えにくい状況です。

◆経済状況：本校の授業料は年間約150万～180万円程度を想定しております。国籍を問わず自立して教育費を負担できるご家庭が対象となります。

◆感染症対策：日本の学校保健安全法等に準拠し、校内での感染症対策や衛生管理を徹底します。万が一の際は、地域の保健所等の指導に従い適切に対応します。

【バス・交通対策】（GIE社回答）

「バス減便の中で困る」という点については、生徒が既存の路線バスに殺到して地域住民の方々の利用を妨げないように、学校側で専用のスクールバスを運行します。南区外や遠方からの通学者についても、スクールバスにて主要な駅やエリアを経由するルートを設定し、広域からの通学をカバーします。

【契約と法規制による二重の制限】（札幌市回答）

◆契約による制限：売買契約には「10年間の用途指定（インターナショナルスクールとしての運営義務）」と、違反時に札幌市が土地建物を買い戻すことができる「買戻し特約」が盛り込まれます。これにより、公共財産の適正な利用を担保しております。

◆法規制：当該用地には都市計画法に基づく用途地域が定められており、建築可能な建物の用途は建築基準法によって制限されております。

【資産価値への影響】（GIE社回答）

「家が売れなくなる」とのご懸念ですが、文教施設としてのインターナショナルスクールが開校し、地域のお子様向けの英語プログラムや施設開放が行われることは、地域の魅力向上につながる側面もあると考えております。地域住民の皆様は「この学校が来てよかった」と思っていただけるよう、環境美化などに努めてまいります。

2.13.7 施設の必要性・目的への疑問（6件）

【運転手は地元採用を優先】（GIE社・札幌市回答）

（GIE社回答）

「バスの運転手は移民を雇用するのか」というご懸念に対し、ご回答いたします。スクールバスの運行においては、冬道の運転や地域の交通事情に精通していることが不可欠であるため、「日本人・地元の方」を最優先で採用する計画です。また、「学校の裏の敷地を開けている」とのご指摘ですが、学校周辺の分譲宅地（グリーンタウン芸術の森）は、本件公募前から地元の民間事業者が開発・販売しているものであり、インターナショナルスクール計画とは一切無

関係です。本校は生徒の通学を前提とした教育施設であり、敷地内に寄宿舍（寮）や外国人労働者のための居住区を開発する計画はございません。

（札幌市回答）

治安悪化への不安に対し、札幌市と北海道警察本部による「北海道警察・札幌市行政連絡会議」等の枠組みを活用し、本校開校に伴うパトロール強化等を札幌市から警察へ直接要望します。また、北海道・札幌市は令和6年6月に、国家戦略特別区域諮問会議において、北海道が国家戦略特区に指定されるとともに、北海道・札幌市がGX金融・資産運用特区（現：北海道・札幌 GX/AI金融・資産運用特区）として指定されました。インターナショナルスクールは、上述した北海道・札幌 GX金融・資産運用特区の推進に向けた高度人材受入のための教育環境整備に資するものであり、量的な労働力の受け入れ拡大を目的とした移民政策ではありません。

【選定した理由と地域還元】（GIE社・札幌市回答）

（GIE社回答）

「なぜ廃校になった場所にまた学校を作るのか」というご疑問ですが、私たちが常盤地区を選定した最大の理由は、「豊かな自然環境」です。ワン・ワールド・インターナショナル・スクールのカリキュラムである「探究型学習」では、教室の中だけでなく、森や川などの自然に触れながら学ぶプロセスを重視しており、この環境こそが教育に最適であると判断しました。

「日本人の子どもに利点がない」とのご意見ですが、既存のワン・ワールド・インターナショナル・スクール大阪校では生徒の約54.7%、ワン・ワールド・インターナショナル・スクールつくば校では約82%が日本人の生徒です（2024年実績）。多くの日本人ご家庭に、英語環境や国際バカロレア（IB）などの国際的な教育プログラムに価値を見出し、本校を選択いただいています。また、地域のお子様向けに「サマーキャンプ」や「施設開放」を実施し、地域全体に教育機会を還元します。

（札幌市回答）

札幌市では、「市有建築物の資産管理基本方針」において、市有施設がその役目を終え行政目的で使用しない施設や土地は、売却処分を促進し財源の確保に努める、と定めております。また、「札幌市市有建築物の配置基本方針」において、今後は行政が建物を保有せずに民間による施設サービスを促進するといった民間活力を活用することも定めております。そのため、閉校した小学校などについては、民間事業者による活用が見込まれる場合は、売却することが最も有効な公有財産の活用と考えております。

【自己資金運営、契約による厳格な制限】（札幌市回答）

本事業における施設整備費や運営費は、全てGIE社の自己資金で賄われ、札幌市からの補助金や助成金は一切ありません。売却価格の2,220万円についても、不動産鑑定士による適正な評価額（過去2回4,710万円で公募不調だった経緯を踏まえ、不動産鑑定士が建物の劣化状況等を考慮した再評価額）であり、特定の企業を優遇した不当廉売ではありません。また、契約には「10年間の用途指定」と、違反時に札幌市が土地建物を買い戻すことができる「買戻し特約」が盛り込まれます。これにより、公共財産の適正な利用を担保しております。

【優先交渉権者決定の経緯】（札幌市回答）

事業者選定においては、外部有識者を含む審査委員会で総合点80.4点（次点78.4点）を獲得しており、単なる売却価格だけでなく、地域連携や事業の継続性が総合的に評価された結果です。

【学校運営の考え方について】（GIE社回答）

「結局は儲け最優先ではないか」とのご懸念につきましては、率直なご意見として真摯に受け止めております。本校は株式会社による運営ではありますが、教育施設の特性上、開校初期には施設整備や教育環境の構築に多額の投資を要し、また教職員配置を含め人件費の比率も高いことから、短期的に利益が生じる構造ではございません。学費につきましても、利益確保を主目的として設定しているものではなく、教育の質と安全性を維持し、長期的に安定した学校運営を行うために必要な経費を基に設定しております。また、学校は地域の信頼の上に成り立つ公共性の高い教育機関であると認識しており、教育環境の充実や地域との連携を通じて、長く地域に根ざした学校運営を行っていくことが最も重要であると考えております。今後も運営の透明性に配慮しながら、地域の皆様にご理解いただける学校づくりに努めてまいります。

2.13.8 漠然とした不安（7件）

【地域への定住・急増について】（GIE社回答）

「今まで通り穏やかに暮らしたい」という切実なご意向を重く受け止めています。まず、本校は敷地内及び周辺に寄宿舍（寮）や教員住宅を建設する計画は一切ございません。生徒は札幌市内全域や近郊の自宅からスクールバス（開校時2台予定）等を利用して通学するため、開校によって常盤地区に外国人が一斉に移住し、人口構成が急変することは想定しておりません。また、既存のワン・ワールド・インターナショナル・スクール大阪校の生徒の約54.7%、ワン・ワールド・インターナショナル・スクールつくば校の約82%は日本人の生徒です（2024年実績）。特定の外国籍の生徒のみではなく、日本人のご家庭も多く含まれる多様な国籍の生徒が通う学校となります。

【警察・行政との連携による防犯対策】（GIE社回答）

日本国内において罪を犯した場合は、国籍に関わらず日本の法律（刑法等）が適用され、警察等の関係機関により厳正に処罰されます。「外国籍だから裁かれない」ということは法制度上ございません。

万が一、学校関係者による触法行為や地域への迷惑行為があった場合は、学校として警察と連携し、退学処分を含めた厳正な対処を行います。

【近隣への居住・不動産斡旋の計画はありません】（GIE社回答）

「在学する学生とその家族が近隣に住居を持つか」とのご質問ですが、学校として特定のエリア（常盤地区など）への居住を斡旋したり、学校周辺に保護者用の住宅地を開発したりする計画は一切ございません。生徒は広域からバス等で通学するため、学校周辺に特定の国籍の人々が集住するコミュニティが形成されることは想定しておりません。

【「買戻し特約」による目的外利用の阻止】（札幌市回答）

売却後の利用につきましては、民法第580条の規定に基づき、契約で設定できる最長期間である「10年間」を用途指定期間と定め、提案された事業計画通りに学校として利用することを義務付けております。万が一、違反があった場合には札幌市が土地・建物を買い戻すことができる特約を設けています。なお、当該用地には都市計画法に基づく用途地域が定められており、建築可能な建物の用途は建築基準法によって制限されております。

【生活トラブルへの対応窓口】（GIE社回答）

「すべてが不安」というお気持ちに対し、少しでも安心していただけるよう、学校内に地域住民専用の意見箱「みんなの声ポスト（意見箱）」を常設します。

騒音やマナー等で気になる点があれば、直接当事者と関わることなく学校側へ通報いただける仕組みを作り、学校が責任を持って指導・改善にあたります。

お寄せいただいたご意見・ご質問に対する GIE社及び札幌市の回答一覧

設問3 「事業に期待すること」に対する回答※

※「ご意見・ご質問一覧」で分類したカテゴリごとに回答しております。

カテゴリ	ページ
3.1 地域活性化・にぎわいの創出（80件）	回3-1～回3-3
3.2 国際交流・教育・人材育成・オープンな運営・継続的な運営（63件）	回3-3～回3-7
3.3 地域住民との交流・連携・共生社会の実現（47件）	回3-7～回3-10
3.4 災害・避難所機能の維持（9件）	回3-10
3.5 施設活用・廃墟化防止（26件）	回3-10～回3-12
3.6 雇用創出・地元経済への貢献（12件）	回3-13～回3-14
3.7 安全・マナーの徹底維持（9件）	回3-14
3.8 期待なし・反対・撤退要望（53件）	回3-14～回3-17
3.9 その他（7件）	回3-17

設問3 事業に期待すること（306件）

3.1 地域活性化・にぎわいの創出（80件）

3.1.1 芸術の森地区の特色ある発展（12件）

【地域の活性化と発展への期待】（札幌市回答）

札幌市では、学校の跡活用を通じた地域コミュニティ機能の維持・向上を条件の一つとして公募を実施いたしました。GIE社からは、学校運営に支障のない範囲でのグラウンドや体育館の地域開放、地域住民参加型イベントの開催などが提案されております。札幌市といたしましては、こうした取組が常盤地区の活力向上に大きく寄与するものと期待しております。

【芸術の森地区の特色強化】（札幌市回答）

GIE社からは、周辺に立地する大学や美術館等と連携した取組を行うことも提案されております。札幌市といたしましては、こうした連携により、芸術の森地区の特色がさらに強化されるものと期待しております。

【多文化共生とコミュニティのモデル構築】（札幌市回答）

GIE社が計画するインターナショナルスクールは、特定の国籍に限定せず、日本人を含む多様な国籍の児童生徒を対象とするものと承知しております。一方で、外国籍の方の増加に伴う生活習慣の違い等に対するご懸念につきましても、札幌市としてしっかりと対応してまいります。具体的には、生活ルールやマナーに関するきめ細やかな情報提供（生活オリエンテーションの実施など）を行い、日本人市民と外国籍市民の双方が安心して暮らせる「多文化共生のまちづくり」を推進してまいります。

3.1.2 旧常盤小学校の再生と子ども・若者の増加（15件）

【地域の活性化と世代間交流への期待】（札幌市回答）

GIE社からは、学校主催のイベントに地域の皆様が参加できる機会を設けるほか、夏祭りなどの地域行事へも積極的に参加し、地域との交流を深めることが提案されています。こうした活動を通じて、再び地域ににぎわいが生まれ、活性化につながるよう、札幌市としてもGIE社の取組を支援してまいります。

【施設環境の保全】（GIE社回答）

私たちは、この常盤地区の豊かな自然環境こそが、世界に誇れる教育資源であると考えています。校舎活用について、新たに大規模な建物を建設して自然を破壊するのではなく、歴史ある旧常盤小学校の校舎をきれいにリニューアルして大切に使用します。

【防災・雇用面での地域貢献】（札幌市回答）

今回の公募におきましては、「緊急時の避難場所として、地域防災に協力すること」を跡地売却の条件の一つとしております。これに対しGIE社からは、災害時に体育館を地域開放する計画

が提案されております。また、雇用面につきましても、地域貢献の一環として、施設の清掃や用務員業務における地元住民の皆様の雇用、およびスクールバスの運行において冬道の運転に習熟した方を採用することなどが提案されております。札幌市といたしましては、学校跡地の活用を通じて、緊急時の避難場所の確保と地域の活性化という具体的な地域貢献にしっかりとつながるよう、引き続きGIE社と連携してまいります。

3.1.3 国際的な要素による活性化（3件）

【国際的な地域づくりと多文化交流への期待】（札幌市回答）

GIE社からは、地域住民の皆様との交流を深めるため、地域の皆様・札幌市・学校の3者による「地域連携協議会（仮称）」を設置し、継続的な対話を行うほか、学校主催のイベントへの地域住民の招待や、夏祭り等の地域行事への参加、フードバンク等のボランティア活動を通じて、顔の見える関係づくりを進める計画が提案されています。札幌市としても、国籍に関わらず安心して暮らせる多文化共生のまちづくりを推進し、地域の皆様の「街が明るくなる」というご期待に沿えるよう、GIE社と連携して取り組んでまいります。

3.1.4 地域の全体的な活性化・発展への期待（34件）

【地域全体の活性化と賑わいの創出】（札幌市回答）

GIE社からは、学校主催のイベントに地域の皆様に参加できる機会を設けるほか、夏祭りなどの地域行事へも積極的に参加し、地域との交流を深めることが提案されています。こうした活動を通じて、再び地域に賑わいが生まれ、活性化につながるよう、札幌市としても事業の定着を支援してまいります。

【地域雇用創出への期待】（GIE社回答）

清掃、用務員、除雪等の施設管理業務については地域の関係機関と連携し、地域住民の方々に就労いただくことで地域雇用の創出にも寄与したいと考えております。

【日本文化への理解】（GIE社回答）

私たちは決して地域や日本社会に背を向ける意図はございません。むしろ、自然豊かで落ち着いた教育環境において、札幌市や地域と調和しながら学校運営を行いたい、という理由により常盤地区を選定しました。また、既存校（東京・大阪・つくば）においても日本人児童生徒が多数在籍しており、日本文化や地域社会を尊重した教育を実践しております。

3.1.5 地域住民との具体的な交流・連携・共生（16件）

【学校行事への参加と子ども同士の交流】（GIE社回答）

地域や町内会との連携については、「地域連携協議会（仮称）」を中心に具体的内容を協議します。大阪校では、地域の夏祭り、餅つき大会、防災訓練、フードバンク活動等への参加実績があります。札幌市においても、地域行事への参加や共同企画について、継続的な対話を通じて検討してまいります。

【地域社会への「融和」と「定着」】（札幌市・GIE社回答）

文化や習慣の違いによるごみ出しや騒音等のトラブルについては、札幌市の多文化共生施策とも連携して対策を講じます。

◆マナー教育：学校では、ごみの分別や騒音、交通ルールなどの日本独自の生活習慣を入学時に指導します。また、札幌市では「外国籍市民が日本の生活習慣等を学ぶ場」として「生活オリエンテーション」を実施するほか、国も地域社会のルール等を習熟するための取組の重要性を掲げておりますので、教育教材として活用してまいります。

◆相談窓口：学校内に「みんなの声ポスト（意見箱）」を設置し、マナー違反等にお気づきの際は、直接注意するリスクを負うことなく学校側へ通報いただける仕組みを整えます。

【人的交流を起点とした地域経済・組織連携】（札幌市回答）

GIE社からは、周辺に立地する大学や美術館等と連携した取組を行うことが提案されており、教育機関同士の有機的なつながりが生まれることが期待されます。また、地域雇用については、スクールバスの運行において冬道の運転に慣れた方を採用することや、施設の清掃員・用務員業務における地域住民の雇用が提案されています。これらの取組や新たに設置される「地域連携協議会（仮称）」を通じて、GIE社と地域の各機関や組織、札幌市が連携を深め、地域全体に新たな活力やにぎわいの創出につながるよう取り組んでまいります。

3.2 国際交流・教育・人材育成・オープンな運営・継続的な運営（63件）

3.2.1 グローバル人材の育成と国際感覚の醸成（21件）

【地域および日本人の英語力・国際競争力の向上】（札幌市回答）

GIE社が運営するワン・ワールド・インターナショナル・スクールでは、国際的に評価の高い国際バカロレア（IB）認定校を目指すなど、質の高い教育プログラムの提供が予定されております。また、既存の大阪校やつくば校では日本人の児童生徒が半数以上を占めており、英語に不安のある生徒でも安心して授業に参加できるよう、英語力を補う「英語準備プログラム」が用意されるなど、日本の子どもたちが世界基準の教育を受けるためのサポート体制もしっかりと整えられております。札幌市では、北海道・札幌 GX金融・資産運用特区（現：北海道・札幌 GX/AI金融・資産運用特区）として、世界中から人材が集まる都市を目指しており、本スクールの開校が、そうした方々やご家族への教育環境の受け皿となることを期待しております。

【多文化共生社会を担う考え方の醸成】（札幌市回答）

GIE社は「あらゆる文化を尊重し、世界を大切にする」という理念のもと、特定の国籍に偏ることなく、多様な国籍の児童生徒を受け入れる方針であると承知しております。既存のキャンパスの実績においても多国籍な子どもたちが共に学んでおり、こうした環境で過ごすことは、これからの時代に求められる「国際共生能力」や「協調性」を養う絶好の機会になると考えております。札幌市といたしましても、日本人市民と外国籍市民の双方が安心して暮らせるまちづ

くりを進めており、同スクールでの学びや地域交流を通じて、次世代を担う子どもたちに「多文化共生の考え方」が育まれるよう支援してまいります。

【日本社会への還元と将来への投資】（札幌市回答）

インターナショナルスクールの誘致は、高度外国人材が安心して働ける環境整備の一環であるとともに、将来の札幌や北海道の発展を支える人材育成への「重要な投資」でもあります。GIE社からは、日本の国語の教科書を使用して、日本語だけでなく日本の文化や道徳も学ぶカリキュラムの導入が提案されております。これにより、国際的な感覚を持ちながらも日本社会を深く理解し、将来的に日本や地域社会で活躍できる人材が育成されるものと期待しております。さらに、周辺に立地する大学や美術館等と連携した取組も提案されております。こうした活動を通じて、常盤地区が世界に向けた教育・文化発信の拠点となり、地域全体の活性化と発展につながるよう、札幌市としても本事業をしっかりと後押ししてまいります。

3.2.2 教育の質・学習環境への期待と要望（13件）

【カリキュラムの質と進学・キャリア形成への懸念】（GIE社回答）

GIE社が運営するワン・ワールド・インターナショナル・スクールは、国際的に評価の高い教育カリキュラムを提供しており、探究型の学習を通じて、学力だけでなく、実社会で直面する課題に対処できる力を育むことを目指しています。具体的な進学カリキュラムにつきましては、高校2・3年生相当において「国際バカロレア・ディプロマプログラム（IBDP）」の認定校となることを目指しています。この課程を修了した生徒は、文部科学省の基準に基づき、日本の高校卒業資格とは別の制度枠組みではありますが、国内大学への入学資格を得ることが可能です。GIE社のグループ全体では、ケンブリッジ大学やオックスフォード大学といった海外の名門大学に加え、東京大学、京都大学、早稲田大学など国内の有名大学へも多数の進学実績がございます。また、英語に自信がない生徒に対しては、通常の授業に参加できるよう英語力を補習する「英語準備プログラム」を提供するなど、質の高い教育についていくためのサポート体制も整えられております。

【地域資源（芸術・自然）の活用と情操教育】（札幌市回答）

GIE社からは、周辺に立地する大学や美術館等と連携した取組を行うことが提案されており、地域の文化資源を最大限に活用して、子どもたちの感性や創造性を育む教育が期待されます。また、インターナショナルスクールではありますが、日本の国語の教科書を使用して日本語の授業を行い、その中で日本の文化や道徳についても学ぶカリキュラムが組まれています。「あらゆる文化を尊重し、世界を大切にする」というGIE社の理念に基づき、英語教育だけでなく、地域や日本の文化を深く理解し、感性豊かな人材が育つよう、札幌市としても地域連携を支援してまいります。

【教育の多様化とモデル校としての期待】（札幌市回答）

GIE社のスクールは、特定の国籍の生徒だけを対象とするのではなく、日本人を含む多様な国籍の生徒が共に学ぶ環境を提供します。「探究型学習」や「国際バカロレア（IB）」のプログラムが、多様性を尊重する人材育成につながることを期待しております。

3.2.3 事業の継続性・健全な運営・コンプライアンス（16件）

【長期的な事業継続と転売・撤退への懸念】（札幌市回答）

GIE社からは、長期的な計画で教育事業を行う提案がなされているほか、公募提案審査委員会における審査の中でも、財務の安定性、事業継続性、管理運営等に必要十分な能力を有すると評価されています。売却後の利用につきましては、民法第580条の買戻し可能最長期間10年の規定を踏まえ、用途指定期間を10年と定め、提案された事業計画通りに学校として利用することを義務付けております。万が一、違反があった場合には札幌市が土地・建物を買戻すことができる特約を設けています。なお、当該用地には都市計画法に基づく用途地域が定められており、建築可能な建物の用途は建築基準法によって制限されております。

【運営の透明性と公平性の確保】（札幌市回答）

運営の透明性を担保する具体的な仕組みとして、行政・地域・事業者による「地域連携協議会（仮称）」を設置し、定期的に運営状況の共有や意見交換を行う計画です。また、施設内に「みんなの声ポスト（意見箱）」を常設し、地域の皆様の声を運営に反映させる体制も整えます。透明性のある運営を期待される地域の皆様の思いに応えられるよう、札幌市としても協議会への参加を通じて、開かれた学校づくりを支援してまいります。

【日本における事業需要と実現可能性】（札幌市回答）

GIE社の母体（グローバル・スクールズ・グループ）は、世界11カ国で学校を運営し、45,000人以上の生徒が在籍する実績があります。日本国内においても、2006年から東京で運営を開始し、近年では大阪やつくばでも開校するなど、着実に生徒数を伸ばし安定した運営を続けております。また、「生徒が外国人ばかりになるのでは」という点につきましては、既存の大阪校やつくば校では日本人主体の生徒構成（約50%以上）となっており、地域の日本人の子どもたちの新たな学びの場としても機能しています。さらに、北海道・札幌市は北海道・札幌 GX金融・資産運用特区（現：北海道・札幌 GX/AI金融・資産運用特区）に認定されており、今後、海外からの人材・資金の集積が進むことで、インターナショナルスクールの需要が高まると見込んで進出を検討しているものと思われます。

【学習計画のお知らせ】（GIE社回答）

学校の教育内容にご関心をお持ちいただき、ありがとうございます。本校では地域に開かれた学校づくりを大切にしており、学校行事や活動の様子についてはホームページや地域向けの機会などを通じてお伝えしていく予定です。日々の詳しい学習計画は主に在校生保護者へのご案内となりますが、地域の皆様にも学校の取組をご理解いただけるよう努めてまいります。

3.2.4 地域に開かれた運営と公平性（4件）

【地域住民への教育還元（語学・国際交流）】（札幌市回答）

GIE社からは、在校生以外の方でも参加可能な課外活動として、放課後や週末を活用した「英語集中クラス」や「サマーキャンプ」、「幼児向けの保育プログラム」などの実施を検討すると伺っております。また、同社は「質の高い教育を適切な価格で提供する」ことをミッションの一つとして掲げております。皆様からお寄せいただいた「東川町のような無料の1日言語教室」

や「相場よりも安価なスクール」といった具体的なアイデアにつきましては、地域への有意義な教育還元策として検討してもらえよう、今後、地域の皆様・札幌市・学校の3者により設置する「地域連携協議会（仮称）」を通じて、札幌市から事業者へ要望を伝えてまいります。

【学校行事への一般参加と開かれた学校づくり】（札幌市回答）

GIE社からは、地域貢献活動の一環として、年に一度の学校主催イベント（スプリングカーニバル等）に地域の皆様に参加できる機会を設け、交流を深める計画が提案されております。また、地域のお祭りへの参加や、グラウンド・体育館等の施設開放なども提案されており、GIE社として「地域に開かれた学校運営」を目指す姿勢が示されております。具体的なイベントの開催時期や参加方法等につきましては、今後「地域連携協議会（仮称）」において事業者および地域の皆様と協議・調整を行い、スムーズにご案内ができるよう体制を整えてまいります。

【公共性と社会的公平性（格差への懸念）】（札幌市・GIE社回答）

（札幌市回答）

札幌市が国から指定された北海道・札幌 GX金融・資産運用特区（現：北海道・札幌 GX/AI金融・資産運用特区）の推進に向け、海外からの高度金融人材等が家族帯同で安心して暮らすためには、英語で授業が行われ、帰国後もスムーズに各国の教育課程に接続できるインターナショナルスクールが必要です。

（GIE社回答）

芸術の森小学校は学習指導要領に基づく日本の教育を行う学校であり、本校は国際バカロレア（IB）等の国際基準のカリキュラムを提供する場として、それぞれ異なる教育ニーズに対応する役割を担っています。ご懸念のような地域内での「分断」が起きないように、GIE社は誰もが尊重される環境づくりを目指しています。なお、生徒は札幌市内全域や近郊の自宅からスクールバス等で通学し、学校敷地内に寄宿舍（寮）や保護者用住宅を建設する計画はないことから、常盤地区に集住が進むことを想定しておりません。

3.2.5 運営プロセスへの要望・懸念・合意形成（4件）

【生徒構成と日本人比率の維持】（GIE社回答）

GIE社の既存校（東京・大阪・つくば）の実績では、日本人生徒の比率がいずれも約50%～80%となっており、地域に根差した国際教育を実現しています。札幌校においても、特定の国籍や外国人労働者に限定した施設ではなく、多様な国籍の児童生徒を対象としています。

【生徒数計画（650名）と少子化への懸念】（札幌市回答）

GIE社からは、開校初年度（2027年）は約50名（未就学児～小学5年生）の少人数からスタートし、学年を順次増やしながら、2033年以降に最大定員約650名を目指す長期的な計画が提案されています。生徒募集については、スクールバスを運行することで、常盤地域だけでなく広域から児童生徒を募集する予定です。旧常盤小学校公募提案審査委員会においても、事業の確実性・継続性などについて総合的に審査を行い、事業者がこれまでの実績に基づいた十分な運営能力を有していると判断し、選定に至りました。

3.2.6 文教地区としてのブランド化・拠点化（5件）

【芸術・文化・教育の集積地としてのブランド価値向上】（札幌市回答）

GIE社が、常盤地区を札幌校の開設場所に選んだ最大の理由が「豊かな自然と文化芸術が息づく環境が、子どもたちの学びに最適である」と評価したためと聞いております。GIE社の提案には、周辺に立地する大学や美術館等と連携した取組を行うことが盛り込まれており、既存の施設とインターナショナルスクールが有機的につながることで、この地域が国際的な感性を育む文教地区として価値を高めていけるよう、札幌市としても連携を支援してまいります。

【高等教育機関への展開とグローバル人材の輩出】（札幌市回答）

GIE社の事業計画では、未就学児から高校3年生相当までの教育課程を提供することを予定しており、現時点で大学等の設置計画はございません。しかしながら、GIE社が導入を目指す国際バカロレア（IB）等のプログラムは、世界のトップ大学への進学資格を得られるものであり、グループ全体ではケンブリッジ大学や東京大学など国内外の有名大学への多数の進学実績を持っています。まずはこのスクールから、高い国際感覚と教養を持った卒業生が巣立ち、世界中で活躍する人材となるよう、事業の定着を後押ししてまいります。

【排外主義への拒絶】（札幌市回答）

GIE社は「あらゆる文化を尊重し、世界を大切にする」という理念を掲げており、本スクールは特定の国籍や思想に偏るものではなく、多様な背景を持つ子どもたちが共に学ぶ場です。札幌市としても、国籍のみを理由とした排斥はあってはならないと考えており、今後も、日本人市民と外国籍市民が共に尊重し合い、安心して暮らせる多文化共生のまちづくりを、常盤地区の皆様とともに推進してまいります。

3.3 地域住民との交流・連携・共生社会の実現（47件）

3.3.1 異文化理解・国際交流の促進（10件）

【身近な異文化体験と食文化を通じた交流】（札幌市回答）

GIE社からは、地域のお祭り（夏祭り等）への参加や、学校主催のイベント（スプリングカーニバル等）に地域の皆様をご招待することが提案されています。既存の大阪校などの実績では、地域のお祭りで食品ブースを出店したり、学校の敷地内で生徒が育てた野菜を地域のフードバンクへ寄付したりするなど、食を通じた交流活動も行われています。言葉の壁を越えて楽しめる「食」や「文化」を通じた交流は、相互理解を深めるための非常に有効な手段であると考えております。今後設置予定の「地域連携協議会（仮称）」において、どなたでも気軽に参加できるような具体的な交流イベントの企画についても、事業者と話し合ってまいります。

【学校間交流と地域の学校との交流の検討】（札幌市回答）

GIE社は、周辺に立地する大学や美術館等と連携した取組を行うことを提案しているほか、既存校では放課後や長期休暇中に、在校生以外のお子様も参加できる英語プログラムやサマーキャンプ等を実施しています。地域の小中学校との具体的な学校間交流につきましても、お互いの

子どもたちにとって有意義な経験となるよう、教育委員会や学校関係者とも連携しながら、どのような形での交流が可能か、協議会等の場を通じて検討してまいります。

3.3.2 運営プロセスへの要望・懸念・合意形成（4件）

【説明責任と対話の場の拡充】（札幌市回答）

今後、説明会を開催する際には、開催の方法や頻度について事業者と調整してまいります。また、開校後は行政・地域・事業者による「地域連携協議会（仮称）」を設置し、定期的に対話できる場を設ける計画です。「代表者の中に日本人がいたほうが良い」というご懸念につきましては、GIE社の日本法人は2006年から国内で運営を行っており、日本の商習慣や行政手続きに精通しております。また、全教職員の約40%を日本語対応可能な方とする方針であり、円滑なコミュニケーションができると考えております。

【選定プロセスの透明性と住民決定権】（札幌市回答）

今回の事業者選定は外部有識者を含む旧常盤小学校公募提案審査委員会により審査が行われました。採点結果は、GIE社が80.4点（次点78.4点）であり、その詳細な採点結果や講評を記載した「審査報告書」を札幌市公式ホームページで公表しております。地域住民の皆様にご理解いただけるよう引き続き丁寧にご説明してまいります。

【周知範囲と「市民全体」への視点】（札幌市回答）

これまでは、影響が最も大きい旧常盤小学校および旧石山東小学校の校区にお住まいの方を中心に、ニュースレターの回覧等を行ってまいりました。今後は、札幌市公式ホームページでの情報発信とともに、より広い地域の方々にも事業の意義や進捗をご理解いただけるよう、周知の方法や範囲について検討してまいります。

【日本法人の実績と安心感（その他・特記事項）】（札幌市回答）

GIE社からは、地域と連携した多様な取組が提案されており、既存の大阪校やつくば校の開校におきましても、自治体や地域住民の皆様と緊密に連携し、良好な信頼関係を築いてきた実績を有しております。特に、日本国内における学校運営の実績は20年近くにわたり、日本の文化や地域社会のあり方を重んじる姿勢を示しております。今回の計画におきましても、皆様からのご意見を受け付ける「みんなの声ポスト（意見箱）」を設置し、地域の声を学校運営に反映させる仕組みが提案されております。札幌市といたしましても、こうした取組が着実に履行されるよう、引き続きしっかりと確認してまいります。

3.3.3 具体的な連携・行事参加・地域貢献（14件）

【地域行事への参加と施設の開放】（札幌市回答）

GIE社からは、地域貢献活動の一環として、学校運営に支障のない範囲で放課後や週末に体育館およびグラウンドを地域へ開放することや、災害時には緊急避難場所として機能させる計画が提案されております。また、年に一度、学校主催のイベント（スプリングカーニバル等）に地域の皆様をご招待する機会を設けるほか、地域の夏祭り等の行事にも積極的に参加し、屋台の出店などを通じて交流を深める意向が示されております。具体的な開放のルールや参加する行

事等につきましては、今後設置予定の「地域連携協議会（仮称）」において、地域の皆様のご意見を伺いながら協議・調整してまいります。

【既存組織（町内会・学校・大学）との連携】（札幌市回答）

GIE社からの提案には、周辺に立地する大学や美術館等と連携した取組を行うことが盛り込まれており、札幌市立大学をはじめとする近隣施設とも協力関係を築いていく方針が示されております。また、地域との継続的な対話の場として、地域の皆様・札幌市・学校の3者による「地域連携協議会（仮称）」を新たに設置する予定です。この協議会を通じ、町内会や近隣の小中学校とも緊密にコミュニケーションを図り、地域との連携を深めてまいります。

【住民参加型（ボランティア・共創）の学校づくり】（札幌市回答）

GIE社からは、施設の清掃や用務員業務における地元住民の皆様の雇用創出を目指すほか、施設内に「みんなの声ポスト（意見箱）」を設置し、地域の声を学校運営に反映させる仕組みが提案されております。皆様からご提案いただいた「学校ボランティア」のように、地域の方々が学校運営やイベントに主体的に関わり、共に学校を作り上げていくことは、地域活性化の観点からも非常に有意義であると考えます。こうした「共創」の取組が実現できるよう、「地域連携協議会（仮称）」の場などを通じて事業者へ働きかけ、検討を進めてまいります。

【「地域連携協議会（仮称）」の詳細と透明性】（札幌市・GIE社回答）

本協議会の構成メンバーにつきましては、地域の皆様・札幌市・学校の3者を予定しております。主な活動といたしましては、施設運営の状況報告、地域イベントの企画、防災対策、さらには「みんなの声ポスト（意見箱）」に寄せられた地域の声への対応などについて協議を行う予定です。「会議はオープンな場となるのか」というご質問につきましては、本協議会が地域との信頼関係を構築するための重要な場となりますため、決定事項等をどのように地域の皆様へ情報発信していくかを含め、立ち上げの際に構成メンバーの皆様としっかりと協議を行い、透明性の確保に努めてまいります。

3.3.4 地域との融和・共生社会の実現（19件）

【多文化共生の推進】（札幌市回答）

札幌市では、文化や習慣の違いによって意図せずトラブルになることを防ぐため、「生活オリエンテーション」の実施などを通じて、ごみ出しのルールやマナーなどの周知を行っております。また、国も地域社会のルール等を習熟するための取組の重要性を掲げておりますので、その動向を注視してまいります。GIE社からは、地域と連携した多様な取組が提案されており、常盤地区の皆様と共に発展していけるよう、札幌市としてもバックアップしてまいります。

【地域福祉および既存事業者との具体的連携】（札幌市回答）

GIE社は、地域貢献の一環として「地域雇用の創出」を掲げており、既存校では自治体と連携して、施設の清掃や用務員業務を地域の方々に委託している実績がございます。福祉事業所様の就労支援等の活動と連携できる可能性も十分に考えられます。また、GIE社では生徒が育てた野菜をフードバンクへ寄付するといったボランティア活動も行われており、生徒とフードバンク

利用者の皆様との交流など、福祉と教育の相乗効果も期待されます。今後設置する「地域連携協議会（仮称）」において、具体的な連携の形を話し合ってまいります。

【誹謗中傷・妨害への懸念と安心な環境づくり】（札幌市回答）

札幌市といたしましては、地域住民の皆様の安全・安心を守ることが重要と考えています。事件・事故等の法令違反や、平穏な生活を害するような迷惑行為につきましては、警察等の関係機関と連携し、法に基づき厳正に対処いたします。また、誤情報や誤解による不安を解消するため、GIE社は施設内に「みんなの声ポスト（意見箱）」を常設し、「地域連携協議会（仮称）」を通じて正確な情報を発信していく計画です。「どこの国の人だからではなく、人として共生したい」という良識ある地域の皆様の思いが守られるよう、札幌市としても適切な支援を行ってまいります。

3.4 災害・避難所機能の維持（9件）

【避難場所の活用について】（札幌市回答）

GIE社からは、災害発生時に体育館等を地域の皆様へ開放する計画に加え、札幌市との協議のもとで緊急時の対応体制を構築することが提案されております。札幌市としては、旧常盤小学校の跡施設について、GIE社とも協議の上、避難所の指定及び運用について検討してまいります。

【景観改善と施設の維持管理】（札幌市回答）

閉校となった校舎が未利用のまま放置されることは、建物の老朽化を早めるだけでなく、地域の防犯や景観の面でも懸念がございます。今回、GIE社が既存の校舎を改修し、新たな学校として利活用することで、日常的に人の目が行き届き、建物が適切に維持管理される環境となります。これにより、地域の良好な景観が保たれることはもとより、治安の維持や環境美化にもつながるものと期待しております。札幌市といたしましても、事業者が責任を持って施設の管理運営を行うよう、契約に基づき状況を確認してまいります。

【増水時における避難について】（札幌市回答）

旧常盤小前の道路は、浸水ハザードマップ上、0.5～3m程度の浸水が想定されておりますので、天気予報などで事前に雨量を確認し、早めの避難行動をお願いできればと思います。また、お住まいの地域や川の水位状況、周囲の浸水状況などから、外に出られない場合はご自宅の2階以上への垂直避難もございますので、避難方法の1つとしてご検討ください。

3.5 施設活用・廃墟化防止（26件）

3.5.1 地域コミュニティとの連携・交流拠点化（3件）

【広域交流拠点としての魅力向上（南区全体の活性化）】（札幌市回答）

GIE社は、地域住民だけでなく広く市民が参加できるイベント（スプリングカーニバル等）の開催や、施設開放を計画しており、これが新たな人の流れを生むきっかけになると考えていま

す。「子育てに優しい場所」「それぞれの地域で楽しめる場所」というビジョンは、GIE社が目指す地域の姿です。学校ができ交流人口が増えることで地域のにぎわいが向上するといった好循環が生まれるよう、札幌市としてもGIE社の取組を支援してまいります。

【既存施設・活動との連携による「交流ステーション」化】（札幌市回答）

ご指摘の通り、近隣には「札幌市立大学」や「芸術の森」があり、GIE社からも「周辺に立地する大学や美術館等と連携した取組を行う」ことが提案されております。また、地域と学校をつなぐ仕組みとして、地域の皆様・札幌市・学校（GIE社）による「地域連携協議会（仮称）」を設置する予定です。この協議会を通じて、既存の芸術の森小学校や町内会、大学などが有機的につながり、単なる「学校」の枠を超えた、地域活動の中核として機能するよう、札幌市としても尽力してまいります。

【校舎への愛着とストック活用】（札幌市回答）

GIE社が札幌での開校を希望した理由の一つに、「歴史ある常盤小学校の建物を活用することで、地域に親しまれてきた建物を教育の場として生かしたい」という点がありました。既存の校舎を改修して大切に使い続けることは、地域の景観を守るだけでなく、防犯や環境保全の観点からも非常に重要です。野ざらしにすることなく、再び子どもたちの声が響く学び舎として再生させることで、地域の皆様の愛着に応えられるよう、事業の進捗を見守ってまいります。

3.5.2 地域住民への施設開放と利便性向上（9件）

【スポーツ・サークル活動の拠点としての施設開放】（GIE社回答）

体育館およびグラウンドは、放課後や週末に地域に開放する計画です。利用ルールにつきましては、今後設置される「地域連携協議会（仮称）」にて協議を進めてまいります。「いつ、どの団体が利用できるか」といった年間を通じた利用計画を定めることで、地域の少年団やサークルの皆様が安定して活動できる体制を整えていく方針です。

【地域住民向けの「学び」とグローバル教養の提供】（GIE社回答）

既存の大阪校やつくば校において、開校1年後より在校生以外の方でも参加できる「英語集中クラス」や「サマーキャンプ」などの課外活動を実施している実績がございます。また、弊社の教育カリキュラムは「探究型学習」を重視しており、地域や世界の課題について深く考えることを大切にしています。いただいたご意見にあるような、地域の皆様向けの語学講座やワークショップの開催につきましては、地域貢献の一環として、今後設置予定の地域連携協議会（仮称）等の場において対応可能か検討を進めてまいります。

【気軽に集える場所の整備】（GIE社回答）

常設カフェの営業について現時点では未定ですが、地域交流を深めるためのイベント開催を検討しています。具体的には、学校行事（スプリングカーニバル等）における地域の皆様の飲食ブース出店をはじめ、児童や地域団体によるステージ発表、施設の内覧会など、皆様が主役として集える機会を大切にしたいと考えております。また、学校が単なる教育の場にとどまらず、地域の皆様が集まれるコミュニティの居場所としても機能するよう、地域連携協議会（仮称）を通じて具体的な活用方法を協議してまいります。

【グローバルな課題（地球温暖化）等の講習】（GIE社回答）

弊社は「あらゆる文化を尊重し、世界を大切にする」ことをミッションに掲げており、環境問題や国際情勢などのテーマは、まさに弊社が得意とする教育分野と考えます。地域の皆様への語学教室の開設に加え、既存教育カリキュラムを活用した幅広いテーマによる講習が可能かどうか、地域連携協議会（仮称）を通して検討を進めてまいります。なお、つくば校では、筑波大学の教授や学生、研究機関とも連携実績のある弊社ならではの、専門家を招いたワークショップや大学生との交流を通じた地域貢献のあり方について模索しているところです。

3.5.3 廃校の再生・有効活用と景観改善（14件）

【荒廃した現状の改善と景観美化】（札幌市回答）

GIE社からは、既存の校舎を改修して使用し、グラウンド等の環境整備も責任を持って行う計画が提案されています。学校として再稼働し、日常的に人の手による管理が行われることで、建物の老朽化を食い止め、地域の景観や治安が維持・向上されるよう、札幌市としても事業者の管理状況を注視してまいります。

【教育施設としての再生と地域の賑わい創出】（札幌市回答）

地域のシンボルであった学び舎が、再び子どもたちの声が響く場所として再生されることは、札幌市としても大変喜ばしいことと考えております。GIE社は、学校運営に支障のない範囲で、グラウンドや体育館を地元のスポーツ少年団や地域団体の皆様に開放する予定です。また、年に一度、学校主催のイベント（夏祭りやスプリングカーニバル等）を開催し、地域住民の皆様を招待し、異文化交流を楽しめる機会を設ける予定です。この事業を通じて、常盤地区に活気と賑わいが生まれ、地域の活性化につながるよう、札幌市としても支援してまいります。

【ルールへの順守】（札幌市回答）

札幌市としては、GIE社に対し、日本の法令の順守はもとより、地域社会のルール・マナーを守った運営がなされるよう、適切に助言を行ってまいります。

【国道（沿道）景観の活性化】（札幌市回答）

国道453号沿いに位置する旧常盤小学校は、地域の顔とも言える場所です。GIE社による校舎のリノベーションや環境整備によって、通りを行き交う人々にとっても魅力的な景観（ランドマーク）となることは、芸術の森地区全体のイメージ向上にもつながると考えております。周辺環境とも調和し、地域外からも人が訪れたいような活気あるエリアとなるよう、事業者とも協力して景観づくりに取り組んでまいります。

3.6 雇用創出・地元経済への貢献（12件）

3.6.1 商業環境の活性化・地元店舗の利用（3件）

【地域経済への波及効果と商業振興】（札幌市回答）

札幌市としましては、人口減少が進む地域において、どのように活気を取り戻し、生活機能を維持・向上させていくかは、重要な課題の一つであると認識しております。行政が直接スーパーマーケット等の商業施設を運営することは難しい面もございますが、今回のようなインターナショナルスクールの誘致を通じて地域に人を呼び込み、新たな人の流れを創出することが、地域経済の活性化に向けたきっかけになるものと期待しております。GIE社は、将来的には最大650名規模の児童生徒の受け入れを見込んでおり、教職員や保護者の皆様を含め、多くの方々が日常的にこの地域を訪れることとなります。また、今後設置予定の「地域連携協議会（仮称）」につきましても、単なる施設運営の報告の場にとどまらず、「学校イベントにおいて地元の食材やサービスを活用する」といった、具体的な地域振興策について話し合う場にしてまいりたいと考えております。新しい学校の誕生が地域の皆様にとってプラスの波及効果を生み、結果として常盤地区および南区全体の利便性や魅力の向上につながっていくよう、札幌市といたしましても事業者と緊密に連携して取り組んでまいります。

3.6.2 地域雇用の創出（7件）

【地域雇用と交流による活性化】（札幌市回答）

地域雇用につきましては、GIE社より、校舎の清掃員や用務員などの業務において、地域住民の方々の雇用を検討している、との提案を受けております。また、登下校のスクールバス運行につきましても、日本の交通ルールや冬道の運転に精通している地元の方を採用する予定としており、地域雇用の創出を目指しています。地域の子どもたちへの語学学習や交流の機会につきましても、GIE社の既存校（大阪・つくば等）では、在校生以外のお子様も参加できる「英語集中クラス」や「サマーキャンプ」などのプログラムを実施している実績がございます。札幌校においても、地域の子どもたちが語学力を身につけられるような機会が提供されるよう、今後設置予定の「地域連携協議会（仮称）」の場を通じて、具体的なプログラム内容を協議してまいります。地域のお祭りへの参加やボランティア活動などを通じて、様々な場面で住民の皆様と自然な交流が生まれるよう、札幌市としても事業者を支援してまいります。

3.6.3 納税・観光資源・労働力としての経済貢献（2件）

【経済効果と地域資源としての価値】（札幌市回答）

税収面につきましては、GIE社による土地・建物の購入や固定資産税の納付などにより、札幌市の財政に寄与するものと考えております。また、観光資源という観点につきましても、国際的な教育機関が存在することで、海外からの短期留学生や視察団の訪問、あるいは保護者の来訪などが見込まれ、常盤地区の豊かな自然や「芸術の森」などの文化施設と相まって、新たな人の流れと魅力を創出する可能性があります。さらに、GIE社も、地域住民の雇用だけでなく、将来的に卒業生が地域社会で活躍することを見据えた教育を行う方針であり、人口減少が進む札

幌市において、海外からの高度人材やそのご家族が地域で生活し、働くことは、経済活性化の大きな力になると考えられます。

3.7 安全・マナーの徹底維持（9件）

【交通混雑の緩和と通学手段の管理】（札幌市回答）

GIE社は、登下校時のスクールバス運行（開校時2台予定）を計画しており、運転手には日本の交通ルールや雪道運転に精通した方を採用する予定です。また、保護者の自家用車による送迎につきましても、路上駐車による渋滞を防ぐため、校庭の一部を駐停車スペースとして活用し、敷地内で乗降を行う計画や、登下校時には交通誘導員を配置する計画です。地域の皆様の生活交通に支障が出ないよう、事業者に対して計画の確実な実施を求めています。

【治安維持と具体的な防犯インフラの整備】（札幌市回答）

札幌市としては、国籍に関わらず、事件・事故等の法令違反については警察等の関係機関と連携し、厳正に対処する方針です。GIE社としても、地域との信頼関係構築が学校運営の基盤であると認識しております。万が一に備え、GIE社には責任ある管理体制の構築を求めるとともに、市としても地域の安全が脅かされないことがないよう、警察との連携を密にまいります。

【日本のルール・マナーの遵守と文化摩擦】（札幌市・GIE社回答）

GIE社の教育カリキュラムでは、日本の教科書を使って「道徳」や「文化」を学ぶ授業も行われており、地域での生活や将来の活躍を見据えて、日本の習慣を身につけることを重視しています。また、札幌市では「外国籍市民が日本の生活習慣等を学ぶ場」として「生活オリエンテーション」を実施するほか、国も地域社会のルール等を習熟するための取組の重要性を掲げておりますので、教育教材として活用してまいります。なお、GIE社では、学校内に「みんなの声ポスト（意見箱）」を設置し、マナー違反等にお気づきの際は、直接注意するリスクを負うことなく学校側へ通報いただける仕組みを整えます。

【交番・消防署等の設置要望】（札幌市回答）

新たな交番や消防署の設置につきましては、北海道警察や札幌市消防局が地域全体の需要や配置計画に基づいて判断するものであり、本事業に合わせて直ちに新設をお約束することは難しいのが現状です。しかし、地域の皆様の「安全・安心」を守るため、GIE社には、適切な施設管理、緊急時の連絡体制や対応について「地域連携協議会（仮称）」の中で明確化するように求めるなどにより、地域の皆様の不安解消に努めてまいります。

3.8 期待なし・反対・撤退要望（53件）

3.8.1 不安・懸念・不信感・不要論（27件）

【計画の実効性と現実との乖離への不信感】（札幌市回答）

今回の事業者選定は外部有識者を含む旧常盤小学校公募提案審査委員会により審査が行われました。審査では、財務の安定性や事業の継続性などを総合的に審査し、GIE社が長期的に運営で

きる能力を有していると判断いたしました。さらに、売却契約においては「10年間の用途指定期間」を設け、提案通りの学校運営を行うことを義務付けます。もし違反した場合は、札幌市が土地・建物を買い戻すことができる契約となっており、計画の実効性を法的に担保しています。また、開校後も「地域連携協議会（仮称）」を定期的に開催し、計画通りに運営されているか、地域の皆様と共に継続的にチェックしていく体制を整えてまいります。

【具体的なメリット】（札幌市回答）

住民の皆様にとっての具体的なメリットとして、主に以下の4点が考えられます。

◆災害時の安心（防災機能）：災害発生時には、学校の体育館やグラウンドが避難場所として開放される予定です。

◆地域活動を支える場の維持：学校運営に支障のない範囲で、週末や放課後に体育館やグラウンドを地域のスポーツ活動やサークル活動の場として開放します。

◆地域経済と環境の活性化：閉校した建物が適切に管理されることで、廃墟化を防ぎ、治安や景観が守られます。また、施設の清掃員や用務員業務において「地域雇用の創出」を目指すほか、将来的に最大650名の生徒や教職員が通うことで、地域に新たな賑わいが創出されます。

◆GIE社は、常盤地域を選んだ理由の一つとして、豊かな自然と文化芸術が息づく環境、特に近隣に「芸術の森」があることを挙げ周辺に立地する大学や美術館等との連携が提案されており、常盤地区の価値を高めていくことが期待されます。

【具体的な数値目標（KPI）と撤退時の責任】（札幌市回答）

今回の事業者選定は外部有識者を含む旧常盤小学校公募提案審査委員会により審査が行われました。審査においては、財務の安定性や事業の継続性などを総合的に審査し、GIE社には十分な運営能力があると判断いたしました。地域経済への貢献に関する具体的な数値目標（KPI）は設定しておりませんが、売却契約において「10年間の用途指定期間」を設けており、この期間内に、提案通りの学校運営がなされなくなった場合や撤退した場合には、札幌市が土地・建物を買い戻すことができる契約となっております。跡地が放置されないよう、札幌市として担保措置を講じております。

【事業に対する拒絶と無関心】（札幌市回答）

まずは、GIE社が、「交通渋滞を起こさない」「治安を守る」といった当たり前の安全・安心を確実に守りつつ、誠実な運営実績を一つひとつ積み重ねることが重要と考えます。札幌市としてもこれらの実現に向け、GIE社に働きかけてまいります。

【事業の効果】（札幌市回答）

事業で期待できる点について、冬場の除雪や建物の維持管理がGIE社により行われるため、地域の景観や環境が保たれます。また、GIE社は「地域雇用の創出」を掲げており、校舎の清掃や用務員などの仕事が地域に生まれる可能性があります。さらに、年に一度の学校イベント（スプリングカーニバル等）では、地域の皆様も楽しめる屋台や催しが企画され、身近な楽しみが増えることも期待されます。こうした「目に見える変化」を確実に実現できるよう、札幌市もしっかりと進捗を管理してまいります。

【報道対応】（札幌市回答）

報道機関への情報提供につきましては、優先交渉権者の決定時などにプレスリリースを行っておりますが、ご指摘のような「結果が確定していない段階での発信による混乱」を招かないよう、今後はより一層、適切なタイミングで正確な情報発信に努めてまいります。

3.8.2 事業の撤退・中止・反対（26件）

【事業の白紙撤回・中止の要求】（札幌市回答）

今回の事業者選定は外部有識者を含む旧常盤小学校公募提案審査委員会において客観的な審査が行われ、5つの審査項目（基本事項、地域貢献、地域連携、事業の確実性、売却価格）の合計点が最も高かったGIE社が最優秀提案者となり、優先交渉権者に選定されました。札幌市としては、募集要項の規定に基づき、適正なプロセスを経て選定された優先交渉権者と売買契約を締結する方針であり、現時点では、正当な理由なく計画を白紙撤回したり、契約を拒否したりすることは考えておりません。住民の皆様のご不安や不信感を解消できるよう、GIE社と共に引き続き説明を尽くしてまいります。

【外国人増加への拒絶と平穏な生活の維持】（札幌市回答）

GIE社が計画している学校は、特定の国籍の児童生徒や外国人労働者を対象としたものではなく、日本人を含む多様な国籍の子どもたちが学ぶ場であり、いわゆる移民政策や労働者受け入れを目的としたものではありません。また、治安へのご懸念につきましては、国籍に関わらず、事件・事故等の法令違反があれば警察等の関係機関と連携し、厳正に対処いたします。スクールバスの運行により公共交通への影響を極力抑えるなど、地域の平穏な生活環境が守られるよう、札幌市としても事業者求めてまいります。

【運営主体（GIE社）への不信と不透明さ】（札幌市回答）

公募提案審査委員会においては、事業者の提案内容だけでなく、財務の安定性や事業の継続性等についても総合的に審査を行っております。その結果、GIE社は事業を長期的に継続する十分な能力を有していると判断されました。また、売却契約においては「10年間の用途指定期間」を設け、万が一契約違反があった場合には札幌市が土地・建物を買戻すことができる法的な担保措置も講じており、事業の確実性を確保しています。

【代替案（次点候補・解体更地化）の要望】（札幌市回答）

次点提案者については、一部の審査項目でGIE社を上回っていましたが、総合点ではGIE社が最も高い評価を得て選定されました。公募の公平性・透明性の観点から、恣意的に次点者を繰り上げることはできません。

札幌市では、「市有建築物の資産管理基本方針」において、市有施設がその役目を終え行政目的で使用しない施設や土地は、売却処分を促進し財源の確保に努める、と定めております。また、「札幌市市有建築物の配置基本方針」において、今後は行政が建物を保有せずに民間による施設サービスを促進するといった民間活力を活用することも定めております。そのため、閉校した小学校などについては、民間事業者による活用が見込まれる場合は、売却することが最も有効な公有財産の活用と考えております。

【反対運動による子どもへの悪影響】（札幌市回答）

教育施設において最も優先されるべきは、子どもたちの安全と安心です。地域の中で孤立し、敵意を向けられるような学校であってはなりません。そのため、札幌市としても一方的に計画を進めるのではなく、「地域連携協議会（仮称）」などの場を通じて、地域の皆様の理解を得られるよう努める必要があると考えています。子どもたちが危険に晒されることのないよう、地域と学校の間に信頼関係を築くための努力を事業者へ求めるとともに、札幌市も協議会に参加し、適切な助言を行ってまいります。

3.9 その他（7件）

【交通環境への懸念と民間運営への懷疑】（札幌市回答）

交通対策につきましては、登下校時の交通渋滞を回避するため、GIE社より以下の対策が提案されております。

- ◆スクールバスの運行と、日本の交通ルールや雪道運転に精通した運転手の採用
- ◆路上駐車による渋滞や事故を防止するため、敷地の一部を駐車スペースとし敷地内で乗降
- ◆登下校時の交通誘導員の配置など、国道への影響を最小限に抑える措置

【説明資料の分かりにくさと議論の不足】（札幌市回答）

GIE社が運営するインターナショナルスクールは、特定の国籍や外国人労働者を対象とした施設ではなく、日本人を含む多様な国籍の子どもたちが学ぶ場です。また、今後「地域連携協議会（仮称）」を設置し、継続的に地域の皆様と議論する場を設ける予定です。施設運営や地域イベントについて、顔を合わせて意見交換を行うことで、書面だけでは伝わりにくい部分も丁寧にすり合わせを行い、地域との信頼関係が構築されていくと考えております。

【地域の平穏と「日本流」の維持】（札幌市回答）

GIE社は「あらゆる文化を尊重する」ことをミッションに掲げており、日本の教科書を使って「道徳」や「文化」を学ぶ授業も行うなど、日本の習慣を尊重する教育方針を持っています。また、今後は、校舎内に設置予定の「みんなの声ポスト（意見箱）」や「地域連携協議会（仮称）」を通じて、地域の皆様の声を迅速に運営に反映できる体制を整え、GIE社とともに誠意ある対応に努めてまいります。

お寄せいただいたご意見・ご質問に対する GIE社及び札幌市の回答一覧

設問4 「その他の意見」に対する回答※

※「ご意見・ご質問一覧」で分類したカテゴリごとに回答しております。

カテゴリ	ページ
4.1 賛成・応援（64件）	回4-1～回4-4
4.2 反対・撤回（45件）	回4-4～回4-8
4.3 透明性・説明・情報公開（36件）	回4-8～回4-10
4.4 治安・安全・防犯（15件）	回4-11～回4-13
4.5 地域交流・貢献・連携への要望（11件）	回4-13～回4-14
4.6 施設維持・売却プロセス（審査過程） ・契約内容・学校運営（22件）	回4-15～回4-17
4.7 ルール遵守・マナー・環境維持（14件）	回4-18～回4-19
4.8 意見収集の手法・行政対応への意見（60件）	回4-19～回4-22
4.9 文化・人種・外国人に関する懸念（8件）	回4-22～回4-23
4.10 交通・道路・インフラへの要望（8件）	回4-24～回4-25
4.11 その他意見（68件）	回4-25～回4-29

設問4 その他の意見（351件）

4.1 賛成・応援（64件）

4.1.1 教育・国際化・多文化共生（9件）

【教育・子どもの成長】（札幌市回答）

事業者からは、英語に自信がない生徒でも安心して授業に参加できるよう、英語準備プログラムによる個別のサポートを行うほか、カウンセリング体制を整え、生徒一人ひとりの個性を尊重し、自尊心を育む教育を行うと聞いております。また、スプリングカーニバルやサマーキャンプ、ハロウィンといったイベントを、地域住民の皆様にもご参加いただける形で開催する計画が提案されています。こうした機会を通じて、地域の皆様にも国際的な環境に触れ、視野を広げるきっかけとなるよう、事業者と連携して進めてまいります。

【地域との共生・多文化理解】（札幌市回答）

事業者からは、地域住民の皆様との継続的な対話の場として、地域の皆様・札幌市・学校の3者からなる「地域連携協議会（仮称）」の設置や、ご意見を受け付ける「みんなの声ポスト（意見箱）」の常設を提案されています。また、大阪校の実績として、地域の清掃活動やボランティア活動への参加も行われております。文化や習慣の違いをお互いに認め合い、尊重し合える良好な関係が築けるよう、札幌市としても事業者をサポートしてまいります。

【教育プログラムへの要望】（札幌市回答）

GIE社からは、通常のカリキュラムの中で、日本の教科書を用いた国語の授業を行い、その中で日本の文化や道徳についても学ぶ計画と聞いております。また、地域のお祭りへの参加や、日本文化体験なども重視されています。日本古来の伝統文化を取り入れてほしいという貴重なご意見は、地域のご意向として事業者にも共有してまいります。

【跡地活用の意義】（札幌市・GIE社回答）

本事業において、事業者により歴史ある校舎を有効活用し、地域に新たなにぎわいや価値を生み出すとともに、札幌の国際化にも寄与する事業となることを期待しております。札幌市としても、引き続き事業者と連携し、事業を着実に進めてまいりたいと考えています。

4.1.2 単純な賛成・早期実現・期待（16件）

【事業への賛成・早期実現の要望】（札幌市回答）

今後、地域の皆様へのご期待に沿えるよう、正確な情報提供と平行して、優先交渉権者であるGIE社と売買契約の締結に向けた交渉を進めていきたいと考えております。

【跡地活用による地域活性化への期待】（札幌市回答）

札幌市では、学校跡地が地域のコミュニティの拠点として維持・向上されることなどを条件に公募を行いました。GIE社からは、放課後や週末における体育館・グラウンドの地域開放や、地

域住民の皆様も参加できるお祭り等のイベント開催が提案されています。再びこの場所に子どもたちの声が戻り、地域に新たなにぎわいと交流が生まれるよう、事業者と連携して進めてまいります。

【次世代・子どもたちへの願いと市民の理解】（札幌市回答）

GIE社は「あらゆる文化を尊重し、探究心と思いやりを持つ生涯学習者の育成」をミッションに掲げており、日本人を含む多様な子どもたちが共に学ぶ環境づくりを目指しています。札幌市としても、この新しい学校が多くの方々に理解され、愛される施設となるよう、正確な情報発信や地域との対話の機会を大切に、次世代の育成に寄与する環境整備に努めてまいります。

【行政のプロセスに対する評価】（札幌市回答）

旧常盤小学校の跡活用にあたっては、地域の皆様への情報提供と対話が重要であると考えており、ニュースレターなどを通じて、経過の周知に努めてまいりました。事業者からは、地域との継続的な対話の場として「地域連携協議会（仮称）」の設置や、ご意見を受け付ける「みんなの声ポスト（意見箱）」の常設を提案されています。今後も、地域の皆様との相互理解を深めていくとともに、透明性のあるプロセスと正確な情報発信を心がけてまいります。

4.1.3 地域活性化・人口減少対策（12件）

【地域活性化・人口減少対策】（札幌市回答）

札幌市としては、人口減少や少子高齢化が進む地域において、閉校した施設が新たに利活用されることで、地域の活性化に繋がることを期待しています。本事業を通じて、地域の持続的な発展につなげられるよう努めてまいります。

【芸術の森地区としてのブランド形成・連携】（札幌市回答）

GIE社は、常盤地域を選んだ理由の一つとして、豊かな自然と文化芸術が息づく環境、特に近隣に「芸術の森」があることを挙げています。提案の中では、周辺に立地する大学や美術館等と連携した取組を行うことが計画されており、札幌市としても、地域の価値を高め、世界にアピールできる文教地区となるよう、事業者と地域との連携を支援してまいります。

【開校へのご期待】（札幌市回答）

札幌市では、学校跡地活用にあたり「地域コミュニティの維持・向上」を重視しており、これまでも芸術の森地区（旧常盤小学校及び旧石山東小学校の校区）にお住まいの皆様への周知や対話を進めてまいりました。反対の意見は真摯に受け止めつつ、引き続き丁寧な説明を行いながら、地域の皆様に期待いただいている「活気ある地域環境」の実現に向けて、事業を進めてまいります。

【工事・運営に関する具体的要望】（札幌市回答）

運営面につきましては、事業者から「地域連携協議会（仮称）」の設置や、ご意見を受け付ける「みんなの声ポスト（意見箱）」の常設が提案されており、地域住民の皆様と顔の見える関係を築きながら進めていく計画です。なお、工事関係者の選定や工事方法の詳細については現時点で未定であるためお答えできませんが、札幌市としては、近隣の皆様の生活環境や安全に

十分配慮して工事を行うよう、事業者に対して求めてまいります。また、スクールバスの運行についても、事業者から安全対策や渋滞回避策についての提案がありますが、札幌市としても引き続き必要な助言を行ってまいります。

4.1.4 地域住民としての協力・融和・防災（7件）

【地域住民としての協力意欲と参画】（札幌市回答）

GIE社は、地域住民の皆様が参加できるイベント（夏祭りやスプリングカーニバル等）の開催や、学校運営に支障のない範囲での校庭・体育館の地域開放を提案しています。また、地域住民の皆様との継続的な対話の場として「地域連携協議会（仮称）」の設置も計画されています。地域の皆様のお力添えをいただきながら、GIE社と連携して地域に根差した取組を進めてまいります。

【地域コミュニティとの融和・安心安全】（札幌市回答）

現在、不安を感じておられる方々がいらっしゃることも認識しておりますが、事業者からは、地域住民のご意見を受け付ける「みんなの声ポスト（意見箱）」の常設や、定期的な協議会の開催が提案されています。札幌市としても、事業者が地域の皆様と顔の見える信頼関係を築き、既存のコミュニティと調和できるようサポートしてまいります。

【防災拠点としての機能維持】（札幌市回答）

旧常盤小学校の跡活用に当たっては、「緊急時の避難場所」としての機能を維持することを公募の条件としておりました。これに対しGIE社からは、災害発生時に体育館を地域住民の皆様へ開放することや、札幌市と協議し、万全な体制を構築するとの提案を受けております。いざという時に、地域の方々がこれまで通り安心して利用できる防災拠点となるよう、事業者と連携して体制整備を進めてまいります。

【事業定着に向けた行政への要望】（札幌市回答）

地域に愛され定着する施設となるよう、札幌市としても事業者と緊密に連携してまいります。

4.1.5 廃校の有効活用・施設維持への期待（8件）

【建物・土地の有効活用と放置への懸念】（札幌市回答）

札幌市では、「市有建築物の資産管理基本方針」において、市有施設がその役目を終え行政目的で使用しない施設や土地は、売却処分を促進し財源の確保に努める、と定めております。また、「札幌市市有建築物の配置基本方針」において、今後は行政が建物を保有せずに民間による施設サービスを促進するといった民間活力を活用することも定めております。そのため、閉校した小学校などについては、民間事業者による活用が見込まれる場合は、売却することが最も有効な公有財産の活用と考えております。今回の公募により、事業者が校舎を改修して使用することで、施設が適切に維持・保全され、地域の資源として再び活用されることとなります。校舎が放置されることなく、地域の活性化につながる施設として再生されるよう、手続きを進めてまいります。

【「学校」としての再生と継続】（札幌市回答）

GIE社の提案では、インターナショナルスクール（ワン・ワールド・インターナショナル・スクール札幌校）として教育活動を行うものであり、令和9年（2027年）8月の開校を目指しています。事業者も、札幌を選んだ理由として「子どもたちの学びに最適な環境が整っていること」を挙げています。再びこの場所に子どもたちが集い、明るい声が響く学び舎として再生されるよう、札幌市としても事業の定着を支援してまいります。

4.1.6 反対活動への反発・行政への応援（12件）

【正確な情報発信と安全対策】（札幌市回答）

GIE社からの提案は、特定の国籍に限定したものではなく、多様な国籍を対象としたインターナショナルスクールです。札幌市としては、GIE社の事業概要や質疑応答集の公表等を通じて正確な情報発信に努めてまいります。また、子どもたちの学習環境や近隣の平穏を守ることは最優先事項です。法令に抵触するような行為に対しては、警察等の関係機関と連携し厳正に対処するとともに、事業者と協力して安全対策に万全を期してまいります。

4.2 反対・撤回（45件）

4.2.1 公有地の外資への売却・安値売却への反対（12件）

【公有財産の売却方針と外資への懸念】（札幌市回答）

札幌市では、「市有建築物の資産管理基本方針」において、市有施設がその役目を終え行政目的で使用しない施設や土地は、売却処分を促進し財源の確保に努める、と定めております。また、「札幌市市有建築物の配置基本方針」において、今後は行政が建物を保有せずに民間による施設サービスを促進するといった民間活力を活用することも定めております。そのため、閉校した小学校などについては、民間事業者による活用が見込まれる場合は、売却することが最も有効な公有財産の活用と考えております。

また、現行法制度上、国籍のみを理由とした土地売却の制限はできないものと考えています。なお、公募提案型売却では「事業の確実性・継続性」を審査項目としており、本事業者は財務の安定性、事業の継続性、管理運営に必要十分な能力を有するものと判断しています。

【売却価格の妥当性】（札幌市回答）

最低売却価格は、不動産鑑定士による公正な鑑定に基づき設定しております。当初、令和2年に4,710万円で公募を行いました。応募がありませんでした。そのため、市場性を考慮して再鑑定を行った結果、2,220万円と評価額が見直され、今回の公募に至りました。また、本公募は「地域コミュニティの維持・向上」や「避難場所の確保」を条件としており、グラウンドや体育館を含めた一体的な活用を求めているため、土地と建物を分割して売却することは検討していません。市場の実態と地域要望を踏まえた公募条件としています。

【周辺開発との関連性と将来の転売懸念】（札幌市回答）

旧常盤小学校の裏で行われている宅地造成（グリーンタウン芸術の森）については、道内のハウスメーカー等で構成される協同組合が実施しているものであり、インターナショナルスクールの計画とは無関係です。なお、当該用地には都市計画法に基づく用途地域が定められており、建築可能な建物の用途は建築基準法によって制限されております。

【行政の姿勢・説明責任】（札幌市回答）

これまで、旧常盤小学校の跡活用について、ニュースレター等で周知を図ってまいりました。今後は、事業者や地域住民とともに「地域連携協議会（仮称）」を設置し、継続的に地域の皆様の声に耳を傾ける体制を整えてまいります。地域の皆様の不安を少しでも解消できるよう、丁寧な説明と誠実な対応に努めてまいります。

4.2.2 行政不信・プロセスへの批判（3件）

【住民の総意と報道に対する不信感について】（札幌市回答）

旧常盤小学校の跡活用については、令和2年（2020年）より地域の代表者やPTA役員等からなる「芸術の森地区学校跡活用検討会議」にて、売却条件等の検討を重ね、ニュースレター等で地域への周知を図ってまいりました。報道機関の記事内容は各社の取材・編集によるものであり、札幌市が関与する立場にはございませんが、札幌市としては引き続きニュースレターや「地域連携協議会（仮称）」を通じて、事業の経緯や現状を正確にお伝えするよう努めてまいります。

【事業目的の整合性と政治的背景への疑念について】（札幌市回答）

本事業は、地域コミュニティの拠点機能の確保に配慮し、「地域コミュニティの維持・向上につながる場」「緊急時の避難場所」を条件に公募提案型売却を行ったものです。特定の政治的主張に基づくモデルケース作りや、移民政策の一環で行っている事実はありません。治安等へのご懸念につきましても、学校関係者による法令違反等があれば国籍を問わず警察等と連携して厳正に対処する方針です。

【決定の先送りと合意形成の要望について】（札幌市回答）

GIE社は、公募提案審査委員会による審査を経て、令和7年7月に優先交渉権者に選定されており、現在は売買契約締結に向けた調整段階にあります。一方、地域の皆様の不安解消は極めて重要であると認識しております。そのため、地域の皆様・札幌市・学校の3者による「地域連携協議会（仮称）」を設置して継続的な対話の場を設け、皆様にご理解いただけるよう誠意を持って対応してまいります。

4.2.3 治安悪化・外国人増加・移民問題への懸念（10件）

【治安悪化・犯罪および交通事故への懸念】（札幌市回答）

本事業は「インターナショナルスクール」であり、外国人労働者の研修施設ではありません。GIE社の既存校（大阪校・つくば校）の実績では、在籍生徒の半数以上（大阪約54%、つくば約

82%) が日本国籍の子どもたちであり、特定の国籍の生徒のみが集まる施設ではありません。治安に関しては、国籍に関わらず、学校関係者による事件・事故等の法令違反があれば警察等の関係機関と連携し、法に基づき厳正に対処いたします。また、冬道の交通事故へのご懸念については、事業者より、スクールバスの運転手には日本の交通ルールや雪道の運転に精通した方を採用する計画であると同っております。加えて、保護者による送迎時の渋滞やトラブルを避けるため、交通誘導員の配置や校地内での乗降スペースの確保などの対策を講じる計画です。

【移民政策・外国人受け入れへの反対】（札幌市回答）

本事業は、就労目的の移民受け入れ促進を目的としたものではありません。地域の実情に応じて地域コミュニティの拠点機能の確保に配慮し、地域と対話を重ね、「地域コミュニティの維持・向上につながる場」「緊急時の避難場所」を条件に公募提案型売却を行ったものです。生活習慣の違いによるトラブルへの懸念につきましては、札幌市として「生活オリエンテーション」等を通じて日本のルールやマナーの周知を行っているほか、GIE社は日本の国語の教科書を使用した授業を行い、その中で「文化」や「道徳」について学ぶ機会を設ける計画です。さらに、事業者も地域との調和を重視しており、「地域連携協議会（仮称）」の設置や「みんなの声ポスト（意見箱）」の常設を通じて、地域住民の皆様の声を運営に反映させ、トラブルの未然防止に努めます。

【地域環境・資産価値への悪影響】（札幌市回答）

GIE社からは、地域に根差した学校運営の提案を受けています。授業では日本の教科書を用いて国語や道徳を教えるなど、日本の文化やルールを尊重する教育が行われます。また、インターナショナルスクールの開校により、教育に関心の高い家庭や国際的な人材が地域に関心を持つことは、地域のブランド価値向上や活性化に寄与すると期待しています。なお、当該用地には都市計画法に基づく用途地域が定められており、建築可能な建物の用途は建築基準法によって制限されております。

【南区の振興策としての妥当性（インフラ・施設不足）】（札幌市回答）

GIE社からは、放課後や週末に体育館やグラウンドを地域住民の皆様へ開放することや、地域のお祭り等のイベント会場として活用することなどが提案されています。地域の皆様や子どもたちがスポーツや交流を楽しめる「地域の拠点」として機能するよう、事業者と連携して進めてまいります。

4.2.4 生活環境・静穏な暮らし・地域への影響（10件）

【静穏な住環境の喪失と不公平感】（札幌市回答）

事業者も地域との調和を重視しており、「地域連携協議会（仮称）」の設置や「みんなの声ポスト（意見箱）」の設置を通じて、地域住民の皆様の声を運営に反映させ、トラブルの未然防止に努めることとしております。これらの取組により、地域の平穏な暮らしが守られるよう、事業者と共に取り組んでまいります。

【日常生活上のマナー違反（ごみ・騒音）への懸念】（札幌市回答）

GIE社は、学校開校時間中は生徒の外出を原則禁止とする予定です。また、登下校はスクールバスまたは保護者による送り迎えを想定しているため、インターナショナルスクールに通う生徒が、地域に立ち寄り、マナーに違反する行為を行うことは発生しにくい体制となります。また、教育カリキュラムの中で日本の教科書を用いて国語や道徳を教え、日本の生活ルールやマナーを指導する計画です。さらに、万が一問題が生じた場合に備え、地域住民の皆様からのご意見を受け付ける「みんなの声ポスト（意見箱）」の設置や、「地域連携協議会（仮称）」での定期的な協議を行うことが提案されています。法的な強制力が及びにくいマナー等の問題についても、この協議会を通じて具体的な改善策を講じられる体制を整えます。

【責任の所在と補償の要求】（札幌市回答）

札幌市は、売却後も地域と無関係になるわけではなく、地域の皆様・札幌市・学校の3者による「地域連携協議会（仮称）」に参画し、継続的に関与してまいります。「事業のリスクに対する全ての補償」をあらかじめ文書でお約束することは困難ではございますが、事業者が契約上の用途に違反した場合は、10年間にわたり札幌市が買い戻すことができる契約とする予定です。また、生活上のトラブル等については、前述の協議会を通じて事業者が誠実に対応するよう、札幌市としてもGIE社に求めてまいります。

【母校・地域感情への配慮と住民分断への懸念】（札幌市回答）

GIE社も、旧常盤小学校が地域に親しまれてきた建物であることを理解しており、その既存校舎を改修して大切に活用する計画です。いただいたご意見やご不安の声も含め、多様な意見があることを前提に、地域の皆様・札幌市・学校の3者による「地域連携協議会（仮称）」を通じて課題を解決し、地域の皆様にご理解いただけるよう努めてまいります。

4.2.5 絶対反対・即時撤回・代替活用の要望（10件）

【計画への絶対反対・白紙撤回の要求】（札幌市回答）

本事業に対し、絶対反対という強いご意思や、白紙撤回を求める切実な声をいただいていることは、真摯に受け止めております。しかしながら、本事業では、地域の実情に応じて地域コミュニティの拠点機能の確保に配慮し、地域と対話を重ね、「地域コミュニティの維持・向上につながる場」「緊急時の避難場所」を条件に公募提案型売却を行い事業者の選定を行ったところです。また、インターナショナルスクールの設置は、北海道・札幌市が国から指定を受けた北海道・札幌 GX金融・資産運用特区（現：北海道・札幌 GX/AI金融・資産運用特区）の実現に向け、世界中から資金・人材・情報が集積する拠点を形成するための重要な施策の一環でもあります。現在は、募集要項に基づき、売買契約の締結に向けた調整を進めている段階です。

【代替活用の提案（地域経済・公益性）】（札幌市回答）

旧常盤小学校の跡地活用にあたっては、「地域コミュニティの維持・向上につながる場」であることを公募の必須条件としておりました。GIE社の提案では、地域住民の皆様が参加できるお祭り等のイベント開催や、放課後や週末における体育館・グラウンドの地域開放が計画されて

います。また、清掃員や用務員等として地域からの雇用を行うことも提案されており、地域に開かれ、地域経済にも貢献できる施設となるよう、事業者と連携して進めてまいります。

【自然環境・生態系への影響懸念】（札幌市回答）

本事業は、大規模な森林開発や造成を行うものではなく、歴史ある旧常盤小学校の既存校舎やグラウンドを改修して有効活用する計画です。そのため、新たな建設工事による自然環境への負荷は限定的であると考えております。GIE社も、札幌を選んだ理由の一つとして「近隣に芸術の森があり、自然や文化に触れながら学べる環境であること」を挙げており、この豊かな環境を教育の場として大切にする方針です。地域の生態系や自然環境と調和した運営となるよう、引き続き事業者に対して配慮を求めてまいります。

4.3 透明性・説明・情報公開（36件）

4.3.1 一般的な透明性・説明姿勢・情報提供のあり方（9件）

【情報公開のプロセスとタイミングへの批判】（札幌市回答）

旧常盤小学校の跡地活用につきましては、令和2年（2020年）より、地域の代表者やPTA役員等で構成される「芸術の森地区学校跡活用検討会議」において検討を重ねてまいりました。その経過はニュースレターの回覧や札幌市公式ホームページでお知らせしてまいりました。一方、令和7年（2025年）9月にGIE社が開催した地域説明会は、公募提案型売却の優先交渉権者に決定した後、初めて開催したものでしたが、これまで同様ニュースレター等でお知らせいたしました。今後は、地域の皆様・札幌市・学校の3者による「地域連携協議会（仮称）」を設置し、定期的な対話の場を設けることで、プロセスをより透明化し、丁寧な説明に努めてまいります。

【情報発信の手法】（札幌市回答）

より正確でオープンな情報公開は、公正な理解のために非常に重要であると認識しております。現在、公募の審査の詳細やGIE社の事業概要等については札幌市公式ホームページで公表しておりますが、より多くの方が正確な情報に触れられるよう、今後の情報発信のあり方について引き続き検討してまいります。

【責任の所在とトラブル時の仲介体制】（札幌市回答）

万が一、インターナショナルスクール運営に関するトラブルが発生した場合、GIE社が誠実に対応することが基本ですが、GIE社のみに任せるのではなく、札幌市も問題解決に向けてサポートする体制を構築いたします。

【資料配布による理解促進への評価】（札幌市回答）

今後も、ニュースレターの配布や札幌市公式ホームページへの掲載など、多様な手段を用いて、正確で分かりやすい情報を継続的に発信してまいります。

4.3.2 事業計画の詳細・実現性・財政的リスクの不透明さ（7件）

【事業計画の実現性と需要予測】（札幌市回答）

GIE社の計画では、最初から650名を受け入れるのではなく、初年度は50名程度からスタートし、2033年以降に最大定員を目指す段階的な計画となっており、公募提案型売却における「事業の確実性・継続性」の審査においても、財務の安定性、事業の継続性、管理運営に必要な十分な能力を有するものと判断されています。

【寒冷地特有の維持管理コストへの認識】（札幌市回答）

本事業において、施設の改修費および維持管理運営費は、すべて事業者であるGIE社の負担で行われます。札幌市がこれらのコストを補填することは一切ございません。事業者は公募段階で現地視察を行い、既存校舎の状態を確認した上で改修計画を提案しております。また、スクールバスの運行に関しても、雪道運転に精通した運転手を採用する計画としており、寒冷地であることを見込んだ事業計画となっています。

【財政的関与と収益性への懸念】（札幌市回答）

本事業は民間事業者による運営であり、校舎の整備費や学校の運営費について、札幌市が補助金を出したり、赤字を補填したりすることはございません。全ての費用は事業者の自己負担となります。公募提案審査委員会では「事業の確実性・継続性」を審査項目としており、事業者の財務状況や資金計画の健全性を審査した結果、十分な事業遂行能力を有していると判断されています。

【事業撤退時のリスク管理と資産の保全】（札幌市回答）

売却後の利用につきましては、民法第580条の買戻し可能最長期間10年の規定を踏まえ、用途指定期間を10年と定め、提案された事業計画通りに学校として利用することを義務付けております。万が一、違反があった場合には札幌市が土地・建物を買戻すことができる特約を設けています。なお、当該用地には都市計画法に基づく用途地域が定められており、建築可能な建物の用途は建築基準法によって制限されております。

4.3.3 正確な情報発信・誤情報の対策（8件）

【誤情報への懸念】（札幌市回答）

ご指摘のとおり、一部では「特定の国籍の児童生徒のみを対象とした学校である」や「移民政策の一環である」といった誤った情報が見受けられますが、本事業は多様な国籍の子どもたちを受け入れるインターナショナルスクールであり、特定の国籍に限定した施設や労働者研修施設ではありません。札幌市としては、こうした誤解を解き、偏見のない地域社会を守るため、質疑応答集の公表や、今後設置予定の「地域連携協議会（仮称）」などを通じて、正しい情報の周知に努めてまいります。

【正確な情報発信の強化・継続要望】（札幌市回答）

これまでニュースレターの回覧や札幌市公式ホームページでの情報発信を行ってまいりましたが、今後は、よりタイムリーに正確な情報をお届けできるよう努めてまいります。また、今

後設置予定の「地域連携協議会（仮称）」などを通じて、地域の皆様と直接対話を行い、疑問や不安に対して丁寧にお答えしてまいります。

【悪質な情報発信への法的措置・規制の要望】（札幌市回答）

インターネット上の書き込み等については、札幌市が独自に規制することは難しい側面もございますが、名誉毀損や業務妨害、脅迫などの法令に違反する行為については、警察等の関係機関と連携し、厳正に対処します。

4.3.4 選定プロセス・次点提案者・審査内容の開示（12件）

【次点提案者（2番手）の情報開示と惜敗率への疑問】（札幌市回答）

次点提案者の提案内容は以下のとおりです。

【事業内容】障がい者就労支援、療育支援、認可外保育園 他

【地域コミュニティ】体育館、グラウンド、校舎3Fの開放、カフェ運営 他

【緊急時の避難場所】校舎、グラウンドを開放

【地域連携・協力】地域の行事に参加・協賛、清掃活動、近隣団体との交流 他

次点提案者は「地域貢献活動」や「事業の確実性・継続性」の項目において、最優秀提案者（GIE社）よりも高い評価を得ておりました。一方で、GIE社は「地域連携・協力体制」や「売却価格」等の項目で高く評価され、これらを総合した結果、GIE社が最優秀提案者として選定されました。

【選定委員会の構成と公平性への関心】（札幌市回答）

優先交渉権者等を決定した「公募提案審査委員会」は、行政内部の職員だけでなく、公平・公正な視点を確保するために外部の有識者を含めて構成されております。具体的な構成や審査体制の詳細につきましては、札幌市公式ホームページで公表している「審査報告書」にてご確認いただけます。専門的な見地から、募集要項の基準に基づき厳正かつ客観的な審査を行っていただいた結果です。

【審査プロセスの透明性不足への批判】（札幌市回答）

審査におきましては、募集要項に定めた5つの視点（①基本事項、②地域貢献活動に関する条件、③地域連携・協力、④事業の確実性・継続性、⑤売却価格）に基づき、各応募者からのプレゼンテーションと質疑応答を経て、各委員が採点を行いました。GIE社の提案が「多様性のある地域づくりに繋がること」や「将来的には芸術の森地区が文教地区として発展することも期待される」などの点が総合的に評価されたものです。

4.4 治安・安全・防犯（15件）

4.4.1 具体的な防犯対策・責任の所在・入国審査（5件）

【法的な処罰への懸念と入国審査の厳格化】（札幌市回答）

日本国内において罪を犯した場合は、国籍に関わらず日本の法律が適用され、警察等の関係機関により厳正に処罰されます。「外国籍だから裁かれない」ということは法制度上ございません。また、入国審査における犯罪歴の確認につきましては、国の機関である出入国在留管理庁の管轄となります。しかしながら、GIE社に対しては、教職員、児童生徒や保護者に対しても、日本の法令や社会ルールの遵守を徹底するよう、札幌市として求めてまいります。

【トラブル時の責任の所在と防犯の具体策】（札幌市回答）

防犯および安全対策の具体策として、GIE社は以下の対策を講じる計画です。

- ◆学校開校時間中は原則として生徒の外出を禁止し、地域内での移動等を防ぎます。
- ◆スクールバス（当初2台）を運行し、運転手には日本の交通ルールや雪道運転に慣れた方を採用します。また、校地内での乗降を徹底し、交通誘導員を配置することで事故を防止します。
- ◆地域の皆様・札幌市・学校の3者による「地域連携協議会（仮称）」を設置し、防犯や防災について定期的に協議します。

トラブル発生時の責任につきましては、施設管理者であるGIE社が第一次的な責任を負いますが、当事者間での解決が困難な場合や地域全体に関わる問題については、札幌市も参画する上記協議会等の場を通じて、調整・解決にあたる体制を構築いたします。

また、札幌市では、北海道警察本部と「北海道警察・札幌市行政連絡会議」を定期的を開催しています。本校の開校に伴う地域の安全対策やパトロールの強化についても、この公式なルートを通じて札幌市から警察へ直接要望・協議を行ってまいります。

4.4.2 交番設置・警察機能の強化・地理的不安（4件）

【警察拠点の不在と即応体制への不安】（札幌市回答）

札幌市では、北海道警察本部と「北海道警察・札幌市行政連絡会議」を定期的を開催しています。本校の開校に伴う地域の安全対策やパトロールの強化についても、この公式なルートを通じて札幌市から警察へ直接要望・協議を行ってまいります。なお、交番の新設は警察の管轄事項ですが、上記会議などを通じた警察署との連携の中で、地域の不安の声をしっかりと届けてまいります。また、物理的な距離による空白を埋めるため、GIE社は、校地内への警備員や交通誘導員の配置を行うほか、開校時間中は生徒の校外への外出を原則禁止とするなど、自律的な防犯対策を講じる計画です。加えて、今後設置される「地域連携協議会（仮称）」には札幌市も参画し、警察とも連携を密にすることで、地域の防犯体制の維持・強化に努めてまいります。

【警察機能の多言語対応能力への懸念】（札幌市回答）

警察等の関係機関との連携においては、言葉の壁が初動の遅れにつながらないように配慮が必要です。札幌市では、北海道警察本部と「北海道警察・札幌市行政連絡会議」を定期的で開催しています。警察機能の多言語対応についても、この公式なルートを通じて札幌市から警察へ直接要望・協議を行ってまいります。また、本事業では、GIE社の全教職員の約40%が日本語対応可能なスタッフとなる予定であり、緊急時にも遅滞なく対応できるような体制とする予定です。

4.4.3 地域の平穏・安全確保への要望と不安（6件）

【静穏な住環境と事業の必要性への疑問】（札幌市回答）

常盤地区が、治安が良く静穏な住宅街であり、皆様がその環境を大切に思われていることは深く認識しております。質疑応答集Q15において、「警察等の関係機関と連携」をご説明したのは、インターナショナルスクールだからといって犯罪が多発すると想定しているわけではなく、万が一の事態に備えた一般的な危機管理体制をご説明したものです。GIE社は、この地域の豊かな自然や静かな環境こそが教育に適していると評価し、進出を希望いたしました。地域の平穏な暮らしが維持されるよう、開校時間中の生徒の外出制限やスクールバスの運行など、事業者に対して規律維持を求めるとともに、札幌市としても引き続き注視してまいります。

【最優先事項としての安全対策】（札幌市回答）

防犯および安全対策の具体策として、GIE社は以下の対策を講じる計画です。

- ◆学校開校時間中は原則として生徒の外出を禁止し、地域内での徘徊等を防ぎます。
- ◆スクールバス（当初2台）を運行し、運転手には日本の交通ルールや雪道運転に慣れた方を採用します。また、校地内での乗降を徹底し、交通誘導員を配置することで事故を防止します。
- ◆「地域連携協議会（仮称）」を設置し、防犯や防災について定期的に協議します。

これらの対策が確実に実行されるよう、札幌市としても、上記の協議会を通じて定期的に確認し、安全な地域環境の維持に努めてまいります。

【地域交流施設とグローバル化への期待】（札幌市回答）

GIE社の提案では、地域の方々が利用できるよう「体育館やグラウンドの開放（放課後や週末）」や「緊急時の避難場所としての活用」が計画されています。また、地域と協働したお祭り等のイベント開催や、地域住民の雇用（清掃・用務員等）を通じた交流も提案されています。常設の交流スペースについては、現時点の提案書には記載がございませんが、今後設置される「地域連携協議会（仮称）」の場において、地域住民の皆様が気軽に立ち寄り、国際的な意識や知識を共有できる場づくりについて、事業者と協議してまいりたいと考えます。

【建設的な対話】（札幌市回答）

地域の皆様が安心して暮らせる環境を守るためには、具体的な課題に対し、正しい情報に基づいた建設的な話し合いが不可欠です。そのため、地域の皆様・札幌市・学校の3者による「地域連携協議会（仮称）」を設置いたします。この場を通じて、地域の皆様からの様々な声を聴

き、対話を重ねることにより、地域全体にとってより良い解決策を見出せるよう努めてまいります。

4.5 地域交流・貢献・連携への要望（11件）

4.5.1 教育・文化プログラムの相互提供（2件）

【日本文化の課外クラブ・市民向け講座の設置要望】（札幌市・GIE社回答）

（札幌市回答）

地域の方々が先生となって日本文化を教えるクラブ活動や、逆に学校側が提供する市民向け講座は、相互理解を深める絶好の機会であると考えております。GIE社によりますと、既存の大阪校やつくば校では、地域との交流の一環として以下のような実績や計画がございます。

◆日本文化の体験：地域の皆様と連携し、生徒が浴衣や着物を着て盆踊りに参加し、学ぶ機会を設けています。ご提案いただいた、地域の方々が先生となる囲碁・将棋、生け花、剣道などは、まさに生徒たちが日本文化を学ぶ素晴らしいコンテンツとなり得ると考えます。

◆市民向け講座の可能性：大阪校等では、放課後や週末に「英語集中クラス」や「サマーキャンプ」などのプログラムを地域のお子様向けに提供している実績があります。ご提案にあった「英会話」や、「インド式数学（2桁のかけ算など）」といったユニークな講座につきましても、地域の方々に喜んでいただける企画として、事業者へ積極的に伝えてまいります。

（GIE社回答）

具体的なプログラムの内容や運営方法につきましては、今後設置する「地域連携協議会（仮称）」において、地域の皆様のアイデアを直接事業者へ提案し、共に作り上げていきたいと考えております。ぜひ、協議会の場で皆様の知恵をお貸しください。

4.5.2 施設の地域開放・活用要望（1件）

【市主体による芸術施設や公共施設への整備要望】（札幌市回答）

役割を終えた学校施設等は、札幌市が保有し続けるのではなく、民間活力による活用（売却）を基本方針としております。今回選定されたGIE社の提案には、地域の皆様のご期待に沿える要素も含まれております。

◆芸術・文化との連携：GIE社は、周辺に立地する大学や美術館等と連携した取組を行うことを提案しており、地域の芸術的な環境と調和した教育活動を目指しています。

◆地域への施設開放：放課後や週末における体育館・グラウンドの地域開放や、災害時の避難場所としての活用が提案されています。

◆地域住民との交流：ご意見にある「地産地消の販売」や「図書スペースの活用」などにつきましては、直ちに常設施設とすることは難しいものの、今後設置される「地域連携協議会（仮称）」において、例えば学校主催のイベント（スプリングカーニバル等）の中で地域産品を販売するコーナーを設けるなど、柔軟な形での連携・交流を事業者と検討してまいります。

4.5.3 地域行事・イベントへの参加と交流（8件）

【週末のイベントや市民向けプログラム】（札幌市回答）

「お孫様を連れて行けるイベント」につきましては、GIE社の既存校（大阪）の実績として、地域の皆様に子どもたちの元気な姿を見ていただけるよう、GIE社は年に1度、学校主催のイベント（スプリングカーニバルや夏祭りなど）を開催しています。札幌校においても、地域のお子様やお孫様が気軽に参加でき、国際的な学びに触れられるようなプログラムの実施を、事業者へ働きかけてまいります。

【芸術の森や地域との連携】（札幌市回答）

「芸術の森」に近いという立地は、GIE社にとっても最大の魅力です。事業者へは、周辺の美術館や大学と連携した教育活動を行うことを提案しており、地域のお祭りへの参加や、ボランティア活動などを通じて、積極的に地域へ出て交流を行うことを提案しています。

【地域の賑わい創出】（札幌市回答）

GIE社は、最終的に約650名の生徒数を目指す計画です。閉校となった学び舎に再び子どもたちの声が戻り、サンブライト地区や常盤地区全体に新たな活気が生まれるよう、札幌市としても「地域連携協議会（仮称）」などを通じて、地域と学校の良き関係づくりをサポートしてまいります。

【町内会との連携と行事交流】（札幌市回答）

事業者であるGIE社は、「地域とともに歩む」ことを運営の基本方針としており、町内会等の地域活動とも連携を図っていく意向です。実際に、既存の大阪校では地域の夏祭りに参加したり、学校主催のイベントに地域の方々を招待したりするなど、活発な交流が行われています。札幌校においても、地域行事への参加や協働イベントの開催を通じて、顔の見える関係づくりに努めるよう、事業者と協議してまいります。

【地域と連携した防災訓練】（札幌市回答）

防災対策は地域連携の要と考えております。GIE社の提案では、災害発生時に体育館やグラウンドを「地域の避難場所」として開放することや、札幌市と協定を結び緊急時の対応体制を構築する計画が示されています。ご要望の通り、いざという時にスムーズに連携できるよう、合同での防災訓練の実施についても、今後設置する協議会の場でGIE社とともに検討してまいります。

【「地域連携協議会（仮称）」への参加】（札幌市・GIE社回答）

協議会への参加をご希望いただき、大変心強く存じます。「地域連携協議会（仮称）」は、地域の皆様・札幌市・学校の3者が定期的に話し合う場として設置予定ですが、その具体的な構成員や選出方法（公募枠の有無など）については、今後検討してまいります。頂いた「参加したい」という熱意は、地域と学校をつなぐ大きな力となります。公募の有無に関わらず、施設内に設置予定の「みんなの声ポスト（意見箱）」なども含め、皆様の声を運営に反映できる仕組みも整えてまいります。

4.6 施設維持・売却プロセス（審査過程）・契約内容・学校運営（22件）

4.6.1 プロセスへの不満・次点者・住民周知（4件）

【意思決定のプロセスと住民不在への批判】（札幌市回答）

本件の検討につきましては、令和2年（2020年）より、地域の代表者やPTA役員等で構成される「芸術の森地区学校跡活用検討会議」において、売却条件（地域コミュニティへの貢献や避難場所の確保など）の協議を重ねてまいりました。その経過はニュースレターの回覧や札幌市公式ホームページでお知らせしてまいりました。一方、令和7年（2025年）9月にGIE社が開催した地域説明会は、公募提案型売却の優先交渉権者に決定した後、初めて開催したものでしたが、これまで同様ニュースレター等でお知らせいたしました。今後は、地域の皆様への情報提供が不十分であったとのご指摘を踏まえ、適切なタイミング・方法で情報提供できるよう心掛けてまいります。

【次点提案者（2番手）の情報開示と惜敗率への疑問】

次点提案者の提案内容は以下のとおりです。

【事業内容】障がい者就労支援、療育支援、認可外保育園 他

【地域コミュニティ】体育館、グラウンド、校舎3Fの開放、カフェ運営 他

【緊急時の避難場所】校舎、グラウンドを開放

【地域連携・協力】地域の行事に参加・協賛、清掃活動、近隣団体との交流 他

次点提案者は「地域貢献活動」や「事業の確実性・継続性」の項目において、最優秀提案者（GIE社）よりも高い評価を得ておりました。一方で、GIE社は「地域連携・協力体制」や「売却価格」等の項目で高く評価され、これらを総合した結果、GIE社が最優秀提案者として選定されました。

【資産売却の妥当性と外国資本への抵抗感】（札幌市回答）

売却価格につきましては、不動産鑑定士による鑑定に基づき算定された価格です。過去2回の公募（1回目：鑑定額4,710万円。2回目：2,220万円）では応募がなく、市場性や建物の老朽化等を考慮して再評価を行った結果、現在の価格（2回目と同額）となりました。また、土地の所有権移転につきましては、日本の現行法制度上、国籍のみを理由として公有財産の売却を制限することはできないと考えています。札幌市としては、民間活力を導入することで施設の維持コストを削減し、将来世代への負担を減らす方針をとっております。

【政策の整合性と回答姿勢への不信】（札幌市回答）

本事業は、労働力不足を補うための移民政策や、労働者研修施設として計画されたものではございません。また、民法第580条の規定により、不動産の売買契約において、契約違反時に売主（札幌市）が土地を取り戻せる「買戻し特約」の期間は、最長で10年と定められています。そのため、民法上可能な買戻しの最大期間を超えてまで転売制限をすべきではないと考えていま

す。なお、当該用地には都市計画法に基づく用途地域が定められており、建築可能な建物の用途は建築基準法によって制限されております。

4.6.2 契約後の責任・リスク管理・買戻し特約（5件）

【買戻し特約の実効性と相手方不在時の対応】（札幌市回答）

札幌市が土地や建物を売却する際は、契約違反があった場合に所有権を札幌市に戻すことができる「買戻し特約」を契約に盛り込み、売買の所有権移転にあわせて登記を行います。これにより、買戻権は第3者に対しても法的な効力を持ちます。仮に相手方と連絡がつかなくなった場合でも、契約上の要件を満たせば買戻しの実行が可能です。また、買戻し特約を登記していることにより、転売された場合でも転得者に対し買戻しの実行が可能です。

【売却後の行政の継続的な関与と監督責任】（札幌市回答）

札幌市としては、売却後も地域と事業者の関係を見守り続ける責任があると考えております。そのため、新たに設置する「地域連携協議会（仮称）」には、地域住民・事業者だけでなく、札幌市も構成員として参加いたします。この協議会は定期開催を予定しており、この場を通じて運営状況を継続的に確認し、万が一問題が生じた際には、札幌市が調整役となって改善を促す体制を構築してまいります。

4.6.3 売却価格の減額・安値売却への不信（5件）

【大幅な減額の経緯と価格の妥当性に対する不信】（札幌市回答）

価格設定の経緯としましては、令和2年（2020年）に最初の不動産鑑定を行い、4,710万円で公募いたしました。応募者が現れませんでした。この結果を受け、令和4年（2022年）に再度鑑定を行い「市場性の減価」を反映させた結果、2,220万円という評価額となりました。令和6年（2024年）に3回目の不動産鑑定を実施し、2回目の公募で応募があったことを踏まえ、市場性は据え置き、地価上昇分と建物の劣化による減価分を考慮して2回目と同額の2,220万円となりました。今回の売却価格（2,500万円）は、この再評価額を最低売却価格とし、GIE社から提案されたものであり、恣意的な安値設定ではなく、公正な手続きを経た市場価値であると認識しております。

【僅差の評点と「金額ありき」の審査への疑念】（札幌市回答）

公募提案審査委員会における審査は、外部有識者を含む委員が5つの項目（基本事項、地域貢献、地域連携、事業確実性、価格）について総合的に評価を行いました。事実として、次点提案者は「地域貢献活動」や「事業の確実性」の項目で高い評価を得ておりましたが、GIE社は「地域連携・協力」や「売却価格」の項目で評価され、総合点でわずかに上回った結果となりました。価格も重要な評価要素の一つではありますが、地域との連携姿勢なども含めた総合評価の結果であると考えています。

【跡活用条件（避難所等）の必要性和宅地化の提案】（札幌市回答）

旧常盤小学校の跡活用につきましては、令和2年からの地域との協議（検討会議）において、「体育館やグラウンドを地域コミュニティの拠点として残してほしい」「災害時の避難場所を

確保してほしい」というご要望をいただいております。そのため、札幌市としては、単なる売却益の最大化よりも、民間活力を導入しながら地域の公益的な機能を維持することを最優先とし、建物を活用できる事業者を公募する方針といたしました。

4.6.4 売却反対・リース契約や転売制限の要望（8件）

【売却ではなく「リース（賃貸）」への変更要望】（札幌市回答）

札幌市では、「市有建築物の資産管理基本方針」において、市有施設がその役目を終え行政目的で使用しない施設や土地は、売却処分を促進し財源の確保に努める、と定めております。また、「札幌市市有建築物の配置基本方針」において、今後は行政が建物を保有せずに民間による施設サービスを促進するといった民間活力を活用することも定めております。そのため、閉校した小学校などについては、民間事業者による活用が見込まれる場合は、売却することが最も有効な公有財産の活用と考えております。

【転売リスクと特定国への警戒感】（札幌市回答）

現行法制度上、国籍のみを理由とした土地売却の制限はできないものと考えています。売却後の利用につきましては、民法第580条の買戻し可能最長期間10年の規定を踏まえ、用途指定期間を10年と定め、提案された事業計画通りに学校として利用することを義務付けております。万が一、違反があった場合には札幌市が土地・建物を買い戻すことができる特約を設けています。なお、当該用地には都市計画法に基づく用途地域が定められており、建築可能な建物の用途は建築基準法によって制限されております。

【インフラ整備（交番・道路）の必須条件化】（札幌市回答）

交番の設置につきましては北海道警察の管轄であり、札幌市が単独でお約束することは困難ですが、地域の安全確保の必要性については、皆様の声を警察等の関係機関へしっかりとお伝えしてまいります。また、GIE社に対しては、自前での警備員や交通誘導員の配置、スクールバス運行による交通負荷の軽減など、地域に新たな負担をかけないための具体的な安全対策を講じるよう求めており、その実施状況を確認してまいります。

【地域への説明責任と負担の押し付けへの批判】（札幌市回答）

旧常盤小学校の跡活用の目的は、インターナショナルスクールの誘致を前提としたものではなく、公募条件として「災害時の避難場所確保」や「地域コミュニティへの施設開放」を必須とし、民間活力を導入しながら地域の公益的な機能を維持することを最優先に、建物を活用できる事業者を公募する方針を採用いたしました。

4.7 ルール遵守・マナー・環境維持（14件）

4.7.1 地域住民の生活環境・安寧の維持（5件）

【地域ルール尊重と住民生活の最優先】（札幌市回答）

GIE社は、日本の文化や道徳を学ぶ日本語プログラムの実施や、生活オリエンテーションを通じたマナー（ごみ出し、騒音防止等）の徹底を行う計画です。札幌市としても「地域連携協議会（仮称）」や、施設内に設置される「みんなの声ポスト（意見箱）」を通じて、皆様の声を常に運営に反映させ、地域に溶け込んだ調和のある学校運営を行うよう助言してまいります。

【土地の歴史的背景と先人への敬意】（GIE社回答）

我々が常盤地区を選んだ理由は、「豊かな自然環境」や「地域に親しまれてきた歴史ある学び舎」にこそ、子どもたちの教育における真の価値があると考えたためです。既存の校舎を取り壊すのではなく、リノベーションして活用する計画は、その歴史への敬意の表れでもあります。地域の財産であるこの場所を、次世代を担う子どもたちの成長の場として引き継ぎ、地域の誇りとなるよう努めてまいります。

4.7.2 日本のルール・マナー・文化の指導と遵守徹底（6件）

【日本の社会規範と地域ルールの教育】（札幌市回答）

札幌市では外国籍市民向けに日本の生活習慣やルールを学ぶ「生活オリエンテーション」の資料等を用意しており、事業者に対してこれらを活用した入念な事前指導を行うよう求めています。また、GIE社の教育カリキュラムにおいても、「日本語プログラム」の中で日本の国語教科書を使用し、言葉だけでなく日本の文化や道徳、社会規範を学ぶ授業が組み込まれております。学校教育と生活指導の両面から、地域社会の一員としての規律を身につけてもらうよう努めてまいります。

【教職員を含む学校全体への意識付け】（札幌市回答）

GIE社の計画では、全教職員の約40%が日本語対応可能なスタッフとなる予定であり、これらのスタッフが中心となって学校内の規律維持に努めます。また、海外から着任する教職員に対しては、採用時や研修において、日本の公共マナーや地域との関わり方について十分な教育を行うよう、札幌市から強く申し入れます。スクールバスの運転手につきましても、日本の交通ルールや雪道運転に精通した方を採用する計画となっており、安全と秩序の維持に努めてまいります。

【行政による継続的な指導・監督体制】（札幌市回答）

売却後も地域と事業者の関係を見守り続けるため、新たに設置される「地域連携協議会（仮称）」には、地域住民や事業者だけでなく、札幌市も構成員として参画いたします。本協議会を通じて、札幌市も「みんなの声ポスト（意見箱）」に寄せられたご意見や実際の生活環境を確認し、問題があれば事業者に対して是正や改善を求める体制を維持してまいります。

4.7.3 文化・習慣の違いや外国人増加による懸念（3件）

【外国人居住区の拡大と地域の分断】（札幌市回答）

学校隣接地の宅地分譲（グリーンタウン芸術の森）につきましては、道内のハウスメーカー等で構成される協同組合が一般向けに行っている事業であり、今回の旧常盤小学校の公募売却とは無関係です。また、生徒の通学に関しては、GIE社より、広域でスクールバスを運行し、札幌市内全域から生徒を募集する計画であると伺っております。したがって、学校周辺の特定地域に外国人家庭が集中して居住されるような事態は想定しておりません。なお、既存の町内会活動や地域のルールへの影響が生じないよう、今後設置する「地域連携協議会（仮称）」を通じて、地域社会との調和を図るよう、引き続き事業者に向けてまいります。

【生徒の構成と、多国籍な環境における規律へのご懸念について】（GIE社回答）

「近隣に公立小学校があるため、実態として外国人児童ばかりの学校になるのではないか」とのご指摘についてですが、生徒は札幌市内全域や近郊からの通学を想定しております。また、弊社が運営する既存校（東京・大阪・つくば）の実績におきましても、在籍生徒の54%以上を日本国籍の生徒が占めております。多国籍な環境における規律維持につきましても、弊社は国際バカロレア（IB）等の教育プログラムを通じ、「協調性」や「他者への尊重」を基本的な価値観として指導しております。国籍を問わず、社会のルールを遵守できる人材の育成に努めてまいります。

【生活習慣の違い等による地域トラブルの未然防止について】（札幌市回答）

GIE社からの提案では、必修科目である「日本語プログラム」において日本の国語教科書を使用し、言葉だけでなく日本の文化や道徳、社会規範についても学ぶ計画となっております。学校生活を通じて、日本のルールやマナーをしっかりと学べる体制を整えることで、地域でのトラブルの未然防止に努めてまいります。

4.8 意見収集の手法・行政対応への意見（60件）

4.8.1 アンケート手法・ID付与・配布への不満（12件）

【アンケートの目的と手法への不信】（札幌市回答）

今回の意見収集の目的は、多数決による事業の賛否を問うものではなく、公募提案審査委員会を経て選定された優先交渉権者の提案内容に対し、地域の皆様が具体的にどのような点に不安や懸念を抱いているかを把握し、今後の事業者との協議や運営ルールの策定に活かすことを目的としております。ハガキへのID付与につきましては、対象地域にお住まいの方からのご意見であることを確認し、重複回答を防ぐための事務的な管理番号であり、個人の思想を特定したり、意見表明を監視したりする意図はございません。また、1世帯1枚とさせていただいた点は、限られた期間と予算内で全世帯へ案内をお届けするための措置であり、ご理解いただきたいと思います。

【個人情報保護と回答媒体（ハガキ）の不備】（札幌市回答）

ご返信いただくハガキに目隠しシールが添付されておらず、配慮が不足しておりましたことをお詫び申し上げます。今後同様の活動を行う際は、十分な配慮に努めてまいります。また、ハガキの記入スペースが小さく意見を書ききれない、ウェブフォームが苦手な方への配慮が足りないとのこと指摘もいただいており、限られた期間と予算内で全世帯へ案内をお届けするための措置でありましたが、記載いただく際にご不便をおかけしたことをお詫びいたします。

【配布漏れ・資料品質など事務執行への批判】（札幌市回答）

ハガキの同封漏れについてお詫び申し上げます。発覚後、委託業者への指導を徹底するとともに、お手元に届いていない方には速やかにハガキをお届けいたしました。成果物の確認プロセスを厳格化し、再発防止に努めてまいります。

【その他・特記事項】（札幌市回答）

報道機関の取材活動を札幌市が直接規制することは困難ですが、住民の皆様の生活に十分配慮するよう、改めて正確な情報発信や注意喚起を適切に行ってまいります。

4.8.2 行政の姿勢・プロセス・責任の所在（22件）

【契約後の行政による監視・監督体制と責任の範囲】（札幌市回答）

契約の履行状況の確認につきましては、事業者からの報告だけでなく、地域の皆様・札幌市・学校の3者にて新たに設置する「地域連携協議会（仮称）」への参加を通じて「地域開放の実績」や「運営状況」を確認し、その内容は地域の皆様へ共有される仕組みを作ります。また、万が一、事業運営に不安が生じた場合や契約違反の疑いがある場合は、札幌市が責任を持って調査・指導を行います。引渡しから10年間は事業計画通りに学校として利用することを義務付ける「用途指定」の期間中であり、札幌市として適正な運営を確認してまいります。

【プロセスへの不信と説明責任の欠如】（札幌市回答）

売却価格が4,710万円から変更された経緯ですが、令和2年の初回公募で応募がなく、その後の不動産鑑定において、建物の老朽化や市場性の減価等を反映し、適正に再評価した結果です。「校舎を解体して更地にすべきだった」とのご意見につきましては、検討段階において地域の方々より「災害時の避難場所」や「地域活動の拠点（体育館等）」として建物を残してほしいというご要望をいただいており、解体せずに既存施設を有効活用できる事業者を募集するという方針を決定いたしました。

【審査評価と地域理解の乖離への疑義】（札幌市回答）

公募提案審査委員会における評価について、「地域貢献活動」等の項目では、次点提案者の方がGIE社よりも高い評価を得ておりました。一方で、GIE社は「地域連携（協議会設置による対話の仕組み）」や「売却価格」等の項目で評価され、総合点（GIE社：80.4点、次点：78.4点）でわずかに上回ったという結果です。GIE社には、地域貢献や地域連携の計画の実効性を高め、地域の皆様の理解を得るための対話に努めるよう、札幌市として求めてまいります。

【外国人受け入れ政策と国の安全保障への懸念】（札幌市回答）

旧常盤小学校の跡活用におけるインターナショナルスクールの設置は、労働力不足を補うための移民政策や、単純労働者の受け入れ拡大を意図したものではございません。また、外国資本への土地売却につきましては、現行の日本の法制度上、国籍のみを理由に制限することはできませんが、契約において10年間の用途指定を設けており、札幌市として適正な運営を確認してまいります。

【その他・特記事項】（札幌市回答）

校舎を残す選択は、緊急時の避難場所やスポーツ開放といった「地域機能の維持」を最優先に考えた結果です。維持管理などの課題については、GIE社に対し適切に対応するよう求めています。

4.8.3 説明会・情報提供のタイミングと方法（14件）

【説明会開催の遅さと「決定事項」としての事後報告への批判】（札幌市回答）

本件の検討につきましては、令和2年（2020年）より、地域の代表者やPTA役員等で構成される「芸術の森地区学校跡活用検討会議」において、売却条件（地域コミュニティへの貢献や避難場所の確保など）の協議を重ねてまいりました。その経過はニュースレターの回覧や札幌市公式ホームページでお知らせしてまいりました。一方、令和7年（2025年）9月にGIE社が開催した地域説明会は、公募提案型売却の優先交渉権者に決定した後、初めて開催したものでしたが、これまで同様ニュースレター等でお知らせいたしました。今後は、地域の皆様への情報提供が不十分であったとのご指摘を踏まえ、適切なタイミング・方法で情報提供できるよう心掛けてまいります。

【再説明会の開催形式と周知方法への具体的な要望】（札幌市回答）

昨年9月の説明会が混乱し、十分な対話ができなかったことから、今回全戸配布によりGIE社の事業計画や質疑応答集を配布すると合わせて、地域の皆様からの様々なご意見をいただく取組を行いました。情報提供の方法については、ホームページをご覧にならない方がいらっしゃることも踏まえ、地域の皆様へ確実に情報が届く方法を検討してまいります。

【情報格差と他案（次点者）との比較検討の要求】（札幌市回答）

これまでは、統廃合の対象となった旧常盤小学校および旧石山東小学校の校区（芸術の森地区）を主な対象として広報を行ってまいりましたが、今後はより広い範囲での情報提供に努めます。次点提案者は「地域貢献活動」や「事業の確実性・継続性」の項目において、最優秀提案者（GIE社）よりも高い評価を得ておりました。一方で、GIE社は「地域連携・協力体制」や「売却価格」等の項目で高く評価され、これらを総合した結果、GIE社が最優秀提案者として選定されました。

【報道・外部介入による地域イメージの悪化と分断】（札幌市回答）

札幌市としては、公募提案審査委員会を経て選定された優先交渉権者の提案内容に対し、地域の皆様が具体的にどのような点に不安や懸念を抱いているかを把握し、今後のGIE社との協議や運営ルールの策定に活かすことを目的に意見収集を行いました。今後は、新たに設置する「地

域連携協議会（仮称）」や、施設内に設置する「みんなの声ポスト（意見箱）」などを通じ、地域住民の皆様の多様なご意見を丁寧に拾い上げ、分断を生まない丁寧な進め方を徹底してまいります。

4.8.4 反対活動・外部介入・差別的言動への対応（12件）

【地域住民優先と外部介入の排除】（札幌市回答）

本事業を進めるにあたっては、地域にお住まいの皆様のご理解が不可欠であると考えております。今後の取組においては、地域の皆様に正確な情報をお届けした上で意見交換ができるよう、必要な措置を講じてまいります。

【差別的言動への毅然とした対応と条例制定】（札幌市回答）

特定の国籍や人種に対する差別的言動は、いかなる理由があろうとも許されるものではありません。「インド人が増える」といった言説につきまして、本スクールは特定の国籍を対象としたものではなく、多様な国籍の生徒が学ぶ「インターナショナルスクール」であり、間違った認識に基づく誤情報です。差別的な誤情報や扇動に対しては正確な事実関係を発信し、関係機関と連携して是正に努めてまいります。

【議論の場の秩序維持と安全確保】（札幌市回答）

反対活動の過熱により、地域内で賛成意見を持つ方への圧力や、威圧的な言動が見られるとの情報、大変憂慮しております。多様な意見があることは健全ですが、他者の意見を封殺したり、地域住民の皆様に恐怖を与えたりする行為は決して容認できません。札幌市としては、地域住民の皆様が安心して自由な意見表明ができる環境づくりに努めてまいります。

4.9 文化・人種・外国人に関する懸念（8件）

4.9.1 外国人増加そのものへの反対・日本文化喪失への懸念（3件）

【公共交通（バス運行）の安全性への不安】（札幌市回答）

インターナショナルスクールにおけるスクールバスの運行につきましては、GIE社の提案において、「日本の交通ルールや雪道の運転に精通している方を採用する予定」であることが明記されております。生徒の安全はもちろんのこと、市民の皆様の交通安全を最優先に運行体制を整えるよう、事業者に求めてまいります。

【日本文化の保持と外国人依存への懸念】（札幌市回答）

インターナショナルスクールの設置は、労働力不足を補うための移民政策や、単純労働者の受け入れ拡大を目的としたものではございません。また、GIE社は「日本の国語教科書を使用した授業」を行い、言葉だけでなく日本の文化や道徳を学ぶプログラムを導入する計画です。札幌市としましても、「生活オリエンテーション」等を通じて日本の生活習慣やマナーを遵守していただく取組を徹底し、地域と共存できるよう努めてまいります。

4.9.2 治安悪化・犯罪拠点化・身元への警戒（2件）

【教職員の質と特定コミュニティ形成・治安への懸念】（札幌市回答）

教職員の採用につきましてGIE社は、学歴や指導歴に加え、前職からの推薦状を必須とするなど「人間性」を重視した採用を行うと報告を受けております。なお、特定の国籍の方を一律に排除する「セキュリティ・クリアランス」のご要望についてですが、日本の法制度上、国籍や出身国のみを理由とした不当な差別的取扱いとは認められておりません。「外国人のコミュニティができ、犯罪の拠点になるのではないか」というご懸念ですが、本施設は外国人労働者の研修施設や宿舎ではなく、あくまで「児童生徒が通う学校」です。GIE社の既存校（東京・大阪等）の実績では、在籍生徒の過半数が日本国籍の子どもたちであり、学校周辺が特定の外国人集住地区（コロニー）になったという事実はございません。また、札幌校においてもスクールバスを広域で運行し、市内全域から生徒が通学する計画であるため、学校周辺への移住や集中は想定しておりません。万が一、学校関係者による治安上の問題が生じた場合には、国籍に関わらず法に基づき厳正に対処されるべきものであり、警察等の関係機関と密に連携して安全確保に努めてまいります。

4.9.3 生活マナー・衛生・具体的トラブルへの嫌悪（3件）

【近隣地域での具体的トラブル事例と治安・環境悪化への懸念】（札幌市回答）

覗きや器物損壊、公然わいせつ等の迷惑行為は、国籍に関わらず許されない違法行為であり、警察への通報も含め、法に基づき厳正に対処されるべき問題です。本事業に関しまして、地域住民の皆様を守るため、警察等の関係機関とは密に連携してまいります。なお、今回のインターナショナルスクールは、外国人労働者の宿舎ではなく、教職員の指導下にある児童生徒が通う教育施設です。事業者であるGIE社は、生徒の校外での振る舞いについても責任を持って指導するとともに、警備員の配置やスクールバスの運行管理により、地域への迷惑行為を未然に防ぐ体制を整える計画です。

【生活習慣などの違いによるトラブル防止】（札幌市回答）

文化や習慣の違いによって意図せずトラブルになることを防ぐため、札幌市では「生活オリエンテーション」等を通じ、日本の生活ルールやマナーに関する情報提供を行っております。また、国も地域社会のルール等を習熟するための取組の重要性を掲げておりますので、その動向を注視してまいります。なお、GIE社も、学校教育の中で「日本語プログラム」を実施し、言葉だけでなく日本の道徳や社会規範等を学ぶ授業を行う計画です。

【トラブル防止のための交流・相談窓口の設置提案】（札幌市回答）

GIE社は、地域住民の皆様からのご意見や相談を受け付ける「みんなの声ポスト（意見箱）」を施設内に設置するほか、定期的に「地域連携協議会（仮称）」を開催し、対話の場を設けることを提案しております。また、夏祭りや学校主催のイベントに、地域の皆様に参加いただくことを通じて、日本文化や風習を教え合うような交流の機会も計画されており、地域の声をこの協議会で議論し、地域の皆様と共に安心できる関係を築いていけるよう努めてまいります。

4.10 交通・道路・インフラへの要望（8件）

4.10.1 バスの増便・公共交通の充実（4件）

【公共交通機関（路線バス）の維持・充実への期待】（札幌市回答）

児童生徒の通学手段につきましては、GIE社の計画では、地域住民のバス利用に支障が出ないよう、また、登下校時の児童の安全確保および近隣への交通渋滞対策として、スクールバスの運行（開校時2台予定）を基本としております。なお、札幌市では、バス事業者への補助金交付等によりバス路線の維持に努めていますが、全国的な運転手不足により市内全域で路線バスの減便等が進んでいます。頂いたご意見はバス事業者にお伝えするとともに、今後もバス事業者と緊密に連携しながら運転手確保に向け様々な支援を行うなど、持続可能な公共交通ネットワークの確保に取り組んでまいります。

【交通不便地への立地選定に対する疑問】（札幌市回答）

閉校となった旧常盤小学校の校舎を有効活用していただく事業者を公募したものであり、GIE社は、常盤地域の「環境」を高く評価し、応募・選定されました。具体的には、GIE社は、「札幌は豊かな自然と文化芸術が息づく街であり、近隣には芸術の森があること」や「地域に親しまれてきた歴史ある建物を教育の場として生かせること」を、子どもたちの学びに最適な環境であるとして、この場所を希望されました。豊かな自然環境の中で感性を育む教育方針を持つ事業者にとって、この常盤地区は「価値ある教育環境」として評価されたもののご理解いただけますと幸いです。

4.10.2 交通安全・ルール遵守（2件）

【交通安全への対策と継続的な対話の場】（札幌市回答）

冬場の交通安全やルールの遵守は、地域で共生していく上で重要な課題の一つであると認識しております。スクールバスの運行につきましては、GIE社より、日本の交通ルールや雪道の運転に精通した運転手を採用する計画であると伺っております。また、地域住民・札幌市・学校で構成する「地域連携協議会（仮称）」を設置し、冬場の交通課題を含めインターナショナルスクールの運営等に関する懸念点を協議してまいります。いただいたご意見をふまえ、地域の皆様に安心していただけるようGIE社と連携して取り組んでまいります。

4.10.3 交通渋滞・混雑・既存利用者への配慮（2件）

【送迎車両・スクールバスによる交通渋滞と冬期道路事情】（札幌市回答）

GIE社の計画では、路上での駐停車による交通渋滞を回避するため、学校の敷地内にバスや保護者の送迎車両が進入・待機できるスペースを十分に確保する計画となっております。これにより、公道での乗降や待機を行わない運用を徹底いたします。また、登下校時には交通誘導員を配置し、円滑な通行を確保するとともに、スクールバスの運転手には日本の交通ルールや雪道運転に精通した方を採用する予定です。札幌市としても、地域住民の皆様の生活道路としての

機能を阻害することがないように、事業者に対して安全管理と運行ルールを守るよう求めてまいります。

【既存路線バスの混雑と「乗り残し」への懸念】（札幌市回答）

GIE社の計画では、通学手段としてスクールバス（開校時2台予定）および保護者による送迎を基本としており、路線バスへの負荷を最小限に抑える計画です。なお、札幌市では、バス事業者への補助金交付等によりバス路線の維持に努めていますが、全国的な運転手不足により市内全域で路線バスの減便等が進んでいます。頂いたご意見はバス事業者にお伝えするとともに、今後もバス事業者と緊密に連携しながら運転手確保に向け様々な支援を行うなど、持続可能な公共交通ネットワークの確保に取り組んでまいります。

4.11 その他意見（68件）

4.11.1 学校運営・教育内容・生徒への具体質問と懸念（21件）

【学校生活の具体的内容（給食・掃除・言語）】（札幌市回答）

授業で使用する言語につきましては、基本は英語となりますが、GIE社の提案によりますと「日本語プログラム」が導入される予定です。この中で、日本の国語科の教科書を使用し、言葉だけでなく日本の文化や道徳を学ぶ授業が行われます。なお、スペイン語や中国語など、その他の言語を学ぶ授業については現在は計画されておりませんが、必須教科ではなく選択科目やアフタースクールのプログラムなどで、需要に応じて検討いたします。次に、昼食の提供方法につきましては、既存校と同様に校内で調理を行う給食施設は設置しない想定です。昼食は、提携事業者によるお弁当の注文制、または各家庭からの持参を基本とする方を予定しております。アレルギー対応や注文方法等の詳細は、開校準備の中で整備される予定です。また、清掃活動などの日常生活の運用方法につきましては、年齢や教育段階に応じた学校生活指導の中で実施される予定ですが、具体的な時間割や方法等の詳細は今後の教育計画の中で定められます。

【授業料・就学義務・生徒確保への懸念】（札幌市回答）

授業料につきましては、GIE社の計画では未就学児で年間約150万円、小学生で約160万円程度と想定されております。これは私立のインターナショナルスクールとしての設定であり、ご指摘の通り、すべてのご家庭にとって容易な金額ではないと認識しております。一方で、事業者は、意欲ある児童生徒に学びの機会を提供できるよう、奨学金制度の導入についても前向きに検討していると伺っております。次に、就学義務についてですが、本スクールは学校教育法第1条に定める学校（一条校）には該当しないため、日本国籍のお子様が行われた場合、法律上の就学義務を履行したことにはなりません。「札幌市としての後押し」というご要望につきましては、現行法制度上、義務教育の特例措置などを行うことは困難ですのでご理解ください。本スクールに通学する場合でも、在籍（学籍）は学区の公立学校に置かれます。

【事業計画の現実性と他校の実態把握】（札幌市回答）

生徒数が直線的に増加する計画（2033年に650名目標）につきましては、GIE社の既存校での実績や、札幌における潜在的な需要を基に事業者が試算したものです。次に、大阪やつくば等の

既存校に関する「トラブルの有無」の实地調査についてですが、札幌市として現地に職員を派遣しての周辺住民への聞き取り調査までは実施しておりませんが、つくば市や東京都江戸川区にヒアリングを行い周辺住民と良好な関係を構築していることは確認しております。また、事業者からは、地元自治体と連携し、地域行事への参加や清掃活動などを通じて良好な関係を築いているとの報告を受けております。なお、配布資料の一部に印刷ミス（裏返し等）があり、大変見づらくご不便をおかけしましたこと、事務局の確認不足でありお詫び申し上げます。

【防災について】（札幌市回答）

北海道作成の津波浸水想定によると、札幌市における津波による浸水想定区域は、手稲区の居住者のいないエリアのみが該当となっておりますので、本事業の芸術の森地区を含む、該当エリア以外への影響は想定していません。

【経営母体】（札幌市回答）

運営会社であるGIE社は日本法人ですが、その母体はシンガポールに本部を置く「グローバル・スクールズ・グループ」であり、国際的なネットワークを持つ教育グループです。今回の公募は国籍を問わず、最も優れた提案を行った事業者を公平に選定した結果でございます。

【生徒や保護者へのサポート】（札幌市回答）

ご懸念の「生徒や保護者へのサポートが十分か」という点について、GIE社からは、生徒一人ひとりが安心して学べるよう配慮された体制が提案されております。札幌市としては、開校後も学校運営の状況を見守り、必要に応じて適切な対応が取られるよう協議してまいります。

【説明資料の統計基準の考え方】（GIE社回答）

「ワン・ワールド・インターナショナル・スクールの生徒数推移(実績と推計)」のグラフにおいて、統計の基準月が年度によって異なっているのは、入学生が多かったタイミングに応じて区切りを設けているためです。基本的には新学期が始まる8月を基準としておりますが、入学生が多かった時期には1月、4月、8月、12月など、年度ごとに月が異なっている形となっております。

【札幌市内のインターナショナルスクールの現状について】（札幌市回答）

ご質問の「札幌市内にも、インターナショナルスクールに似た学校があると思うが、現状についてどのような調査を行ったのか」という点についてですが、札幌市では、主に公表情報に基づき、教育内容や学校規模などの一般的な情報を確認しております。

【改修工事の規模】（GIE社回答）

現時点では、施設を安全かつ快適に使用できるように必要な範囲で行う予定です。具体的には、教室や共用スペース、トイレや給排水設備、空調の整備、校庭に交通管理用のアスファルト舗装を行うなど、基本的な施設改善を中心に計画しております。必要に応じて、工事内容を変更・調整することも想定しております。工事に伴う騒音や交通への影響についても、周辺の皆様に十分配慮しながら進めてまいります。

【教職員の生活環境の整備について】（GIE社回答）

我々の考え方として、教職員は高い専門性と自己管理能力を備えた人材であり、日常生活や業務において困ったことがあれば、会社が必要なサポートを行う体制を整えていることが基本となっています。

4.11.2 交通・立地・インフラ（2件）

【通学区域の変更・選択制の要望】（札幌市回答）

GIE社は「スクールバスの運行（開校時2台）」および「校地内での保護者送迎」を徹底し、路線バスや一般交通への負荷を最小限に抑える計画です。地域の子どもたちが安心して通学できるよう、安全対策には万全を期してまいります。

【既存路線バスの混雑緩和（観光客・増便）】【公共交通の利便性維持（最終便・定住促進）】（札幌市回答）

札幌市では、バス事業者への補助金交付等によりバス路線の維持に努めていますが、全国的な運転手不足により市内全域で路線バスの減便等が進んでいます。頂いたご意見はバス事業者にお伝えするとともに、今後もバス事業者と緊密に連携しながら運転手確保に向け様々な支援を行うなど、持続可能な公共交通ネットワークの確保に取り組んでまいります。

4.11.3 行政プロセス・手法・信頼性（15件）

【情報公開の順序とタイミングへの不信】（札幌市回答）

旧常盤小学校の跡地活用につきましては、令和2年（2020年）より、地域の代表者やPTA役員等で構成される「芸術の森地区学校跡活用検討会議」において検討を重ねてまいりました。その経過はニューズレターの回覧や札幌市公式ホームページでお知らせしてまいりました。一方、令和7年（2025年）9月にGIE社が開催した地域説明会は、公募提案型売却の優先交渉権者に決定した後、初めて開催したものでしたが、これまで同様ニューズレター等でお知らせいたしました。今後は、地域の皆様への情報提供が不十分であったとのご指摘を踏まえ、適切なタイミング・方法で情報提供できるよう心掛けてまいります。

【代表性・民意の真正性への疑義】（札幌市回答）

上記のとおり、旧常盤小学校の跡活用に係る経緯等については、ニューズレター等でお知らせしてきたところですが、札幌市としては、検討会議だけでなく、今回実施した意見収集や、今後新たに設置する「地域連携協議会（仮称）」などの取組を通じて、より幅広い層の住民の皆様が、安心して意見を言える環境づくりに努めてまいります。

【行政の対応能力と過去の事例への不信】（札幌市回答）

本事業におきましては、単に土地を売却して終わりにするのではなく、契約において「10年間の用途指定」や、違反時の「買戻し特約」を設けるなど、行政が関与できる仕組みを導入しております。また、地域の皆様・学校・札幌市の3者による「地域連携協議会（仮称）」を設置

し、定期的に開催する中で、互いに理解を深め合いながら長期にわたって地域に根差した取組が継続できるよう支えてまいります。

【市長のリーダーシップと大局的判断への期待】（札幌市回答）

GIE社の提案は、閉校した小学校の跡活用を通じた地域の公益的な機能の維持にとどまらず、北海道・札幌市が国から指定を受けた北海道・札幌 GX金融・資産運用特区（現：北海道・札幌 GX/AI金融・資産運用特区）の目標実現や、世界中から人材・情報が集まる国際都市・札幌の実現に大きく資するものです。当該提案について、多様なご意見があることは承知していますが、地域や札幌市の発展のため大局的な視点を持ち、計画を推進する必要があると考えております。同時に、地域住民の皆様のご不安を置き去りにするのではなく、対話を通じて課題を解消し、地域と共生できる形で推進してまいりたいと考えております。

4.11.4 心情・その他（3件）

【校舎の保存・活用と行政の決意】（札幌市回答）

GIE社の計画は、既存の校舎を取り壊すのではなく、歴史ある常盤小学校の建物を活用することで、地域に親しまれてきた建物を教育の場として生かし、子どもたちが安心して学べる環境を提供するというものです。公立学校としての役割は終えましたが、建物自体は残り、再び子どもたちの声が響く場所として再生されます。

4.11.5 代替活用・別用途の提案（6件）

【地域活性化・全世代交流拠点としての活用要望】（札幌市回答）

旧常盤小学校の跡活用につきましては、地域の皆様との協議（学校跡活用検討会議等）を経て、「地域コミュニティの維持・向上につながる場」や「緊急時の避難場所」としての機能を確保することを条件に公募を実施し、GIE社のインターナショナルスクール案が最優秀提案として選定されました。ご提案いただいた「全世代との交流」や「学びの場」といったニーズについては、今後設置される「地域連携協議会（仮称）」の中で、地域開放イベントやボランティア活動などを通じてどのように実現できるか、GIE社と協議したいと考えております。なお、真駒内御料線と支笏湖線の交差点拡幅用地として残すべきだったというご意見につきましては、お盆や行楽シーズンの渋滞が地域生活に大きな影響を与えていることを踏まえ、道路管理者等の関係部署とも共有し、今後の地域の交通安全対策の参考とさせていただきます。

4.11.6 地域共生・防災・町内会・地域還元（13件）

【災害時の避難所としての機能維持】（札幌市回答）

GIE社からは、災害発生時における体育館の地域住民の皆様への開放や、札幌市と協議の上で緊急時対応ができる体制を構築するとの提案を受けております。いざという時に、地域の皆様がこれまで通り安心して利用できる防災拠点となるよう、事業者と連携して確実な体制整備を進めてまいります。

【地域への具体的還元（英語教育・施設開放）】（札幌市回答）

GIE社の計画では、放課後や週末における体育館およびグラウンドの地域団体への開放に加え、同社独自の課外活動プログラムの一環として、地域の皆様も参加可能な英語教室やイベントを開催するとの提案を受けております。

【トラブル対応の責任所在と実効性への不安】（札幌市回答）

施設に関するトラブルが発生した際の責任につきましては、まずは施設管理者であるGIE社が一次的に負うこととなります。しかし、当事者間での解決が困難な場合や地域全体に関わる問題につきましては、札幌市も参画する「地域連携協議会（仮称）」等の場を通じて、札幌市としてもしっかりと調整・解決に向けた支援を行う体制を構築いたします。

【公教育との関係および文化的背景への拒否感】（GIE社回答）

公立小中学校が学習指導要領に基づく日本の標準的な教育を行う場であるのに対し、当インターナショナルスクールは国際バカロレア（IB）等の国際基準のカリキュラムを提供する場として、それぞれ異なる教育ニーズに対応する役割を担っております。多様な国籍の子どもたちが共に学ぶ環境は、地域の皆様にとっても異文化理解を深める機会になると考えております。地域社会と調和し、良好な関係を築いていけるよう、今後の交流活動を通じて皆様のご理解を得られるよう努めてまいります。

4.11.7 反対活動・外部干渉への違和感（8件）

【過激な反対活動・主張への違和感と恐怖】（札幌市回答）

本事業は、量的な外国人労働者の受け入れ拡大を目的とした「移民政策」の一環ではございません。開設予定のスクールにつきましても、特定の国籍の生徒のみを対象とするものではなく、多様な子どもたちが共に学ぶ場となります。札幌市といたしましては、引き続き正確な情報発信を行い、誤解の解消を図るとともに、ご意見をお寄せいただいた皆様の個人情報保護には万全を期してまいります。皆様から寄せられたご不安の声や多様なご意見を真摯に受け止め、この度実施した意見収集や、今後新たに設置する「地域連携協議会（仮称）」を通じた対話により、課題の解決と地域の皆様のご理解に向けた取組を進めてまいります。なお、過度な威圧行為など、市民生活や子どもたちの安全に支障をきたす恐れのある行為が見られる場合には、警察等の関係機関と連携し、毅然とした対応をとってまいります。